

福井地域主要水系調査書

(九頭竜川・北川)

平成 9 年 3 月

国土庁土地局
国土調査課

序

水は、古来から多くの文明をはぐくみ、人々の生活と深く係わっており、河川や湖は生活用水・農業用水として、さらには重要な交通路として利用されてきました。反面、水との闘いも古くから続けられ、各地に水を治めるための多くの施設が築かれてきています。明治以降は、工業用水や、電力エネルギー源としても利用されるようになり、近代日本を支えてきました。

今後も、水は生活水準の向上、先端技術産業の発展、農業生産力の向上等のためには、欠かせない資源の一つであり、効率的な水資源の確保が必要です。又、各地の豪雨災害に見られるように都市化の進展に伴い、多くの人的災害が発生する危険性も増大しており、防災面からも治水対策が急がれています。

これらの各種施策を計画・実施するためには、水文状況や水の利用実態を的確に把握する必要があります。しかし、これらの資料は、各種対策の計画・実施機関で個別に保管され、水に関する総合的な把握が難しく必ずしも十分に利活用されているとはいえません。このため、国土調査法に基づく水調査の一環として、昭和28年以来、各地域における流域概要、治水及び利水施設の状況、水文、水質等の水に係わる各種資料を統一的な基準に基づき収集整理し、「主要水系調査書」及び「5万分の1利水現況図」として取りまとめています。

このたび、福井地域主要水系調査書及び利水現況図を刊行するにあたり、本成果が各種施策の基礎資料として広く利用され、関係各位に役立つことができれば幸いです。

終わりに、本調査の実施に当たって、資料等の提供にご協力いただいた関係機関及び関係各位に対し、深く感謝の意を表する次第です。

平成9年3月

国土庁土地局長

窪 田 武

総目次

(1) 収集資料の概要	1
(2) 利水現況図の概要	3
(3) 九頭竜川流域の概要	9
(4) 北川流域の概要	71
(5) 資料編	99
I 降水量資料	103
II 水位・流量資料	137
III 地下水位資料	149
IV 水質資料	171
V 取水口・排水口資料	189
VI 主要井戸資料	229
VII 上水道及び簡易水道（専用水道を含む）資料	239
VIII 工業用水使用状況資料	253
IX ダム資料	267
X 水力発電所資料	273
XI 下水道資料	281
XIV 漁業権資料	287

注) 資料編以下の項目の左端のローマ数字は、「(1)収集資料の概要」中の調査項目のものに対応している。

(1) 収集資料の概要

本調査書に収集した諸資料は、主としてつぎの諸調査項目について収集、編集した。

I) 降水量資料

降水量観測所は、東京管区气象台、近畿地方建設局、県、市町村、北陸電力株式会社の資料に基づき降水量観測所総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

なお、上記降水量観測所のうち、原則として恒常的な長期観測資料があるものについて、降水観測所月別降水量年表に整理し取りまとめた。

II) 水位・流量資料

水位・流量観測所は、近畿地方建設局、県、北陸電力株式会社の資料を基に水位・流量観測所総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

なお、上記水位・流量観測所のうち、原則として10年以上の長期観測資料があるものについて、流量観測所年別流況表に整理し取りまとめた。

III) 地下水位資料

地下水位観測井戸は、近畿地方建設局、県、市町村の資料を基に、地下水位観測井戸総括表、一覧表等に整理し取りまとめた。

なお、上記地下水位観測井戸のうち、5年以上の観測資料があるものについて、地下水位観測記録年表に整理し取りまとめた。

IV) 水質資料

水質調査地点は、近畿地方建設局、県、市町村の資料を基に、水質観測地点総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

また、最近5年間の調査記録を水質分析資料に整理し取りまとめた。

V) 取水口・排水口資料

農業用取水口及び排水口は、かんがい面積10haまたは常時取水・排水量 $0.5\text{m}^3/\text{sec}$ 以上のものについて、近畿地方建設局、県の資料を基にかんがい面積別、取水方法別、排水方法別の総括表、農業用取水口一覧表、農業用排水口一覧表に整理し取りまとめた。

水道用取水口は、近畿地方建設局、県の資料を基に、取水方法別総括表、水道用取水口一覧表に整理し取りまとめた。

工業用取水口及び排水口は、近畿地方建設局、県の資料を基に、取水方法別、排水方法別の総括表、工業用取水口一覧表、工業用排水口一覧表に整理し取りまとめた。

VI) 主要井戸資料

主要井戸は、県、市町村の資料を基に工業用井戸、水道用井戸、多目的及びその他の井戸の用途別に分類整理し、用途別、市町村別の総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

VII) 上水道及び簡易水道（専用水道を含む）資料

水道法に基づく各種の水道は、県、市町村の資料を基に上水道、簡易水道、専用水道の各事業別に分類整理し、水道用水総括表、上水道、簡易水道及び専用水道地区一覧表に整理し、取りまとめた。

VIII) 工業用水使用状況資料

工業用水使用状況は、県の資料を基に、工業用水使用状況総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

IX) ダム資料

ダムは堰堤部の高さ15m以上のものについて、近畿地方建設局、北陸電力株式会社、電源開発株式会社、県の資料を基に、ダム総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

X) 水力発電所資料

水力発電所は、北陸電力株式会社、電源開発株式会社、公営電気事業者及び自家用事業者（出力10kw以上）のものについて、県、北陸電力株式会社、電源開発株式会社の資料を基に、水力発電所総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

XI) 溜池資料

溜池は、有効貯水量10,000m³以上のものについて、県の資料を基に、溜池総括表、一覧表に整理し取りまとめた。

XII) 下水道資料

下水道は、公共下水道及び流域下水道について、県の資料を基に、下水道一覧表に整理し取りまとめた。

XIII) 河道横断施設資料

河川横断の堰・門は、調査地域内のV) IX) 及びXI) に該当しない洪水防止、水位調節等を目的とする河川横断施設について、関係機関への照会を行ったが、該当する資料が存在せず、一覧表等には取りまとめを行わなかった。

XIV) 漁業権資料

県の資料を基に、漁業法に基づく漁業権一覧表に整理し取りまとめた。

(2) 利水現況図の概要

1. 利水現況図

この地図は国土庁が関係機関の協力の下に作成した資料図（収集した資料を整理した図面）を基に編集図化した。この地図には水利用の現況を総括的に表示しており、河川、湖沼、流域界、農業、工業、水道、発電用などの取水・排水施設や受益地区の分布、あわせて水利用と関係の深い各種観測施設及び保安林の区域、土地利用なども図示した。

本地域の利水現況図は5万分の1の四六判3面、四六判裁判1面からなっている。

2. 利水現況図の表示事項

この図は9色刷りで、次の事項を表示した。

(1) 河川、湖沼

(2) 用排水路等

(3) 取水・排水施設

ダム、樋門・樋管、ポンプ場、集水埋渠、堰

(4) 井戸

深井戸、浅井戸

(5) 利水関連施設

浄水場、下水処理場、水力発電所

(6) 受益地区等

用水・水道・下水道受益地区

(7) 治山治水関連施設及びその区域等

水門、保安林

(8) 土地利用

水田

(9) 観測施設及び観測定点

(10) 水系流域界

(11) 行政界

県界、郡市界、市町村界

3. 各事項別の表示の基準

次の基準に従って表示した。

(1) 河川、湖沼

河川法の適用される一級河川を表示し、準用河川、普通河川はその他の河川で表示した。

湖沼・貯水池、溜池は5万分の1地形図により実形を表示した。

(2) 用水路及び水管

農業用水、上水道、下水道、工業、水力発電、多目的の水路及び水管については目的別に色分けで表示した。農業用水路は幹線を表示した。

水路、水管は地上と地下との区分をしなかった。着工中のものは、共通の記号で目的別に色を変えて表示した。

(3) 取水・排水施設

各施設とも目的別に色分けで表示し該当河川の略号及び対照番号を付記した。ダムは堤高15m以上を表示し、有効貯水量50万 m^3 以上のものについては貯水量を付記した。また取水堰その他の取・排水施設は農業用は受益面積10ha以上、または常時取・排水量が0.5 m^3/sec 以上、その他の目的ものはすべて表示した。

取水堰は長さ100m以上を実長で、密接して並列する場合は適宜編集し図示した。

集水埋堰は200m以上を実長で示した。

樋門・樋管、ポンプ場、自然取水・排水は、取水・排水量により3段階（3 m^3/sec 以上、3 m^3/sec ～1 m^3/sec 、1 m^3/sec 未満）に分けて表示した。

(4) 井戸

目的別に色分けし、深井戸と浅井戸を区別（その基準は深度30m）して表示した。揚水量により、次の3段階に分けて表示し、番号を付記し揚水量500 m^3/day 以上の井戸については揚水量も付記した。

2,000 m^3/day 以上、2,000 m^3/day ～500 m^3/day 、500 m^3/day 未満（水道用のみ）

(5) 利水関連施設

浄水場は目的別に色分けされた用水路の色と同じとし、用水路をつなぐようにした。

下水処理場には、流域下水道、公共下水道の処理場を含め、下水道をつなぐようにした。計画中・工事中のものを別に表示した。

(6) 受益地区等

上水道、簡易水道、専用水道、下水道の受益地区を目的別に色分けで表示した。下水道受益地区は、流域下水、公共下水の受益地区を示し、工事中の下水処理受益地区や下水道の完成を待って受益地区となる予定地は、計画中の区域として表示した。受益地区は5ha以上を表示し、対照番号を付した。

(7) 治山治水関連施設及び区域等

保安林は、国有林のものとその他のものを分けて表示した。また、目的区分として水源かん養、土砂流出防備、その他に分けて表示した。

(8) 土地利用

水田は5万分の1地形図の植生現況により表示した。

(9) 観測施設及び観測地点

各種観測施設を自記と普通に分けて表示し対照番号、名称、所属を付記した。施設はないが常時観測している地点も同様に表示した。

(10) 水系流域界

水系毎に第1次支川、第2次支川、第3次支川の順に最小面積おおむね15km²を目途に流域界を分割し、流域面積の大小により3段階に分けて表示した。

600km²以上、600km²～200km²、200km²～15km²

流域界で囲まれた内部に、河川名と流域面積を表示した。

(11) 行政界

行政界と水系流域界、その他の界線が一致する場合は、行政界を基図に合わせ、水系流域界及びその他の界線は微量の白部をあけて僅かに転移して表示した。

4. その他

(1) 目的別色分け

図の理解を容易にするため、水の利用目的や関係別に記号類を次のような色に統一した。

農業用水関係	緑
農業排水関係	青
工業用水関係	赤
水道関係	橙
多目的	紫
治山・治水関係	茶
観測施設、行政界	黒
河川、湖沼	紫・青

(2) 調査対照番号

次のものには、調査書と対照できる番号を付した。

①取水・排水施設

対照番号は記号と同じ色で付した。番号の順は、目的別に一連とし、水系順、本川より支川へ、下流より上流へ付することを原則とした。

(イ) ダム

対照番号は全水系を通した一連番号を付した。またダムの名称を書き入れた。

(ロ) 自然取水・排水、樋門・樋管、ポンプ場、堰、集水埋渠

水系名アルファベットと水系別の一連の対照番号の組み合わせにより表示した。

(例) 九頭竜川 KU 北川 KI

②井戸

対照番号は記号と同じ色で付した。番号の順は、深井戸、浅井戸の区別なく、目的別、市町村別に一連とした。

③上水道・簡易水道受益地区

地区番号を受益地区の中央に、目的別の色で書いた。上水道は〔 〕、簡易水道は()、専用水道は〔専〕と書いた。対照番号は、上水道、簡易水道及び専用水道に分けた。順序は市町村のコード番号順に従い、一連とした。

④観測施設

種類別に一連の対照番号とし、所属を示す頭文字を()内に書いた。所属を示す記号は次のとおりである。

建設省	(建)	市町村	(市)(町)(村)
気象庁	(気)	中国電力	(電)
〇〇県	(県)		

⑤発電所

対照番号は全水系を通した一連番号を付した。また発電所の名称を書き入れた。

(3) その他の注記

(2)のほか、次のものに注記した。

- ① 県名、郡市名、市町村名
- ② 一級河川名、その他の主な河川名
- ③ 主な用水路名
- ④ 流域面積

(4) 編集に使用した資料

編集は主として国土地理院の5万分の1地形図上に所要事項を記入した資料図及び所定の様式に基づき調査し収集した資料によって行った。水田は5万分の1地形図より図化した。

図はおおむね平成8年3月の状態を表した。

(3) 九頭竜川流域の概要

建設省近畿地方建設局福井工事事務所

目 次

1. 九頭竜川流域の概要	11
1-1 概 要	11
1-2 九頭竜川流域の歴史	12
(1) 九頭竜川の名の由来	12
(2) 流域の歴史	13
(3) 河道変遷	17
2. 流域の特性と現況	24
2-1 概 要	24
2-2 地 形	25
2-3 地 質	27
2-4 気象・降水量	29
2-5 水 文	31
(1) 河川流量	31
(2) 水 質	31
2-6 動植物	33
(1) 動物環境	33
(2) 植物環境	34
2-7 河川利用	36
(1) 水 利用	36
(2) 河川敷利用	37
3. 流域の社会、産業、文化	38
3-1 概 要	38
3-2 人 口	39
3-3 土地利用	42
3-4 産 業	43
3-5 文 化	47
(1) 公 園	47
(2) 観光資源	49
(3) 文化財	52
4. 洪水記録	54
4-1 洪水の特徴	54
4-2 古文書に見られる水害	54
4-3 昭和時代の水害	55
4-4 水害年表	56
5. 近年の渇水（平成6年）	63
5-1 降水量	63
5-2 九頭竜川川の流量	63
5-3 渇水対策本部の設置状況	63
5-4 新聞報道にみる渇水状況	64
6. 治 水	68
6-1 明治時代までの治水事業	68
6-2 明治時代の治水事業	68
6-3 昭和代の治水事業	68
6-4 治水計画・事業の経緯	70

1. 九頭竜川流域の概要

1-1 概要

九頭竜川流域は、本州日本海側のほぼ中央にあり、福井県嶺北部に位置し、岐阜県にまたがっている。流域内には、福井市をはじめ岐阜県郡上郡白鳥町など2県5市17町3村が含まれ、流域面積が2,930km²であり、福井県面積の約70%を占めている。また、九頭竜川流域は福井平野などの平地が約22.2%みられるものの、約77.8%が山地である。

九頭竜川は、幹線流路延長116キロメートルを有し、北陸地方屈指の大川であるとともに、この地域を代表する「母なる川」として古くから人々の生活と密接な関わりを持ち、親しまれてきた河川である。九頭竜川の源は、福井県と岐阜県境の油坂峠(717m)に発し、九頭竜峡谷を経て大野盆地を北流し、勝山市で真名川を合わせ、永平寺町鳴鹿にて福井平野に入り、そこから西流する。そして、福井市高屋において今庄町夜叉ヶ池(1,100m)を源として北流してくる日野川と合流し、三国町で日本海に注いでいる。日野川には、九頭竜川・日野川と並んで越前三大河川の一つである足羽川を福井市大瀬で合流している。この足羽川は、岐阜県境の冠山(1,257m)に源を発し、山間地から福井市内を流れる。

九頭竜川水系主要河川の流域面積、流路延長等をまとめると表1-1のとおりである。

表1-1 九頭竜川水系主要河川諸元表

河川名	流域面積(km ²)			流路延長 (km)	計画高水流量 (m ³ /sec)
	山地面積	平地面積	合計		
九頭竜川	2,280.0	650.0	2,930.0	116.0	9,200(布施田)
	(77.8%)	(22.2%)	(100%)		5,500(中角)
日野川	962.3	313.2	1,275.5	71.5	4,800(深谷)
足羽川	356.8	58.8	415.6	61.7	1,800(前波)
真名川	286.8	70.1	356.9	47.1	

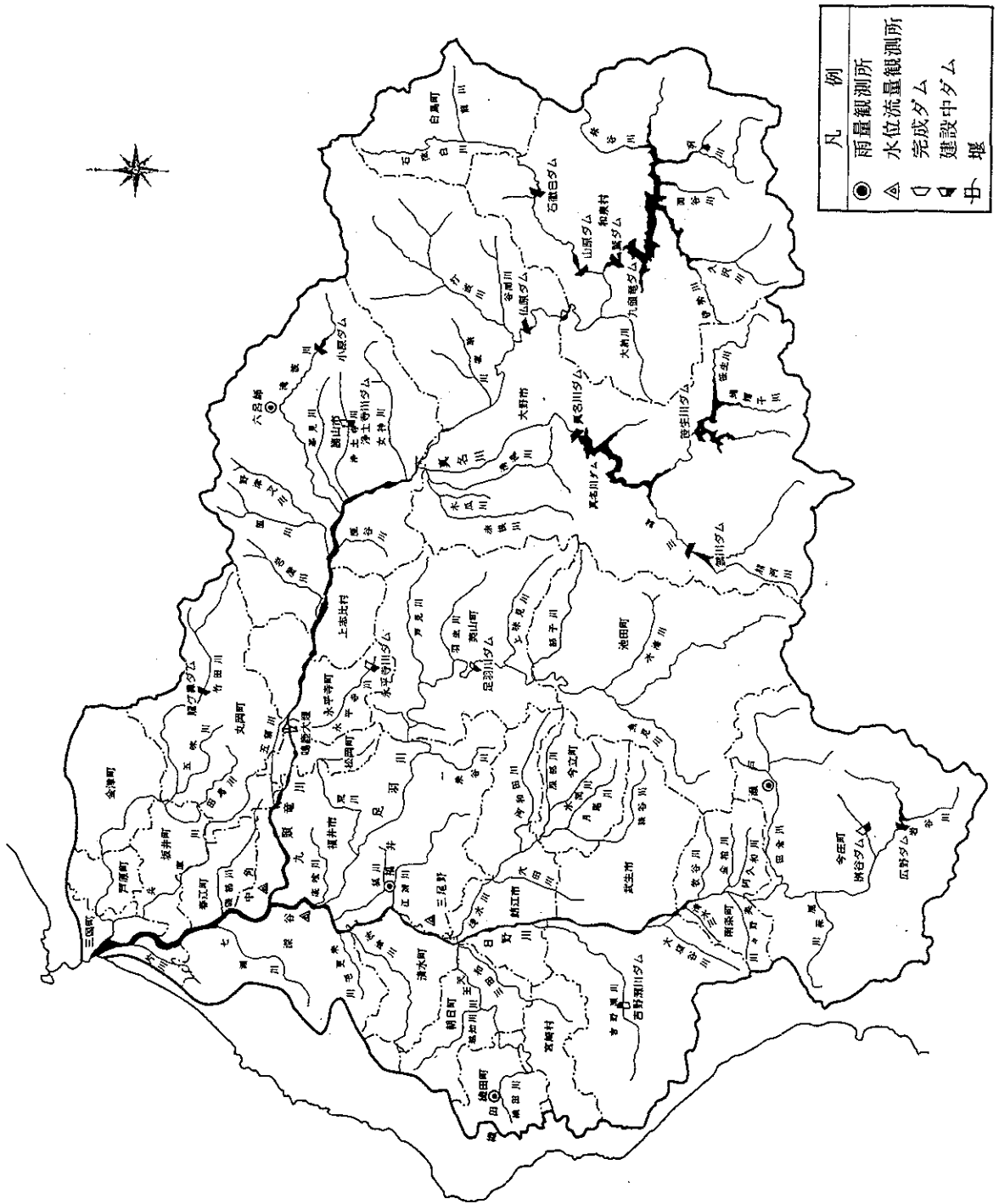
1-2 九頭竜川流域の歴史

(1) 九頭竜川の名の由来

奥越の山々を水源とし、蛇行しながら福井平野を流れ、日本海に注ぐ九頭竜川は、太古から豊富な水に恵まれ、七世紀初頭には流域が荘園に開発され、舟運路としても利用され三国から敦賀を経て奈良の都とも結ばれていた。その後も流域の文化・産業・経済を育み、人々の生活を支え、越前の国の発展に大きく寄与してきた。

九頭竜川の名の由来には、いろいろな説があるが、その代表的なことを次に記述する。

一つは寛平元年(889年)6月、平泉寺の白山権現が衆徒の前に示現され、その尊像を川に浮かべさせたところ一身九頭の竜が現れ、尊像を捧げいただき流れ下って黒竜大明神社の対岸に着かれた。それ以降、この川を九頭竜川と名付けられた(「越前名蹟考」)。



凡例	
●	雨量観測所
△	水位流量観測所
○	完成ダム
□	建設中ダム
—	堰

図1-1 九頭竜川水系流域図

二つめは、承平の頃（931年頃）国土を護るために国の四隅、すなわち東は常陸の鹿島、西は安芸の厳島、南は紀伊の熊野、そして北は越前の崩山の黒竜大明神に四神が置かれた。この黒竜大明神の祭神は水体、黒竜王であり、その前を流れる川を「黒竜川」とよぶようになった（「国主記」）。

三つめは、荘園時代に記された「大乘院寺社雑事記」の絵図に「崩川」という名前が見られ、「太平記」には黒竜明神を“クズレ明神”と記されている。

このようなことから、時を経て九頭竜川と名付けられたのである。

(2) 流域の歴史

1) 古代

九頭竜川流域の無土器・縄文時代の遺跡は、九頭竜川本川および足羽川、日野川の支川天王川などの河岸段丘や、福井平野および武生盆地周辺の山辺や台地に分布しているが、このようなところは狩猟・魚撈に有利なところであり、また飲料水がえやすく交通に便利なところであった。弥生時代になると福井平野の沖積化が急速に進み、沖積平野部が定住地となったようである。これは、集落遺跡とみなされる土器包含地が、福井平野、武生盆地の河川および旧河川の自然堤防、扇状地の末端、平野に突出した山麓や分離丘陵に分布していることから伺い知ることができる。古代人は、このような地域の後

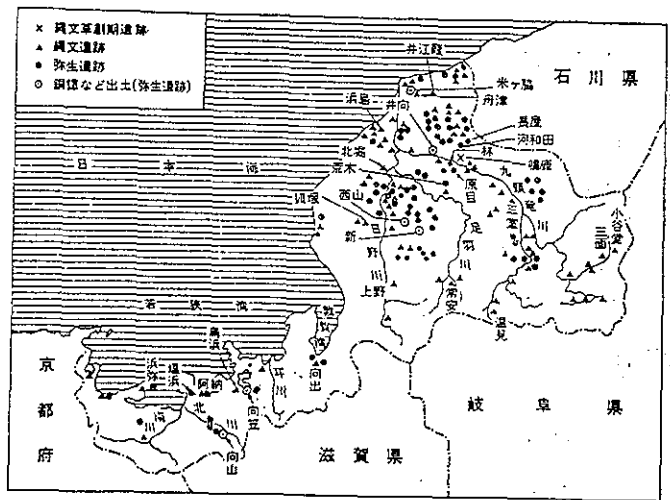


図1-2 縄文・弥生遺跡の主要分布

背湿地、扇状地末端の湧水地や埋積速度の違い低湿地などを初期の稲作地として選んでいた（図1-2参照）。古墳時代に入ると、弥生期の集落は発達し、九頭竜川本川河谷、大野盆地にも分布するようになり、平野の開拓がこの時代になって急速に進み、大和文化の影響下に開発が広くゆきわたっていった。

六世紀はじめ頃の伝承であるが、後の継体天皇が男大迹王として越前で生活していたとき、福井平野が南北10里、東西4里の大きな湖であった。これを三国の河口を開削して福井平野の水を日本海に流出するように図り、農業殖産につくしたと伝えられている。これが九頭竜川治水の始まりとされている。越前の人々は、継体天皇の徳を慕って足羽山頂に石像が建て、足羽神社や三国神社など、天皇および一族をまつる神社が多く建立した。

古墳時代を経て大和國家の統一がなり、大化の改新によって国県制が国郡制に変わり、“越”が越国になり、さらに持統朝になって越前・越中・越後の3カ国に分割されたといわれている。

奈良時代になって、越前は“越の道のくち”とよばれ、北陸道の入口にあたり、越ではもっとも都に近かったことから、いち早く畿内文化の影響を受けた。また、低平で肥沃な福井平野をもつ地形的条件から、東大寺大仏の建立事業の経済的基盤として、初めて東大寺領の荘園として占定され、さらに桑原・道守荘などが開発された。正倉院に保管されている越前関係の古図3枚のうちの1枚は、福井市社地区にあたる「道守荘」の絵図で、現在の山や川の位置とくらべても殆ど変わらない正確さであり、当時の民家や橋・道路・水路なども詳しく記載されている。

荘園の開発、経営のため初めてかんがい用水が構築され、そのうち道守荘は水源を足羽川から求めていた。舟運は収穫した品々を運ぶため河口の三国まで九頭竜川本川などを利用して行われるようになった。しかし、東大寺領荘園も越前国に実現してから2世紀半で廃絶した。

平安時代になって、北国荘園とよばれる興福寺および春日神社領の河口・坪江荘など福井平野を中心とする大荘園が開田された。これらの荘園は寺社にとって重要な財源であったため、安定した経営をしていくうえで新たな水源が必要となり、今までの九頭竜川の旧・支派川を利用したかんがい水路から、用土木技術の発達もあって、九頭竜川に堰を設けて取水するという大規模なかんがい用水の開発が行われるようになった。その結果、平野の開田が大いに進んだ。

2) 中世

鎌倉時代には、北陸地方に幕府所管の第一歩を開いたが、興福寺ではこうした武家勢力の進出に対して守護の不入権を獲得し、開墾地を増加させるように努力した。しかし、次第に国司代や守護代が与党をひきいて年貢供料を掠め取るようになり、領有をめぐる争いが生じ、荘園の消長が繰り返され、鎌倉幕府の動揺・滅亡の過程で在地武士田の台頭が具現化するようになった。

室町幕府が成立すると、武家の実力が旧支配者である公家寺院勢力をしのぐようになり、延元3年(1338年)新田義貞を敗死させた斯波高経が越前守護になり、河口荘を拝領した。また、荘園経営も在地豪族である武士が請負う請負地が各地に生じ、その代官が専横な拝領を行うことも多くなった。一方、荘民である地元農民の苦しみは日々に深まり、文書で窮状の訴えを数多く提出したが、なかでも抵抗のため農民の逃散は新しい動きとなり、土一揆の集団行動となって荘園体制を崩壊させる新しい勢力に成長した。

応仁の乱を契機に、一挙に室町幕府の衰退と旧体制の崩壊に向かうようになり、在地豪族たちに領主権と守護不入権を確認する文書を出したが、將軍家や興福寺も権力をもたなかったので全て空文となり、何ら拘束することができず、在地豪族は恣意のままに荘務を乱し、年貢を押領していった。やがて戦国大名の朝倉氏が越前を統一し、足羽郡一乗谷の山上に城を築き、谷に居館を構えて城下町を経営し、京都文化を取り入れた城下町は小京都といわれて栄えた。

朝倉氏は、永い戦乱の間に荒廃した山林、寺社林の竹木の乱伐を禁じて保護につとめた。また、河口荘の十郷用水については、改修整備を行って配水の定めを決めて用水権を掌握した。そのほか主要道路、橋梁の修築、商工業の保護、港湾設備にも力を注いだ。

その後、信長の命を受けて柴田勝家が北国を統轄するようになったが、当時の九頭竜川本川は交通上大きな障害であったため、北方に対する軍事上の意味もあって、舟橋より北陸街道筋に48隻の漁船を鉄鎖でつなぎ安定させた舟橋を架設した。また、道路工事では柄ノ木峠を開削して柳ヶ瀬に直接出られるように道路改修を実施した。

3) 近 世

関ヶ原役の後、慶長5年(1600年)徳川家康の第2子結城(松平)秀康が越前68万石に封ぜられ、北ノ荘(福井)に城下町を經營した。その後2代忠直が豊後に追われ、忠昌が50万石を継ぎ、次の直政が大野、直基が勝山などに分封され、この時に北ノ荘を福井に改めた。6代綱昌のとき政易されて25万石に削封され、残りは幕府直轄領となった。その後、越前は福井(松平氏32万石)・丸岡(有馬氏5万石)・大野(土井氏4万石)・勝山(小笠原氏23万石)・鯖江(間部氏4万石)など小藩分立となり、他に幕府直轄領、大野郡における郡上藩のような他領が交錯するにいたった(図1-3参照)。

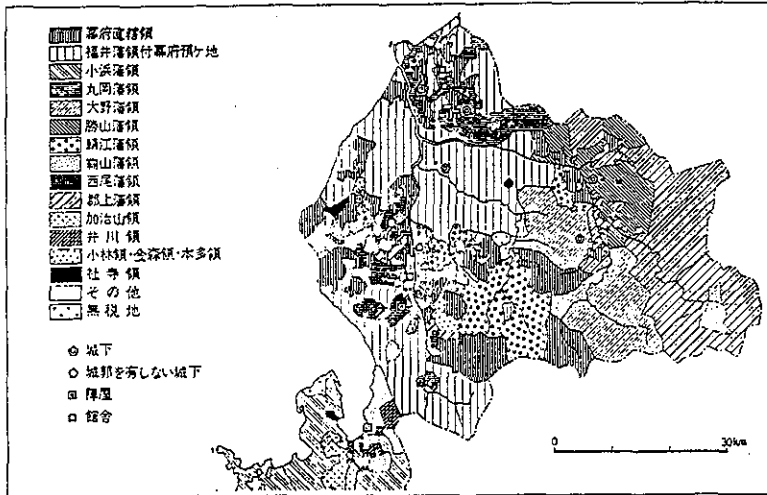


図1-3 幕末期の藩領域(1834) (日本地誌「福井県」より)

秀康は、戦乱で荒廃した山林を保護するため、山奉行を置いて山の総轄取締りをさせるなどの治山に力を注いだ。その後、承応2年(1652年)に初めて山方掟書などを定めた。また、城と城下町を守るため、九頭竜川本川左岸の水衝部に元覚堤を築き、足羽川は福井藩領であったので右岸に築堤を行い、洪水を左岸の水田地帯に落とし、城下を水害から守ることをための事業を行った。一方、慶長6年(1601年)に開発された芝原用水は、一部を城下の上水道と使用したので、上水奉行を置いて厳重な管理下での水管理が実施された。

この時代の農業は、福井平野が早くから開けていたため、新田開発の余地が少なく、郷帳によると、元禄14年(1701)の越前の石高は68.4万石、天保5年(1834)は68.9万石で、その間の増加は5,000石にしかすぎなかったため、河川改修や用排水路整備による耕地保全を図り、生産力の上昇につとめた。

藩政末期には、裏作として菜種栽培がはじまり、副業としての養蚕が行われるようになった。また、産業は藩の保護をうけて、各地で特産品づくりが奨励され、福井の奉書紬、府中(武生)の鎌・打刃物、五箇(今立町)の奉書、河和田の漆器、勝山のたばこ、大野の製糸など、現在でも伝統産業として受け継がれているものも多くみられる。

低平な福井平野を流れる九頭竜川は北前船で賑わう三国港より勝山に至るまで、日野川は今立

郡の舟津村（現在鯖江市）まで、足羽川は足羽郡の酒生村（現在福井市）まで、浅水川は今立郡の中村村（現在鯖江市）まで、竹田川は坂井郡金津まで物資の輸送路として舟運路が開かれていた。特に、福井藩の米蔵が足羽川右岸、福井の明里にあり、ご私米として大阪などの米市場に売却される米の量も多く、足羽川を通して、物資集散地であり日本海への出口である河口の三国港へ廻送されていった。その他、川舟の扱う商品は、綿、木綿、海産物、鉄、砂糖、塩、茶などであった。この時代の舟運が交通の重要機関であったのは、北陸道に始まった各宿駅の馬借とのあいだの種々の拘束や制限があったことも一つの原因で、明治に入っても河川交通は続いた。

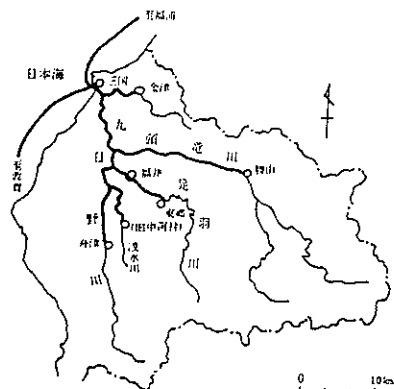


図1-4 舟運路図

4) 近代

明治維新後、官制改革が行われ、明治3年(1870年)に若・越両国の幕府直轄領を本保県とし、翌年に福井・丸岡・大野・勝山・小浜の各藩をそれぞれそのまま県とした。この年の末に本保県はか5県を廃して福井県と敦賀県を置いた。その後、各々が足羽県、敦賀県と名称が変わり、明治14年(1881年)によく現在の福井県が成立した。

九頭竜川水系の農業は稲作が主体であったが、水田の大部分が排水不良な湿田であり米質があまりよくなかったため、西日本産米に対抗することがむづかしく、二毛作にも条件が悪かったため、明治33年(1900年)からの九頭竜川改修工事による洪水防除などとあいまって、明治末ごろから早生種の品質改良につとめ、優秀種の作付け奨励が行われ早場米地帯となった。

一方、農業が主産業であった構造に変化が生じ、明治2年(1869年)に福井藩がアメリカから繊維を輸入したのが口火となって輸出羽二重の生産が始まり、その後人絹織物への転換も進み、人絹天国といわれる今日の福井機業地帯が確立した。

道路は、武生盆地から福井平野を縦断していた北陸道、福井から九頭竜川本川河谷を経て美濃へ通じる美濃街道などが、国道8号、157号、158号などとして整備された。鉄道は、明治29年(1896年)にJR北陸線が敦賀から森田に延長され、翌年金沢まで延び、その後電化とあわせて北陸トンネルが建設されて輸送力が増強され、近畿・中部を北陸に結ぶ幹線となり、これを軸として、JR越美北線、私鉄京福電鉄、福井鉄道などが北部、武生、鯖江を中心に、各都市間、都市・農村間用の足となった。しかし、近年の農村部の人口減少と、マイカーの普及によって乗客が減少してきている。

(3) 九頭竜川の河道変遷

九頭竜川本川、日野川、足羽川などの河道は、洪水のたびに扇状地で分派して氾濫したり、河床が急勾配の所では、流路が網目状に乱流を起こし、下流の低平な所では蛇行するなどして様相を変えていた。また、治水工事などによって幾度か変遷を繰り返してきている。

現在の河道は、殆ど明治時代の改修によって決まったもので、あまり大きく変わっていないが、低水路については、河床勾配の急な所では、出水ごとに乱流を繰り返しているため変化している。

1) 九頭竜川改修工事着手までの河道

① 明治以前の河道

治水工事は、藩幕時代に入ってから、城と城下町の水防を中心とした治水工事が行われるようになり、福井藩では九頭竜川中流の扇状地に元覚堤を築き、日野川では府中（武生）の昼夜堤、白鬼女橋下流左岸の下司堤、右岸の上鯖江堤、下江守付近右岸の大堤など局部的な築堤が行われた。、足羽川では、右岸を固め、左岸は板垣から木田地方にいたる間は霞堤として、洪水時には左岸の水田地帯に落とし、城下町を水害から守るように図るなど、現在の河道の原形が出来たものと考えられる。

a) 九頭竜川本川

九頭竜川本川上流の大野盆地では、九頭竜川・真名川の河道はともに扇状地を流れているため、河床が急勾配で、出水ごとに網目状に乱流を起こしていた。また、勝山市滝波川合流点から鳴鹿までの志比地溝は、急勾配であるため、出水ごとに乱流して流路が変わったので、妙金島、北島、飯島などの島とつく集落名が多い。これは、これら集落が濁流の中に、島の中にあるようにとり残され、島となった名残である（図1-5参照）。

九頭竜川本川の谷口、鳴鹿～中角地点は、北陸扇状地群の中では最もゆるいが、九頭竜川本川扇状地に河道が位置しているため、洪水のときに分流して氾濫したり、網目状に乱入したりした不安定な河状であった。これらの古い脈川流路は、いたる所に川筋が残っており、これを利用したものが、福井平野をかんがいする右岸の十郷・河合春近用水路であり、左岸の芝原用水路である。また、福井市の荒川も、旧九頭竜川本川の流路で、古くは新川と呼ばれていた（図1-6参照）。

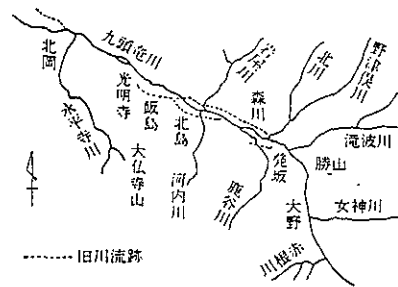


図1-5 九頭竜川の旧川流路図

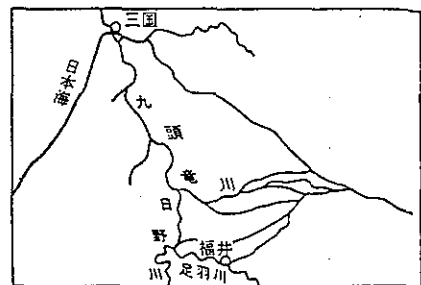


図1-6 約500年前の九頭竜川流路
（「九頭竜川災害復旧工事誌」より）

九頭竜川本川下流部の低水路は、河床勾配も緩やかであったが、相当昔から蛇行しながらも比較的安定していたようであった。

b)日野川

日野川は、中流の三尾野付近までは大規模な谷平野の平坦地を縫って緩勾配で流れているため、甚だしく蛇行がしながら流下していたようで、文室川や淺水川に合流する支派川などは、旧日野川の乱流跡といわれており、また、養老元年（717）の大洪水で松ヶ鼻の堤防が破堤し、流路を村国山の西に移したと伝えられている（神明郷土史）。

清水町史によれば、清水山付近の西側は一大湿地帯となっていたため、細池、大池、蛙ヶ池などの地名が残っているが、これは旧日野川の河川敷跡であり、清水山の西側を流れていたかと考えられている。その後、日野川は乱流を繰り返し、蛇行しながら片山、朝宮へと流れ、片粕、清水尻で大きく東に湾曲し、足羽川と合流していた。この流れの様子は、奈良東大寺の道守荘絵図（1,000年以前）にも示されている（図1-7、8参照）。

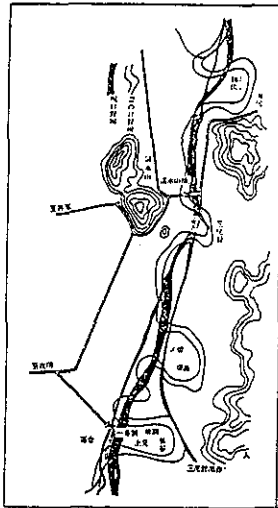


図1-7 大昔の日野川
（「清水町史」より）

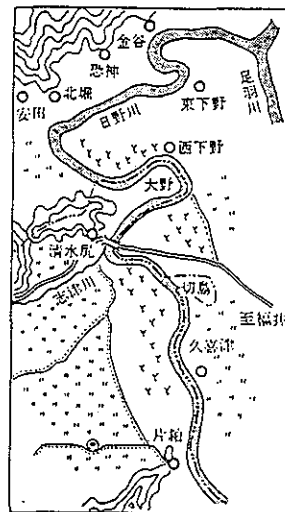


図1-8 江戸時代の日野川
（「清水町史」より）

c)足羽川

足羽川は、日野川と同じように下流では地形が平坦であるため一部蛇行していたようで、とくに、旧荒川合流点から下流の福井市街地付近の蛇行は、戦後になっても残っていた。

② 改修工事着手までの河道

九頭竜川本川などで、局部的に堤防が築堤されたが、その構造は脆弱なもので、その上霞堤であったため、洪水に対して効果の高いものではなかった。

明治維新後、福井藩で改修計画を立案して実施に移したが、その後の廃藩置県により中止になり、暫定的に九頭竜川右岸の春江堤および左岸の江上堤、日野川右岸海老助などの無堤箇所にて工事が実施された。

河川改修工事着手時の河道を示すと図1-9、10のとおりである。

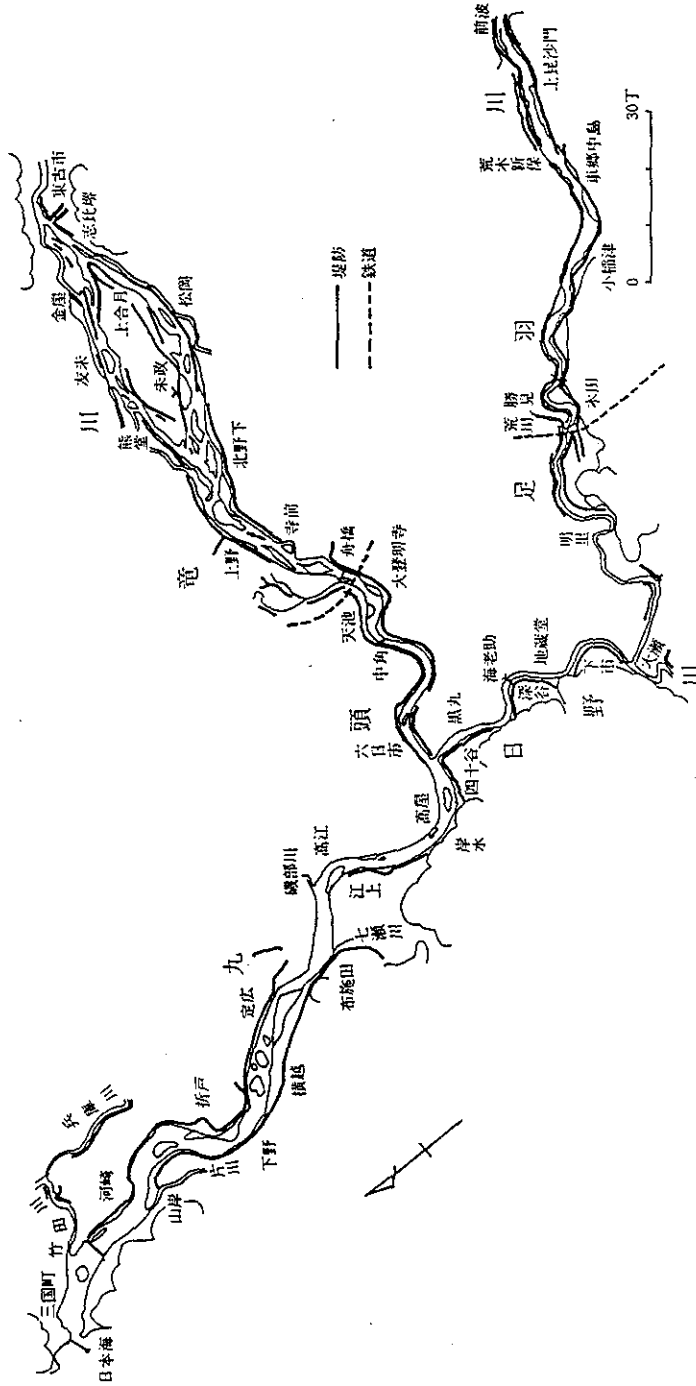


図1-9 明治直轄改修前河道状況図（九頭竜・日野・足羽川）

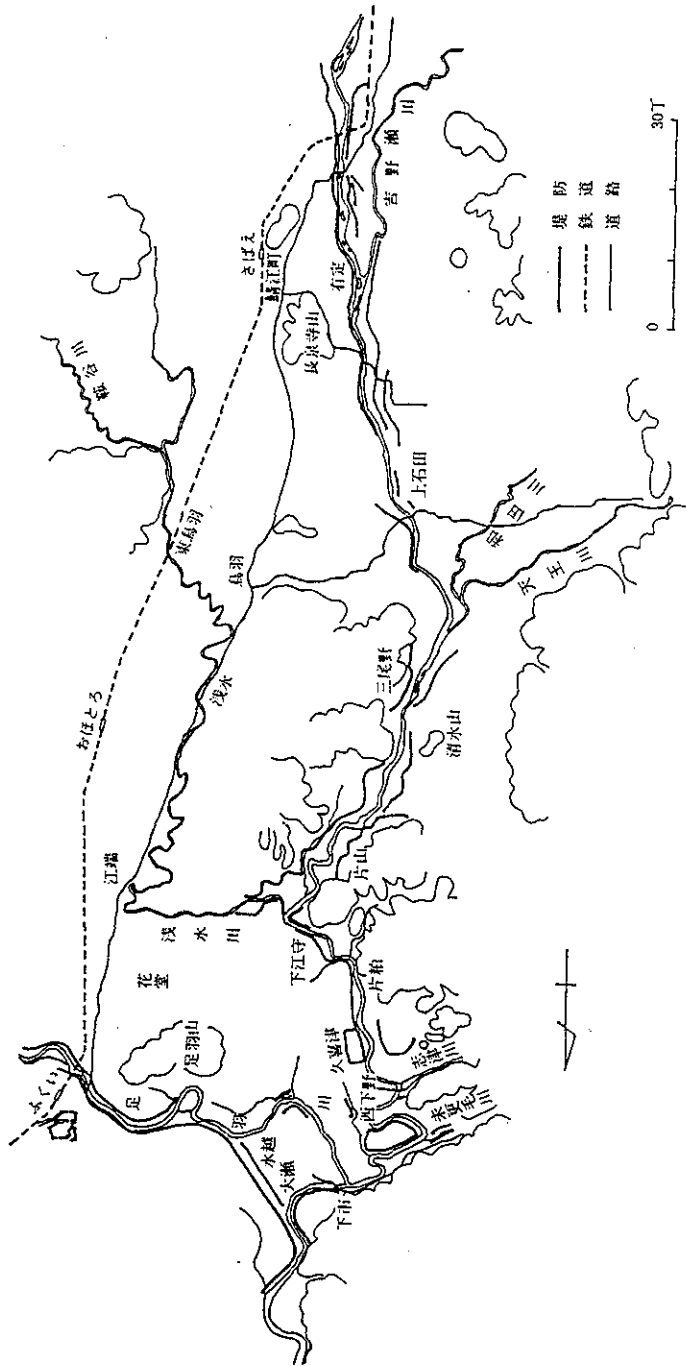


図1-10 明治直轄改修前河道状況図 (日野川)

2) 河川改修後の河道

① 第一期河川改修計画の河道

第一期河川改修計画は、洪水を防御するため無堤の場所では新堤を設け、河道の湾曲部の是正と、河幅の狭い箇所では拡幅を中心に浚渫を行うもので、改修後の河道を示すと図1-11のとおりである。

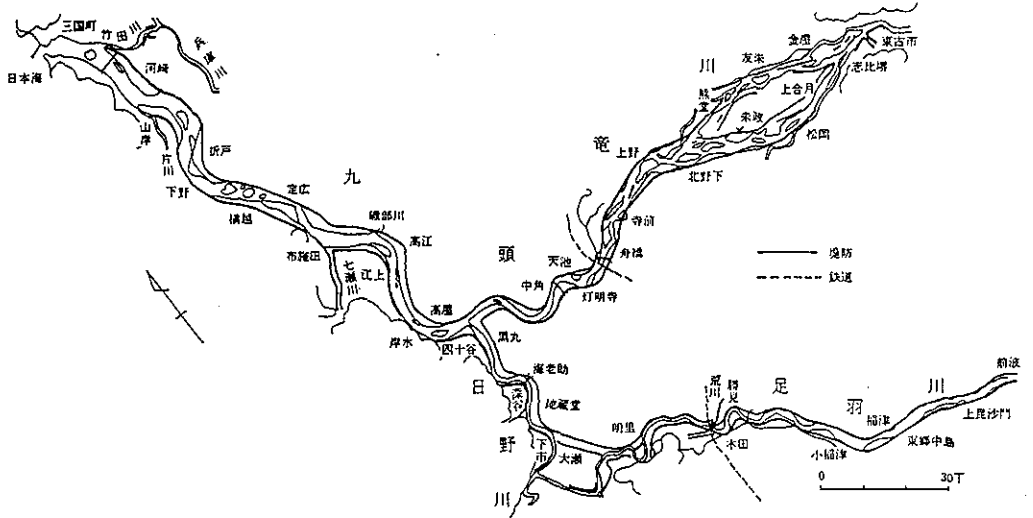


図1-11 第一期改修計画後の堤防位置図

九頭竜川本川の森田以下日野川合流点までは、計画高水流量を流過できない場合は、全て拡幅することとし、森田以上並びに日野川の清水尻以上および足羽川の福井以下は現状幅員とした。また、竹田川も適當の河幅を規定して堤防を改築することとした。

足羽川では、図1-12に見られるとおり足羽郡角折、水越地内で長さ13町、同郡明里地内で長4町、幅員各80間の放水路を新設することとした。また、福井市内の堤防は、左岸については築堤、右岸については石垣を改築することとし、支川荒川は、幅12尺、高14尺の煉瓦拱2連の逆水防止水門を設置した。

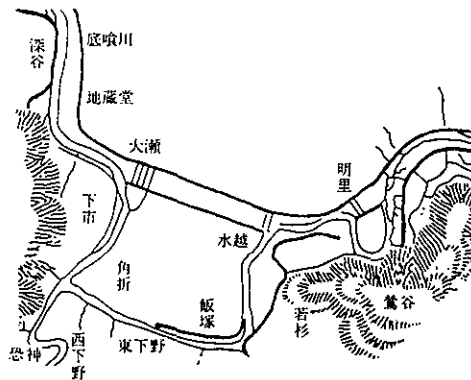


図1-12 足羽川ショートカット図

九頭竜川下流三国河口は、地勢上河幅の拡張ができないので、木部新保より河口まで規定の法線により、敷幅を70間とし低水面以下10尺の深さに浚渫し、洪水の疎通を図ることとした（図1-13参照）。左岸七瀬川は、延長約900間の新堤を両岸に築設した。

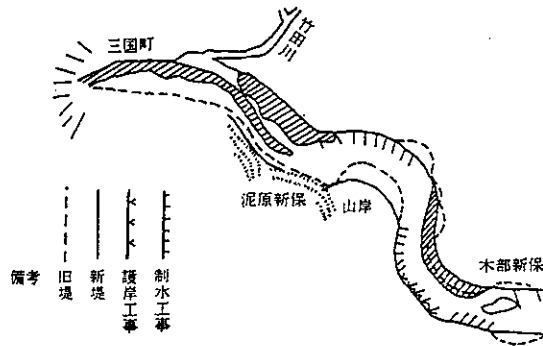


図1-13 九頭竜川本川最下流部の改修計画

② 第二期河川改修計画の河道

第二期河川改修計画は、未着手の日野川と、浅水川・天王川などの支川を改修したもので、改修後の河道を示すと図1-14のとおりである。

日野川は一部旧堤を利用するが、新堤を築造し、左支川未更毛川および志津川合流点の河道屈曲のはなはだしい部分を整正し、新たに低水路を掘削する。下江守以下角折までは流積が不足するので、掘削または浚渫で河積を増大することにした。

右支川浅水川については、徳尾より上流は法線を規定して屈曲部を整正し築堤を行い、徳尾以下は全川を付替、三尾野で日野川と合流させるように改良した。その結果、現川延長8,300間より5,000間を短縮することが出来た。

左支川天王川は、日野川合流口に瀬割堤を築いて下流550間の所に導いて逆流を防ぐとともに、平野部の改修を行うこととした。

右岸側の小支川鞍谷川は法線を規定して屈曲部を整正して築堤を行こととした。

また、左支川吉野瀬川・志津川・未更毛川・和田川・片山川および右支川旧浅水川、の吐口に樋門を設けて逆水を防御することとした。

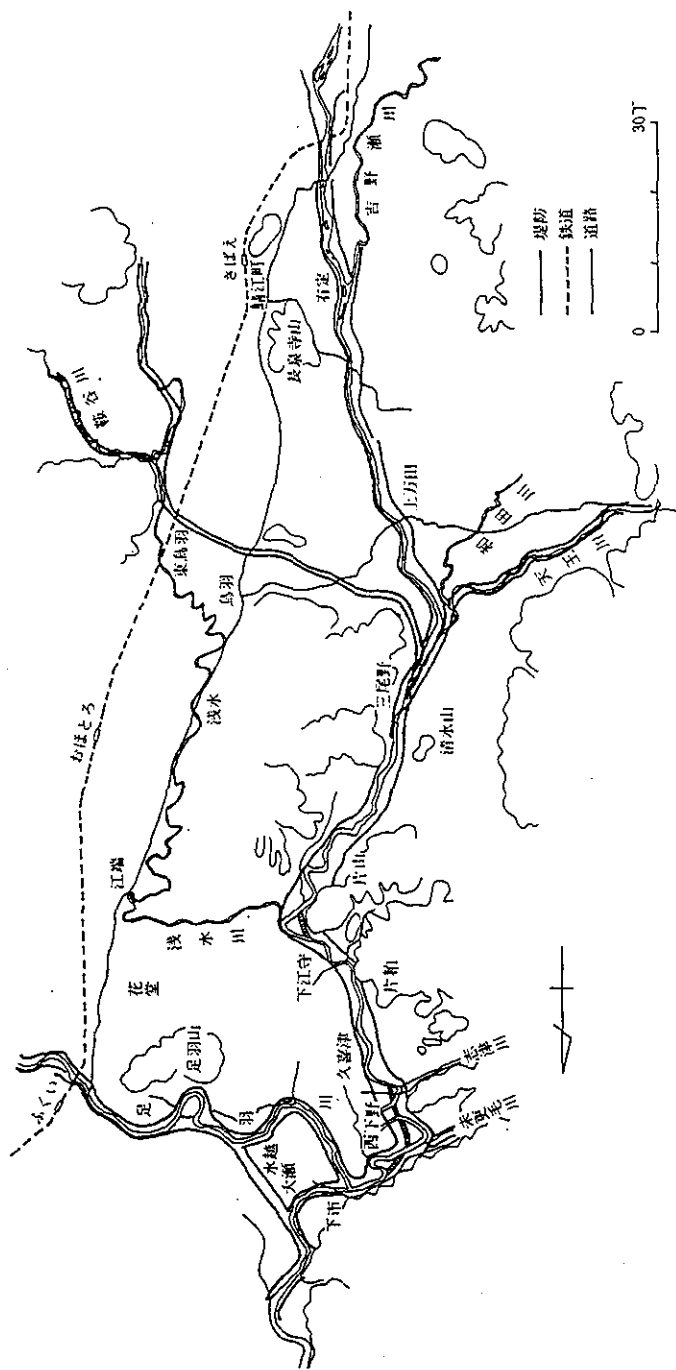


図1-14 第二期九頭竜川改修計画図

2. 流域の特性と現況

2-1 概要

九頭竜川上流域は、500～1,000メートルの山地が広がり、打波川や石徹白川の水源地域では1,000を越える山地が分布し、庄川との分水界をなす二ノ峰（1,962m）、銚子ヶ峰（1,810m）付近が最高位を成している。

九頭竜川は、流路延長116キロメートルに対して、本流の標高差が約1,500メートルであり、急流河川に分類される河川である。

地質は、北部域では飛騨片麻岩類を基盤とした中世界と新世界が広く分布し、南部域では二疊石灰紀に属する非変成上部古生界が分布している。

地形は、本川が福井平野に入る鳴鹿地先を扇頂部とする九頭竜扇状地の他、足羽川にも天神地先から下流に扇状地が見られ、下流には三角州が広がっている。海岸部には三里浜砂丘が九頭竜川河口左岸一帯に、右岸には加越台地が広がっている。

流域の気候は、降水量の多い日本海型気候区に属し、冬期には北陸地方特有のシベリヤ方面からの季節風によって、豪雪となることもある。特に「38豪雪」、「56豪雪」が著名である。

降水量は、全国平均年降水量 1,800mm に対して、少ない所でも2,000mm以上、多い所では3,000mmにも達しており、特に梅雨末期の7月と12～1月にかけて降水量が多い。梅雨末期と台風期には、しばしば豪雨をもたらす洪水の原因となる。

自然環境で特筆すべきことは、九頭竜川中流域の「アラレガコ生息地」や大野市本願清水の「イトヨ」などが、天然記念物に指定されていることである。

九頭竜川流域の産業は、福井平野、武生盆地の豊富に用水が得られる肥沃な沖積平野での、福井が産んだ美味しい米「コシヒカリ」などの稲作、そして大豆、大麦、ハウスでのきゅうりなどの野菜や花き類の生産が盛んである。また、九頭竜川河口の三里浜砂丘では、花らっきょや砂丘大根が有名である。

九頭竜川流域の工業で盛んな業種は、絹織物を中心とした繊維工業、眼鏡・プラスチック・機械・電気・化学工業である。伝統産業としては、今立町五箇地区の和紙業、武生の打刃物業、鯖江の漆器、丸岡町の越前竹人形、宮崎村の越前焼などが有名である。

九頭竜川流域内人口は約65万人で、想定氾濫区域 221km²には流域内人口のうち約83%にあたる約54万人が住み、その資産額は約3.4兆円にのぼっている（昭和60年度現在 「河川現況調査近畿地方編：建設省近畿地方建設局1986」）。流域内人口の推移は、下流域が低平地で肥沃な沖積平野を形成していることから、農業を中心として発展してきたため、大都市地域の発展時期を迎えたときには人口の流出が激しくなり、高度成長期にはピークに達したが、オイルショック後はUターン現象で人口が増加しつつあった。しかし、現在ではほぼ横這い状況となっている。

観光資源としては、白山国立公園、奥越県立自然公園など優れた山岳、高原、渓谷美があげられ、海岸観光地である越前海岸、東尋坊などに隣接していることも有利な条件である。また、永平寺、芦原温泉、一乗谷朝倉氏遺跡など有名な観光地を有している。

交通は、九頭竜川流域圏と関西・中部経済圏を結ぶ主要幹線である国道8号・157号・158号、北陸自動車道、JR北陸線などが整備されている。流域内には、主要地方道、JR越美北線、京福電鉄、福井鉄道などが主要なものとなっている。

2-2 地 形

九頭竜川流域は、古生代の造山帯から中生代・新生代を経て、現世沖積期にいたるまでの幅広い造山造陸運動によって造成され、隆起による地形がかなり広く分布し、海岸地形も隆起によるものとして特色づけられている。

九頭竜川流域の地形を概観すると、加越山地、越美山地、丹生山地が取り囲み、その中に大野・勝山盆地、福井平野が位置し、九頭竜川河口に三里浜砂丘が発達している。

九頭竜川流域を九頭竜川本川流域、日野川流域、足羽川流域の3つに大きく区分すると、本川流域は全流域の中央部および東部を占め、日野川流域は西部、さらに足羽川流域は両流域の中間部をその流域としている。そして、それぞれの流域が河口部や合流部を要とした扇状をなしている。

九頭竜川本川流域は、北西～南東方向に伸び、西流する志比地溝でその幅を減じるものの、その上流域においては左支川真名川・清滝川・赤根川、右支川打波川・石徹白川などの諸支川の発達がよく、北東～南西方向にその幅を拡げている。したがって、上流域は袋状の流域形態を呈し、全流域の東半部を占めている。流域の山地高度は、打波川および石徹白川の水源地では1,000m以上の山地が分布し、庄川との分水界をなす二ノ峰(1,962m)、銚子ヶ峰(1,810m)付近は全流域の最高部を成している。

一方、九頭竜川本川の水源地流域は、500～1,000mの山地が多く、水源は油坂峠の800mであり、中・上流域にも盆地が広く発達している。また、左支川真名川流域には、その上流に能郷白山(1,617m)があるものの、全体として500～1,000mの山地が多く、この流域の古生層山地においては、東西方向の地質構造を反映した流路が多くみられる。

日野川流域は、西方を丹生山地に、南方を越美山地、東方を足羽川との分水界である越前中央山地によって限られている。流域のほぼ中央を日野川が北流し、東側、西側より浅水川、田倉川、天王川、和田川、吉野瀬川などの支川を合せる。流域の高度分布は、南縁の分水界をなす笹ヶ峰(1,284m)、三国岳(1,209m)付近が最高部であり、東・西縁の分水界ではほぼ500～1,000mの山地となっている。特に、織田盆地周辺は50～200mの丘陵地性山地が広く分布し、天王川・和田川は樹枝状となっている。また、武生盆地東側では諸支川の谷中分水が多く、支川は狭い谷底低地を徐々に広げながら西流し、北流する浅水川に合流する。南部では古生層山地の地質構造を反映し、東西方向の断層によって日野川が支配され、南北方向の小断層によって支川が支配されている。

足羽川流域は、水源から池田町志津原にいたるまでは峡谷をなし、志津原より下流部に幅500～800mの谷底低地を形成している。野尻より下流では著しい曲流を示し、峡谷と谷底低地とが複雑に入り組んでいる。流域の高度分布は、南縁の分水界付近で1,200mに達するが、全体的に500～1,000mの山地である。

図2-1に九頭竜川流域地形区分図を示す。

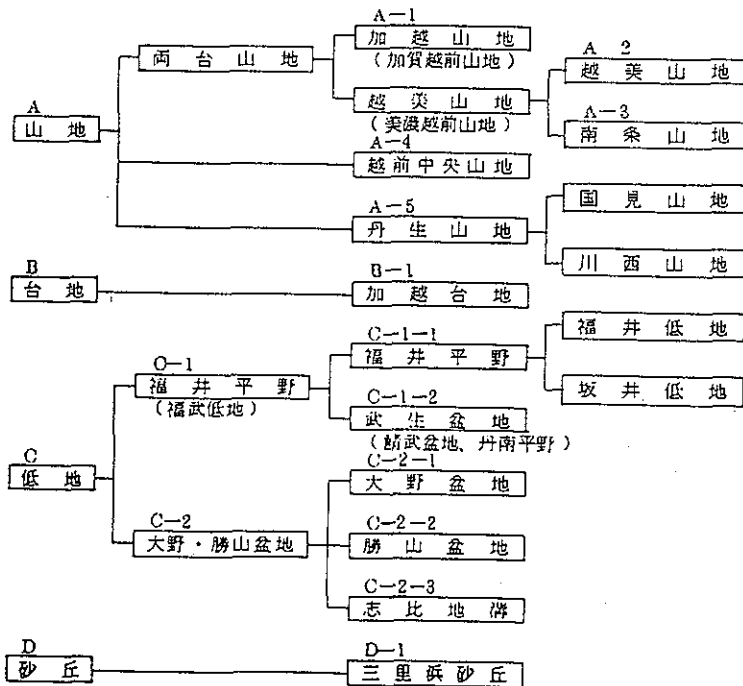
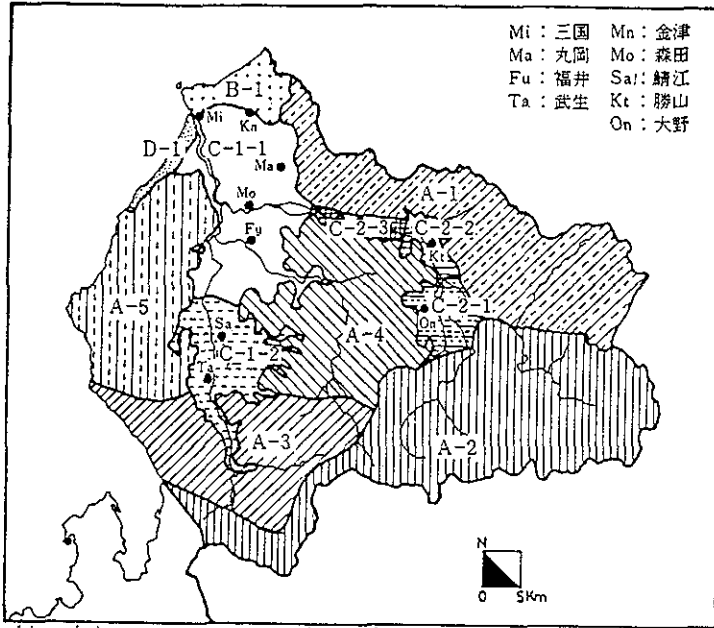


图2-1 九頭竜川流域地形区分图

2-3 地質

九頭竜川流域の地質は、油坂峠-伊勢峠-巢原峠-板垣峠-武生-千飯崎をほぼ東西に連ねた線を境にして、北側と南側で岩層分布で大きな相違がみられる。北側は最も古いと考えられる飛騨変成岩(上穴馬層群)を基盤として、その上にジュラ紀~白亜紀に属する中生代の手取層群、足羽層群が広く被覆している。これに対して南側では、主として二畳・石炭紀に属する非変成岩古生層(丹波層群)が分布している。この古生層の内には、デボン紀の地層が和泉村上伊勢などに狭いながら分布している。これらの地層は主として砂岩・粘板岩・チャート、輝緑凝灰岩から成り、一部に石灰岩をとまなっている。

九頭竜川流域には、日本列島に露出する岩石のうち最古のものである飛騨変成岩が大野市真名峽、和泉村戸口、勝山市北西部などに断片的に現れている。

勝山-大野盆地以西の地域には、糸生累層といわれている火山岩累層が厚く発達し、一般に変質を受けて著しく緑色を呈するのが特徴である。この火山性岩石は、グリーンタフ(緑色凝灰岩)と総称されている。越前中央山地、丹生山地に分布する新第三紀層からもこのグリーンタフがみられることから、当時この地も変動の一舞台であったことが伺い知ることが出来る。

大野市打波川流域などには、鮮新世火山岩類が分布している。

大野盆地、福井平野、武生盆地など、九頭竜川流域内における主要な平野ないし盆地は、ほぼ洪積世中期初め頃に、殆ど時期を同じくして陥没発生したと考えられている。

広い面積を有する福井平野は、洪積世中期以降、現在までに扇状地の形成と湖沼形成を繰り返したとみられ、洪積世後期には完全に埋まって、海水準30~40mの海成段丘を形成した。加越台地はその時の堆積面をほぼ示しており、これと一連の海岸段丘が丹生海岸に沿って発達している。この台地を構成する芦原累層の最上部は、日本海に発達するもののうちで最大規模を示す古砂丘砂層である。

最近の1万年間に当たる沖積世に堆積した沖積層は、九頭竜川流域の各地の沖積低地を形成している。とくに福井平野では平均30mの厚さを示しており、沖積層の基底にはいずれの場合も埋没された谷地形がみられる。これが縄文海進により次第に埋積され福井平野北部は、沖積氾濫原性の地層により構成されている。

九頭竜川本川に沿い、勝山-松岡の両岸には礫層を主とする河岸断丘が断続的に分布している。この断丘堆積物は、その断丘面とともに松岡付近から福井平野面に没し、沖積層に連続する礫層に連続する。

九頭竜川本川筋の地質は、下流では三里浜と九頭竜川挟まれた低地の表層が柔らかい泥質ないしシルト質の沼沢地性の堆積物で構成されている。新第三紀の基岩および洪積層が地表近くまで浅く突出しているものの50m以上あり、上流に行くにしたがい急激に沖積層は浅くなり、河口から25km付近では10m程度となっている。沖積層の土層構成は、中位付近に約7~8m程度の粘土層を砂層により上下を挟むよう帯状に分布している。

一方、日野川筋においては九頭竜川本川と同程度の厚さの沖積層があると考えられるが、下流部では粘土層が地表部に位置しており、古くからの低湿地帯であったことを知ることができる。

図2-2に九頭竜川流域の地質図を示す。

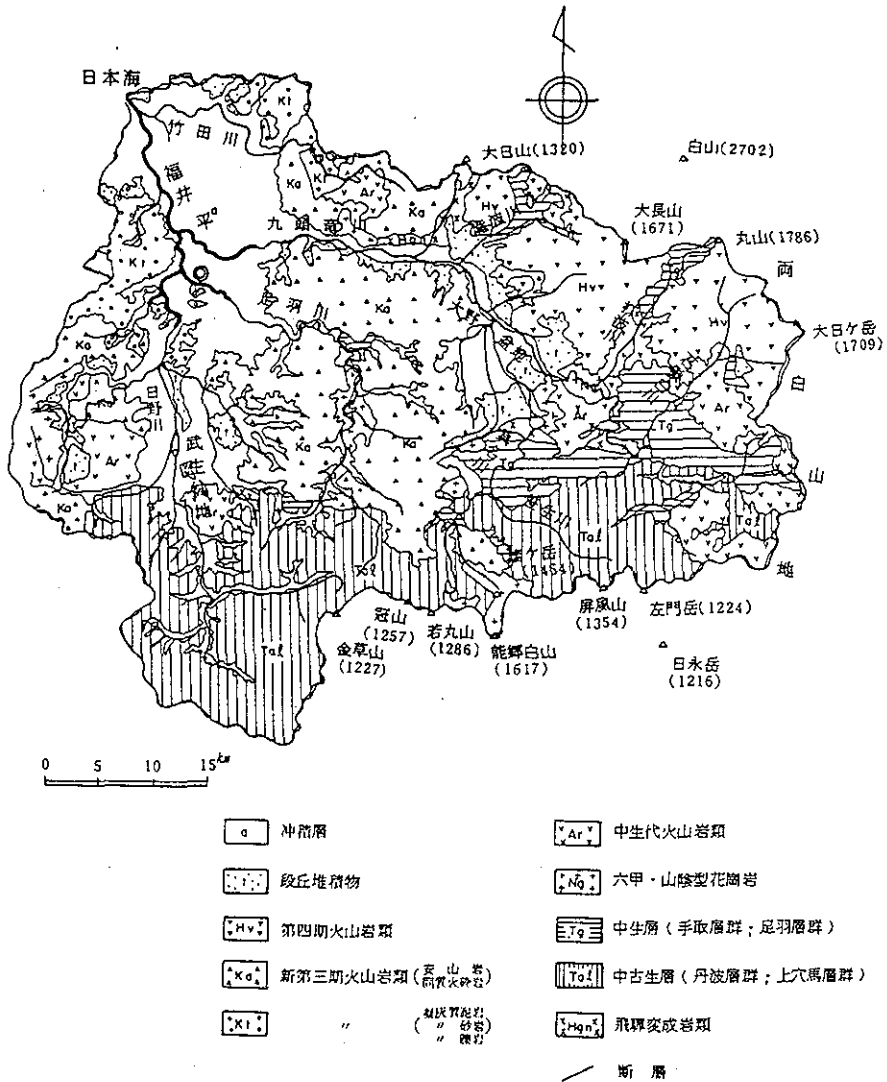


図2-2 九頭竜川流域の地質図

2-4 気象・降水量

九頭竜川流域は、北陸の西端に位置するため水源にあたる山岳部では気温が低く、冬季にはしぐれと積雪も多い典型的な日本海型気候となっている。福井平野は、北西方向のみが開けていて三方が山に囲まれているため、北陸地方の平野部とは少し異なった気候を示している。また、大野盆地、武生盆地は、四方を山で囲まれた内陸部であるという地形的特徴などから、気象の変化が著しく複雑である。

九頭竜川流域の、気候の一般的変化は、春先はしばしば強い南風が吹き、フェーン現象を起こして気温が著しく上り、空気が非常に乾燥する日がある。湿度は4、5月頃が最も低く、5月は年間を通じて快晴の日が多い。6月から7月にかけては梅雨期となるため曇天の日が続くが、太平洋側と異なり梅雨現象は顕著でないが、梅雨末期にはしばしば豪雨に見舞われることが多く、月降水量が300mmを越えることがある。さらに夏型の天気となって気温は著しく上り、そのうえ風が比較的弱く、高湿のため蒸し暑くなる。9月になると霖雨期となるが、この時期には台風による被害が多い。10月になると霖雨期は一時回復して小春日和の日もあるが、11月には既に冬の気圧配置となって、晩秋から初冬にかけて時雨が多くなる。12月中旬頃までには平野部でも初雪が降り、やがて根雪となる。冬期には北西の季節風が卓越し、降雪量も多くなり、山間部は全国屈指の豪雪地帯となり、4mを越えることも珍しくない。昭和38年および昭和58年は記録的な豪雪となり、雪の重みによる家屋の倒壊・損壊や雪崩による死傷者の発生、積雪による道路等の被害、融雪による洪水や内水被害などが発生した。

表2-1および図2-3に九頭竜川流域の代表的な地点の月別降水量を示す。

九頭竜川流域の気温は、おおむね下流域の福井平野から九頭竜川本川および日野川流域の大野盆地、武生盆地を経て、上流域の山間部に向けて低くなっている。しかし、福井平野の地形的条件から、その西方を南北に走る丹生山地に低温域が現れるなど気温の分布は複雑である。福井市の年平均気温は13.8℃、冬の1月は2.6℃、夏の8月は25.9℃であるが、九頭竜川上流部ではこれより月平均で3～4℃低くなる。夏季の気温は、8月には福井で最高気温が30℃以上になる日の日数が約20日と多く、東海地方の平野部と同じような暑さとなる。また、累年最高気温では今立郡池田町で41.0℃、吉田郡松岡町で40.5℃、丹生郡朝日町で40.0℃を記録しているが、これは静岡県、愛知県、岐阜県南部などの山中と同じく、異常な高温が山の中で出現している。

冬季の気温は、海岸近くでも予想外に低い。鯖江市や丹生郡朝日町では海岸から20km以内であるが-21.0℃を記録している。石川県や富山県では、海岸から50km以上の内陸にならないと出現しない。また、4月に大陸寒帯気団が移動性高気圧となって日本を覆うと、凍霜害をもたらすことが多い。

図2-4に1月と8月および年平均の気温分布を示す。

表2-1 主要観測所の月別降水量

昭和51年～平成6年(単位:mm)

流域名	観測所名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年降水量
九頭竜川	六呂節	414.8	331.7	208.0	241.6	220.5	313.5	387.7	245.3	275.2	206.8	247.6	321.7	3414.5
日野川	瀬戸	350.3	281.0	184.2	158.9	170.0	234.1	234.2	184.6	193.3	181.7	188.9	248.0	2838.7
	織田	313.0	249.5	177.9	153.7	168.7	164.6	215.8	162.4	232.0	171.4	240.2	332.1	2642.8
足羽川	福井	262.1	180.4	141.3	132.5	142.3	184.2	192.5	124.3	205.3	144.5	192.3	212.6	2114.3

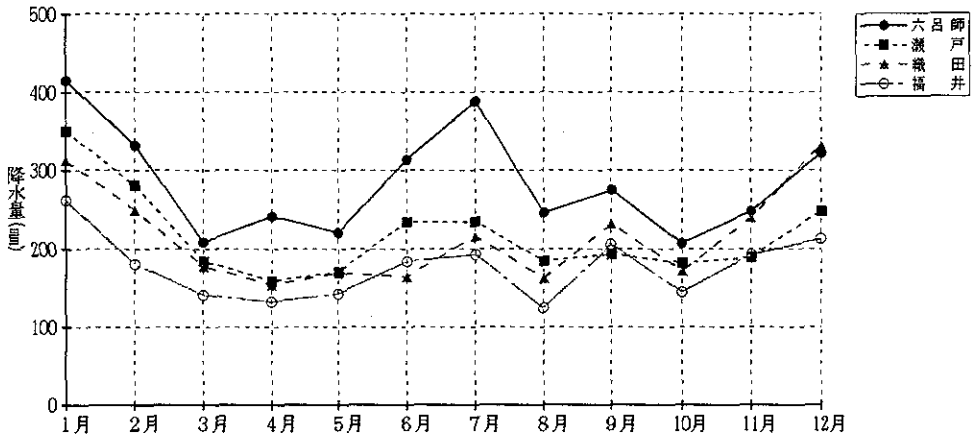


図2-3 九頭竜川流域の代表的な地点の月別降水量

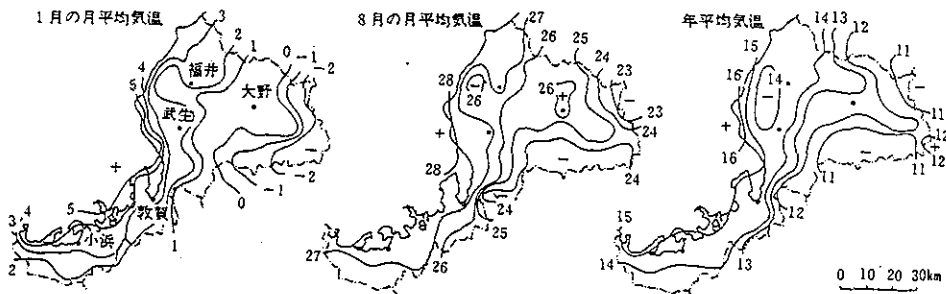


図2-4 1月と8月および年平均の気温分布

2-5 水文

(1)河川流量

基準地点である九頭竜川中角、日野川三尾野および深谷の流況は、表2-2に示すとおりである。

表2-2 平均流況表 (平成5年まで) (単位: m³/s)

河川名	観測所名	流域面積 (km ²)	豊水	平水	低水	渇水	最小	年平均	観測開始
九頭竜川	中角	1,239.0	121.79	81.18	55.28	28.45	2.02	110.13	s27
日野川	三尾野	688.0	61.22	36.37	19.51	5.61	0.00	49.94	s41
	深谷	1,281.0	93.97	48.04	27.49	13.90	0.00	81.12	s33

(2)水質

1)水質環境基準の類型指定

九頭竜川および日野川、足羽川の水質環境基準の類型指定と指定水域の範囲、達成期間等は、表2-3に示すとおりである。また、類型指定図は、図2-5のとおりである。

表2-3 環境基準

水域の範囲	類型	達成期間	暫定目標	指定年月日	備考
九頭竜川上流 (石蔵白川合流点から上流)	AA	イ	—	昭和49年3月31日	福井県
九頭竜川中流 (石蔵白川合流点から日野川合流点まで)	A	ロ	—	〃	〃
九頭竜川下流 (日野川合流点から下流)	B	イ	—	〃	〃
日野川上流 (加濃水川合流点から上流)	A	イ	—	〃	〃
日野川下流 (加濃水川合流点から下流)	B	ロ	—	〃	〃
竹田川上流 (御廻橋から上流)	A	イ	—	〃	〃
竹田川下流 (御廻橋から下流)	B	ハ	—	〃	〃
足羽川上流 (板垣橋から上流)	A	ロ	—	〃	〃
足羽川下流 (板垣橋から下流)	B	ハ	—	〃	〃
吉野瀬川上流 (大虫川合流点から上流)	A	イ	—	昭和53年3月31日	〃
吉野瀬川下流 (大虫川合流点から下流)	C	イ	—	〃	〃
浅水川上流 (穴田川合流点から上流)	C	イ	—	〃	〃
浅水川下流 (穴田川合流点から下流)	D	ロ	—	〃	〃
天王川 (全域)	B	ハ	—	〃	〃
荒川上流 (東今泉橋から上流)	C	イ	—	〃	〃
荒川下流 (東今泉橋から下流)	D	イ	—	〃	〃
真名川 (佐岡橋から下流)	B	イ	—	〃	〃
兵庫川 (全域)	B	イ	—	〃	〃

○環境基準の達成期間の分類
 イ・・・直ちに達成
 ロ・・・5年以内で可及的速やかに達成
 ハ・・・5年を超える期間で可及的速やかに達成

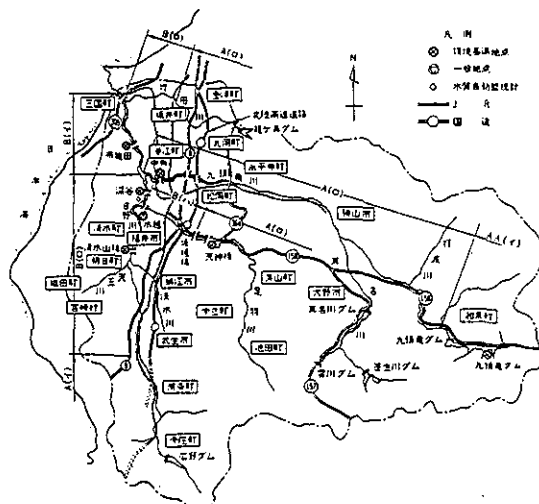


図2-5 九頭竜川水質環境基準類型指定図

2)水質の現況

九頭竜川の水質は、BOD75%値が1.0mg/ℓ前後を推移しており、最近10ヵ年は大きな変動もなく安定している。

日野川の水質は、平成3年のBOD75%値1.9mg/ℓを除いて2.0mg/ℓ以上であったが、平成5年には1.7mg/ℓと過去10ヵ年間で最低となり、水質改善の傾向が見られた。

表2-4に主要地点の水質経年変化を示し、図2-6に水質経年変化図（BOD75%値）を示す。

表2-4(1) 九頭竜川中角地点の水質（年平均値）

項目	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	備考
PH	7.2	7.2	7.6	7.9	7.9	7.4	7.6	7.7	7.6	7.6	
BOD	0.9	1.2	1.2	1.5	1.0	1.0	1.3	0.9	0.8	1.0	75%値
COD	2.1	2.7	2.1	2.0	1.8	1.7	1.7	1.5	1.4	1.5	
SS	17.6	4.8	11.2	8.0	7.5	9.7	11.7	7.5	8.5	5.8	
DO	10.8	9.1	11.2	11.6	11.4	11.1	11.2	11.4	11.4	11.4	
大腸菌群数	7.5	11.0	46.0	4.9	2.2	2.1	4.5	5.1	2.3	3.4	×10 ²

項目	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	備考
PH	7.7	7.7	7.7	7.7	7.8	7.8	7.6	7.8	7.5	7.6	
BOD	0.8	1.2	1.2	1.1	1.0	0.8	1.1	1.2	0.9	1.2	75%値
COD	1.8	1.6	1.6	1.8	1.8	2.2	1.8	2.3	1.8	2.3	
SS	8.0	8.0	5.0	9.0	8.0	9.0	6.0	7.0	4.0	8.0	
DO	11.2	11.4	11.4	11.5	11.0	10.9	11.0	11.1	11.4	10.7	
大腸菌群数	8.1	2.7	3.8	2.3	5.7	3.5	3.4	3.9	2.5	9.2	×10 ⁴

表2-4(2) 日野川深谷地点の水質（年平均値）

項目	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	備考
PH	7.0	7.0	7.2	7.2	7.1	7.1	7.2	7.3	7.2	7.3	
BOD	2.0	2.0	3.3	3.0	3.6	2.1	2.8	2.7	1.8	2.1	75%値
COD	5.3	3.7	5.6	6.0	4.9	3.7	4.1	5.5	3.9	4.7	
SS	31.9	11.4	13.5	14.6	13.9	23.9	25.3	12.7	13.2	15.0	
DO	8.7	8.6	8.7	8.7	8.5	9.8	9.4	8.5	9.0	9.1	
大腸菌群数	15.0	36.0	69.0	53.0	74.0	18.0	39.0	92.0	65.0	110.0	×10 ²

項目	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	備考
PH	7.3	7.2	7.2	7.2	7.3	7.3	7.2	7.2	7.1	7.4	
BOD	2.1	2.4	2.6	2.4	2.2	2.8	1.9	2.9	1.7	3.6	75%値
COD	4.7	4.0	4.6	3.8	4.0	5.0	4.0	5.4	3.6	6.1	
SS	15.0	13.0	11.0	15.0	16.0	17.0	13.0	14.0	10.0	14.0	
DO	9.3	9.1	8.3	9.3	9.0	9.1	9.4	8.9	9.6	9.7	
大腸菌群数	110.0	19.0	14.0	75.0	24.0	27.0	12.0	23.0	79.0	76.0	×10 ²

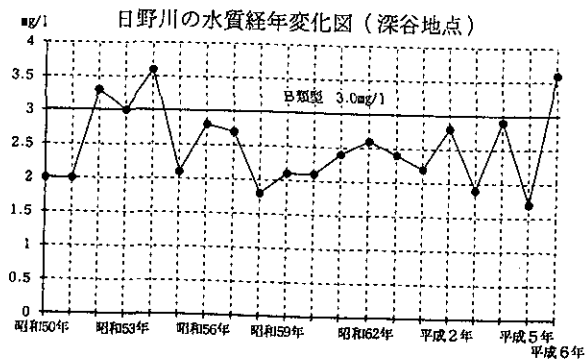
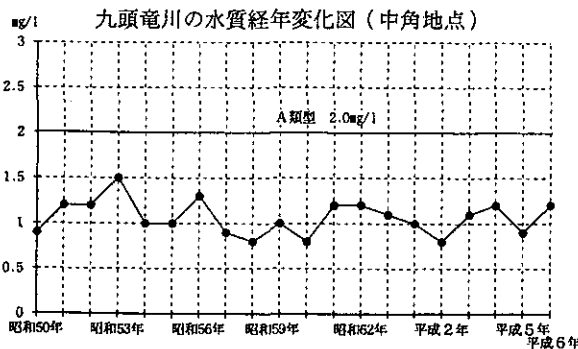


図2-6 水質経年変化図（BOD75%値）

2-6 動植物

(1)動物環境

九頭竜川流域の鳥類としては、白山山系とこれに連なる県境付近の山岳部を中心として、メジロ、ホホジロ、シジュウカラなどの森林性の鳥類が生息している。丹生山地、南条山地、越美山地ではまだかなりの自然林も残されており、キビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、ヤブサメ、ヨタカなどの夏鳥や、ツグミ、アトリ、カシラダカなどの冬鳥、ウグイス、メジロ、カワラヒワなどの漂鳥の渡来経路や生息地の重要な地域となっている。

九頭竜川流域で稀少鳥類として天然記念物または特殊鳥類に指定されているものは、イヌワシ、オオワシ、オジロワシ、マガン、ヒシクイなどである。

九頭竜川流域の獣類は、水産哺乳類、食虫目（モグラなど）および齧歯目のうちネズミ科を除くと11科18種の分布が確認されている。このうち、天然記念物指定獣類は、山岳部の一部に生息するニホンカモシカ、昭和50年（1975年）6月に大野市において1頭確認されたが現在不明であるヤマネなどである。この他、稀少なものとしては、ニホンイノシシ、ホンシュウモモンガ、ホンシュウジカがあげられ、ニホンイノシシについては当地域が日本海側における生息地の北限とされている。

昆虫類は旧北区系要素を主体としながら東洋区系的要素が相当加わったもので、昆虫相も全体からすれば本州に普遍的な種から構成されるが、かなりの暖地性昆虫の侵入が認められる。種は分布南限となっているものより北限、または日本海側における東限になっているものの方が多くみられる。

奥越および南越山地は、昆虫の種類数も個体数も豊富で、山地性の珍しい昆虫が多く生息し、特に白山山系の打波川流域は福井県下における昆虫の宝庫として知られる。また、福井県最高峰である三ノ峰付近は、県唯一の高山嶽であるベニヒカゲの分布地で、個体数も多く、高山性の昆虫類も多い。また、今庄町の岐阜県境に位置する夜叉ヶ池には、絶滅危惧種に指定されたヤシャゲンゴロウのほか、甲虫類の固有亜種であるメススジゲンゴロウが生息する。また、オオルイボシヤンマ、ルリボシヤンマ、ジョウザンミドリシジミといったトンボやチョウ類などが生息している。

九頭竜川流域に生息する魚類は、上流域にイワナ、アマゴ、ニジマス、アユ、アカザ、アブラハヤ、アジメドジョウ、カジカなどが生息している。

中流域には、フナヤツメ、カワヤツメ、アユ、タビラ、ヤリタナゴ、アブラボテ、ニゴイ、カマッカ、シマドジョウ、イトヨ、トミヨ、ドンコ、ウナギ、ヨシノボリ、カマキリ、カジカなどが生息しており、九頭竜川本流では、近年カマキリやカジカが激減して、アユの放流に混入してきたオイカワやヒガイの繁殖が目立ってきたといわれる。とりわけ、カマキリは九頭竜川中流域の代表種であり、大野市花房町から福井市舟橋新までの区間がアラレガコ生息地とし天然記念物として指定されている。イトヨは大野市本願清水に、トミヨは武生市五分市に生息する。大野市のイトヨは陸封型で、昭和9年に国指定の天然記念物として全国でも珍しいものである。

下流域では、カワヤツメ、ナマズ、ニゴイ、ヒガイなどのほか、ボラ、スズキ、ヌマガレイ、コノシロなどの汽水性の魚類がみられ種類も豊富である。

(2) 植物環境

九頭竜川流域における自然植生は、中部山岳地帯、特に白山山系の西端部に位置し、しかも標高1,000~1,500mまでの急峻な山地斜面から平坦な平野部、そして海岸部へと地形変化が著しく、その上、冬期には積雪が多い気候によって、顕著な特色を持つとともに、日本海地域における自然植生の北限と南限の境界地域を形成している。

九頭竜川流域の植生のなかで、西南日本要素を主とする暖地性植物で当地域を北限または北東限とする種類がかなり多く、ハスノハイチゴ（大野郡和泉村田茂谷、標高860m、北限）、マルバノキ（大野郡和泉村田茂谷、標高780m、北限）、シマイヌワラビ（今立郡池田町冠山、標高1,100m、北東限）、テツホンダ（坂井郡芦原町舟津、標高250m、北限）、クロソヨゴ（坂井郡丸岡町競山、標高850m、北限）、ワカサハマギク（福井市、標高8m、北東限）、スズシロソウ（福井市大丹生町、標高60m、北東限）、ミカエリソウ（福井市深谷町、標高80m、北限）、クロツバラ（福井市越知山、標高480m、北限）、ベニドウダン（武生市鬼ヶ岳、標高200m、北東限）、ワカナシダ（武生市三ツ俣町、標高100m、北限）などの生育がみられ、なかには日本列島の植物区系にとって極めて重要な種類も含まれている。

これらに対して、福井県を南西限あるいは西限とする白山山系を主体とした温帯性あるいは亜寒帯性の種類も多い。特に、オクノフウリンウメモドキ（勝山市取立山、標高1,240m、南西限）、タケシマラン（勝山市取立山、標高1,240m、南西限）、アオモリトドマツ（勝山市鉢伏山、標高1,440m、西限）、イワイチョウ（勝山市大長山、標高1,600m、西限）、ゴヨウイチゴ（勝山市大長山、標高1,620m、西限）、アオジクスノキ（勝山市大長山、標高550m、西限）、ハガクレスゲ（勝山市大長山、標高1,600m、西限）、オオメシダ（勝山市小原峠、標高1,280m、西限）、ハクサンスゲ（大野市経ヶ岳、標高1,360m、西限）など40種近くのもの重要な種類としてあげられる。さらに、九頭竜川流域には日本海要素とよばれる、裏日本に固有な分布域をもつ種類がある。それらは、ヒメアオキ、エゾユズリハ、スマレサイシン、ユキツバキ、ハイイヌガヤ、トキワイカリソウ、マルバマンサク、オオバクロモジ、チシマザサ、ヤネフキザサ、ヒメモチ、キンキマメサク、サイゴクミツバツツジ、クニウツギ、チャボカヤなどで代表される。これらの種の多くはブナ林を中心に生育しているが、一部はシイタブ林、カシ林から二次林まで分布を拡大している。

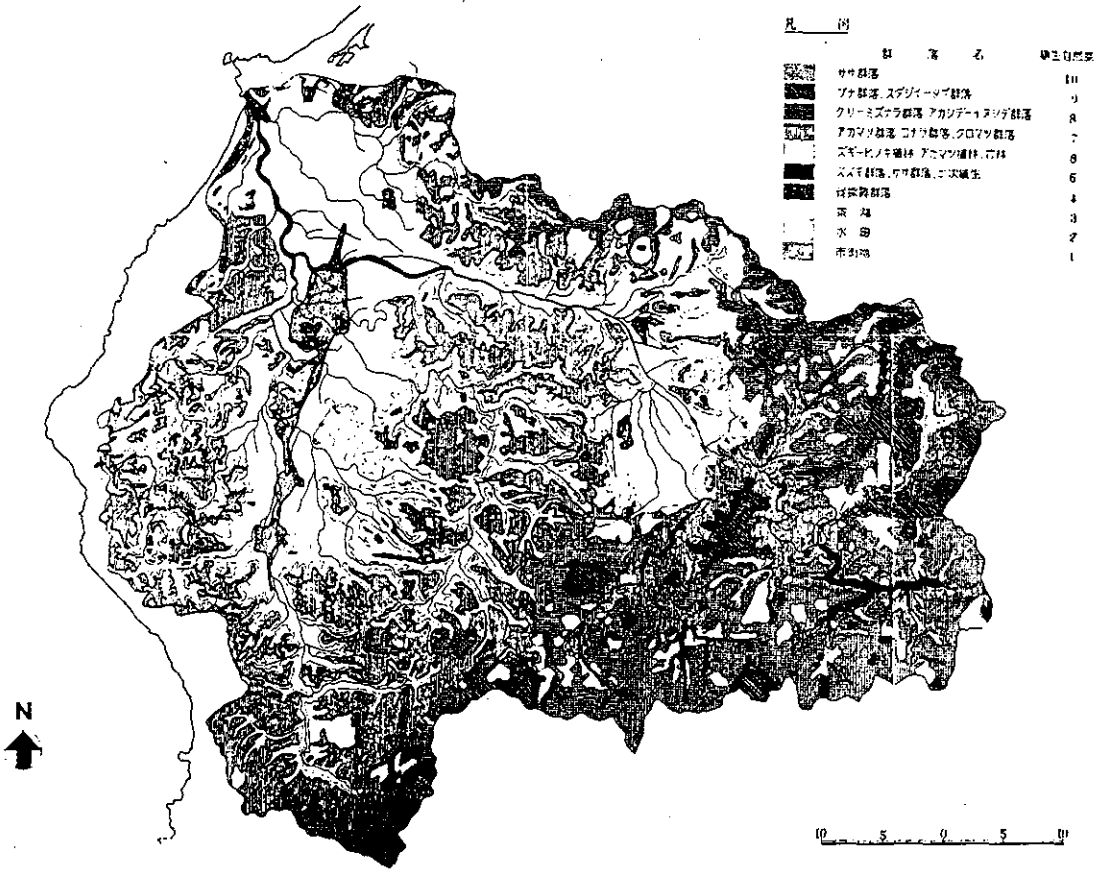
環境庁の報告によれば、ササ群落、ブナ群落、ハンノキ群落、ミズナラ群落、アカシデーヌシデ群落、ササ群落（二次植生）、ススキ群落、伐採跡地群落、スダジイタブ群落、コナラ群落、アカマツ群落、クロマツ群落、スギーヒノキ群落、アカマツ植林、竹林などであるが、これらの群落のなかで重要と考えられるものは、スダジイタブ群落、ウラジロガシ群落、ブナ群落、アカマツ群落である。

九頭竜川流域の現在植生を図2-7に示す。

河川敷の植生は、自然性の高い群落としてカワラハハコ群落があげられるが、河岸において二次的に復活したオギ・ヨシ・ツルヨシ群落あるいは低水路沿いのタチヤナギ群落、堤防部にはスギナ・ヨモギ・カナムグラ・クズ・メドハギ・ヌカキヒ・オオアレチノギク群落などが広く生育している。これら以外にはオニグルミ群落、ニセアカシヤ群落、スギーヒノキ群落、タブーエノキ群落が分布しているがいずれも小面積である。また、セイヨウカラシナの優占群落が下流部

各所に分布している。

なお、九頭竜川では、絶滅危惧種の稀少植物に指定さっているフジバカマを復元した。



(第2, 3回自然環境保全基礎調査: 環境庁より)

図2-7 九頭竜川流域の現存植生図

2-7 河川利用

(1) 水利用

九頭竜川水系では、中角地点上流で年間約35億 m^3 の豊かな水をかんがい用水や上水道用水のほか、工業用水、発電用水などに利用されている。かんがい用水は、全許可水利権量93.077 m^3/s 、20件の取水で約25,170ヘクタールの水田を潤している。この内、最大の取水を現在改築中の鳴鹿大堰の前身である鳴鹿堰堤で行われ、右岸に十郷用水、左岸に芝原用水を引水し、合計でかんがい期(4/1~9/30)最大46.605 m^3/s を取水して、1市7町にまたがる農地約10,400ヘクタールを潤している。

上水道用水は、全取水量1.884 m^3/s で4件の取水がある。なお、福井市が笹生川ダムから上水道用水として最大0.996 m^3/s 取水している。

工業用水は、全取水量12.79 m^3/s で4ヵ所から取水している。この内、最大の取水量は河口部に位置する北陸電力(株)の火力発電用冷却用水としての11.83 m^3/s である。

発電用水としては、九頭竜川の豊富な水を利用して、明治32年(1899年)に足羽川で初めて水力発電所が建設された。その後、大正時代の水力発電開発期を経て、戦後は真名川総合開発事業や九頭竜川電源開発事業などによって、笹生川ダム(1957年)、九頭竜ダム(1968年)、真名川ダム(1979年)などが建設され、同時に長野発電所、五条方発電所、真名川発電所など多くの発電所が建設された。現在24ヵ所の取水口から取水された最大767.806 m^3/s の河川水を利用して発電が行われている。

表2-5に九頭竜川、表2-6に日野川の利水状況を示す。

表2-5 九頭竜川利水状況 (1993日本河川水質年鑑による)

用水別	中角地点上流		中角地点下流		計	
	件数	許可量	件数	許可量	件数	許可量
上水	2	1.004	1	0.55	3	1.554
工業水	0	0	3	12.29	3	12.29
農水	4	62.385	5	6.2307	9	68.6157
発電	19	737.686	1	4.50	20	742.186
その他	2	0.021	-	-	2	0.021
計	27	801.096	10	23.5707	37	824.6667

表2-6 日野川利水状況

用水別	深谷地点上流		深谷地点下流		計	
	件数	許可量	件数	許可量	件数	許可量
上水	1	0.330	-	-	1	0.330
工業水	1	0.50	-	-	1	0.50
農水	11	24.462	-	-	11	24.462
発電	4	25.65	-	-	4	25.65
その他	-	-	-	-	-	-
計	17	50.942	-	-	17	50.942

(2)河川敷利用

九頭竜川には、表2-4に示すとおり福井市の天池河川公園、九頭竜川緑地、中藤河川公園などをはじめ、三国町の運動場、坂井町の九頭竜グランド、松岡町の九頭竜川河川公園と桜づつみ公園などがある。また、日野川には福井市の日野川桜づつみ公園があり、地域の人々をはじめ多くの人々の水辺レクリエーション地として利用されている。

表2-7 九頭竜川・日野川の洪水敷利用状況

平成7年現在（単位：m²）

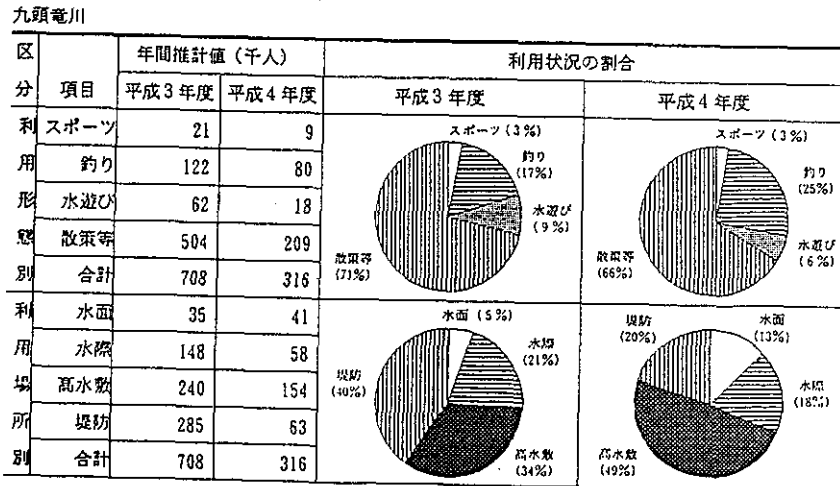
占用目的	九頭竜川	日野川	計	
田畑の占用	田	1,291,366.7	288,656.6	1,580,023.3
	畑	186,350.1	36,056.4	222,406.5
	計	1,477,716.8	324,713.0	1,802,429.8
河川公園	210,697.1	7,619.3	218,316.4	
運動場	10,924.7	-	10,924.7	
採草場	5,633.8	89,843.6	95,477.4	
その他	2,980.2	-	2,980.2	
計	1,707,952.6	422,175.9	2,130,128.5	

河川空間利用実態調査によると、平成2年度の年間河川空間利用者総数が約695千人、平成3年度が約708千人、平成4年度が約316千人と過去2年に比べると半数となっている。

平成4年度の空間利用を利用形態別にみると散策等が圧倒的に多く約70%近くを占めているが、アユ釣りで全国的に有名な河川であり約25%を占めている。

図2-8に平成3年、4年の九頭竜川および日野川の河川空間利用実態を示す。

図2-8 河川空間利用状況



3. 九頭竜川流域の社会、産業、文化

3.1 概要

九頭竜川流域は、福井県嶺北地方を中心に、岐阜県郡上郡白鳥町石徹白地区を含め2県の5市17町3村にまたがっている。

九頭竜川流域は、古代からの人々の生活の跡をはじめとして、九頭竜川本川、日野川、足羽川の越前三大河川がもたらす恵み多い自然の中で、大和や京都の影響を受けながら風土に根ざした文化を育み、歴史を刻んできた姿を数多い遺跡や古墳、文化財などから伺い知ることができる。

現在は、福井平野を中心に大野盆地などで市街地の拡大伸展がみられる。人口は、福井平野を中心とした西側の市町村で増加傾向にあり、東側の山間部市町村では減少傾向がみられる。西側市町村の核は、商業・サービス業を中心とする福井市、工業や商業を中心とする鯖江市と武生市である。これらの都市が流域の発展の牽引者となっている。また、農業は福井平野を中心として展開されており、東側山間部市町村では若干の工業の展開がみられるものの、林業の不振もあって過疎化が進みつつある。

こうした流域の地域社会の実態とその変遷をとりまとめるにあたっては、岐阜県郡上郡白鳥町石徹白地域を除外して整理を行った。そこで、対象とする九頭竜川流域の市町村は、表3-1に示す5市16町3村とし、図3-1に示す市町村を単位とする流域区分で概観することとした。

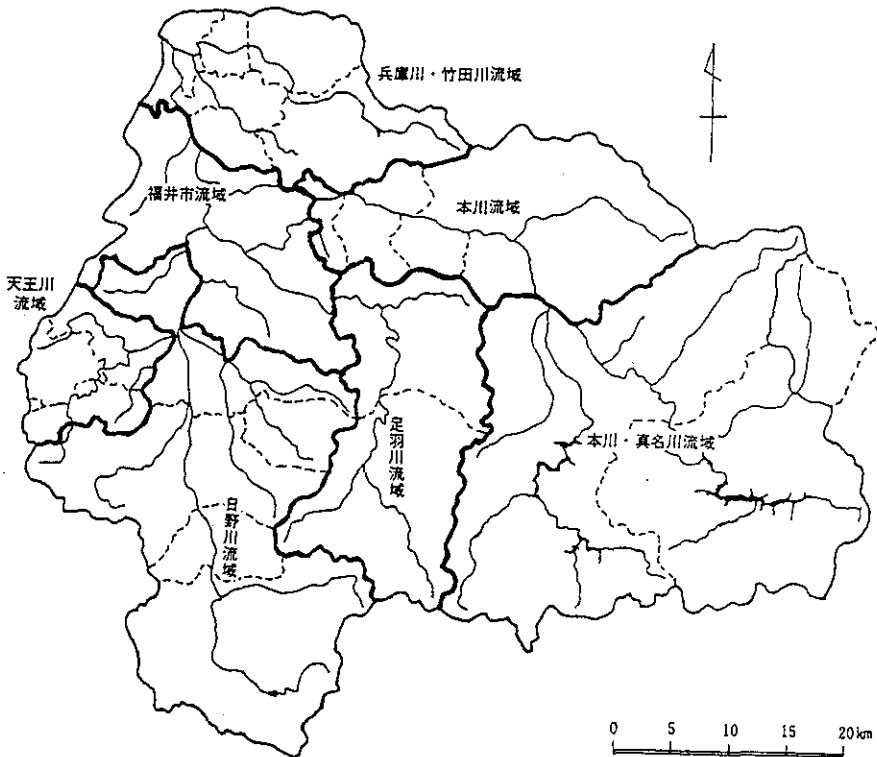


図3-1 流域区分図

3-2 人口

平成7年10月の国勢調査による福井県人口は、827,388人であり、その内の九頭竜川水系人口は662,922人と80.1%を占めている。また、水系内の人口密度は、221.7人/km²である。

表3-1 流域内市町村の面積、人口と人口密度

区 分	面 積		平成7年人口		人口密度 (人/ha)
	(ha)	構成比	(人)	構成比	
福 井 市	34,060	11.4	255,680	38.6	7.5
兵 庫 川 ・ 竹 田 川	三 国 町	4,642	23,698		5.1
	芦 屋 町	3,791	14,593		3.8
	金 津 町	7,908	17,849		2.3
	丸 岡 町	10,733	29,692		2.8
	春 江 町	2,443	21,897		9.0
	坂 井 町	3,170	11,822		3.7
小 計	32,687	10.9	119,551	18.0	3.7
本 川	勝 山 市	25,368	29,096		1.1
	松 岡 町	1,862	10,188		5.5
	永平寺町	5,040	6,332		1.3
	上志比村	2,535	3,649		1.4
小 計	34,805	11.6	49,265	7.4	1.4
本真 川名 ・川	大 野 市	53,992	40,216		0.7
	和 泉 村	33,238	819		0.02
	小 計	87,230	29.2	41,035	6.2
日 野 川	武 生 市	18,532	71,095		3.8
	鯖 江 市	8,475	62,982		7.4
	今 立 町	4,543	14,408		3.2
	南 条 町	5,306	5,738		1.1
	今 庄 町	24,130	5,429		0.2
	清 水 町	4,249	9,659		2.3
小 計	65,235	21.8	169,311	25.5	2.6
足 羽 川	美 山 町	13,773	5,690		0.4
	池 田 町	19,472	4,013		0.2
	小 計	33,245	11.1	9,703	1.5
天 王 川	朝 日 町	4,547	9,159		2.0
	宮 崎 村	3,306	4,000		1.2
	織 田 町	3,922	5,218		1.3
	小 計	11,775	3.9	18,377	2.8
流 域 合 計	299,037	100.0	662,922	100.0	2.2

昭和25年から平成7年の間の流域別人口推移は、表3-2および図3-2に示すとおりである。

表3-2 九頭竜川水系の流域別人口の推移

流 域	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年
福井市	175,120	183,300	193,884	205,501	215,137	231,364	240,962	250,261	252,743	255,680
兵庫川・竹田川	105,367	103,332	101,226	100,159	98,233	102,412	106,958	112,537	115,115	119,551
本 川	60,898	58,719	57,075	55,299	52,935	50,901	50,519	49,966	49,192	49,265
本川・真名川	51,713	52,885	51,537	50,596	44,694	43,797	43,379	43,118	41,837	41,035
日野川	150,035	148,397	150,288	148,299	148,380	157,027	162,932	167,113	168,440	169,311
足羽川	17,703	17,221	16,003	14,251	12,276	11,154	10,636	10,429	10,160	9,703
天王川	19,806	19,243	18,562	17,954	17,380	17,393	17,834	18,077	18,188	18,377
流域合計	580,442	583,097	588,575	592,059	589,035	614,048	633,220	651,501	655,675	662,922
福井県合計	751,103	752,758	752,696	750,557	744,230	773,599	794,354	817,633	823,585	827,388

(国勢調査による)

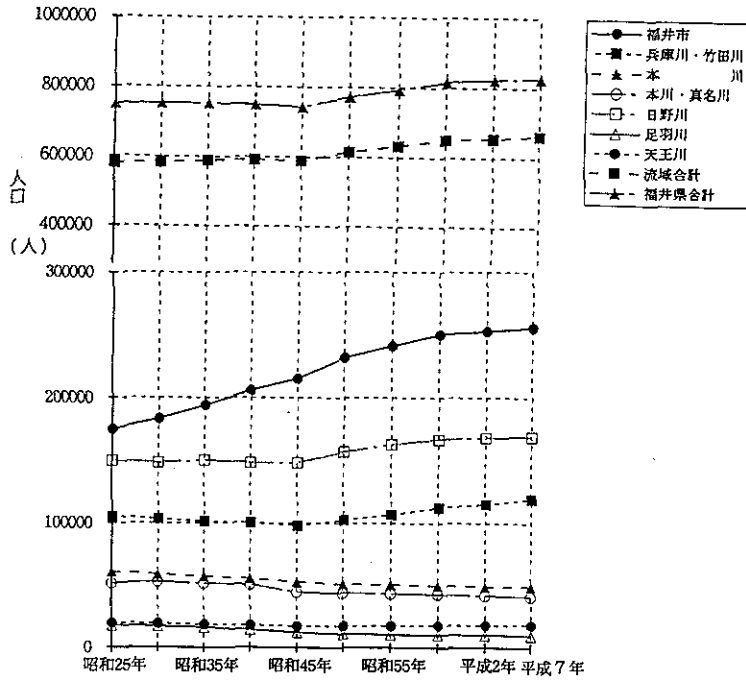


図3-2 流域別の人口推移図

大正9年第1回国勢調査実施のときの流域人口は約45.5万人であり、75年間に約20.8万人、約46%の人口増となっている。昭和25年～平成7年の間の変化を示すと表3-3のとおりであり、昭和30年から45年にかけて減少している。これは、高度経済成長期において近畿圏や中部圏への流出があったものと思われる。この間の5ヵ年毎の人口増加率を示すと図3-3のとおりである。

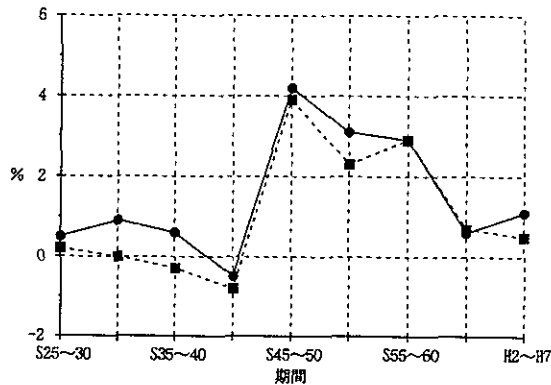


図3-3 九頭竜川水系の人口増加率の推移図

表3-3 九頭竜川水系の流域別人口増加率の推移

流域	S25~30	S30~35	S35~40	S40~45	S45~50	S50~55	S55~60	S60~H2	H2~H7	S25~H7	S45~H7
福井市	4.7	5.8	6.0	4.7	7.5	4.1	3.9	1.0	1.2	46.0	18.8
兵庫川・竹田川	△1.9	△2.0	△1.1	△1.9	4.3	4.4	5.2	2.3	3.9	13.5	21.7
本川	△3.3	△2.8	△3.1	△4.3	△3.8	△0.8	△1.1	△1.5	0.1	△18.8	△6.9
本川・真名川	2.3	△2.5	△1.8	△11.7	△2.0	△1.0	△0.6	△3.0	△1.9	△20.6	△8.1
日野川	△1.1	1.3	△1.3	0.1	5.8	3.8	2.6	0.8	0.5	12.8	14.1
足羽川	△2.7	△7.1	△10.9	△13.9	△9.1	△4.6	△1.9	△2.6	△4.5	△45.2	△21.0
天王川	△2.8	△3.5	△3.3	△3.2	0.1	2.5	1.4	0.6	1.0	△7.2	5.7
流域合計	0.5	0.9	0.6	△0.5	4.2	3.1	2.9	0.6	1.1	14.2	12.5
福井県合計	0.2	0.0	△0.3	△0.8	3.9	2.3	2.9	0.7	0.5	10.2	11.2

昭和25年以降は、昭和40～45年の間を除いて、いずれの5ヵ年間も人口が増加している。最も増加率の大きかった期間は、昭和45～50年の高度経済成長後期である。

九頭竜川水系の人口は、昭和60年を過ぎてから増加率が鈍化するとともに、流域内で増加地域、減少地域がはっきりと分かれてきている。

流域別の人口推移をまとめると、次のとおり整理できる。

- ①日野川・足羽川下流域の福井市は、近年において鈍化傾向にあるものの、一貫して増加している。
- ②足羽川中・上流域および本川中流域では、一貫して減少している。
- ③兵庫川・竹田川流域、天王川流域では、昭和45年まで減少傾向にあったが、それ以降はかなりの増加を示している。
- ④本川上流域・真名川流域では、昭和25～30年を除き一貫して減少している。
- ⑤日野川中・上流域では、昭和45年まで微増減を繰り返していたが、昭和45年から増加傾向に転じた。

平成7年の流域別の人口では、日野川および足羽川下流に位置する福井市の255,680人が最も多く38.6%を占め、ついで日野川中・上流域の169,311人の25.5%、兵庫川・竹田川流域の18.0%に相当する119,551人となっている。反対に最も少ないのは、足羽川上流域の9,159人の1.4%で、ついで天王川流域の18,377人の2.8%が少い。人口密度では、人口の多い福井市が7.5人/haと最も高く、兵庫川・竹田川流域の3.7人/haが2番目に高い。人口の少ない足羽川上流域では、0.3人/haと最も低い。九頭竜川水系では、2.2人/haである。

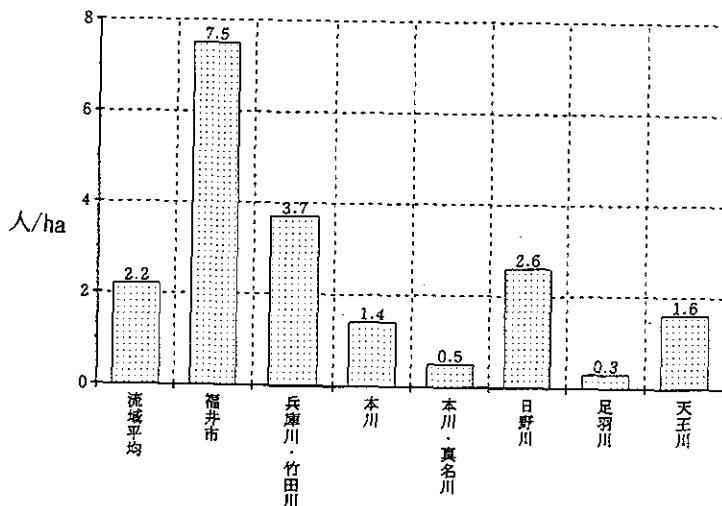


図3-4 九頭竜川水系内の各流域別人口密度

九頭竜川水系の市町村で最も人口が多い市町は、福井市であるが、次いで武生市の71,095人、鯖江市の62,982人となっている。反対に少ない町村は、和泉村の819人、次いで上志比村の3,649人、宮崎村の4,000人となっている。

3-3 土地利用

九頭竜川水系における土地利用を地目別土地面積（課税対象土地面積）でみると、平成6年の地目別土地の総面積は190,660haとなっており、山林・原野は68,790haの36%、田畑は39,982haの21%、宅地が11,811haの6.2%、その他が70,077haの36.8%となっている。昭和51年と比較してみると、田畑で1,850haの4.4%の減少となっている。反対に、宅地では概ね4,032haの51.8%増加している。

この18年間をみても、九頭竜川水系では土地利用形態に大きな変化が見られる

表3-4、図3-6に土地利用の推移を示す。

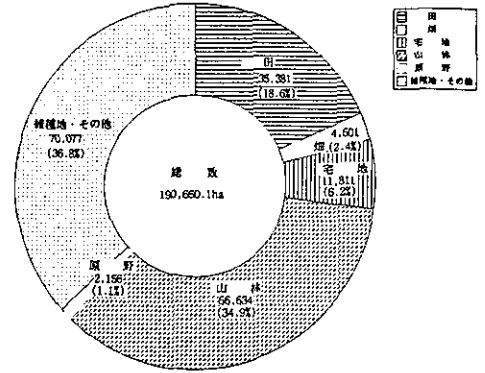


図3-5 土地利用別図 (平成6年)

表3-4 土地利用の推移

地目	総数	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地 その他
昭和51年	132,088.4	36,963.0	4,868.5	7,778.9	65,044.9	2,422.9	1,712.0
55年	188,543.7	36,985.7	4,826.4	9,153.0	71,569.2	2,624.0	63,202.2
60年	191,971.7	36,744.7	4,516.4	10,163.8	69,714.2	2,382.7	68,449.9
平成3年	192,216.3	36,087.6	4,758.8	11,119.3	67,644.7	2,223.5	70,382.5
6年	190,660.1	35,380.6	4,601.1	11,810.9	66,634.2	2,156.0	70,077.3

(福井県統計年鑑による)

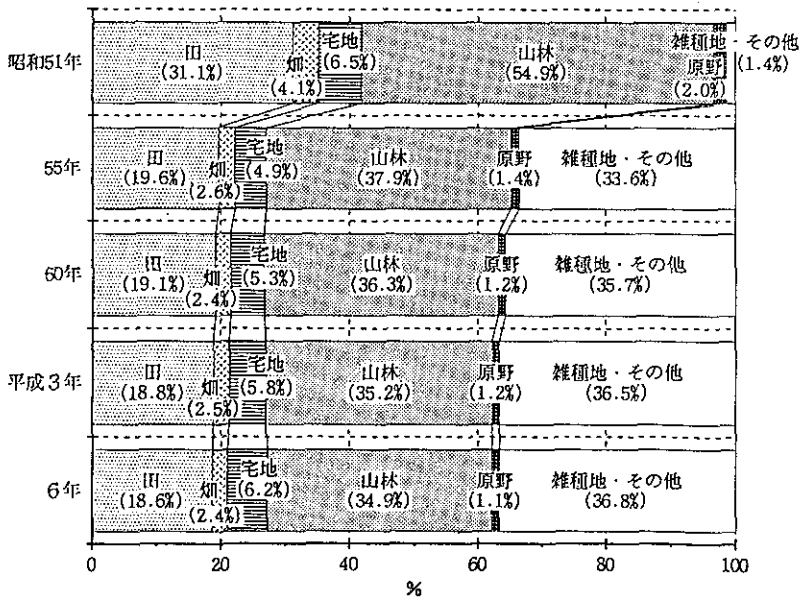


図3-6 九頭竜川流域全体の土地利用の推移

3-4 産 業

九頭竜川下流域の福井平野、武生盆地は、肥沃な沖積平野であるため農業を中心に発達してきた。現在も豊かな水田地帯であり、福井の人々が自慢する「コンヒカリ」などの生産地となっている。また、畑地では、大豆、大麦、ハウスでのきゅうりなどの野菜づくりや花きづくりも盛んである。

九頭竜川河口の三里浜砂丘では、花らっきょや砂丘大根が有名である。

九頭竜川流域の工業で最も盛んな業種は繊維工業である。これは福井県の工業のなかに占める割合も高く、福井市を中心とした都市部はもちろんのこと、農村部にも多く立地している。なかでも、福井市周辺は曇天日数が多く、湿度も高いことから羽二重で有名な絹織物を主流とした織物工業が発達した。

福井から鯖江・武生にかけては眼鏡産業が盛んで、プラスチック成形・メガネ枠工場が多く立地している。

三国・金津・板井町などでは、一般機械・電気機械・化学・製紙などの企業進出がみられ、工業発展がめざましくなっている。

今立町五箇地区の和紙業、武生市の打刃物業、鯖江市の漆器、宮崎村の越前焼などの伝統産業も有名である。

山林では、しいたけ栽培が盛んである。

近年は、福井市を中心に商業・サービス業といった第3次産業が、多数立地してきている。

表3-5、図3-7に産業3区別就業者数の推移を示す。

表3-5 産業3区別就業者数の推移

年 度	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総 数
昭和35年	116,975	94,993	97,930	309,898
昭和55年	39,352	136,650	164,816	341,127
昭和60年	31,521	140,458	174,745	347,010
平成2年	24,834	144,492	183,605	353,538

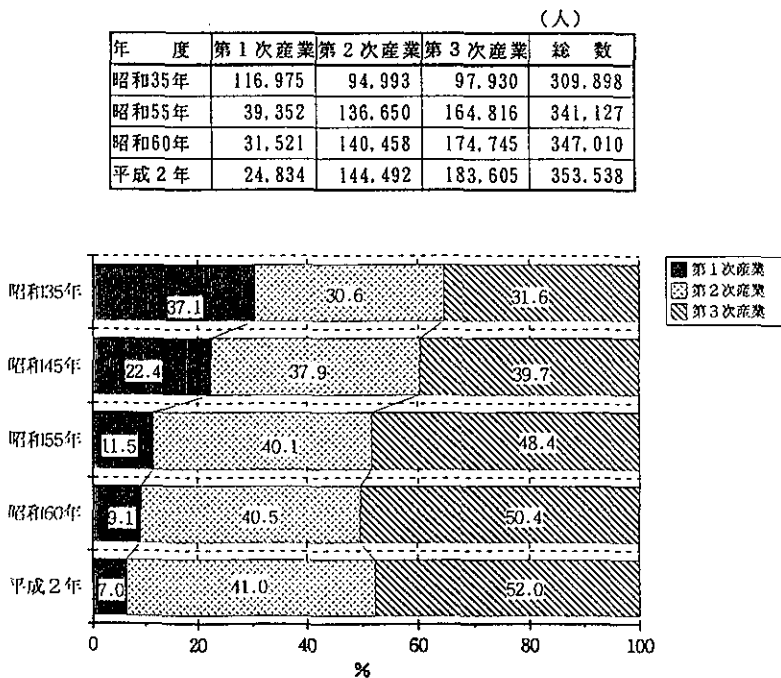


図3-7 産業3区別就業者数の割合の推移図

平成2年の産業別就業人口は、約35.4万人であり、流域人口に占める従業者の比率は53.3%である。3区分で見ると、第3次産業が最も多く過半数の52.0%を占めている。

昭和35年と平成2年との比較では、第1次産業就業人口の減少が顕著で、92,141人、78.8%の減少となっている。

これに対して、第3次産業就業人口は、85,675人、87.5%の増加となり、第1次産業就業人口の減少率より高い値を示している。第2次産業就業人口は、49,499人増、52.1%の増加となっている。

表3-6 流域別の産業3区分別就業人口（平成2年）

区分	市町村名	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業
福井市		132,253	5,347	44,141	82,260
兵庫	三國町	12,514	1,378	3,794	7,332
	芦原町	8,185	1,043	2,140	5,000
川	金津町	9,857	1,171	4,044	4,633
	丸岡町	15,814	1,287	6,947	7,572
竹田	春江町	11,116	680	5,341	5,074
	坂井町	6,691	1,459	2,300	2,925
川	小計	64,177	7,018	24,566	32,536
本	勝山市	16,417	1,849	7,596	6,969
	松岡町	4,948	289	1,941	2,715
川	永平寺町	3,843	329	1,458	2,051
	上志比村	1,886	127	842	917
川	小計	27,094	2,594	11,837	12,652
本真	大野市	22,643	3,144	9,436	10,061
川名	和泉村	479	64	123	292
川	小計	23,122	3,208	9,559	10,353
日野	武生市	38,116	2,219	18,253	17,622
	鯖江市	33,882	1,063	18,959	13,826
	今立町	8,248	428	4,806	3,014
	南条町	3,037	366	1,378	1,293
	今庄町	3,101	356	1,432	1,312
	清水町	5,284	554	2,090	2,638
川	小計	91,668	4,986	46,918	39,715
足羽	美山町	3,237	446	1,435	1,348
	池田町	2,375	363	1,221	791
川	小計	5,612	809	2,656	2,139
天	朝日町	4,521	369	2,172	1,978
王	宮崎村	2,215	249	1,200	764
川	織田町	2,906	254	1,443	1,208
	小計	9,642	872	4,815	3,950
合計		353,568	24,834	144,492	183,605

（福井県統計年鑑による）

平成3年度の事業所統計調査では、九頭竜川水系の事業所数が45,984事業所で従業者数が約35万人である。表3-7、図3-8に昭和50年からの推移を示す。

表3-7 流域別の事業所数、従業者数の推移（事業所統計調査による）

	昭和50年		昭和53年		昭和61年		平成3年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
福井市	16,353	129,583	17,740	134,230	19,303	149,075	19,212	159,221
兵庫川・竹田川	6,573	34,935	6,757	37,839	6,927	45,868	7,014	51,021
本川	3,579	19,873	3,613	20,393	3,477	20,100	3,230	20,719
本川・真名川	2,652	18,634	2,760	18,909	2,910	18,690	2,782	18,531
日野川	11,011	70,428	11,561	73,915	12,249	83,924	12,079	89,735
足羽川	610	3,221	648	3,478	630	3,368	594	3,124
天王川	1,094	6,356	1,089	6,326	1,134	6,927	1,073	6,767
流域合計	41,872	283,030	44,168	295,090	46,630	327,952	45,984	349,118
福井県合計	51,751	349,224	54,461	363,487	57,991	405,531	57,046	428,927

(単位：人)

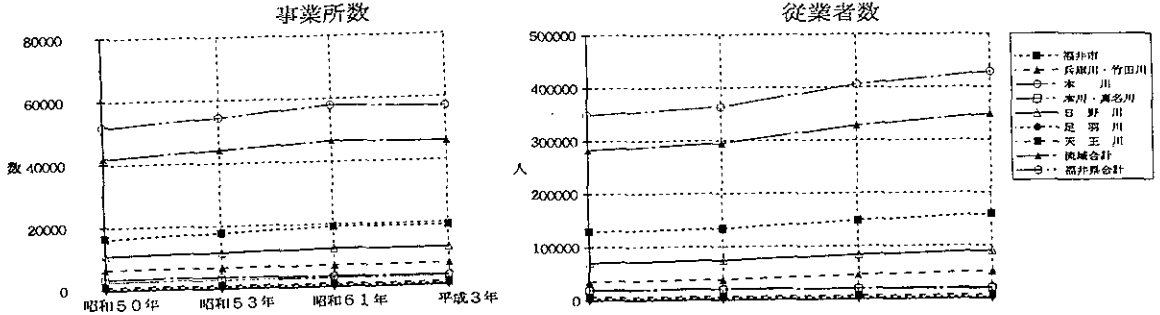


図3-8 流域別の事業所数、従業者数の推移図

平成5年度における九頭竜川水系内での製造品出荷額は、約1兆7千億円であり、福井県の約86.3%を占めている。表3-8、図3-9に昭和50年からの推移を示す。

表3-8 流域別の製造品出荷額の推移

(単位：万円)

区分	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成5年
福井市	18,057,622	26,887,584	35,369,133	40,527,399	39,746,652
兵庫川・竹田川	7,366,949	15,976,094	26,822,112	32,963,906	39,683,292
本川	4,800,128	7,826,352	7,618,827	7,925,095	9,812,169
本川・真名川	2,171,247	3,928,429	5,108,543	15,989,872	6,309,510
日野川	21,829,389	36,193,855	58,876,495	69,160,246	69,066,360
足羽川	473,482	863,397	869,206	1,172,112	1,359,509
天王川	1,749,566	2,745,202	3,566,218	2,772,185	4,239,763
流域合計	56,448,383	94,420,913	138,230,534	170,510,815	170,217,255
福井県合計	69,804,703	117,556,593	163,272,459	200,921,218	197,146,705

(事業所統計調査による)

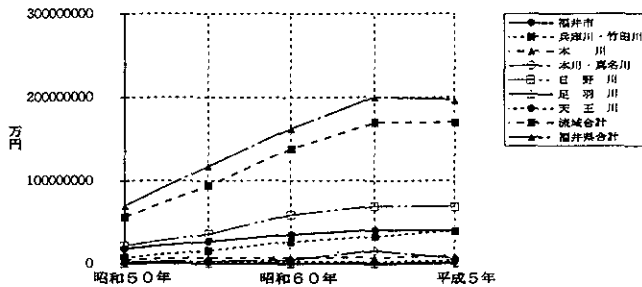


図3-9 流域別の製造品出荷額の推移

平成3年度における九頭竜川水系内での商品年間販売額は、約2兆7千億円であり、福井県の約88.2%を占めている。表3-9に昭和51年からの商店数と年間販売額の推移を、図3-10に年間販売額の推移を示す。

表3-9 流域別の商店数と年間販売額の推移

(単位：万円)

区 分	昭和51年		昭和54年		昭和60年		昭和63年		平成3年	
	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額
福井市	7,400	90,911,425	7,998	115,813,711	6,019	152,261,874	6,210	167,423,045	6,113	200,263,643
兵庫川・竹田川	2,245	4,637,662	2,304	6,576,400	1,866	10,268,054	1,836	11,122,960	1,905	15,039,854
本 川	1,076	2,108,041	1,098	2,818,762	883	3,919,295	862	4,098,959	871	4,802,763
本川・真名川	1,162	3,340,548	1,259	4,295,685	923	5,228,093	863	5,687,341	829	6,714,174
日 野 川	3,644	14,522,808	3,995	21,268,557	3,326	30,264,155	3,340	35,621,554	3,266	40,241,774
足 羽 川	160	190,191	160	205,281	157	436,137	146	427,664	138	443,925
天 王 川	304	477,519	299	679,955	271	1,028,478	259	1,101,111	265	1,220,424
流域合計	15,991	116,188,194	17,113	151,658,351	13,445	203,406,086	13,518	225,482,634	13,387	268,726,557
福井県合計	19,786	129,586,159	21,047	169,594,794	16,564	229,270,035	16,700	255,770,098	16,610	304,707,468

(福井県統計年鑑による)

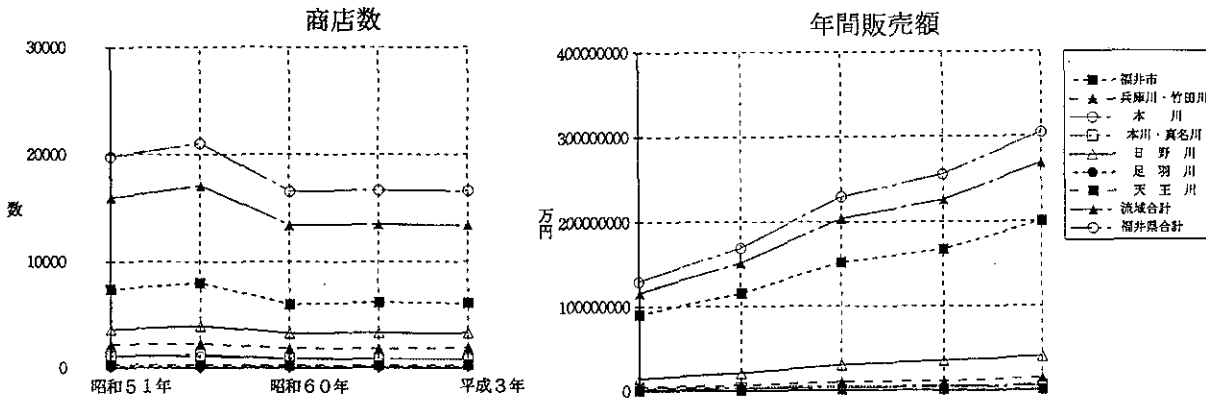


図3-10 流域別の年間販売額の推移

3-5 文化

(1) 公園

九頭竜川水系には、石川県にある白山を中心に、富山・岐阜・福井の4県にまたがる山岳自然公園である白山国立公園、越前岬や東尋坊といった海岸美がすばらしい越前加賀海岸国定公園、大野市および和泉村にまたがる奥越高原県立自然公園などがある。

都市公園としては、福井城跡一帯を占める中央公園、福井市の西南に位置し継体天皇の石像や九頭竜川改修碑のある足羽山公園、第23回国民体育大会の主会場となった福井運動公園、桜や梅の名所である長山公園、キャンプ場などのある刈り安山森林自然公園、謡曲「花筐」の伝説地である花筐公園、ツツジの名所である西山公園などが有名である。

表3-10 国立・国定・県立自然公園

記号	名 称	関係市町村	面積(ha)	指定年月日	概 要
①	白山国立公園	大野市 勝山市	47,700 福井県分 (5,206)	昭和37年11月 12日	石川県の白山を中心に、富山・岐阜・福井の4県にまたがる山岳自然公園である。公園区域内には動植物が多く、なかでも植物は暖帯から亜寒帯に至る分布がみられる。福井県では、法恩寺山・経ヶ岳、白山への登山口である禅定口や平泉寺・白山神社などを含む。越前側白山禅定路上の永泉寺・法音寺・一本松・小原・一ノ瀬・室堂等は、中世からの伝承豊かな地方である。
②	越前加賀海岸 国定公園	三国町 福井市 越廼村 越前町 河野村 敦賀市	9,246 福井県分 (7,530)	昭和43年 5月 1日	福井・石川の両県にまたがる沈水と微隆起の海岸が美しい海洋自然公園である。福井県内には、海食崖の発達した越前岬や美しい柱状節理が展開する東尋坊・越前松島、三里浜砂丘がある。また海浜が多くあり、キャンプ場等もみられる。
③	奥越高原県立 自然公園		33,239	昭和30年10月 21日	九頭竜川の上流の大野市および和泉村にまたがり、秀峰荒鳥岳を中心とした山岳・峡谷・高原美にあふれた自然公園である。九頭竜・真名両峡谷の絶景をはじめ、北陸有数のスキー場六呂師高原などがある。高原は、湿原植物や高原植物の群生地として花の多い所である。

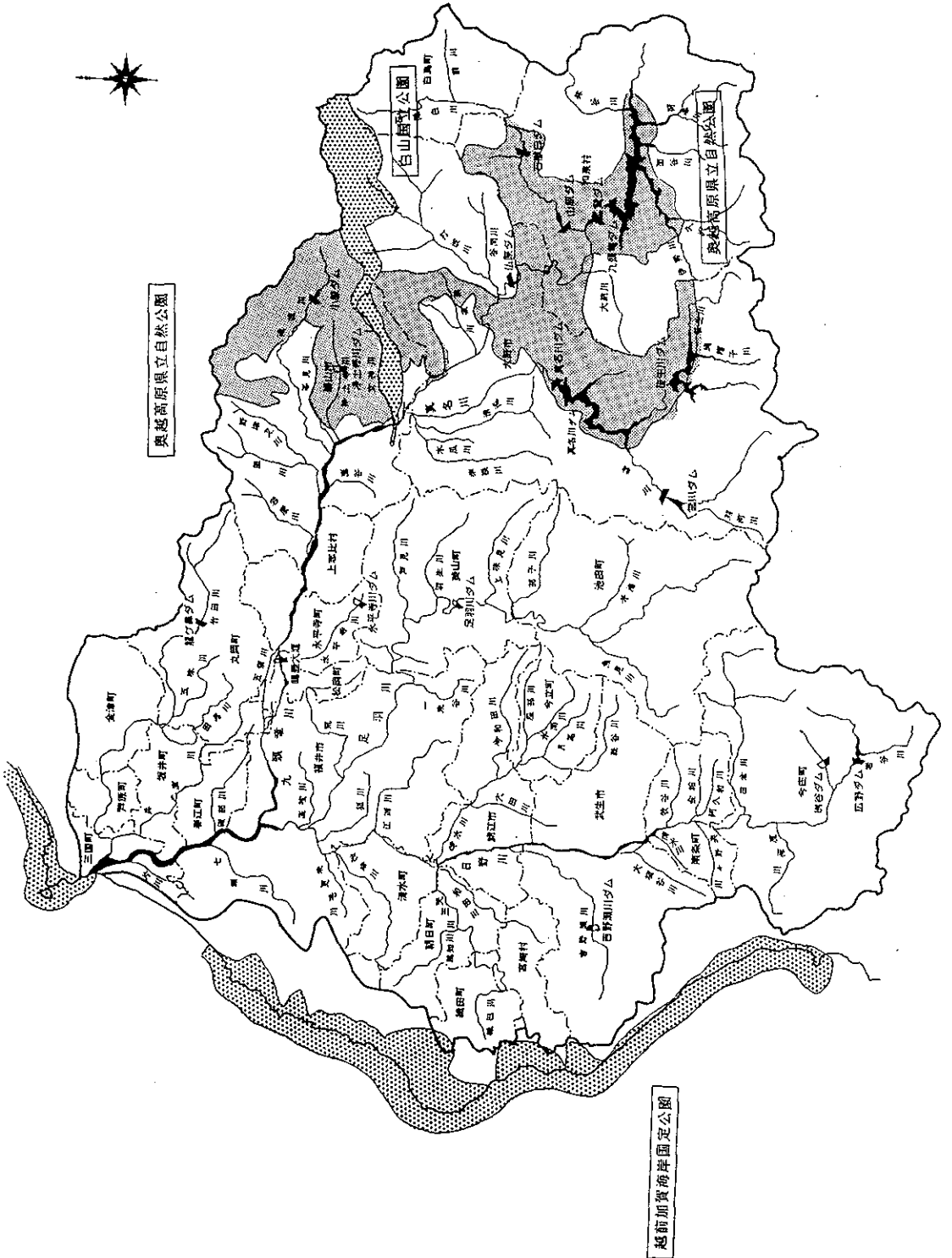


図3-11 自然公園位置図

(2) 観光資源

(a) キャンプ場

九頭竜川流域は、森と水に恵まれており各市町村にアウトドアレクリエーションが満喫できる施設が整ったキャンプ場がある。

表3-11 キャンプ場一覧表(1)

名 称	所 在 地	利 用 施 設
国見岳森林公園	福井市国見元町	バンガロー、芝生広場、バーベキュー広場等
一乗滝小次郎の里 ファミリーパーク	福井市浄教寺町	テント村、バーベキュー広場等
野外活動施設 リズムの森	美山町西中	テント村、バンガロー、グラススキー場等
松岡町B & G海洋	松岡町湯谷	テント、炊事場、プール等
浄法寺山青少年旅行村	永平寺町上浄法寺	テント、バーベキュー広場等
上志比村青少年 吉峰寺キャンプ場	上志比村吉峰	テント、炊事施設、宿泊施設等
刈安山森林自然公園	金津町清滝権世	炊事施設、バーベキュー広場等
たけくらべ広場	丸岡町山竹田	テント、炊事場、野外ステージ等
清水町営キャンプ場	清水町笹谷	管理棟、炊事場、テント等
SS Tランド	清水町笹谷	バーベキューハウス、パターゴルフ等
県立奥越青少年の森 少年自然の家	大野市南六呂師	テントサイト、炊事場、炭焼き小屋等
麻那姫湖青少年旅行村	大野市中島	バンガロー、テントサイト、芝生広場等
宝慶寺いこいの森	大野市宝慶寺	テント、林間広場、バーベキュー炉等
勝原キャンプ場	大野市西勝原	テントサイト、バーベキュー炉、炊事舎等
小池野営場	大野市上打波	テントサイト、炊事舎、営火場等
東山いこいの森	勝山市北谷町谷	テント、バンガロー、コテージ、テニス等
雁が原青少年旅行村	勝山市 170奥山	テントサイト、テニスコート、炊事場等
岩屋キャンプ場	勝山市北郷町岩屋	広場、山小屋等
和泉前坂家族旅行村	和泉村朝日前坂	ケビン、テント、バーベキュー、炊事場等
九頭竜国民休養地	和泉村角野	テント、テニス、オートキャンプ場等
天狗岩 ファミリーパーク	和泉村後野	ケビン、共同学習館、展望台、散策路等
九頭竜レイクサイド モビレージ	和泉村下半原	テント、オートキャンプ場、炊事場等
金華山グリーンランド	武生市米口町	テント、バンガロー、炊事施設、柿栗園等
みどりと自然の村	武生市安養寺	テニスコート、ゲートボール、芝生広場等
尾花キャンプ場	鯖江市尾花町	テント、運動広場、展望広場、炊事場等
八ツ杉自然公園キャンプ場	今立町別印	テント、炊事施設、バンガロー、広場等
冠山青少年旅行村	池田町志津原	テント、炊事施設、バンガロー、テントサイト等

表3-11 キャンプ場一覧表(1)

名 称	所 在 地	利 用 施 設
夜叉ヶ池青少年旅行村	今庄町岩谷	テント、炊事施設、管理棟等
一ノ瀬山荘	今庄町二ツ屋	
スターバレー365 キャンプ場	今庄町板取	テントサイト、炊事施設等
越知山青少年旅行村	朝日町大谷寺	テントサイト、キャンプファイヤーサークル、魚釣り等
コボシキャンプ場	織田町笈松	バンガロー、バーベキューハウス等
喰付熊キャンプ場	織田町笈松	テントサイト、管理小屋、炊事施設等

(b) スキー場

冬の九頭竜川流域は、雪が豊富に積もりウィンタースポーツの花形であるスキーを楽しむ人々に賑わう。スキー場は、奥越地方の勝山・大野市の近郊に7ヵ所と今庄町に1ヵ所あり、交通の便が良いことや宿泊施設が整っているため、地元はもちろんのこと、関西方面から来るスキーヤーで賑わう。

表3-12 スキー場の一覧表

名 称	所 在 地
六呂師高原スキー場	大野市六呂師高原
勝原スキー場	大野市勝原
森山スキー場	大野市森山
雁が原スキー場	勝山市村岡町寺尾
スキージャム勝山	勝山市法恩寺山
九頭竜スキー場	大野郡和泉村角野
福井和泉スキー場	大野郡和泉村朝日前坂
今庄365スキー場	南条郡今庄町板取

(c)温泉

流域には、“関西と奥座敷”とか“おしゃれ湯の町”とかいわれ全国的にも良く知られている芦原温泉をはじめとして、多くの温泉が点在している。

表3-13 温泉の一覧表

名 称	所 在 地
大安寺温泉	福井市四十谷町
鷹巣温泉	福井市葦町
福井ならはら温泉	福井市南檜原町
ゆけむり温泉	福井市湊町
佐野温泉	福井市佐野町
芦原温泉	坂井郡芦原町芦原
東尋坊温泉	坂井郡三国町
三国温泉	坂井郡三国町
鳩ヶ湯温泉	大野市上打波
横倉鉱泉	勝山市郡町
杉山鉱泉	勝山市北谷町杉山
六呂師高原温泉 ピクニックガーデン	勝山市平泉寺町
小舟渡かまぶろ温泉	吉田郡上志比村小舟渡
美山森林温泉	足羽郡美山町市波
九頭竜川温泉	大野郡和泉村下山
池田溪流温泉	今立郡池田町志津原
丸岡温泉たけくらべ	丸岡町山竹田
上河内鉱泉	鯖江市上河内町
三六温泉	鯖江市神明町
天谷鉱泉	丹生郡朝日町天谷
今庄365温泉	南条郡今庄町板取
花はず温泉	南条郡南条町中小屋

(d)その他

九頭竜川流域は、歴史・文化や水と緑といった自然に恵まれた観光地が多く点在し、年間約1,600万人の観光客が訪れる。その代表的な観光資源は、東尋坊、芦原温泉、朝倉氏遺跡、永平寺、丸岡城と越前竹人形の里、平泉寺と越前大仏、九頭竜湖と国民休養村、六呂師高原、武生菊人形などである。一方、県民の憩いの場としては、越前松平家の別邸であった養浩館庭園（福井市）・越前の里味真野苑・福井県総合グリーンセンター（丸岡町）・坂井西部公園（坂井町）・和紙の里公園と花筐公園（今立町）・花はず公園（南条町）、桜の名所としては足羽山公園・松岡公園・芦山公園・九頭竜川沿川の弁天桜並木・足羽川堤防の桜並木・善福寺しだれ桜・不老山公園、つつじの名所である西

山公園（鯖江市）などがある。九頭竜川のアユ釣りも有名である。

また、九頭竜川流域には、多くの伝統工芸や食文化などが伝えられているが、越前和紙の紙すきを体験できる「和紙の里会館（今立町）」、木製品づくりに挑戦できる「木の里工房（池田町）」、越前焼きが自分で体験できる「越前陶芸村（宮崎村）」、そば打ちを体験できる「ごっつおさん亭（美山町）」と「ふるさと道場（池田町）」および「今庄そば道場（今庄町）」の公共施設がある。

(3)文化財

九頭竜川水系の文化財を指定別でみると、次のとおりである。

- ① 国指定文化財では、国宝3件、重要文化財38件、無形民俗文化財2件、特別史跡・名勝・天然記念物8件、史跡・名勝・天然記念物16件が指定されている。
- ② 福井県指定文化財では、有形文化財84件、無形文化財5件、民俗文化財28件、史跡・名勝・天然記念物45件が指定されている。
- ③ 流域内の23市町村が指定している文化財は、有形文化財が469件、無形文化財が1件、民俗文化財が36件、史跡・名勝・天然記念物が221件指定されている。

九頭竜川流域では、最古のものとして無土器時代の石器が永平寺町鳴鹿の河岸段丘から出土しており、縄文時代の遺跡は、各期にわたっているが中期に属するものが多く、山地、平野周辺に分布している。

弥生時代の遺跡は、主に武生盆地・福井平野に分布し、その殆どが後期に属することから、これら平野の稲作の開始はかなりおこなわれていたものと思われ、古墳時代にはいと、遺跡は九頭竜河谷、大野盆地にも分布するようになり、福井県内の古墳数は4,000基にも達するといわれている。

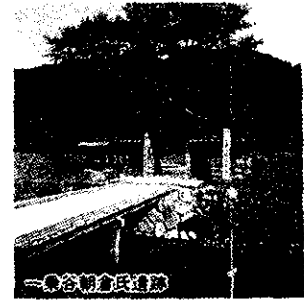
律令時代になると、近畿の文化が広く伝播するようになり、それまでの地場文化との交流が盛んになり、この時代の文化遺産が流域内各所の寺社などに残っており、鎌倉時代には道元が永平寺を開くなど仏教の影響が強まるとともに、各地の領主は城下町を築き、積極的に各地の文化をとり入れた。とくに、一乗谷に居を構えた朝倉氏は京都文化を取り入れ、小京都と呼ばれてにぎわった。

戦乱の時期を経て、藩幕時代になると、民生的にも安定し、福井・鯖江・大野などの城下町では町民文化の急速な発達をみせるようになるとともに、農村でも独自の文化が育成され今日にいたっている。

また、福井県は、東北日本と西南日本の生物相が交差し、分類地理的にも重要なところで、数多くの動植物が天然記念物に指定されている。そのなかでも、淡水魚である陸封形イトヨとアラレガコ生息地が指定されているのが注目される。アラレガコ生息地は、九頭竜川本川の大野市花房町から福井市舟橋までの区間が指定され、大河川の長区間指定としては珍しい例である。

表3-14 国指定文化財等一覧表

種 別		区 域 別	福井県全体	流 域 内
国 宝	彫 刻		—	—
	考古資料		—	—
	絵 画		—	—
	工 芸 品		3	2
	書 跡		1	1
	建造物		2	—
	計		6	3
重 要 文 化 財	彫 刻		34	5
	絵 画		14	8
	工 芸 品		7	5
	書 跡		13	5
	建造物		20	13
	歴史資料		2	2
	計		90	38
無形民俗文化財			3	2
特 別 名 勝			1	1
特 別 史 跡			1	2
特別天然記念物			4	4
天 然 記 念 物			17	2
名勝天然記念物			1	1
史 跡			19	7
名 勝			12	6



(福井県の指定文化財目録：1994 福井県教育委員会)



4. 洪水記録

4-1 洪水の特徴

九頭竜川流域は、九頭竜川本川と日野川、足羽川、真名川の三大支川を主幹にして、ほぼ南北方向に広く分布する多くの支川によって扇形の流域を形成している。流域を取り囲むように河口部の北西部を除いて東方から南方にかけて赤兎山、二ノ峰、銚子ヶ峰、昆沙門岳、屏風山、冠山など標高1,300メートルから2,000メートルの水源となる山地が連なっている。このような流域地形であるため、流域の気候は複雑で変化に富み、日本海型気候の特徴である1～2月にかけての降雪、6～7月の梅雨および8月から秋季にかけて来襲する台風による降雨などにより、年間降水量も全国平均と比べて多く、九頭竜川本川上流部で3,000mm以上、日野川、足羽川上流部で2,600～2,800mmとなっている。これら降雨、降雪によってもたらされる九頭竜川の出水には、次のような特徴を有している。

- ① 3～4月下旬 融雪による出水（増水量 2～3m）
- ② 6～7月上旬 梅雨による出水（増水量 3～4m）
- ③ 6月末～7月下旬 梅雨末期の豪雨による出水（増水量 4m内外）
- ④ 7～8月 雷雨による出水（増水量 3～4m）
- ⑤ 8月～10月 台風にともなう豪雨がもたらす出水（増水量 4～5m）

また、出水の形態は、九頭竜川流域が扇状となり、支川が広い地域にわたっているため、降雨時には九頭竜川本川と各支川流域の降水時期に相違があり、合流点におけるピーク流量発生時間に相違があるという特徴をもっている。

流域に大きな被害をもたらす出水は、梅雨末期の豪雨によるものと、台風にともなう豪雨によるものである。特に前線をともなう台風の場合は、異常豪雨による大出水となる場合が多く、したがって大被害となることが多い。

近年は、流域の開発が進み、山地開発や水田減少など土地利用の変化に伴って流出形態が変わったため、出水形態はもちろんのこと、出水による被害にも変化が見られる。

4-2 古文書にみられる水害

古代から開けた福井平野は、低平な沖積平野と九頭竜川などの豊かな水によって、奈良時代の東大寺領の荘園や、平安時代の興福寺領の荘園などの荘園経営が行われたように、すぐれた穀倉地帯であった。しかし、当時は豪雨のたびに“崩れ川”とも呼ばれたほど、しばしば氾濫を繰り返していた。古文書には、養老元年（717年）に日野川松ヶ鼻堤防が洪水によって破壊されたという記録が残されている。

その後、江戸時代には福井藩が城下町を守るために、一部の地区において築堤を行ったが、殆ど無堤に近い状態であったため、融雪時や豪雨のたびに洪水が生じ、大きな被害が発生した。

記録に残されている著名な洪水は、慶長2年（1597年）、寛永20年（1643年）、元禄14年（1701年）、元文5年（1740年）、宝暦7年（1757年）、寛政12年（1800年）、文化4年（1807年）などであり、2～3年に一度は大洪水による大きな被害を蒙っていたようである。

明治・大正時代の著名な洪水は、明治18年（1885年）、明治28年（1895年）、明治29年（1896年）、明治32年（1909年）、大正元年（1912年）などである。特に、明治18年6月の洪水は、堤防に至る所

で決壊させ、7郡563ヵ村に被害を及ぼした。また、明治28年7～8月の洪水は九頭竜川において平水より1丈8尺も高くなり至る所で堤防を溢水や決壊させ、9郡1市131町村1,151大字が被害を受け、食料や飲料水に乏しくひどい惨状であった。さらに、明治29年にも前年に匹敵する大洪水となり、福井市では床上6尺以上の浸水となった。九頭竜川では、このような大洪水を契機として明治33年度から国の直轄工事による抜本的な改修工事がはじまり、大正13年に竣工するまで改修が続けられた。

4-3 昭和時代の水害

昭和初期の洪水は、8年(1933年)と9年(1934年)9月の室戸台風である。後者の洪水では、375戸が全半壊し、566戸が浸水被害を被った。

昭和20年以降において大被害をもたらした洪水は、昭和23年(1948年)6月に発生した福井地震後の7月出水、昭和28年(1953年)の台風13号による出水、昭和34年(1959年)の8月出水と9月の伊勢湾台風、昭和36年(1961年)の第二室戸台風、昭和40年(1965年)の奥越豪雨、昭和47年(1972年)7月、昭和56年(1981年)7月出水などである。

昭和23年に発生した洪水は、6月の福井大地震によって九頭竜川本川、日野川、足羽川など各河川の堤防、護岸などの河川管理施設が破損、沈下するなどの大被害が発生したうえに、7月の洪水に見舞われたことによって、地震で脆弱になっている九頭竜川本川左岸福井市燈明寺地先などの堤防が破堤して大水害が発生したものである。

昭和28年9月の台風5313号による洪水以後は、昭和40年9月の6524号台風による洪水までの大洪水が多発した。特に、昭和28年9月の5313号台風による洪水は、九頭竜川本川上流山間部に大被害をもたらし、日野川右岸福井市三郎丸地先の堤防を破堤させ、九頭竜川再改修の端緒となった。

昭和34年伊勢湾台風による洪水は、基本高水流量および計画高水流量改訂の契機となった洪水である。その後、昭和36年には第二室戸台風による洪水が発生し、昭和40年9月には、23号台風・西谷村に壊滅的な被害をもたらした奥越豪雨・24号台風による三大風水害が連続して発生した。

昭和47年9月の洪水は、九頭竜川水系工事実施基本計画の改訂の要因の一つになった。また、昭和50年8月の洪水は足羽川で大洪水を発生させ、昭和51年9月の洪水では九頭竜ダムで竣工後始めて洪水調節を行った。

昭和20年以降の洪水の特徴は、全国的な共通現象として、枕崎台風による洪水を幕あけに、洪水多発期を迎え、戦争による国土や河川の荒廃と、治山・治水事業の遅れなどによる洪水の被害が、経済成長にともなう国土開発により、都市周辺に急激な変化だけでなく、農山村を含めた国土が変貌し、そのため流域の自然貯水池的機能を失わせて洪水流量を増加させるなど、従来の洪水および水害形態を変化させ、都市災害、内水災害などの新しい被害が拡大してきた。

4-4 水害年表

九頭竜川水系の洪水記録は、古文書や災害記録誌などに基づいて整理すると次表のとおりである。

表 4-1(1) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西暦	
養 老	元.	717	大洪水。日野川松ヶ鼻堤防決壊、流路を変え東に流れる。
応 永	9.	1402	越前国洪水。
慶 長	2.	1597	大洪水。足羽川堤防決壊。
寛 永	7. 6. 19	1630	越前大風雨洪水。死者 250人、家屋倒半壊 950戸。
	10. 11. 21	1633	大洪水。人畜多く死す。芝原用水（城下食水）泥の如きおと数日に及ぶ。
	20. 6. 22	1643	越前国中大洪水。田19,550石、畑 9,165石流失。潰家 408戸、死者14人に達す。
万 治	3. 8. 19	1660	足羽川洪水、死傷者多し。
寛 文	9. 6. 17	1669	北陸大雨洪水。
延 宝	3. 9. 21	1675	大洪水と同時に津波が起こり、民家50余戸流失、人畜死傷多し。田圃、宅地ことごとく流失。
貞 亨	4. 9. 9	1687	北陸風雨、洪水。
元 禄	4. 6. 24	1691	洪水29日にいたる。向新保（現武生市）の霞堤決壊。
	11. 4. 10	1698	大風雨、浦見川崩れる。
	14. 8. 18	1701	越前前代未聞（70年来以上）の大洪水。これより以後、河川に土砂が堆積したため度々洪水が起こる。
宝 永	3. 8.	1706	大風雨、損害すこぶる大。九頭竜川、竹田川大洪水、悪作。坂井郡に大雨、洪水。田圃損傷す。
	5.	1708	松ヶ鼻大雨、洪水あり。今立郡洪水。
享 保	6. 7.	1721	梅雨明け豪雨、大洪水。丸岡領内洪水。
	8. 8. 11	1723	福井城下大水。
	11. 2. 29	1726	大風雨、融雪、洪水。勝山に山津波、女神川氾濫、死者82人、損害大。
	12.	1727	洪水。向新保（現武生市）の霞堤決壊。
	15. 7. 24	1730	北陸大風雨。
	18. 6. 21	1733	越前全域に大風雨、大洪水。
天 文	5. 7. 1	1740	越前、若狭で流壊家、死人多し。丹生郡山くずれ多し。
			九頭竜川中流で家屋流出、飯島地区堤防決壊。城下大出水。浸水高約32,735石、流家32戸、潰家 120戸、流土蔵1棟、川除堤欠所81ヶ所(7,484間)、橋損6橋、舟流出2隻、流死人15人（男7人、女8人）、流死馬2匹。
寛 保	2. 8.	1742	北陸大風雨。
延 亨	4. 3. 12	1747	日野川洪水。
寛 延	3. 7. 2	1750	福井大水、所々損亡。
宝 歴	6. 9. 17	1756	9月9日より雨連日、大水。元文5年の水に及ばざること1尺。
	7. 2. 16	1757	九頭竜川氾濫、比丘尼塚決壊。数ヶ所堤防決壊。
	7. 5.		九頭竜川氾濫。北野向新田村流家4戸。
	7. 6. 17		5日より出水。足羽川六条決壊、翌日午後になって水はじめて退く。去年、秋の水より増すこと7寸ばかり。
明 和	3. 4.	1766	洪水。九頭竜川右岸洗われ、五領ヶ島村上合月で水田一面が土砂で埋まる。
	5. 6. 1	1768	越前全般に大雨あり、各河川大水に堤防決壊すること20余。

表4-1(2) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西 曆	
安 永	5. 8. 7	1776	70年来の大水。
	7. 7.	1778	洪水。十郷用水の取水堰全部流失。
天 明	3. 7. 14	1783	北陸諸国に風雨、各所に洪水。福井に大洪水、流家 300戸。
寛 政	元. 6. 7	1789	大洪水。北野新田堤防大破により城下与力町浸水。松岡用水大破。大水4、5月より7月まであり。九頭竜川上・中流で堤防決壊、大野郡全般に大洪水、被害甚大。
	3. 8. 20	1791	福井大風雨。大橋石欄干が38間吹倒、倒木 8,067本、死者2名。
	7. 8. 27	1795	大洪水。九頭竜川堤防(舟橋)決壊、堤防所々決壊。
	12. 5. 14	1800	大洪水。九頭竜川平水より1丈4尺2寸余増水。不熟地 366ヵ村。
享 和	2. 2. 5	1802	日野川大洪水。
文 化	元. 8.	1804	洪水。福井領内不熟村 322ヵ村。
	3. 3. 9	1806	足羽川洪水あり。
	4. 9.	1807	洪水。十郷用水の取水堰全部流失。
	12. 6.	1815	栗田郡に大洪水あり。
	7.		洪水。福井領 312荒蕪。
	13. 6.	1816	洪水。福井領 442ヵ村にわたり大被害。
文 政	8. 8. 14	1825	大嵐雨。九頭竜川近来稀有の災害。
	8. 9.		女神川氾濫。
天 保	6. 5.	1835	稲植付けに際し洪水氾濫。勝山城を浸す。
	9. 6.	1838	越前大風雨、洪水。
	11. 2. 22	1840	22日より25日まで出水。白鬼女川往来渡舟沈没。人多く死す。
	13. 7. 15	1842	大雨でとくに九頭竜川大水。荒島山付近山くずれ、妙金島家流れ、溺死するものあり。
弘 化	2. 6.	1845	丹生郡大雨、洪水。
	3. 7. 18	1846	八ツ時より福井、前代未聞の大風雨。福井家東海破損 269戸、死者1名負傷4人、倒木 596本。
	7. 18		越前大風雨。福井城大損。
	10.		鳴鹿川洪水、田圃の損害多し。丸岡領烈風強雨。
嘉 永	元. 9.	1848	越前国連日風雨。山湖湧出、田畑を損す。人畜多数死す。
	5. 4. 10	1852	足羽川成願寺籍堤防50間余破壊。被害田20余町。
安 政	元. 7. 16	1854	7月14日より度々出水。大水害の年なり。
	2. 5.	1855	洪水による流木で芝原用水の取水口埋没。断水騒ぎで昼夜兼行の復旧作業を行う。
文 久	元.	1861	洪水。向新保(現武生市)の霞堤決壊。
慶 応	2. 8.	1866	大風雨。白山社堂宇立木被害多し。
	3. 3.	1867	足羽川酒生村榎野堤防決壊し、水田約3町5反河原となる。九頭竜川流域破堤多し。

表 4 - 1 (3) 洪水年表

年 代		西 暦	記 事
年 号	年 月 日		
明 治	8.	1875	大洪水。東岸各村堤防決壊し、下流の村11カ村水害。家屋、人畜被害甚大。
	14. 5.	1881	5月より6月にわたり九頭竜川暴溢。被害多し。
	18. 6 30	1885	諸川溢溢。圧溺死者数名。福井市街殆ど浸水。既往20年来の大洪水といわれ、破堤、浸水の被害が大きかった。 死傷者3人、堤防切所6,678間、決壊12,670間、田畑流亡92町歩、浸水面積2,367町歩 建物流失6戸、建物破損1,244戸 ・量水標最高水位 九頭竜川本川 吉田郡森田村稲田 17尺8寸 日 野 川 丹生郡吉野村家久 13尺 足 羽 川 福井市佐佳枝上町 11尺5寸
明 治	28. 7. 28 ～ 8. 6	1895	7月24日～8月6日まで連続降雨、とくに7月28日および8月5日の豪雨により諸川暴漲、氾濫、越前平野は濁水でおおわれ、福井市では2/3が浸水し、遠敷、大飯の2郡を除くほかは、未曾有の被害となる。 死傷者86人、流失・全壊家屋244戸、浸水家屋26,920戸、堤防決壊73,783間、堤防破損35,038間、田畑・宅地等浸水面積16,556町歩 ・量水標最高水位 九頭竜川 吉田郡森田村稲田 18.4尺 日 野 川 丹生郡麻生津村三尾野 22.7尺 足 羽 川 福井市佐佳枝上町 11.9尺 ・総雨量 九頭竜川 大野町 806mm (7月28日～8月6日) 日 野 川 今 庄 650.2mm (7月28日～8月6日) 足 羽 川 福井市 345.7mm (7月28日～8月6日)
	29. 9. 7	1896	8月30日以来降り続き、9月7日の明け方より九頭竜川本川、日野川、足羽川の3大河川ならびにその他の河川で急激に増水し、溢水、決壊、氾濫した。稲の開花中で農家の被害は多大。福井市は濁水に埋まり、浸水は床上6尺以上となった。 死傷者96人、流失・全壊家屋1,197戸、浸水家屋47,796戸、堤防決壊35,942間、堤防破損70,930間、田畑・宅地等浸水面積29,883町歩 ・量水標最高水位 九頭竜川本川 吉田郡森田村稲田 17.5尺 河合村中角 24.7尺 日 野 川 丹生郡麻生津村三尾野 23.7尺 足 羽 川 福井市佐佳枝上町 13.2尺 ・総雨量 九頭竜川 大野町 557.6mm (8月30日～9月11日) 日 野 川 今 庄 656.0mm (8月30日～9月11日) 足 羽 川 福井市 434.4mm (8月30日～9月11日)

表4-1(4) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西 暦	
明 治	32. 9. 6	1899	<p>明治28、29年の水害に次ぐ大災害で、9月6日より降り続き、8日午前より暴風となり各河川とも一時に出水、溢水、破堤、氾濫した。死傷者5人、流失・全壊家屋15,346戸、宅地浸水面積14,802町歩、堤防決壊30,501間、堤防破損21,015間、田畑浸水面積68,232町歩</p> <p>・量水標最高水位</p> <p>九頭竜川本川 吉田郡森田村稲田 20.0尺 日 野 川 丹生郡麻生津村三尾野 23.4尺 足 羽 川 福井市佐佳枝上町 12.7尺</p> <p>・総雨量</p> <p>九頭竜川 大 野 220.0mm (9月6日～9月8日) 日 野 川 今 庄 376.0mm (9月6日～9月8日) 足 羽 川 福井市 232.0mm (9月6日～9月8日)</p>
	35. 7. 14	1902	<p>諸川増水。九頭竜川と足羽川が最も甚しく、大土呂～森田間の鉄道不通が2日にわたる。福井測候所構内の浸水2～3尺。</p>
	36. 7. 9	1903	<p>大雨、各河川出水。日野川、足羽川破堤。今庄187mm</p>
	9. 8		<p>木田村下馬に大洪水。死者1名、流失家屋11戸、田畑10町歩不毛に帰す。</p>
大 正	元. 9. 22	1912	<p>台風による洪水で、九頭竜川流域での被害が甚大、ほぼ全県下にまたがった。</p> <p>流失・損壊家屋120戸、家屋浸水1,026戸、堤防決壊6,947間、堤防破損8,347間、田畑浸水面積6,011町歩 田畑流失・埋没面積193町歩</p> <p>・総雨量</p> <p>九頭竜川 大 野 198.0mm (9月21日～9月23日) 日 野 川 今 庄 113.0mm (9月21日～9月23日) 足 羽 川 福井市 104.0mm (9月21日～9月23日)</p>
	14. 8. 16	1925	<p>大野郡山間部に豪雨、九頭竜川大增水。下荒井橋流失。</p>
昭 和	8. 7. 25	1933	<p>日本海を通過した台風とそれに刺激された前線による大雨により、各河川は平均5m増水し、各地に被害をもたらした。</p> <p>福井では、25日22時から26日22時までの24時降水量が201.4mmという記録的な降水となった。</p>
	9. 7. 10	1934	<p>九頭竜川本川、支川7～9尺増水。打波川橋流失、堤防決壊あり。</p>

表4-1(5) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西 暦	
昭 和	23. 7. 24	1948	6月28日に発生した福井地震によって、坂井平野の各河川の堤防が陥没・崩壊など致命的な打撃を受けた所に、7月23日よりの前線による大雨で九頭竜川本川・支川とも増水し、左岸燈明寺地先で破堤。福井市街地の北部一帯が浸水した。また右岸木部村池見付近で堤防が決壊し、兵庫川左岸堤防まで濁水が達した。
	26. 2. 28	1951	南の暖風強くなり、降雨と相俟って融雪洪水が生じ、九頭竜川本川および日野川、足羽川の各川は急激に増水、警戒水位を突破。道路、護岸の決壊、根固、水制などが流出するなどの被害が生じた。
	7. 2		ケイト台風と梅雨前線により、短時間に強い雨が降ったため、河川は急激に増水し被害が多かった。
	28. 3. 11	1953	低気圧の日本海通過によってもたらされた降雨のため、九頭竜川水系の山岳地帯で融雪が起こり、河川は増水し道路が各所で決壊、護岸・根固工の流失などの被害を生じた。
	9. 24		前線をともなった台風13号による暴風雨で、九頭竜川流域の日野川および嶺南地方の南川、北川で大災害となり、4市7町38村に災害救助法が発動された。日野川では各所で破堤、溢水したか特に日野川右岸三郎丸地先の破堤によって福井市西北部の一部を泥海化した。 死者・行方不明者13人、負傷者256人、流失・損壊家屋1,252戸、床上浸水家屋9,517戸、床下浸水家屋8,110、非住家被害898戸 罹災者数85,338人
	33. 7. 25	1958	前線の活動によって、25日の夜から26日の朝にかけて北部の竹田川、権世川流域に200mm以上の集中豪雨があり、被害が発生した。
	33. 9. 10		14時～19時頃、九頭竜川本川中流域と足羽川中流域の山間部で、雷をともなう局地的大雨が降り、芦見川流域に被害が発生した。
	34. 8. 12	1959	8月12日からの前線と、13日夜からの台風7号による豪雨により2山洪水となり、九頭竜川本川布施田で計画高水位を、また九頭竜川本川中角、日野川深谷で警戒水位を越え、堤防の破堤、決壊が続出し、被害の大きかった福井市、森田町、清水町、鯖江市、今立町に災害救助法が発動された。 死者・行方不明者2人、負傷者1人、流失・損壊家屋54戸、床上浸水家屋5,542戸、床下浸水家屋7,347戸、罹災者数54,516人
	34. 9. 26		伊勢湾台風(15号)による豪雨で、雨量は嶺南東北部と西部の山地に多く、各河川とも計画高水位を越えるか、またはこれに近い増水となり、九頭竜川本川布施田、中角では計画高水位を、日野川深谷では警戒水位を越える出水となった。特に和泉村大谷では、2時間降水量104mmに達する強雨のため、和泉村では鉄砲水となって一瞬にして20数名が流死した。 死者・行方不明者34人、流失・損壊家屋99戸、床上浸水家屋1,517戸、床下浸水家屋5,031戸、罹災者数31,616人

表4-1(6) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西暦	
昭 和	35. 8. 29	1960	前線と台風16号により、29日から30日午前中にかけて、大野郡和泉村では時間雨量50mm前後の豪雨が続き孤立状態となった。この地方では、伊勢湾台風時と同じ最高水位となった。また、布施田・中角・深谷地点では警戒水位を越えた。 流失家屋2戸、浸水家屋109戸、田畑の流失・埋没・冠水148ha。
	36. 9. 16	1961	第2室戸台風(台風18号)によって水源山間部が豪雨に見舞われ、九頭竜川本川下流の布施田および中角と日野川深谷が計画高水位を越える大洪水となった。福井と敦賀では明治30年以来の最低気圧を観測し、台風接近時の強風によっても大きな被害が発生した。 流失・損壊家屋107棟、床上浸水家屋1,740棟、床下浸水家屋2,621棟。
	39. 7. 7	1964	梅雨前線と台風5号くずれの低気圧による大雨で九頭竜川本川下流布施田では計画高水位を越え、中角および日野川深谷では警戒水位を越えるなど、流域各地で被害が発生した。 流失・損壊家屋1棟、床上浸水家屋2,435棟、床下浸水家屋3,612棟農地および宅地浸水8,595ha。
	40. 9. 10 ～ 18	1965	福井県の「40.9三大風水害」と名付けられた出水で、9月10日の台風23号、14日の前線による「奥越豪雨」、17日の台風24号と連続して県下全域に追いつちをかけ、大きな災害の爪跡を残した。特に「奥越豪雨」は、笹生川ダム本戸で1時間雨量89mm、日雨量844mmの集中豪雨を記録した。そのため、西谷村に壊滅的な打撃を与えた。「奥越豪雨」による出水は、九頭竜川本川下流布施田および中角、日野川深谷で何れも警戒水位を越えた。また、台風24号による出水は、日野川が大きく、深谷で計画高水位を越え、九頭竜川本川布施田、中角では警戒水位を越えた。 死者・行方不明者23人、負傷者133人、流失家屋114棟、損壊・床上浸水家屋3,467棟、床下浸水家屋7,504棟。
	47. 7. 9	1972	梅雨前線による9日夜半から15日まで降り続き、最も雨勢が強かったのは、11日夕方から夜半にかけての6時間で、総雨量の1/3である100mm程度の雨を降らせ、堤防の決壊、崖くずれなどにより、家屋などに被害が発生した。このため福井市、武生市、鯖江市、今立町、南条町などで災害対策本部が設置された。 床上浸水家屋96棟、床下浸水家屋1,580棟、農地・宅地等浸水面積1,347ha。
	47. 9. 17		台風20号の大雨で、九頭竜川中角および日野川深谷で警戒水位を越えた。流域各地では、河川・砂防・道路など公共施設に被害が発生した。

表 4 - 1 (7) 洪水年表

年 代			記 事
年 号	年月日	西暦	
昭 和	50. 8. 23	1975	<p>台風 6 号による大雨で、九頭竜川本川中角、日野川深谷では警戒水位を越え、各地に被害が発生した。とくに足羽川では J R 北陸線足羽川鉄橋の橋桁が浸水し、一時不通となった。今立町では災害対策本部が設置された。</p> <p>床上浸水家屋 6 棟、床下浸水家屋 166 棟、農地・宅地等浸水面積 19 ha。</p>
	51. 9. 8	1976	<p>台風 17 号と前線により 8 日から 10 日にかけて大雨で、九頭竜川本川中角、日野川深谷で警戒水位を越え、各地に被害が発生した。九頭竜川本川上流の九頭竜ダムでは、竣工以来始めて洪水調節を行ったが、中角ではダム完成後最高の 8.88m の水位となった。</p> <p>床上浸水家屋 10 棟、床下浸水家屋 369 棟、農地・宅地等浸水面積 72 ha。</p>
	56. 7. 2	1981	<p>梅雨前線と雷雨により、2 日までに 100mm をこす先行降雨があり、そのうえ 3 日夜半からの短時間の大雨で、九頭竜川本川中角、日野川深谷では警戒水位を越え、低地の浸水、山くずれが相次ぎ支川の小河川では氾濫や堤防決壊の被害が生じた。</p> <p>全壊流失・半壊家屋 21 棟、床上浸水家屋 624 棟、床下浸水家屋 2,356 棟、農地・宅地等浸水面積 3,756 ha。</p>
	58. 9. 27	1983	<p>台風 10 号の大雨で日野川深谷で警戒水位を越え、日野川流域を中心に各地で被害が発生した。</p> <p>床上浸水家屋 5 棟、床下浸水家屋 292 棟、農地・宅地等浸水面積 234 ha。</p>
平 成	元. 9. 5	1989	<p>前線の活動により九頭竜川上流で局地的な豪雨となった。</p> <p>床上浸水家屋 6 棟、床下浸水家屋 381 棟、農地・宅地等浸水面積 2,500 ha。</p>
	元. 9. 18		<p>停滞していた秋雨前線が台風 22 号に刺激され活動が活発となり、福井市や武生市などで局地的な豪雨となった。</p> <p>床上浸水家屋 1 棟、床下浸水家屋 329 棟、農地・宅地等浸水面積 2,225 ha。</p>

出典：「福井気象台資料」「福井県土木史」「水害統計」「台風十三号災害誌（福井県）」「40.9 三大風水害記録（福井県）」

5. 近年の渇水（平成6年）

平成6年夏期は、6月の降水量が六呂師、瀬戸で平年の約60%、7月が上流域で平年の約13～21%、8月が平年の26～52%と極めて少雨であった。そのため、日野川上流の広野ダムでは、8月9日に貯水率がゼロになり、底水の放流を続けて渇水被害の軽減に努めたが、8月末にはこれも無くなり、自然に流入してくる分のみ放流するという事態となった。日野川では、ほとんど干上がった状態が続き、かつて経験したことがない渇水状態となり、農業用水を確保するために地下水を汲み上げるハイブを打ち込んだり、上水道・工業用水の給水制限を実施した。しかし、九頭竜川本川流域では、大野市で湧水が減少し6.5時間の夜間断水が15日間続いたものの、鳴鹿大堰から取水している十郷・芝原用水を利用している約10,400haの農地には影響が無く、ダムの恩恵を受け深刻な事態を回避することができた。

5-1 降水量

九頭竜川水系の上流域における平成6年の降水量と平年値を比較すると、表5-1に示すとおりである。

表5-1 降水量比較

（単位：mm）

観測所	六 呂 師		瀬 戸		織 田		福 井	
	平成6年	平年値	平成6年	平年値	平成6年	平年値	平成6年	平年値
1 月	329.2	414.8	242.6	350.3	312.7	313.0	199.0	262.1
2 月	320.5	331.7	262.6	281.0	217.1	249.5	172.0	180.4
3 月	149.4	208.0	183.9	184.2	107.8	177.9	94.0	141.3
4 月	142.2	241.8	113.4	158.9	105.6	153.7	108.0	132.5
5 月	169.1	220.5	196.7	170.0	138.6	168.7	104.0	142.3
6 月	187.7	313.5	137.7	234.1	149.3	164.6	134.0	184.2
7 月	62.7	387.7	48.8	234.2	27.6	215.8	41.0	192.5
8 月	64.4	248.3	95.9	184.6	54.3	162.4	14.0	124.3
9 月	248.9	275.2	378.6	193.3	296.0	232.0	222.0	205.3
10 月	125.9	206.8	83.3	181.7	99.2	171.4	93.0	144.5
11 月	159.9	247.6	155.2	188.9	158.4	240.2	111.0	192.3
12 月	376.8	321.7	347.9	248.0	314.6	332.1	236.0	212.6
年間計	2336.7	3414.5	2246.6	2838.7	1981.1	2642.8	1528.0	2114.3

（平年値：昭和51年～平成6年の平均値）

5-2 九頭竜川の流量

九頭竜川中角地点の流量は、平成6年7月14日から8月14日までの約1ヵ月間10.0m³/s程度の状況が続いた。また、日野川の三尾野でも7月11日から8月18日まで、5.0m³/s以下の状況が続いき、平年と比べて極めて低い値を示した。

5-3 渇水対策本部の設置状況

各市町村の渇水対策本部（会議）等の設置と解散状況は、表5-2のとおりである。

表5-2 流域内各市町村の渇水対策本部（会議）等の設置と解散状況

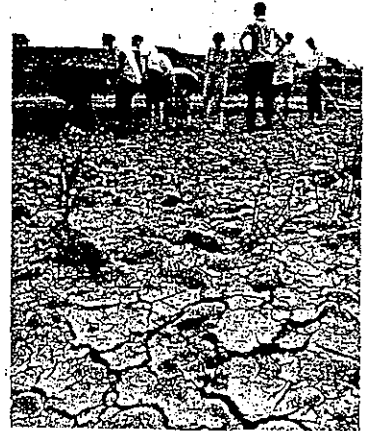
市町村名	対策本部（会議）等の名称	設置日	解散日
福井県	渇水対策連絡会議	7月29日	10月24日
武生市	水不足対策庁内連絡会議	8月1日	9月19日
大野市	大野市渇水対策本部	8月12日	9月30日
鯖江市	鯖江市渇水対策連絡会	8月1日	9月8日
永平寺町	永平寺町渇水対策本部	8月12日	10月18日
今立町	水不足対策連絡会議	7月21日	9月20日
朝日町	朝日町農作物等渇水対策本部	8月5日	11月21日
宮崎村	宮崎村渇水対策本部	8月12日	9月4日
織田町	織田町渇水対策協議会	8月8日	9月9日
清水町	清水町農業用水渇水対策本部	7月27日	9月12日

5-4 新聞報道にみる渇水状況



7月27日 福井新聞

渇水、ほ乾が深刻な本県地方、二十六日は福井市で午後一時三十七分に（）の最高気温三六・二度を記録。七月としては福井地方気象台が昭和二十三年に観測を始めて以来、二番目の暑さだった。一日の本県地方は太平洋高気圧の影響でよく晴れたが、台風7号による偏風が入り込んだ。午前七時には三〇度を超え、七月としては昭和



干上がった足羽川の川辺＝福井市内

福井市 7月では観測史上2番目

福井市地方気象台は十六日、少雨に因り農業用水不足を懸念した。本県地方は降水量が少なく、状態が懸念されている。一日の観測も晴れの日は多いが、半乾いた雨は降らないうつ。七月に入ってから二十五日までの降水量は、福井市で平均三三・多岐四六・敦賀四九・同四三・九一となり、や水の管理に注意を呼びかけている。

三十七年の三十七・〇度以下記録となった。県内各地でも、小浜で最高三十四・七度、敦賀三三・五度、大野三三・〇度、あまがさき三三・〇度とだった。福井市の最低気温は二七・八度（午前三時半）、九時までは三三・〇度、七月中の一日の最低気温としては過去最高を記録した。

8月7日 福井新聞



ポンプアップした融雪水を流す 鯖江市平井町の農道側溝

カラカラ水田に融雪水

吉川・立待で120%

県内初 今月いっぱい給水

鯖江市

県道の融雪水をくみ上げ、農業用水に転用。吉川、立待地区の水田百二十畑に給水し始めた。同市の農科部では日野川水系の河川水を農業用水に使っているが、日野川の水量が大幅に減り、支流の河川は枯渇状態、特に吉川、立待地区では日野川のため池の水が枯渇し、ポンプアップして、灌漑の地で水管理している。田の地割れがひどい。稲の生育が心配され、融雪水の転用に踏み切った。一日午前十一時、市農林課の地元農家組合役員らが立ち会って、吉川橋西の農道側溝に融雪水を流す。同市では川原町と立待町でも融雪水を転用する準備をすすめている。

足羽川干上がる」

農業用水確保でせき止め

8月18日 日刊福井



福井天神橋から昆沙門橋間1+。下流わずかに流れ

福井市の市街地を流れる足羽川が、所々の所で干上がり、農業用水の確保に支障をきたしている。福井市は、足羽川(下流)の福井一丁目(福井市)と、足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、昆沙門橋(福井市)と天神橋(福井市)の間で、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

「(福井市)足羽川は、流量のダウンが続いて、それに加え、農業用水を確保する足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

向えん境では、日光が強く、六分なほどの土壌が、厚く水が蓄えられ、一丁目の水田をめぐり、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

8月18日 福井新聞

九頭竜ダム水位最低

貯水率38%に 来月下旬まで供給OK

本日は恒益を通しても雨がなく、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。九頭竜ダムの貯水率は、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。九頭竜ダムの貯水率は、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。九頭竜ダムの貯水率は、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。

類田組は、七市町の町民、助成が出資。『環境で活力ある、開かれた福祉社会』をテーマに、市の取り組み、事業紹介などがあつた。

田に必要なが水がないため、用水を不正にせき止める人が後を絶たず、同組合には世間の注目も相次いでいる。農業用水確保は、福井市と、足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

水田の稲がひび割れ、稲の根が弱っているところから、コンバインなどに稲を収穫する。農業用水確保は、福井市と、足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

一方、足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。農業用水確保は、福井市と、足羽川(上流)の福井一丁目(福井市)の間に、せき止めを行い、農業用水を確保する。

知事と市長が意見交換する。九頭竜ダムの貯水率は、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。九頭竜ダムの貯水率は、現在一日五十ミリ、貯水率が38%に低下している。

12月8日 中日新聞



水飢きん

水不足の深刻さを示す記事の抜粋。各地で農業用水が不足している状況が報告されている。

農工業用の取水制限

農工業用の取水制限に関する詳細な報道。各地で農業用水が不足している状況が報告されている。また、工業用水の確保についても言及されている。



貯水率ゼロの広野ダム (8月19日)

広野ダムの貯水率がゼロに達しているという報道。ダム周辺の状況も写真で確認できる。

水稲の被害13億円

水不足による水稲の被害額が13億円に達したという報道。各地で稲作被害が拡大していることが示されている。

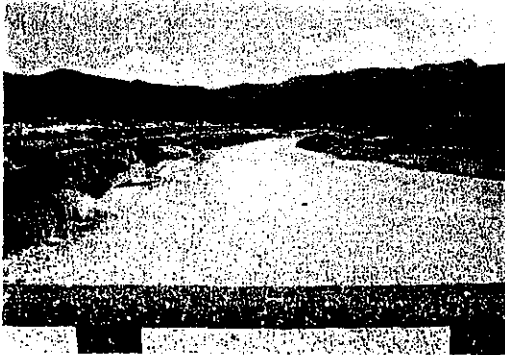
流れのみられない日野川
武生市村国二丁目地先
豊橋より上流 (8月31日)



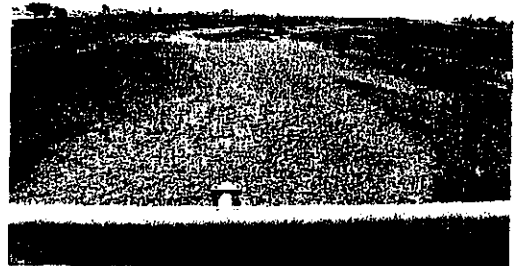
貯水率ゼロの広野ダム (8月19日)



流れのみられない足羽川
毘沙門橋より上流 (7月18日)



天神橋下流 (8月29日)



6. 治水

6-1 明治時代までの治水事業

継体天皇が越前の国にあって男大迹王子とばれていた頃は、今の福井平野が大きな湖沼であって、そこに九頭竜川、日野川、足羽川が流入していた。いつしか上流から運ばれてきた土砂によって湖沼や川底が高くなり、大雨のたびに氾濫を繰り返していた。そのようなありさまを見た男大迹王子は、朝命によって三国で河口を切り開き、大湖の水を日本海に流出させ、その跡地を一大水田と化すとともに、舟運やかんがいの便を図ったと伝えられている。伝承ではあるが、九頭竜川の治水の端緒は、この男大迹王子によるものであると信じられており、足羽山の山頂には継体天皇の徳を偲んで足羽神社が造営され、1883年には三頭身の石像も建立された。

その後においても九頭竜川は、鳴鹿地点より福井平野にでるとき、鳴鹿を扇頂とする扇状地を流れるため河道が一定せず、大雨のたびに洪水となり溢水、氾濫して大きな被害を生じていた。

荘園時代やその後の江戸時代には領土が入り乱れ、自領を治めることにとらわれ、また財政的な面もあって、統一した治水工事が行われなかった。しかし、江戸時代には城と城下町を洪水から守るための築堤工事が行われた。代表的な堤防としては、福井城下を洪水から守るため、結城秀康が国家老の本多富正（元覚）に命じて行った九頭竜川左岸の松岡から北野にかけての連続堤「元覚堤」、日野川の府中（武生）南方の「昼夜堤」、大野城に対する「堀兼堤」などがある。

6-2 明治時代の治水事業

明治時代に入り、維新後の混乱により実現しなかったが、福井藩の新堤防築造計画が端緒となり、水衝部の河道を固定する低水工事や、局部的な築堤工事が実施されるようになった。その一つが、坪田仁兵衛をはじめとする多くの人々の請願が実を結び、明治31年(1898年)3月から同41年(1908年)にかけて行われた、高屋から正善にいたる約4.8キロメートルの春江堤防である。

明治28、29年の大洪水を契機に九頭竜川改修の気運が高まったところへ、明治29年(1886年)に旧河川法が公布され、淀川など他の重要河川とともに連続堤防を築き洪水に対処するとともに、河川水運にも配慮した九頭竜川改修基本方針が樹立され、それに基づいて九頭竜川改修工事が明治33年(1900年)から内務省直轄工事として進められ、第一期改修工事として福井市や福井平野などの洪水防御を目的に築堤・掘削工事などを九頭竜川、日野川下流部、足羽川で実施し、明治44年(1911年)に完成した。また、日野川上流部の築堤工事および支川浅水川の付替工事を目的にした第二期改修工事が明治43年に着手し、大正13年(1924年)に完成した。この一連した工事は、福井平野部の九頭竜川本川、日野川、足羽川などの築堤および旧堤を拡築するなどの画期的な大工事であった。その大工事を後世に伝えようと足羽神社境内には、九頭竜川修治碑が建てられている。また、改修工事の実現には、多くの人々が尽力したが、中でも衆議院議長にもなった杉田定一の功績が大きく、西藤島公民館に治水謝恩碑が建てられている。

6-3 昭和時代の治水事業

その後、昭和23年(1948年)6月28日の福井大地震によって九頭竜川、日野川、足羽川、竹田川等の堤防が約1～5メートルも沈下し、各所で地割れや陥没、崩壊などの惨状を呈した。その上、同年7月の出水によって九頭竜川本川左岸福井市灯明寺地先で破堤した。その災害復旧工事は、終戦後間もない物資統制や交通運輸の不便など混乱期に建設省直轄工事（当初は福井県より委託）

として原形復旧工事を実施し、昭和28年(1953年)3月に竣工した。

しかし、その直後の同年9月、台風13号がもたらした出水により日野川右岸福井市三郎丸地先などで破堤し、大被害を蒙ったので昭和31年(1956年)度より再改修事業に着手したが、昭和34年(1959年)の伊勢湾台風、昭和36年(1961年)の第二室戸台風、昭和40年(1965年)9月の奥越豪雨などの大出水により、九頭竜ダム(昭和43年竣工)、真名川ダム(昭和54年竣工)などの建設を含めた治水計画を改訂し事業を実施してきた。

しかしながら、近年において流域の開発が進み、流域の人口が増加し、また経済の拡大など資産の増大と、足羽川の計画規模を上まわる大出水などにより、治水の安全度が低下したため、治水計画を再検討し、九頭竜川本川基準地点中角での基本高水流量 $8,600\text{m}^3/\text{s}$ とし、上流のダム群によって $3,100\text{m}^3/\text{s}$ を調節し、計画高水流量を $5,500\text{m}^3/\text{s}$ とする工事実施基本計画を昭和54年(1976年)3月に改訂し、現在これに基づいて災害を防止することを目標に整備を行っている。

主要事業としては、日野川五大引堤や中角地区引堤、鳴鹿大堰建設の継続、足羽川ダム建設、日野川合流点の防災ステーションや堤防耐震対策の実施、流域住民の交流と意見交換による「自然と人間の共生プランづくり」を進めているドラゴンプロジェクト、九頭竜川水系治水100周年事業の推進など、さまざまな取り組みを実施している。

なお、真名川ダムの治水機能を維持確保するため、昭和53年度より真名川流域において建設省直轄砂防工事が行われている。

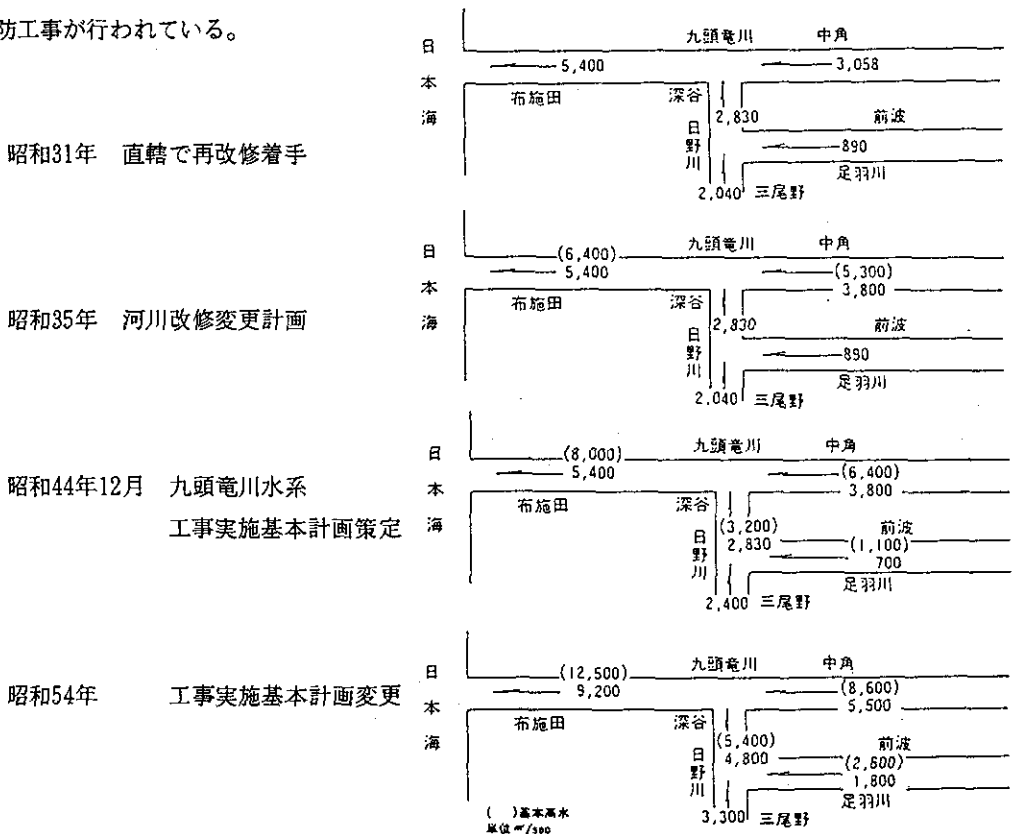


図6-1 九頭竜川計画高水流量図

6-4 治水計画・事業の経緯

九頭竜川水系の治水計画と治水事業の経緯は、表6-1に示すとおりである。また、その概要は次に記述するとおりである。

表6-1 治水計画と治水事業の経緯

工 事 名	工 期	着手の契機	計画高水 (基本高水)	工 事 内 容
九頭竜川改修 第一期工事	明治33年 44年	明治18年、 明治28年、 明治29年、 明治32年の 4大洪水	(九頭竜川) 布施田4,170m ³ /s 中 角3,058m ³ /s (日野川) 深 谷1,667m ³ /s (足羽川) 前 波 695m ³ /s	九頭竜川左岸約21.4km、右岸約 23.4kmの築堤、日野川左岸約5.1 km、右岸4.3kmの築堤、足羽川右 岸役12.6km、左岸10.8kmの築堤、 七瀬川左右岸延約3.2kmの築堤、 河口部の浚渫、足羽川は水越地 内で放水路を新設、荒川水門等
九頭竜川改修 第二期工事	明治43年 大正13年	明治時代の 4大洪水	(日野川) 三尾野1,389m ³ /s	日野川増水時の支川筋への逆流 被害防止を目的に、築堤あるい は修築、河道掘削・浚渫、浅水 川のショートカット、狐川に水 門を設置、その他
災害復旧工事	昭和23年 昭和27年	昭和23年6 月福井地震		九頭竜川、日野川、足羽川で合 計47.4kmの堤防・護岸・樋門等 構造物等の復旧
九頭竜川 再改修工事	昭和31年 昭和35年	昭和28年9 月台風13号 出水	布施田5,400m ³ /s 中 角3,058m ³ /s 深 谷2,830m ³ /s 三尾野2,040m ³ /s 前 波 890m ³ /s	低水路の浚渫、高水敷の掘削に よる河積拡大と堤防嵩上・補強 浚渫・掘削土は湿田の乾田化に 使用する。水制の補強、樋門樋 管の改築、その他
改修変更計画	昭和35年	昭和34年8 月台風7号 出水及び9 月15号出水	布施田5,400m ³ /s (6,400m ³ /s) 中 角3,800m ³ /s (5,300m ³ /s)	九頭竜ダム建設による洪水調節 を検討
九頭竜川水系 工事実施基本 計画	昭和41年	昭和41年の 一級水系 指定	布施田5,400m ³ /s (6,400m ³ /s) 中 角3,800m ³ /s (5,300m ³ /s)	九頭竜ダムの建設 九頭竜川、日野川の堤防拡築、 河道掘削・浚渫、護岸、水制の 施工、その他
九頭竜川水系 工事実施基本 計画(第1回 改訂)	昭和43年	昭和40年の 奥越豪雨	布施田5,400m ³ /s (8,000m ³ /s) 中 角3,800m ³ /s (6,400m ³ /s) 深 谷2,830m ³ /s (3,200m ³ /s) 三尾野2,040m ³ /s (2,400m ³ /s) 前 波 700m ³ /s (1,100m ³ /s)	真名川ダムなど上流ダム群による 洪水調節 九頭竜川、日野川の築堤・護岸 および拡築、河道掘削による河 積拡大、江端川・荒川・狐川な どの低地河川の内水対策、その その他
九頭竜川水系 工事実施基本 計画(第2回 改訂)	昭和54年 現在	昭和47年9 月台風20号 出水、 昭和50年8 月台風6号 出水	布施田9,200m ³ /s (12,500m ³ /s) 中 角5,500m ³ /s (8,600m ³ /s) 深 谷4,800m ³ /s (5,400m ³ /s) 三尾野3,300m ³ /s (3,300m ³ /s) 前 波1,800m ³ /s (2,600m ³ /s)	2日雨量の超過確率1/150年で計 画の見直しを図る。上流の多目 的ダム群による洪水調節と水資 源の合理的利用の促進。 九頭竜川堤防の新築・拡築、河 道掘削、日野川五大引堤などの 促進、内水対策、足羽川ダム建 設、その他

(4) 北川流域の概要

建設省近畿地方建設局福井工事事務所

目 次

1. 北川流域の概要	73
1-1 概 要	73
1-2 北川流域の歴史	75
(1) 北川の名の由来	75
(2) 流域の歴史	75
(3) 河道変遷	76
2. 流域の特性と現況	79
2-1 概 要	79
2-2 地 形	79
2-3 地 質	79
2-4 気象・降水量	79
2-5 水 文	81
(1) 河川流量	81
(2) 水 質	82
2-6 動植物	83
(1) 動物環境	83
(2) 植物環境	83
2-7 河川利用	84
(1) 水 利用	84
(2) 河川敷利用	84
3. 流域の社会、産業、文化	85
3-1 人口の推移	85
3-2 土地利用	85
3-3 産 業	86
3-4 文 化	87
(1) 公 園	87
(2) 観光資源	87
(3) 文化財	89
4. 洪水記録	90
4-1 古文書に見られる水害	90
4-2 昭和時代の水害	90
4-3 水害年表	91
5. 近年の渇水(平成6年)	93
5-1 降水量	93
5-2 北川の流量および流況	93
5-3 渇水対策本部の設置状況	93
5-4 新聞報道にみる渇水状況	94
6. 治 水	95
6-1 江戸時代までの北川	95
6-2 大正後期から昭和初期にかけての北川改修	95
6-3 昭和時代の治水事業	96
6-4 治水計画・事業の経緯	97

1. 北川流域の概要

1-1 概要

北川流域は、京都府・滋賀県に接する福井県嶺南部の若狭地方の中央部に位置し、福井・滋賀の2県にまたがり、流域面積が224.4km²で福井県面積に対して約5%である。

流域内には、若狭地方の中核都市である小浜市、京への物資輸送の中継地として栄えた上中町、琵琶湖に面し畿内と若狭・北陸地方を結ぶ陸上・湖上交通の要所として栄えた今津町の1市2町がある。この地域は、古くから大陸と京都や畿内の中間に位置しているため、文化・経済面で重要な役割を果たしてきた。

北川は、その源を滋賀県と福井県との境をなす野坂山地の三十三間山付近に発し、三重岳、武奈岳に遮られた滋賀県今津町の山間部を南流して、県境付近において左支川の寒風川を合わせ、流路を北西に転じ上中町にて右支川鳥羽川を、さらに小浜市にて左支川遠敷川を合わせて日本海に注いでいる。北川は、幹線流路延長が約30.3kmと一級河川のなかでは短い方である。

北川は、河口より15km区間を直轄管理しているが、その区間の勾配が1/160～1/800で平均河床勾配で約1/250、河口より7km区間の平地部においも約1/500と日本の河川のなかでも比較的急勾配な河川の部類に入る。したがって、大雨が降ると短時間のうちに急激に増水するので、河川の水位の減少速度も早く、現在でも霞堤が残っている。流域の土地利用形態は、北川の下流に開けた小浜市内を除いて、北川沿川のほとんどが田畑であり、集落は少し高い山すそなどに点在している。

北川水系主要河川の流域面積、流路延長等をまとめると表1-1のとおりである。

表1-1 北川水系主要河川諸元表

河川名	流域面積 (km ²)	山地面積 (km ²)	山地率 (%)	幹線流路延長 (km)	計画高水流量 (m ³ /s)
北川	224.4	184.3	82.0	30.3	700(新道) 1,100(日笠) 1,900(高塚)
天増川	21.5	21.5	100.0	11.0	
寒風川	16.8	16.8	100.0	8.4	
河内川	16.3	16.0	98.2	6.8	
鳥羽川	26.4	19.2	72.7	9.2	
野木川	15.3	13.0	81.8	7.5	
遠敷川	58.3	54.8	94.0	14.9	
江古川	8.3	5.2	62.7	4.4	
多田川	9.7	7.1	73.2	7.4	
本川下流域	51.2	30.7	60.0	19.3	

図1-1 北川水系流域図

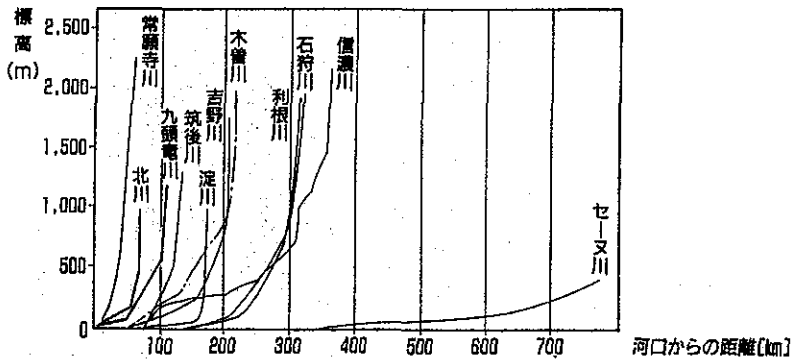
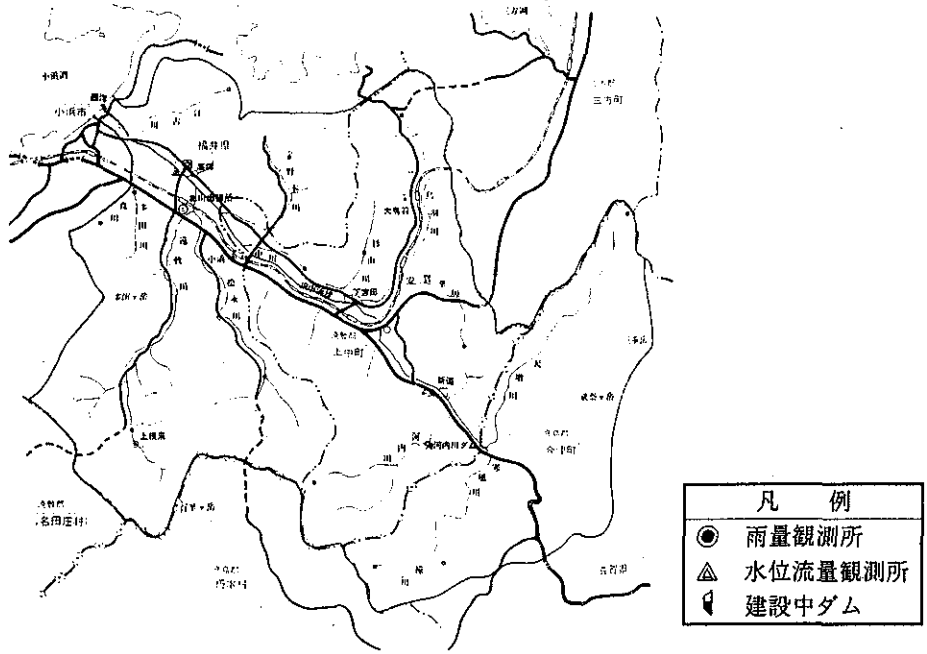


図1-2 勾配図

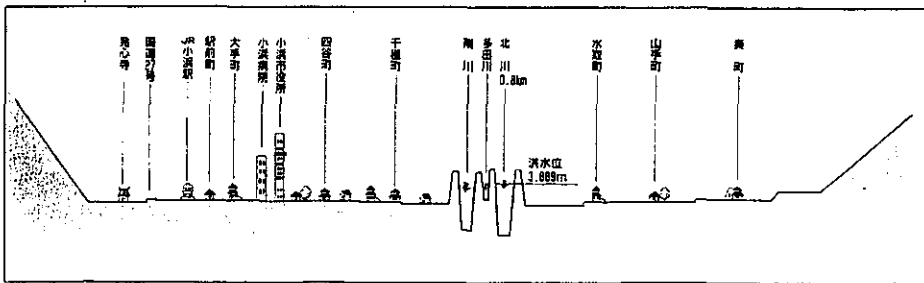


図1-3 北川と周辺部の横断面図

1-2 北川流域の歴史

(1)「北川」名の由来

北川という名称が使われはじめたときは定かではないが、河口に位置する小浜城の北側を流れていたもので、そのように呼ばれたらしいといわれている。また、丹波方面より流れてくる南川に対して、北川と呼ばれるようになったともいわれている。

(2)流域の歴史

若狭地方は、大陸に近いから早くから人が住み、北川・南川を身近な川として生活を営んできた。その証は、点在する多くの縄文・弥生遺跡や古墳などに見られる。

奈良時代には国分寺や神宮寺、羽賀寺、妙楽寺、多田寺等が、さらに平安時代には明通寺などが創建された。このように、若狭地方においては、早くから仏教文化の花が開き、現在でも荘厳で風格のある寺の前にただずむと古代若狭地方の文化の息吹が伝わってくる。

鎌倉時代には、奈良東寺などの荘園が発達し、府中には条里制が残っている。

室町時代には、南蛮船が小浜港に入り象・孔雀などが陸揚げされて献上されたと伝えられている。

戦国時代になると若狭藩主がたびたび変わり、関ヶ原の戦い後には京極高次が藩主となって北川河口に小浜城を築城し町割りを行った。この京極高次の室は、淀君の次妹である常高院殿で小浜市内の常高寺に葬られている。

江戸時代には、蘭学者杉田玄白、勤皇志士梅田雲浜などが小浜で生まれ育ち、日本の国を動かす知力をこの地で養ったのである。

1)北川の水運

現在の北川の姿からは、かつて水運が盛んであったと想像することさえ困難である。しかし、京極高次が入封以降、北海からの乾魚、塩物などさまざまな荷物を川舟と馬借でもって荷継場の熊川まで運び、さらに今津・木津を経て京都方面に運ばれたのである。舟は幅が四尺九寸（約1.5m）まで、一艘の積荷は十二駄まで、十六貫目の品物だと36個、十八貫目の荷物だと28個までとし、2人の船頭棹さしと3人の舟引きの5人で一艘の舟を操ったと記録されている。北川の水深は浅かったと想像されるので、舟も高瀬舟のような平舟であった。

水運を維持するために、京極・酒井の小浜藩主は、定期的に川渡などの川普請や河岸の柳切りなどを継続して行った。元禄の頃（1688～1703年）には川舟座が設けられ、舟の大きさや積荷の量、船頭棹さし・水主・舟引きの日当、舟賃などを定めて業者同志の協定を結び、相互繁栄を図ったのである。

この水運も、元禄の末には一家だけの営業となり、持舟も十四、五艘に激減した。その後、正徳の頃（1711年）には河床が流出土砂で埋まり神谷村どまりとなり、さらに延享5年（1748年）には神谷村までも通航不能となり、次第に衰退していった。

2)熊川宿と鯖街道（若狭街道）

小浜港に陸揚げされた北海道物は、川舟に積み込まれて北川を上ったり、馬借の肩にかつがれ

て北川に沿った若狭街道を国境近くの「熊川宿」へと運ばれたのである。この「熊川宿」は荷継所であるとともに番所所在の宿駅として栄えた。

熊川は、小浜藩にとっては軍事上重要であるとともに商業交通の要衝でもあり、それぞれの藩主は諸役を免除して、さまざまな恩典を与えてきた。その結果、明治初期でも問屋旅籠14軒、荷負稼60余戸が営業を行い繁盛していたと伝えられている。

問屋の倉庫は北川に面し、陸揚げ場には平らな石が敷き並べられ、川舟の発着がなくなった後も使用され、現在もその名残りをとどめている。

若狭街道（九里半街道とも呼ばれる）は、若狭地方はもちろんのこと、日本海のさまざまな産物を運ぶ道として使われてきた。そのうち、塩物の魚、特に鯖が京都の人々に好まれ「鯖街道」と呼ばれるようになったのである。



(3) 北川の河道の変遷

大正15年(1926年)からの北川改修事業に着手されるまでの北川は、河口付近において南川と合流し、小浜城の南側を巡って小浜湾に注いでいた。その後、昭和16年(1941年)まで16年の歳月を費やした内務省直轄改修事業は、蛇行していた南川をショートカットするとともに北川と分離させ、同時に北川を城の北側に新水路を掘って小浜湾に注ぐようになった。

北川と南川の河道変遷を古絵図や地図でみると次のとおりである。

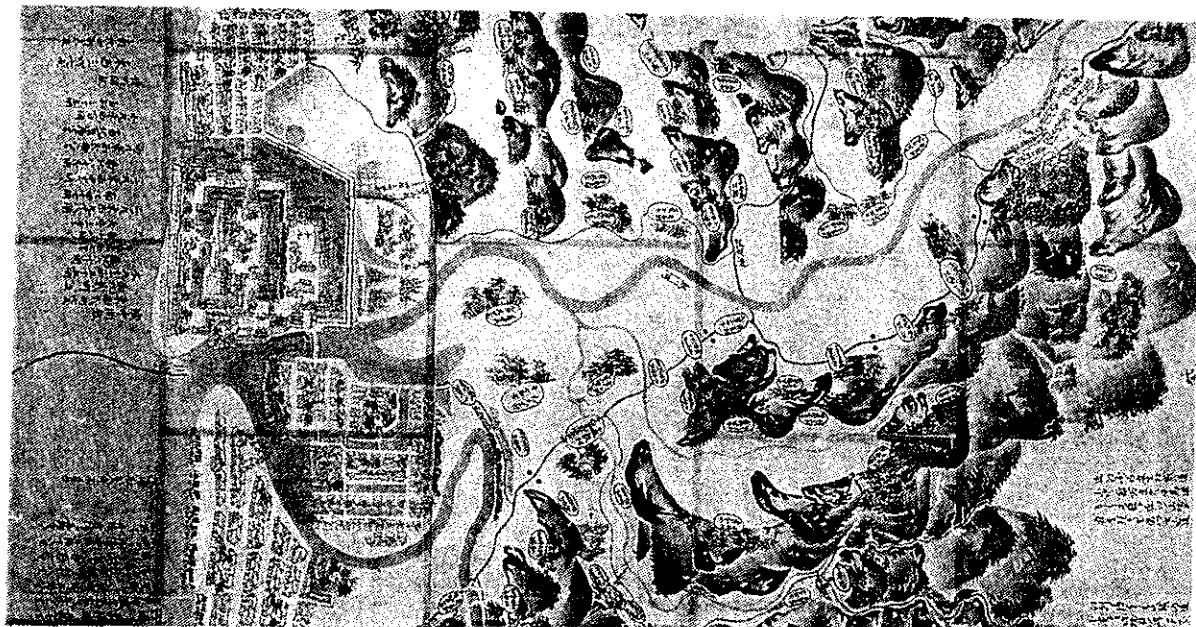


図1-4 正保2年(1645年)頃



图1-5 贞享2年(1685年)以前



图1-6 安永4年(1775年)以前

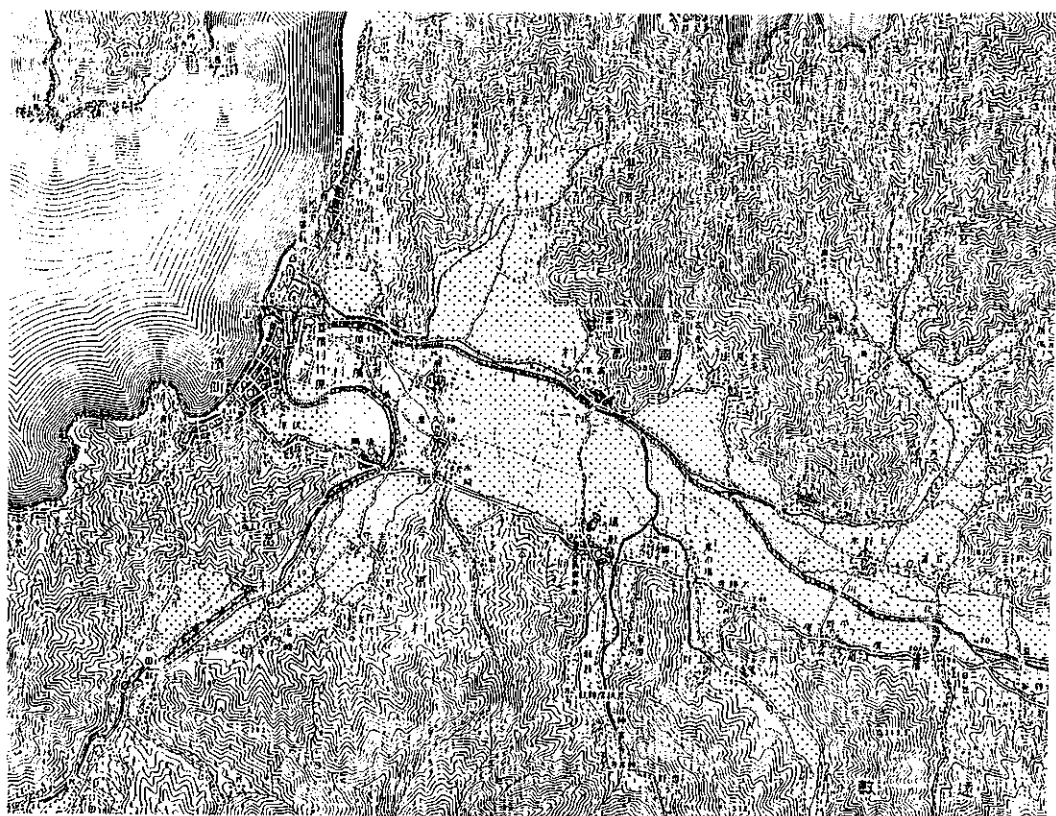


图1-7 明治26年(1893年)

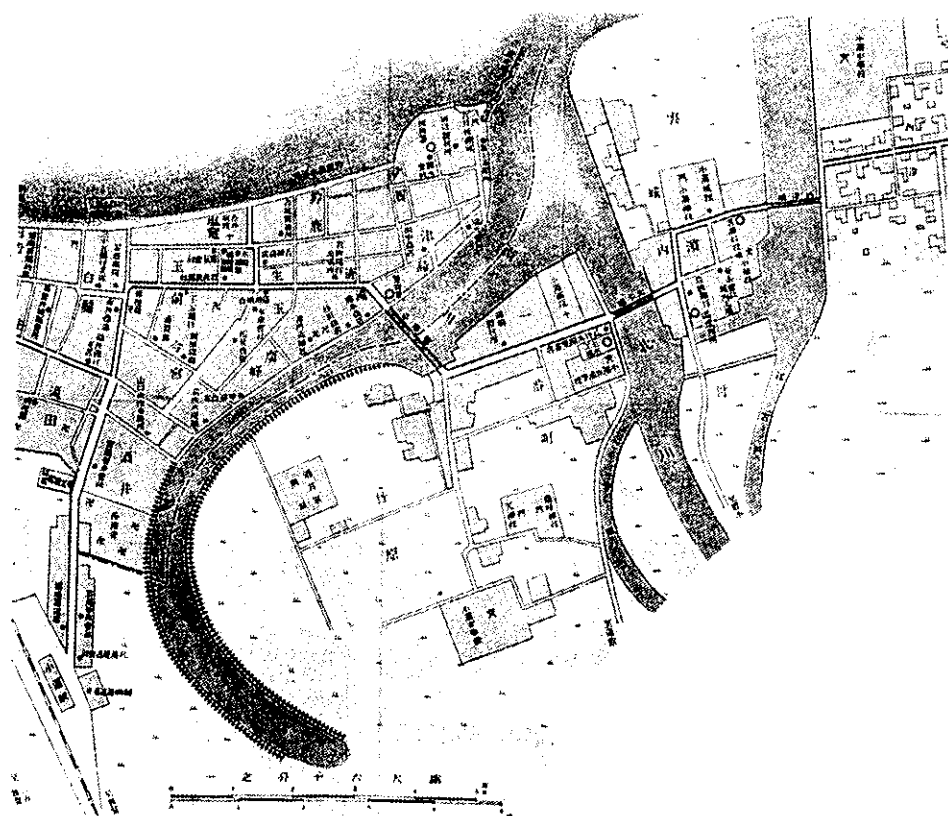


图1-8 大正15年(1926年)

2. 流域の特性と現況

2-1 概要

北川上流域は、標高500～1,000mの山地であり、ほぼ北から流れてくる天増川と南東方向から流れてくる寒風川とが県境の大杉あたりで合流し、ここから北東方向に狭い谷底平地をぬって流れる。鳥羽川が合流する上吉田付近からは、谷底平野を北東方向にほぼ直線に流れ、小浜市の沖積地に至り小浜湾に注いでいる。

流域の地質は、古生代二畳紀～中生ジュラ紀の丹波層群からなり、これを新生代第四紀の沖積層が被覆している。

流域の気候は、日本海型気候区に属するため冬期と夏期に降水量が多く、1年間に山地部では約2500mm、平地部で約2000mmの降水量がみられる。

流域内の産業は、米・野菜類などの農産物や若狭塗・若狭和紙・若狭めのうといった伝統産業、景勝地や古社寺をめぐる観光産業に、近年において電気製品などの工場の進出による工業生産も伸びてきている。

2-2 地形

北川は、中国山脈系古生層からなる野坂山地と若越破砕帯との間に発達した熊川断層に沿って西北西に流れる直線状の河川である。流域の南部・東部は500～1,000m、北部は200～300mの山に囲まれている。北川に沿った扇状地性の谷底平野は、幅が約1～1.5kmで、標高が約50～2mと河口に向かって傾斜している。

2-3 地質

流域の地質は、古生代二畳紀～中生ジュラ紀の丹波層群からなり、これを新生代第四紀の沖積層が被覆している。丹波層群は、頁岩・粘板岩・塩基性海底火山岩類・砂岩・チャートによって構成されている。北川南方には、小規模な石灰岩体も分布している。

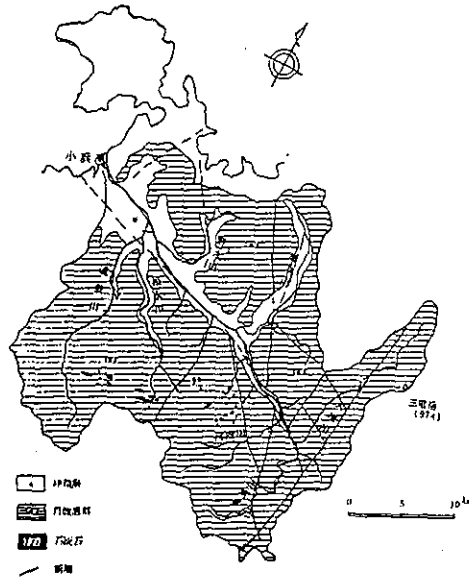


図1-9 地質図

2-4 気候・降水量

北川流域は、日本海型気候区に属するため冬期と夏期に降水量が多く、1年間に山地部では約2500mm、平地部で約2000mmの降水量がある。

平均気温は、1月が3～4℃、8月が27℃前後である。

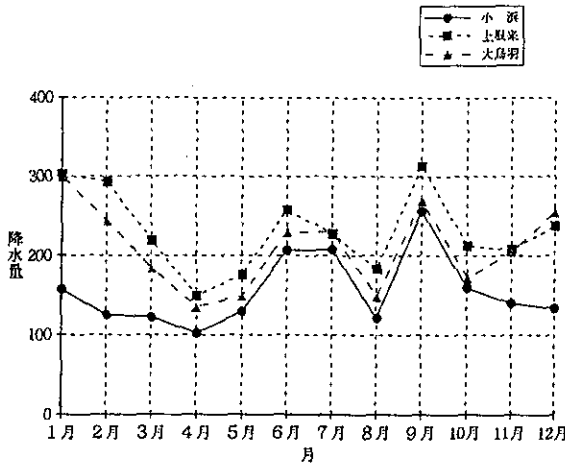


図1-10 主要観測所の月別降水量

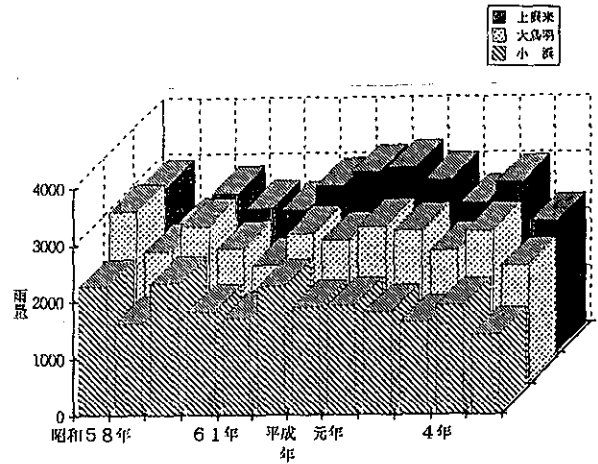
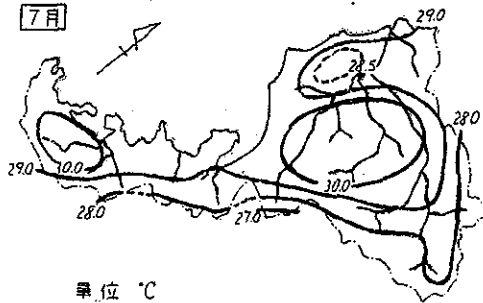


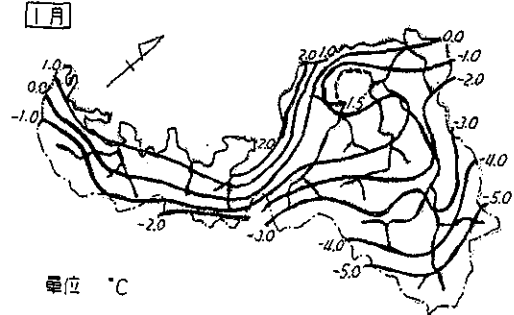
図1-11 年間降水量

最高気温(7月)分布図



最高気温分布図

最低気温(1月)分布図



最低気温分布図

図1-12 気温

表1-2 主要観測所の月別降水量 (昭和58年~平成6年)

(単位: mm)

観測所	小 浜	上 根 来	大 鳥 羽
1月	157	302	299
2月	125	293	244
3月	122	219	184
4月	102	149	135
5月	129	176	149
6月	207	258	230
7月	208	228	230
8月	121	183	148
9月	256	313	270
10月	159	212	172
11月	140	208	205
12月	134	238	255

表1-3 年間降水量

(単位: mm)

	小 浜	上 根 来	大 鳥 羽
昭和58年	2,254.0	2,927.7	3,034.4
59年	1,596.5	2,261.8	2,337.8
60年	2,306.5	2,812.0	2,776.3
61年	1,801.0	2,547.0	2,381.3
62年	1,677.0	2,517.2	2,079.8
63年	2,242.0	2,935.6	2,631.9
平成 元年	1,870.0	3,168.4	2,519.5
2年	1,908.0	3,249.5	2,746.9
3年	1,773.0	3,027.0	2,676.0
4年	1,601.0	2,623.4	2,332.8
5年	1,898.0	2,976.7	2,672.3
6年	1,374.0	2,300.0	2,055.6

2-5 水 文

(1)河川流量

北川の年間流出量は約3.7億 m^3 であるが、100 km^2 当たりの比流量で見ると約6.0 m^3/sec であり、九頭竜川の約9.0 m^3/sec よりかは少ないものの、淀川の約3.8 m^3/sec よりは多い。しかし、上流にダムがないこと、急勾配河川であるため降雨はすぐに日本海へ流出する。このため、干天日が続くと水量が減少して、水筋も狭くなってしまう。特に、平成6年の夏期には大渇水となった。

表1-4 流 況 (期間：昭和47年～平成6年)

河川名	観測所	流域面積 (km^2)	流 況 (m^3/s)						年総量 $\times 10^6$ (m^3)
			豊 水	平 水	低 水	渇 水	最 小	年平均	
北 川	高 塚	201.6	13.55	7.98	4.19	1.39	0.01	11.45	361.46

表1-5 月別平均流量

(単位： m^3/s)

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和57年	18.22	15.59	18.96	13.66	3.17	5.26	2.64	22.66	12.13	4.66	6.75	11.14
昭和58年	12.46	10.93	19.25	9.95	4.31	8.46	12.96	20.57	20.43	14.93	9.88	11.17
昭和59年	9.42	8.23	15.58	34.06	9.60	6.65	6.81	1.52	2.36	2.77	3.66	7.67
昭和60年	10.70	18.46	19.75	13.23	6.02	16.38	40.00	1.15	5.95	3.68	6.27	9.76
昭和61年	8.60	9.70	27.52	17.76	10.26	5.16	24.62	3.90	2.82	4.17	4.81	9.90
昭和62年	15.84	14.72	16.51	4.31	4.02	4.43	4.22	4.60	10.90	5.82	6.04	5.98
昭和63年	10.68	13.58	27.55	11.25	12.65	26.65	17.68	10.11	7.92	5.68	5.49	7.29
平成元年	11.87	23.68	13.80	7.77	8.78	9.44	7.78	7.49	29.43	8.80	9.46	11.20
平成2年	17.14	20.53	12.54	7.40	6.76	4.99	3.39	1.35	33.62	22.41	18.54	15.55
平成3年	18.15	22.42	25.87	12.98	7.36	9.27	18.12	3.64	3.38	17.70	8.69	13.00
平成4年	14.73	16.54	23.44	10.38	7.71	5.32	13.53	8.92	3.65	5.62	6.50	14.04
平成5年	14.96	28.42	12.25	4.88	4.90	10.81	18.52	10.19	16.76	7.14	12.11	14.47
平成6年	11.22	16.66	13.95	7.88	4.38	3.34	0.76	1.35	13.04	5.73	2.69	7.26
平 均	13.38	16.88	19.00	11.96	6.92	8.94	13.16	7.50	12.49	8.39	7.76	10.65

表1-6 流 況 (高塚観測所)

(単位： m^3/s)

年	流況	最 大	豊 水	平 水	低 水	渇 水	最 小	年平均
昭和58年		295.91	14.00	10.27	6.96	0.81	0.34	12.97
59年		101.75	9.86	4.90	2.42	1.04	0.55	9.00
60年		633.52	13.82	8.36	3.15	0.48	0.31	12.61
61年		214.96	12.96	7.23	3.27	1.96	0.98	10.81
62年		223.96	9.82	4.99	2.74	1.67	1.21	8.08
63年		300.66	13.95	8.32	5.62	3.02	1.21	13.04
平成元年		364.95	13.94	9.66	5.97	2.27	1.09	12.35
2年		813.59	15.18	7.96	4.24	0.60	0.43	13.60
3年		137.54	16.30	9.61	4.92	2.23	0.78	13.36
4年		158.68	13.81	8.04	3.81	1.90	1.07	10.88
5年		183.23	14.96	9.49	4.84	1.91	1.15	12.84
6年		347.86	10.04	4.43	1.89	0.12	0.00	7.29
平 均		314.72	13.22	7.77	4.15	1.50	0.76	11.40

(2) 水質

1) 水質環境基準の類型指定

北川の水質環境基準の類型指定と指定水域の範囲、達成期間等は、表1-7に示すとおりである。また、類型指定図は、図1-13のとおりである。

表1-7 環境基準

水域の範囲	類型	達成期間	暫定目標	指定年月日
北川上流（新水道橋から上流）	A	イ	—	昭和49年3月1日
北川上流（新水道橋から下流）	A	ロ	—	

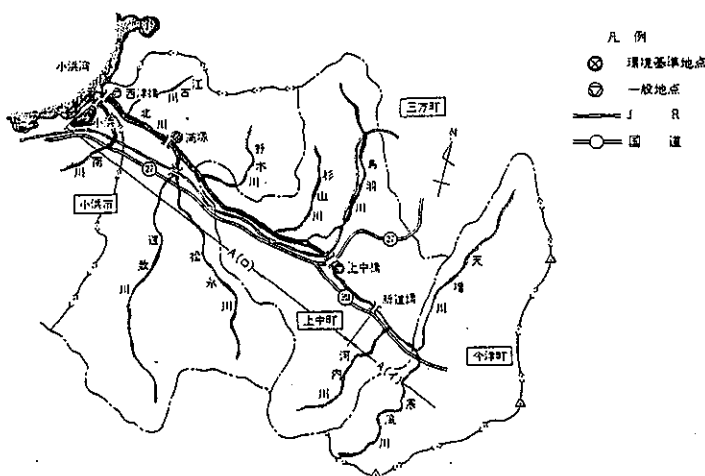


図1-13 北川水質環境基準類型指定図

2) 水質の現況

北川の水質は、環境基準地点である高塚においてBOD75%値が1mg/ℓ以下であり、環境基準類型Aを満足し、清冽な流れを保っている河川である。これは流域に汚濁源が少ないためである。

表1-8 高塚地点の水質経年変化（BOD75%値）

項目	(高塚地点 A類型)										備考
	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	
PH	7.1	7.0	7.3	7.5	7.4	7.2	7.3	7.4	7.3	7.5	
BOD	1.0	0.8	0.7	0.7	0.9	0.7	0.9	0.8	0.7	0.7	75%値
COD	1.6	1.4	1.5	1.8	1.6	1.7	2.1	2.4	2.1	1.5	
SS	7.9	5.8	6.7	6.8	8.7	16.1	18.2	39.0	21.0	7.8	
DO	10.4	10.4	10.3	10.7	10.4	10.1	10.3	10.4	10.3	10.5	
大腸菌群数	5.5	2.0	1.5	1.7	1.2	3.2	4.7	1.3	4.3	1.7	×10 ⁴

項目	(高塚地点 A類型)										備考
	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	
PH	7.5	7.4	7.6	7.5	7.5	7.5	7.4	7.4	7.3	7.4	
BOD	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	75%値
COD	1.8	1.7	1.6	1.2	1.8	2.2	1.6	1.7	1.7	1.6	
SS	6.0	15.0	9.0	9.0	10.0	19.0	9.0	6.0	4.0	6.0	
DO	10.4	10.4	10.3	10.5	10.4	9.9	10.3	10.4	10.5	10.1	
大腸菌群数	2.6	4.7	1.9	3.4	4.3	3.1	4.8	2.5	2.4	4.8	×10 ⁴

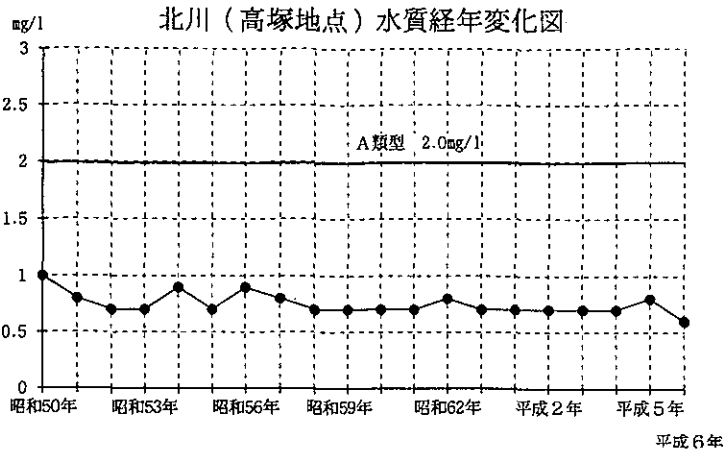


図1-14 水質経年変化図 (BOD75%値)

2-6 動植物

(1)動物環境

遠敷川上流には、鳥類ではクマタカ、獣類ではニホンカモシカの生息が確認されている。

魚類は、平成2年度の調査では21種の生息が確認され、上流域でイワナやアマゴといった溪流魚、中流から下流ではアユ、カマツカ、ウグイ、カワムツ、オイカワ、ヨシノボリ、ヒガイなど、下流ではボラ、クサフグ、シロウオといった汽水性の魚やウグイ、フナ、コイなどが比較的多く生息している。

(2)植物環境

北川流域の林相は、森林植物地帯の暖帯北部に属し、スギ・アカマツ・ヒノキおよび雑木林が主要な樹種となっている。遠敷川や天増川上流域の県境背稜では、オオバクロモジ・ブナ群集組成に共通するブナ・ミズナラ林が安定している。多田岳の山頂付近には、ハイヌガヤ型のクレー・ミズナラ林が優占している。

遠敷川上流には、下根来の白石神社に椿群生地、上根来の百里ヶ岳にはシャクナゲ自生地（県指定天然記念物指定）などがみられる。

北川下流の河原には、ツルヨシ・メドハギ群落が半安定帯の代表的な植生帯を構成し、それにケイヌカビエ・カヤツリグサ群落が散在する。

2-7 河川利用

(1) 水利用

現在、北川では農業用水に4.7591m³/sec、発電用水に0.278m³/sec利用されている。そのため、北川にはかんがい用水を取水する堰が多く築造されている。

北川の水利用は、表1-9に示すとおりである。

表1-9 北川利水状況

用水別	高塚地点上流		高塚地点下流		計	
	件数	許可量	件数	許可量	件数	許可量
上水	—	—	—	—	—	—
工水	—	—	—	—	—	—
農水	10	4.6191	1	0.14	11	4.7591
発電	1	0.278	—	—	—	0.278
その他	—	—	—	—	—	—
計	11	4.8971	1	0.14	11	5.0371

(1993日本河川水質年鑑による)

(2) 河川敷利用

現在北川では、河川敷の占用利用についてはされていない。

3. 流域の社会、産業、文化

3-1 流域内人口の推移

北川流域には、小浜市の約1/3、今中町、今津町の一部が含まれている。流域内人口は、平成7年国勢調査では約21,000人で、福井県人口の約2.5%である。人口の移りかわりを見ると、平成2年以降微増傾向にある。

表3-1 流域内人口の推移

	小浜市	上中町	今津町	合計	備考
昭和35年	13,407	9,143	-	22,550	小浜市 永敷 宮松 遠
昭和40年	13,158	8,567	-	21,725	
昭和45年	12,644	8,085	348	21,077	
昭和50年	12,763	8,049	288	21,110	今津町 大杉 山
昭和55年	12,770	8,108	223	21,101	
昭和60年	12,341	8,105	180	20,626	
平成2年	12,599	8,004	148	20,751	
平成6年	12,766	8,023	140	20,929	
平成7年	12,977	8,066	156	21,199	

(平成6年は統計年鑑、その他は国勢調査による)

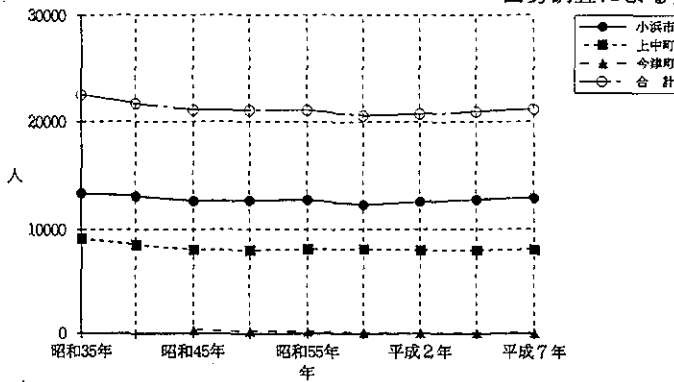


図3-1 人口推移図

3-2 土地利用

流域内市町である小浜市と上中町の土地利用は、約54%が山林、約18%が田畑、約4%が宅地である。山林と田畑が僅かずつ減少し、宅地と雑種地等が微増している。

表3-2 流域内市町の土地利用の推移

項目	昭和35年						昭和45年			昭和50年			昭和55年			昭和60年			平成2年																
	小	浜	市	上	中	町	小	浜	市	上	中	町	小	浜	市	上	中	町	小	浜	市	上	中	町	小	浜	市	上	中	町	小	浜	市	上	中
田	1,397.00	1,282.80	3,279.80	1,302.30	1,242.00	3,144.30	1,857.10	1,231.00	3,088.10	1,817.90	1,253.20	3,071.10	1,824.90	1,225.70	3,050.60	1,774.10	1,178.80	2,952.70																	
畑	465.00	169.40	634.40	346.30	158.90	503.20	323.90	160.20	490.10	306.20	158.30	464.50	309.80	152.40	462.20	298.10	149.80	447.30																	
山林	8,751.00	2,368.20	11,119.20	8,700.60	3,129.30	11,829.90	7,680.50	2,753.60	10,434.10	8,685.60	2,695.30	11,380.90	7,641.20	2,373.50	10,014.70	7,498.50	2,375.30	9,873.80																	
原野	119.00	37.80	156.80	185.90	50.40	236.30	186.60	53.30	239.90	182.40	51.80	234.20	184.00	51.00	235.00	180.20	50.00	230.20																	
宅地	267.47	0.10	267.57	390.50	120.50	511.00	355.10	118.10	473.20	468.30	139.60	607.90	504.50	147.40	651.90	544.20	150.80	695.00																	
雑種地、その他				462.3	138.2	4,204.50	5,677.00	675.1	6,352.10	4,633.6	723.60	5,357.20	2,909.40	1,075.20	3,984.60	3,093.60	1,135.10	4,228.70																	
総数	11,599.47	3,858.30	15,457.77	15,587.90	4,837.30	20,425.20	16,886.20	4,991.30	21,077.50	16,094.00	5,021.80	21,115.80	13,373.80	5,025.20	18,399.00	13,388.70	5,039.60	18,428.30																	

(福井県統計年鑑による)

項目	田	畑	山林	原野	宅地	その他
昭和35年	3,280.00	634.40	11,119.20	156.80	267.57	0.00
昭和45年	3,144.30	503.20	11,829.90	236.30	511.00	4,200.50
昭和50年	3,088.10	490.10	10,434.10	239.90	473.20	6,352.10
昭和55年	3,071.10	464.50	11,380.90	234.20	607.90	5,357.20
昭和60年	3,050.60	462.20	10,014.70	235.00	651.90	3,984.60
平成2年	2,952.70	447.90	9,873.80	230.20	695.00	4,228.70

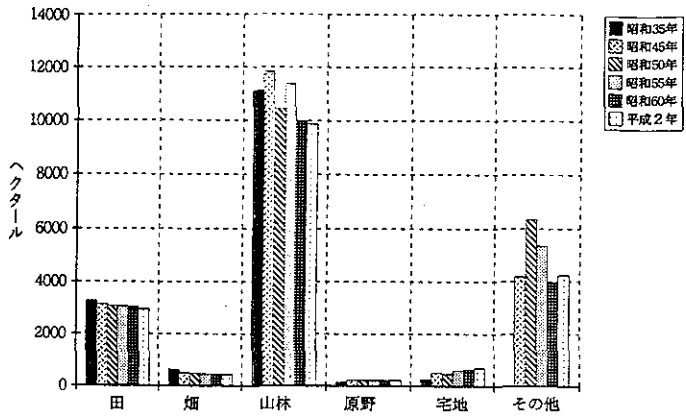


図3-2 流域内市町の土地利用の推移図

3-3 産 業

流域内の産業規模は小さく、福井県全体に対する割合は小浜市全体を含めても農業粗生産額で約6%、工業製造品出荷額で約4%、商品年間販売額で約3%となっている。(平成6年) 瑪瑙再起細工や若狭塗、若狭和紙などの伝統工芸、水産加工業が特筆すべき産業である。近年は、上中町に工業団地として総面積が63.4haの広大な若狭中核団地(若狭テクノバレー)の整備が進み、一部にガラス製造工業が操業を開始している。

小浜市周辺は「海のある奈良」といわれるほど名所旧跡や海岸美に富んでいるため、観光地としての脚光をあびている。

産業別従業者数の割合は、一次産業に約10%、二次産業に約40%、三次産業に約50%で、一次産業が減少傾向にある。

表3-3 産業別就業人口の推移

(事業所統計調査による)

(単位:人)

	小浜市			上中町			今津町			合 計		
	第1次	第2次	第3次	第1次	第2次	第3次	第1次	第2次	第3次	第1次	第2次	第3次
昭和35年	2,873	1,518	2,329	3,783	570	936	11	8	5	6,667	2,096	3,270
昭和40年	2,361	1,857	2,423	3,075	695	1,088	11	9	7	5,447	2,561	3,518
昭和45年	1,809	2,243	2,663	2,463	1,108	1,207	15	14	11	4,287	3,365	3,881
昭和50年	1,144	2,404	2,770	1,574	1,468	1,450	24	22	17	2,742	3,894	4,237
昭和55年	897	2,468	3,042	1,173	1,694	1,655	28	26	20	2,098	4,188	4,717
昭和60年	639	2,456	3,112	800	1,763	1,822	30	30	21	1,469	4,249	4,955
平成2年	491	2,535	3,393	534	1,690	1,935	30	28	23	1,055	4,253	5,351

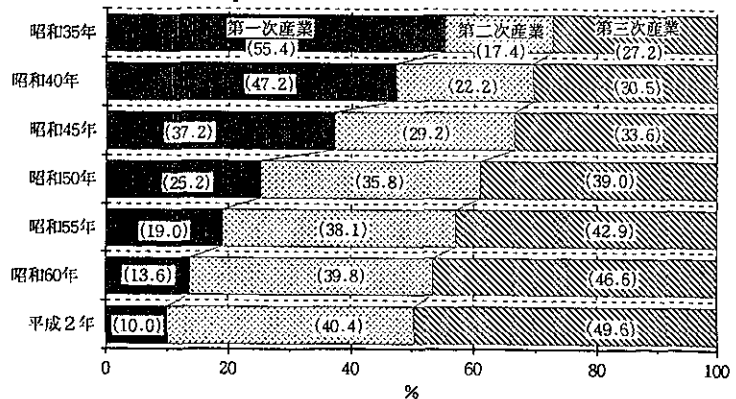


図3-3 産業別就業人口比率の推移

3-4 文化

北川河口に位置する小浜は、古代には大陸文化が上陸し、都へ通ずる文化の入り口として栄えた。そして、大陸文化は、大和朝廷が成立したときに崇神天皇が四道将軍のひとりとして大彦命を派遣して、北川に沿った若狭路を開き、この若狭路が近江の今津に至り、そこから琵琶湖～瀬田川～宇治川と下って、木津川を遡り木津から峠を越えて奈良に伝えられた。鶴の瀬の「お水送り」の行事と奈良東大寺二月堂の「お水取り」の行事に関連があるように、「海のある奈良」とも称されている小浜と奈良は、古くから結ばれていたのである。また、北川流域には、丸山古墳をはじめとする多くの古墳や古社寺が今に伝えられており、大陸と大和朝廷との交流の深さを伺い知ることができる。さらに、平安京に都が移された後も、魚や米などが北川を舟に積まれて熊川宿まで至り、人の背で鯖街道を都に運ばれた。逆に大和や京の文化が、北川に沿った道を伝わって若狭に伝えられ、都風の文化が形成されるようになったのである。

(1)公園

北川流域の河口には、敦賀湾の気比の松原から京都府丹後半島に至る海岸一帯および海域を自然公園とした若狭湾国定公園がある。

都市公園は、若狭湾の海を背景にして青井山の自然美を取り入れた小浜公園がある。この公園は、面積が約5 haで桜の名所であるとともに、子供遊園地や小動物園、丘の上にある展望台からは、小浜市街や若狭湾の眺望がすばらしい。

表3-4 国定公園

記号	名称	関係市町村	面積 (ha)	指定年月日	概要
①	若狭湾国定公園	小浜市	21,090.5 福井県分 (15,457)	昭和30年6月 1日	福井県の敦賀から京都府の丹後半島にかけての複雑で屈曲に富む海岸線と男性的な海食断崖、砂丘など変化に富んだ国定公園である。北川河口の小浜湾は、蘇洞門をはじめ勇壮な外海と静かな湾内のコントラストがすばらしい。また、内陸部は“海のある奈良”とも称されるほど文化財豊富な寺社が多い。

(2)観光資源

(a)観光地

北川河口に位置する小浜市は、古代から畿内の外港的な存在であり、日本海沿岸諸国の物資や旅人達がこの地に集まり、陸路を通過して大津・京都から畿内へと向かった。そのため、観光資源となる文化財に恵まれているとともに、蘇洞門や音海断崖などの海岸美、内陸部の名水など多様な観光資源を有している。

北川流域には、環境庁が選定した「名水百選」のなかに、遠敷川の中流に位置する「鶴の

瀬」と天徳寺の「瓜割の滝」の2名水が含まれている。「鵜の瀬」は、清澄な早瀬で奈良東大寺二月堂の「お水取り」のお水はここから送られる。この「お水送り」の行事は、3月2日の深夜に行われる神秘的な神事である。「瓜割の滝」は、杉や檜のうっそうとした森の中に湧く清冽な清水が滝となって流れ落ち、紅藻類によって紅赤色に染まった石と調和して、すばらしい自然の風景をかもしだしている。その名のとおり、瓜を浸すとあまりの冷たさに割れてしまうそうである。この地は、「若狭名水瓜割公園」として澄みきった水とそれに洗われる紅藻類、周辺の緑が調和して原始の森を想わせる。

(b)キャンプ場

流域内のキャンプ場は、上中町河内に「若狭森林公園河内の森キャンプ場」があり、ハイキング・バードウォッチング・釣りなど、自然を身近に感じられるレクリエーション施設が整った森林公園となっている。

(c)その他

小浜の歴史・文化などを肌でゆっくりと感じられるように、JR小浜線東小浜駅近くに「若狭の里サイクリングセンター」がある。

北川上流には、小浜から近江今津へ至る若狭街道（通称・鯖街道）の宿場であった熊川宿がある。現在も土蔵や虫籠窓を持った家が建ち並び、江戸時代の様子を偲ぶことができる。



■お水送り（小浜市）

(3)文化財

小浜市は、古代から畿内の玄関口として、一方では朝鮮半島や中国など大陸文化導入の門戸として栄えた。その結果、“海のある奈良”とも呼ばれるほど古社寺、彫刻、絵画など多くの文化財が遺存している。この小浜市に隣接する上中町は、小浜と京都を結ぶ若狭街道が通っており、熊川に代表される宿駅が存在するなど、交通の要衝であったまちである。

表3-5 国指定文化財等一覧表

種別		区域別	福井県全体	流域内計	小浜市	上中町
国 宝	彫刻		-	-	-	-
	考古資料		-	-	-	-
	絵画		-	-	-	-
	工芸品		3	-	-	-
	書跡		1	-	-	-
	建造物		2	2	2	-
	計		6	2	2	0
重 要 文 化 財	彫刻		34	21	19	2
	絵画		14	3	3	-
	工芸品		7	1	1	-
	書跡		13	4	4	-
	歴史資料		2	-	-	-
	建造物		20	5	5	-
	計		90	34	32	2
無形民俗文化財			3	-	-	-
特別史跡			1	-	-	-
特別名勝			1	-	-	-
特別天然記念物			4	3 (オオサソユウオ、カモシカ、コウトリ) 全県		
史跡			19	7	2	5
名勝			12	2	2	-
天然記念物			17	3	3	-
名勝天然記念物			1	-	-	-

(福井県の文化財より：1994年)

4. 洪水記録

4-1 古文書にみられる水害

北川流域における大雨・暴風雨・洪水の記録は、日本気象史料によると慶応12年2月13日(1405年3月13日)に「若狭国大風吹いて遠敷二宮楼門吹倒了」とあり、遠敷郡史には「天文9年(1540年)8月に出水あり」とあり初見できる。このほか、枚挙にいとまがないほど、いろいろな書物に若狭の水害が記載されている。

人々は、洪水の経験から北川とは一定の距離を保ってつきあってきました。それは、集落の位置や霞堤などから垣間みることができる。

4-2 昭和時代の水害

北川流域で忘れられない水害は、昭和28年9月の台風13号による未曾有の大災害である。このときの被害は、死者52人、行方不明者と重傷者約300人、2,800戸余りの家屋全壊・流失、一部損壊などの被害が生じた。

表4-1 代表洪水と雨量

(単位mm)

洪水名	観測所	小浜	熊川	三方大鳥羽
昭和28年9月24日 25日		160.0	138.0	142.0
		350.0	222.1	213.3
総雨量		510.0	360.1	355.3
昭和34年8月12日 13日		56.0	67.0	55.0
		316.0	252.0	223.0
総雨量		372.0	319.0	278.0
昭和34年9月25日 26日		76.0	132.0	119.0
		250.0	149.0	214.0
総雨量		326.0	281.0	333.0
昭和40年9月16日 17日		63.0	70.2	90.0
		265.0	280.3	304.0
総雨量		328.0	350.5	394.0
昭和57年8月1日 2日		192.0	148.0	162.5
		78.0	104.5	129.0
総雨量		270.0	252.5	291.5
平成24年9月17日 18日		9.0	27.0	11.0
		58.0	72.5	87.5
総雨量		67.0	99.5	98.5

*三方観測所観測期間 昭和28年～昭和44年、
昭和57年8月及び平成24年9月雨量は大鳥羽観測所による。

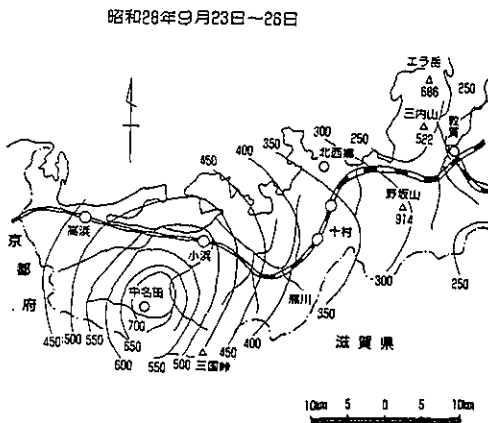


図4-1 台風13号がもたらした雨量分布図

その後、昭和34年8月(7号台風)と9月(15号台風)、昭和40年9月(24号台風)、昭和57年8月、平成24年9月にも台風がもたらす集中豪雨によって水害が発生している。

4-3 水害年表

表4-2(1) 水 害 年 表

西 曆	年 月 日	気象状況	被 害 状 況
1540	天文 9. 8. 11		大風雨、出水あり（遠敷郡史）
1633	寛永10.		若狭出水。前代未聞という。（遠敷郡史）
1660	万治 3. 7. 7		若狭大洪水。（大飯史）
1729	享保14. 7. 3 9. 24		大飯郡大雷雨、死者1人（気象） 三方郡洪水、山崩家流る（"）
1730	享保15. 7. 24		若狭大風雨。
1735	享保20. 6. 22		小浜町内の八幡小路にある塔の頭（約2 m）まで浸水した。このとき多田川が氾濫し、和久里村の過半数が被害を蒙り、下流の府中村は本流・支流の洪水で4、5日孤立した。
1776	安永 5. 8. 7		敦賀洪水、70年来の大水。
1782	天明 2. 7.		大風ありて凶作なり。（遠敷郡史）
1790	寛政 2. 8.		若狭洪水あり。
1791	寛政 3. 8.		若狭国大風、26日暮六ツ半時大風吹。
1792	寛政 4.		大風四度、大水二度、米相場漸騰
1807	文化 4. 9. 17		若狭国大風雨洪水、敦賀洪水、野坂藩は米500俵を5ヶ年賦で貸与、小浜藩は300俵を救助。
1816	文化13.		大洪水あり、不作
1836	天保 7. 夏		5月より霖雨、洪水、米不作。6月にいたるも晴天稀にして、土用中冷気を感じ出水多し。物価が高騰。粥施行をなす。
1850	嘉永 3. 9.		若狭小浜西津洪水。
1852	嘉永 5. 9. 23		若狭大風雨出水。
1858	安政 5. 7. 28		若狭大風雨出水。
1889	明治22. 6. 24		遠敷郡北川筋出水、堤防決壊多し。
1896	明治29. 9. 7		9月6日より暴風、8日洪水、1町6村皆害を被る。被害家屋1,546戸、土蔵納屋その他の建物678棟、土地440町歩。

表4-2(2) 水 害 年 表

西 曆	年 月 日	気象状況	被 害 状 況
1896	明治29. 9. 28		氾濫面積73ha
1898	明治31. 8. 31		堤防決壊2ヵ所、氾濫面積70ha、床上浸水341戸
1907	明治40. 8. 26		氾濫面積25. 3ha
1912	大正元. 10. 3		氾濫面積10. 0ha
1913	大正 2. 8. 29		氾濫面積6. 0ha
1917	大正 6. 9. 30	暴 風 雨	堤防決壊10ヵ所、欠所37ヵ所、氾濫面積28. 5ha
1918	大正 7. 9. 24		氾濫面積35. 0ha
1921	大正10. 9. 26	暴 風 雨	堤防決壊3ヵ所、欠所13ヵ所、氾濫面積50. 0ha
1922	大正11. 7. 5		氾濫面積9. 5ha
1924	大正13. 9. 16		氾濫面積37. 8ha
1949	昭和24. 7. 28	台 風 (ヘスター)	総雨量小浜で210mm、熊川で119mm。堤防及び道路の損壊、家屋の流失、全壊、浸水、のほか、田畑の流失、冠水、橋の流失など大きな被害を被った。
1953	昭和28. 9. 25	台風13号	総雨量小浜で510mm、熊川で360mm。堤防損壊193箇所、死者・行方不明70人、重・軽傷者252人、家屋全壊232戸、流失・半壊・損傷等約2,500戸浸水家屋約4,500戸の未曾有の大災害を蒙った。
1954	昭和29. 9. 17	台風14号	遠敷川、熊野川などで堤防決壊5箇所、橋梁流失6箇所、浸水家屋241戸、水田の流失3、田畑の冠水176。
1959	昭和34. 8. 13	台風 7号	小浜の2日雨量は372mm。基準地点高塚の最高水位7. 63mを記録。小浜土木管内の被害：堤防決壊1、破損75、橋流失2、道路損壊59、負傷者1人、家屋全壊1戸、浸水家屋906戸、田畑の冠水1,113町、流失30町。
1965	昭和40. 9. 16	台風24号	2日雨量は小浜で325mm、熊川で426mm。基準地点高塚の最高水位7. 33mを記録。
1982	昭和57. 8. 2	台風10号	小浜の2日雨量は253mm。
1990	平成 2. 9. 20	台風19号	小浜の2日雨量は204mm。

5. 近年の渇水（平成6年）

平成6年夏期は、6月の降水量が平年の約半分、7月が大鳥羽で7.8mm、上根来で20.7mmとほとんど降水の無い状態となり、8月が平年の60～80%と極めて少雨であった。そのため、かつて経験したことがない渇水状態となり、水利用に深刻な影響を及ぼした。

5-1 降水量

北川上流域の平成6年の降水量と平年値を比較すると、表5-1に示すとおりである。

表5-1 降水量比較

観測所	大 鳥 羽		上 根 来		平年値：昭和58年～平成6年の平均値
	平成6年	平年値	平成6年	平年値	
1 月	183.9	299.0	253.7	302.0	
2 月	306.0	244.0	402.4	293.0	
3 月	150.7	184.0	134.9	219.0	
4 月	94.0	135.0	110.6	149.0	
5 月	129.1	149.0	151.9	176.0	
6 月	122.9	230.0	138.8	258.0	
7 月	7.8	230.0	20.7	228.0	
8 月	118.8	148.0	103.9	183.0	
9 月	423.2	270.0	524.3	313.0	
10 月	89.5	172.0	122.3	212.0	
11 月	138.8	205.0	123.8	208.0	
12 月	285.5	255.0	212.7	238.0	
年間計	2,055.6	2,521.0	2,300.0	2,779.0	

5-2 北川の流量および流況

北川高塚地点の流量と流況は、表1-5、6に示すとおりであり、平成6年7月11日から8月20日までの41日間 $1.0\text{m}^3/\text{s}$ 以下の状況が続いた。したがって、7,8月の流況は平年と比べて極めて低い値を示した。

5-3 渇水対策本部の設置状況

小浜市渇水対策本部は、8月3日に設置し8月31日に解散した。上中町渇水対策本部は、8月8日に設置し9月5日に解散した。

6. 治水

6-1 江戸時代までの北川

往古の北川の河道は、小浜市上竹原において江古川を合流し小浜市堀屋敷に至って小浜湾に注いでいた。このとき南川は、独立した河川であった。慶長5年(1600年)に京極高次がこの地に封じられたとき、雲浜城を拡築するとともに、北川の流路を上竹原より南方に付け替えて南川と合流させたため、要害としての目的は達成できたが、洪水ともなれば一部を江古川に放流する策を施したものの、北川の流量を流すことができず、雲浜一帯を悩ますこととなった。このような状態が大正15年まで続き、明治29年、30年、40年、大正6年、10年などの洪水時には大きな被害が生じた。

6-2 大正後期から昭和初期にかけての北川改修

大正15年より着手された内務省北川改修事業は、多くの人々のたゆまない努力によって実現する運びとなったが、なかでも地元選出の衆議院議員であった山口嘉七が陣頭に立って政府との折衝にあたり、その熱意に内相、蔵相も動かされ早期着手が実現された。

このときの改修で北川と南川が分離された。北川は、丸山より下流を旧江古川流路まで拡幅し、ほぼ直線化して若狭湾に注ぐように改修された。同時に、上竹原付近で大きく蛇行していた南川は、ショートカットされて小浜城跡を迂回し在来からの河道と結ばれ若狭湾に注ぐように改修された。江古川は、北川の右岸に並行して新水路を掘り改修された。このときの北川改修は、16ヵ年の歳月を要し昭和16年に竣工した。

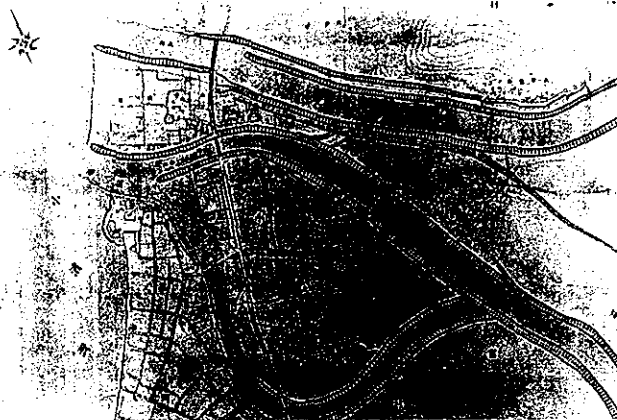


図6-1 北川・南川の改修平面図

北川には現在も一部の支川合流部に連続堤防が切れて開口し、霞堤の形態を成している所がみられる。

北川は流域面積が少なく、流路延長も短いうえに勾配が急であるため、大雨が降ると急激に増水するが、大雨がやむとすぐに水位も減少するという特徴がある。そこで連続した強固な堤防を構築するには、財政的に困難なことから堤防の一部を開口しておき、水田地に一時洪水を貯留して下流の小浜の町などを守る方法をとってきたのである。

このような一時貯留の考えは、現在の治水にも取り入れられ、上野遊水地、渡良瀬川遊水地や都市の総合治水対策などに生かされている。

6-3 昭和初期から現在までの治水事業

北川は、昭和28年13号台風による未曾有の大災害のため、福井県が災害復旧土木助成事業によって疎通能力の増大を図るための河床掘削と一部築堤を実施し、水衝部には水制・護岸工等が施工された。

その後、昭和46年4月の一級水系指定に伴って、11月に策定した北川水系工事実施基本計画に基づいて、築堤・護岸等の施工を行っている。

また、平成6年6月に魚がのぼりやすい川づくり事業の指定を受けて、事業推進に向けての取り組みを進めている。

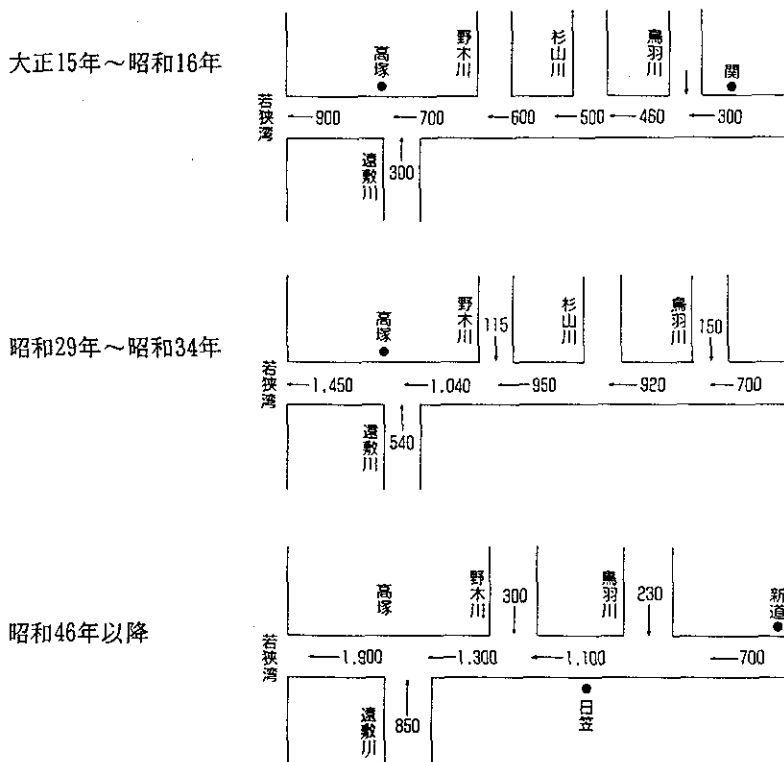


図6-2 北川の計画高水流量配分図の変遷

6-4 治水計画と治水事業の経緯

工 事 名	工 期	着手の契機	基 本 高 水 (計 画 高 水)	工 事 内 容
京極家による普請	寛永8年頃 (1631年)			川舟の通航を主体とした川浚などが行われた
	天明4年 (1784年)			北川の瀬を浚渫し、川縁町の土地へ上げた
	天保8年 (1837年)			北川の小浜～瓜生間に川舟通航の許可を小浜の木綿屋源兵衛が請け、熊川～今津の間においても川筋を修築して川舟を通航させた
郡中制法	明治7年 (1874年)			河道内の州等に個人の田畑を開くこと、樹木を植えて家屋を構えることを禁じ、堤防や川岸には柳・呉竹等を植えて、出水のときの囲いとするについて触れている。
内務省直轄改修事業	大正15年 ? 昭和16年	明治28年、 明治29年の出水	高塚 900m ³ /s	北川と南川の分離付け替え 江古川の付け替えと堤防拡築 鳥羽川のショートカット 遠敷川などの支川の堤防拡築並びに霞堤による治水工事、その他
災害復旧土木助成	昭和29年 ? 昭和34年	昭和28年 台風13号	高塚 1,450m ³ /s	河床掘削、築堤 水制工、護岸工の施工
北川水系工事実施基本計画	昭和46年 ?	昭和40年9月 台風24号	高塚 1,900m ³ /s (1,900m ³ /s)	昭和46年4月に一級水系指定を受け、基準地点高塚における計画規模を超過確率 1/100年として、流域平均日雨量320mmで計画流量を定めた工事実施基本計画を策定した。
現在の治水	現在		高塚 1,900m ³ /s (1,900m ³ /s)	昭和46年11月に策定した北川水系工事実施基本計画に基づき、築堤・護岸等の施工を行っている。



(5) 資 料 編

資 料 目 次

I	降水量資料	103
I. 1	降水量観測所（所属別，観測機器別，水系別）総括表	105
I. 2	降水量観測所一覧表	106
I. 3	降水量観測所月別降水量年表	109
II	水位・流量資料	137
II. 1	水位・流量観測所（所属別，観測機器別，水系別）総括表	139
II. 2	水位・流量観測所一覧表	140
II. 3	流量観測所年別流況表	142
III	地下水位資料	149
III. 1	地下水位観測井戸（所属別，観測機器別，市町村別）総括表	151
III. 2	地下水位観測井戸一覧表	152
III. 3	地下水位観測記録年表	156
IV	水質資料	171
IV. 1	水質調査地点（所属別，水系別）総括表	173
IV. 2	水質調査地点一覧表	174
IV. 3	水質分析資料	178
V	取水口・排水口資料	189
V. 1	農業用取水口・排水口資料	191
V. 1. 1	農業用取水口（かんがい面積別，水系別）総括表	191
V. 1. 2	農業用取水口（取水方法別，水系別）総括表	191
V. 1. 3	農業用取水口一覧表	192
V. 1. 4	農業用排水口（排水方法別，水系別）総括表	218
V. 1. 5	農業用排水口一覧表	219
V. 2	水道用取水口資料	222
V. 2. 1	水道用取水口（使用事項別，水系別）総括表	222
V. 2. 2	水道用取水口一覧表	223
V. 3	工業用取水口・排水口資料	226
V. 3. 1	工業用取水口（取水方法別，水系別）総括表	226
V. 3. 2	工業用取水口一覧表	227

VI	主要井戸資料	229
VI. 1	主要井戸（市郡別,用途別）総括表	231
V. 2	使用目的別井戸一覧表	232
VII	上水道及び簡易水道（専用水道を含む）資料	239
VII. 1	上水道用水（事業別,主要項目別）総括表	241
VII. 2	上水道地区一覧表	243
VII. 3	簡易水道地区一覧表	244
VIII	工業用水使用状況資料	253
VIII. 1	工業用水使用状況（水源別,市郡別）総括表	255
VIII. 2	工業用水使用状況一覧表	256
IX	ダム資料	267
IX. 1	ダム（主要項目別,水系別）総括表	269
IX. 2	ダム一覧表	270
X	水力発電所資料	273
X. 1	水力発電所（主要項目別,水系別）総括表	275
X. 2	水力発電所一覧表	276
XI	下水道資料	281
XI. 1	下水道一覧表	283
XIV	漁業権資料	287
XIV. 1	漁業法に基づく漁業権一覧表	289

注) 項目の左端のローマ数字は、「(1)資料収集の概要」中の調査項目と対応している。

I 降水量資料

I. 1	降水量観測所（所属別，観測機器別，水系別）総括表	105
I. 2	降水量観測所一覧表	106
I. 3	降水量観測所月別降水量年表	109

I.1 降水量観測所（所屬別、観測機器別、水系別、水系別）総括表

所屬及び機器別	水系別		北川	小計	計
	九頭竜川	北川			
建設省	アメダス				
	テレメーター				3
	自記	3		3	
気象庁	アメダス	8	1	9	
	テレメーター				
	自記				
福井県	アメダス				
	テレメーター				4
	自記	4		4	
北陸電力	アメダス				
	テレメーター				2
	自記	2		2	
計		17	1	18	18

I. 2 降水量観測所一覽表

(様式1-a号)

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所屬名	観測所名	水系名	第一次 支派川名	川名	所在地		標高 m	緯度 経度	観測開始 年月日	観測資料保存状況		備考 (四書名等)
							市郡	町村				年以降	場所	
1	山 勝 〔荒島岳〕	氣象庁	九頭竜川	九頭竜川	—	九頭竜川	大野郡和泉町角野	419	35°59' 7 136°39' 4	S57. 6. 1	S57~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
2	山 勝 〔白鳥〕	北陸電力 株式会社	箱ヶ瀬	九頭竜川	—	九頭竜川	大野市和泉村大字箱ヶ瀬24			S43. 5	S43~	北陸電力株式会社 大野電力所		
3	江 勝 〔今庄〕	氣象庁	今庄	九頭竜川	日野川	日野川	南条郡今庄町今庄	128	35°45' 9 136°12' 2	S49.11. 1	S49~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
4	井 福 〔福井〕	氣象庁	福井	九頭竜川	日野川	足羽川	福井市豊島	9	36°03' 2 136°13' 6	S49.11. 1	S49~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
5	井 福 〔永平寺〕	氣象庁	美山	九頭竜川	日野川	足羽川	足羽郡美山町市波	60	36°01' 0 136°19' 9	S50. 5. 7	S50~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
6	江 勝 〔大野〕	氣象庁	板垣	九頭竜川	日野川	魚見川	今立郡池田町板垣	620	35°52' 3 136°18' 4	S49.11. 1	S49~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
7	江 勝 〔鱒江〕	建設省	鱒田	九頭竜川	日野川	鱒田川	丹生郡鱒田町鱒田	110	35°57' 32 136°03' 36	S13. 4. 1		建設省福井工事事務所	雨量年表	
8	江 勝 〔鱒江〕	氣象庁	春日野	九頭竜川	日野川	大塚谷川	武生市春日野町	270	35°51' 3 136°08' 3	S49.11. 1	S49~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
9	江 勝 〔冠山〕	建設省	瀬戸	九頭竜川	日野川	田倉川	南条郡今庄町小倉谷	150	35°47' 14 136°15' 44	S13. 4. 1		建設省福井工事事務所	雨量年表	
10	井 福 〔越前勝山〕	建設省	六呂師	九頭竜川	滝波川	滝波川	勝山市北谷町谷	362	36°06' 48 136°34' 21	S43. 6. 1		建設省福井工事事務所	雨量年表	
11	山 勝 〔越前勝山〕	福井県	小原タム	九頭竜川	滝波川	滝波川	勝山市北谷町小原	633		S40. 4. 1	S40~	滝波川第一発電所	小原運送 観測月報	
12	山 勝 〔越前勝山〕	氣象庁	勝山	九頭竜川	女神川	女神川	勝山市平泉寺町平泉寺	196	36°02' 1 136°31' 5	S52.12.16	S52~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
13	山 勝 〔荒島岳〕	福井県	真名川 発電所	九頭竜川	真名川	真名川	大野市五条方39字師平4番地	234	35°55' 54 136°33' 21	S52. 8. 24	S52~	中島真名川発電所	観測所 氣象年報	
14	山 勝 〔荒島岳〕	氣象庁	大野	九頭竜川	真名川	木瓜川	大野市	152	35°58' 1 136°30' 0	S49.11. 1	S49~	東京管区気象台	観測所 氣象年報	
15	江 勝 〔大野〕	福井県	雲川タム	九頭竜川	真名川	雲川	大野市栗原地係字向七嶽1番地	538	35°50' 40 136°27' 37		S38~	中島真名川発電所	観測所 氣象年報	
16	江 勝 〔大野〕	福井県	中島第二 発電所	九頭竜川	真名川	大雲谷川	大野市中島59字南雲谷7番地先	646	35°52' 06 136°28' 23	H 4.12.18	H 4~	中島真名川発電所	観測所 氣象年報	

I.3 降水量観測所月別降水量年表

(様式1-b号)

対照番号	1	所 属 名		水 系												該当河川名	九 頭 滝 川
		九 頭 滝	利水洞(地形図名) (5万分の1)	所 在 地													
観測所名	九 頭 滝	勝 山 [荒島岳]												大野郡和泉町角野			
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数		
															≥0.1mm	≥1.0mm	
1982						184)	198	519	305	80	297	164	X	X			
1983	198	306	213	273)	208	154	808	274	429	174	190	177	3,404	151 (9/28)			
1984	349	264	182	201	136	309	283	126	96	72	127	334	2,478	84 (4/19)			
1985	196	291	237	189	312	349	573	52	266)	169	355	280	3,269	135 (7/07)			
1986	255	149	184	184	174	291	368	88	106	140	108	210	2,257	87 (6/29)			
1987	286	288	221	95	240	163	340	157	112	223	95	214	2,434	121 (10/17)			
1988	282	198	257	155	265	380	306	106	304	142	330	199	2,924	126 (6/03)			
1989	239	234	169	207	196	253	436	247	824	83	291	211	3,380	244 (9/03)			
1990	309	163	242	221	228	329	214	128	470	265	383	289	3,241	96 (9/18)			
1991	387	383	197	159	143	283	487	186	195)	186)	186	238	3,032	81 (8/30)			
1992	247	231	194	216	169	148	198	276	119	201)	113	355	2,467	69 (8/09)			
1993	249	278)	137	98)	176	422	439	362	392	132)	204	X	X	X			
1994	180	233	105	117	204	170	80	31	407	81	119	312	2,049	73 (9/29)			
総 計	3,177	3,018	2,338	2,110	2,451	3,435	4,730	2,552	4,025	1,958	2,800	2,983	30,946				
年 数	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	12	11				
平 均	264.75	251.50	194.83	175.83	204.25	264.23	363.85	196.31	309.62	150.82	215.38	248.58	2,813.27				

既往最多年降水量 3,404 mm (昭和 58年)
 既往最少年降水量 2,049 mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 324 mm (平成 元年 9月)
 既往最少月降水量 31 mm (平成 6年 8月)
 既往最多日降水量 244 mm (平成 元年 9月 3日)
 最多3時間降水量 mm (年 月 日 時~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

注) X : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を超え、計測休止が一回でもあるとき
) : 計測休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き: 降水量が1mmに満たないとき
 既往最多降水量等は掲載シート内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	3		所 属 名		気 象 庁		水 系		九 頭 竜 川		終 当 河 川 名		日 野 川	
	観測所名	今 庄	私水観測所名 (5分砂1) (地形図名)	鯖 江 [今庄]	所 在 地	南 条 郡 今 庄 町 今 庄	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1974														
1975	休止	休止	175	121	211	188	375	123	265	—	—	x	x	
1976	休止	休止	—	135	229	92	403	410	217	—	—	—	216 (8/23)	
1977	休止	休止	—	118	133	158	127	121	49	—	—	—	108 (9/10)	
1978	休止	休止	—	104	340	36	46	193	100	120	115	—	55 (7/01)	
1979	246	344	102	172	198	167	126	180	236	377	218	—	66 (6/27)	
1980	390	245	160	244	153	403	248	117	280	160	681	—	90 (10/01)	
1981	x	206)	113	249	306	217	193	147	278	205	186	x	x	
1982	335	64	140	131	160	122	366	262	59	265)	305	—	94 (8/01)	
1983	247	213	171	108	122	399	163	410	140	296	243	—	122 (9/28)	
1984	404	271	193	97	220	182	35	82	123	88	659	—	82 (12/29)	
1985	224	281	194	149	270	384	32	312	111	394	395	—	90 (7/07)	
1986	348	193	167	151	232	302	16	151	290	105	227	—	127 (10/12)	
1987	243	199	166	186	129	185	160	152	198	93	222	—	93 (10/17)	
1988	207	180	207	110	335	224	108	265	144	390	308	—	86 (11/24)	
1989	195	236	167	148	209	270	198	497	105	298	296	—	102 (9/06)	

(注) x : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止 : 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空白 : 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	所 属 名		気 象 庁												水		系		九 頭 竜 川		該 当 河 川 名		日 野 川	
	3	今 庄	静 江 [今庄]												所 在 地		系		九 頭 竜 川		該 当 河 川 名		日 野 川	
観測所名	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)																							
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数									
															≥0.1mm	≥1.0mm								
1990	370	123	177	95	115	184	182	130	383	225	287	420	2,691	82 (9/20)										
1991	505	351	149	142	93	225	294	128	130	256	242	237	2,752	74 (7/12)										
1992	278	255	186	163	120	140	206	148	71	165	134	482	2,343	88 (12/17)										
1993	345	282	142	151	97	356	245	321	266	145	213	437	3,000	108 (6/29)										
1994	191	144	153	78	188	124	34	87	354	81	142	303	1,879	106 (9/16)										
総 計	4,528	3,587	2,587	2,300	2,947	4,276	4,270	3,406	4,626	3,467	3,807	5,734	38,564											
年 数	15	16	16	17	20	20	20	20	20	20	17	17	15											
平 均	301.87	224.19	161.69	135.29	147.35	213.80	213.50	170.30	231.30	173.35	223.94	337.29	2,570.93											

既往最多年降水量 3,222 mm (昭和 55年)
 既往最少年降水量 1,879 mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 681 mm (昭和 55年 12月)
 既往最少月降水量 16 mm (昭和 61年 8月)
 既往最多日降水量 216 mm (昭和 50年 8月 23日)
 最多3時間降水量 mm (年 月 日 時 ~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

(注) x : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止 : 計画休止 (冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き : 降水量が1mmに満たないとき
 既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

(様式1-b号)

対照番号	4		所 属 名		気 象 庁		水		系		九 頭 滝 川		該 当 河 川 名		足 羽 川	
	観測所名	種 井	利水頭図名 (5万分の1 地形図名)		福 井 [福井]		所 在 地		福 井 市 豊 島		福 井 市 豊 島		該 当 河 川 名		足 羽 川	
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数	
															≥0.1mm	≥1.0mm
1974											175	/	x	x		
1975	休止	休止	/	177	148	204	194	237	211	237	160	338	/	89 (8/23)		
1976	285	157	134	151	133	256	66	315	338	174	238	258	2,505	91 (9/10)		
1977	239	247	207	174	84	173	117	170	69	83	235	273	2,021	89 (8/06)		
1978	332	205	142	118	120	254	40	66	111	104	159	153	1,804	46 (11/29)		
1979	258	272	112	138	170	148	143	108	275	187	241	190	2,242	67 (10/01)		
1980	329	297	188	186	271	102	326	189	121	283	103	630	2,945	92 (12/28)		
1981	462	156	105	148	236	248	228	165	137	289	184	189	2,547	89 (7/02)		
1982	261	97	122	156	98	101	72	322	227	68	204	274	2,002	132 (8/16)		
1983	223	252	120	195	133	113	485	75	404	134	259	229	2,802	121 (9/28)		
1984	318	201	132	81	93	213	144	57	75	93	141	400	1,948	60 (6/26)		
1985	207	183	177	152	183	261	345	4	330	143	376	351	2,712	86 (7/07)		
1986	344	147	117	105	147	165	272	22	133	224	85	154	1,905	63 (6/29)		
1987	224	155	161	40	212	116	132	159	96	82	91	177	1,645	121 (5/23)		
1988	240	158	204	126	174	310	181	94	183	118	327	220	2,335	81 (6/03)		
1989	200	202	130	117	102	145	230	139	520	111	261	238	2,395	94 (9/07)		

注) x : 欠測数が20%を超えるとき

/ : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき

) : 計画休止(冬期観測を中止している)

) : 欠測数が20%以下のとき

逆き : 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	4				気象庁				水				系				九頭竜川				該当河川名				足羽川			
	桶井				桶井 [桶井]				所在地				福井市豊島															
観測所名	利水現況図名 (5万分の1)				所屬名				所屬名				所屬名				所屬名				所屬名				所屬名			
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日数 (月日)	雨天日数		≥0.1mm		≥1.0mm									
1990	246	126	159	134	142	206	196	72	243	199	266	221	2,210	60 (10/26)														
1991	345	265	166	122	80	212	310	104	92	175	214	151	2,236	69 (7/01)														
1992	264	217	189	186	106	96	139	106	68	170	166	303	2,010	51 (1/18)														
1993	258	215	121	121	122	226	314	219	277	127	145	277	2,422	91 (7/13)														
1994	208	163	96	89	115	125	48	17	209	86	111	260	1,527	49 (9/16)														
総計	5,243	3,625	2,782	2,716	2,869	3,674	3,962	2,650	4,109	3,037	4,141	5,286	42,013															
年数	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	21	20	19															
平均	275.95	190.79	146.42	135.80	143.45	183.70	198.10	132.50	205.45	151.85	197.19	264.30	2,211.21															

既往最多年降水量 2,945 mm (昭和 55年)
 既往最少年降水量 1,527 mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 630 mm (昭和 55年 12月)
 既往最少月降水量 4 mm (昭和 60年 8月)
 既往最多日降水量 132 mm (昭和 57年 8月 16日)
 最多3時間降水量 mm () 年 月 日 時~ 日 時
 最多1時間降水量 mm () 年 月 日 時

(注) × : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止: 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き: 降水量が1mmに満たないとき
 既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

(様式 1 - b 号)

対照番号	5					気象庁		水		系		九頭竜川		該当河川名		足羽川	
	美山	所 属 名					井 〔永平寺〕		所 在 地		足羽郡美山町市波		足羽郡美山町市波		足羽川		
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月日)	雨 天 日 数		
															≥0.1mm	≥1.0mm	
1975					X	227	209	240	149	225	146	264	X	X			
1976	283	171	126	130	123	243	87	289	300	168	250	233	2,383	83 (9/09)			
1977	234	226	194	202	109	156	158	117	101	39	214	247	1,997	69 (7/01)			
1978	334	211	147	131	114	247	32	73	84	81	156	137	1,747	46 (11/29)			
1979	230	311	101	170	168	158	188	176	242	211	274	175	2,404	90 (10/19)			
1980	387	293	196	175	241	114	353	258	115	242	115	591	3,080	86 (8/23)			
1981	X	161	105	149	210	271	214	191	144	263	182	221	X	X			
1982	301	114	146	201	153	137	79	330	223	72	243	258	2,257	110 (8/16)			
1983	278	307	179	200	174	100	507	189	432	141	286	294	3,097	126 (9/28)			
1984	391	207	86	87	74	244	176	57	82	85	120	483	2,092	61 (6/26)			
1985	212	233	217	160	174	273	393	30	384	143	354	361	2,934	102 (7/07)			
1986	395	172	171	90	128	138	337	20	216	226	97	188	2,178	96 (9/03)			
1987	274	213	211	37	223	131	160	144	100	133	104	180	1,910	100 (5/23)			
1988	232	144	221	136	165	250	189	98	203	140	352	219	2,349	77 (6/03)			
1989	234	225	151	155	108	172	266	169	453	104	195	233	2,465	79 (9/06)			
1990	270	135	169	137	122	188	98	38	262	229	239	272	2,159	81 (9/20)			

注) X : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止: 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き: 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	5		所属名		筑象片		水系		九頭竜川		該当河川名		足羽川			
	観測所名	美山	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)		権井〔永平寺〕		所在地		足羽郡美山町市渡		該河川名		足羽川			
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm	
1991	390	348	162	136	97	219	305	206	120	225	213	170	2,591	81 (7/01)		
1992	278	235	205	220	107	101	171	128	74	196	149	276	2,140	64 (1/18)		
1993	275	266	135	129	108	268	334	287	297	109	165	294	2,667	109 (7/13)		
1994	218	194	101	89	118	148	51	12	220	84	109	246	1,590	46 (12/15)		
総計	5,216	4,166	3,023	2,734	2,716	3,785	4,307	3,032	4,201	3,116	3,973	5,342	42,040			
年数	18	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	18			
平均	289.78	219.26	159.11	143.89	142.95	189.25	215.35	151.60	210.05	155.80	198.65	267.10	2,335.56			

既往最多年降水量 3,097 mm (昭和 58年)
 既往最少年降水量 1,590 mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 591 mm (昭和 55年 12月)
 既往最少月降水量 12 mm (平成 6年 8月)
 既往最多日降水量 126 mm (昭和 58年 9月 28日)
 最多3時間降水量 mm (年 月 日 時 ~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

(注) × : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止 : 計画休止 (冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空白 : 降水量が1mmに満たないとき
 既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

(様式 1 - b 号)

対照番号	6		気象庁		水		系		九頭竜川		該当河川名		魚		見		川						
	観測所名	板	垣	所	属	名	江	[大野]	所	在	地	今	立	郡	池	田	町	坂	屋				
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全	年	最	多	日	量	雨	天	日	数	
1974											/	休	止	x									
1975	休	止	休	止	/	242	139	248	89	201	/	休	止	/	117	(8/23)							
1976	休	止	休	止	/	202	77	333	310	188	/	休	止	/	96	(9/10)							
1977	休	止	休	止	75)	148	140	138	143	43	/	休	止	/	47	(7/11)							
1978	休	止	休	止	122)	298	x	55)	131	88	/	休	止	/	x								
1979	休	止	休	止	175)	175	157	93	204	163)	/	休	止	/	63	(6/29)							
1980	休	止	休	止	196	112	371	191	128	/	休	止	休	止	48	(7/11)							
1981	休	止	休	止	/	249	154	181	139	/	休	止	休	止	73	(7/02)							
1982	休	止	休	止	98)	129	116	320	189	61	/	休	止	/	75	(8/01)							
1983	休	止	休	止	休	/	436	219	388	/	休	止	休	止	112	(9/28)							
1984	休	止	休	止	/	270	181	76	78	129	休	止	休	止	51	(6/26)							
1985	休	止	休	止	/	266	402	12	387	110)	休	止	休	止	98	(7/07)							
1986	休	止	休	止	/	x	296)	42	113	144)	休	止	休	止	x								
1987	休	止	休	止	/	123	172	171	99	/	休	止	休	止	98	(5/23)							
1988	休	止	休	止	/	302	234	102	246	133	/	休	止	/	72	(6/08)							
1989	休	止	休	止	/	224	313	195	539	125)	休	止	休	止	97	(9/06)							

注) x : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止: 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き: 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	6		気象庁		水		系		九頭竜川		該当河川名		魚		川									
	観測所名	板垣	所	属名	江 [大野]	所	在	地	今立郡池田町板垣	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	雨天日数 ≥0.1mm	雨天日数 ≥1.0mm	
年(西暦年)																								
1990	休止	休止	休止	休止	226	160	107	318	240	休止	休止	58 (10/26)	/											
1991	休止	休止	休止	/	108	339	241	129	272	/	休止	74 (7/01)	/											
1992	休止	休止	休止	休止	143	202	157	77	217	/	休止	59 (7/11)	/											
1993	休止	休止	休止	休止	356	263	322	278	133	休止	休止	90 (6/28)	/											
1994	休止	休止	休止	休止	146	36	28	283	86	休止	休止	69 (9/16)	/											
総計	0	0	0	0	1,551	3,835	4,188	3,231	4,268	2,333	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年数	0	0	0	0	11	18	19	20	20	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均					144.64	213.06	220.42	161.55	213.40	145.81														

既往最多年降水量 mm (年)
 既往最少年降水量 mm (年)
 既往最多月降水量 539 mm (昭和 元年 9月)
 既往最少月降水量 12 mm (昭和 60年 8月)
 既往最多日降水量 177 mm (昭和 50年 8月 23日)
 最多3時間降水量 mm (年 年 月 日 時 ~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 年 月 日 時)

(注) x : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計測休止が一回でもあるとき
) : 計測休止(冬期観測を中止している)
 空白: 欠測数が20%以下るとき
 空白: 降水量が1mmに満たないとき
 既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

(様式1-b号)

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	7		所 属 名		建 設 省		水 系		九 頭 竜 川		該 当 河 川 名		織 田 川		
	観測所名	織 田	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)		鯖 江 [鯖江]		所 在 地		丹 生 郡 織 田 町 織 田		織 田 町 役 場				
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1974	279.8	136.7	34.6	189.8	110.0	157.8	290.9	40.0	153.2	31.5	(0.5)	200.0	(1,824.8)	65.0(9/8)	
1975	309.9	(150.3)	136.2	209.9	219.8	189.2	191.7	239.8	161.4	276.1	169.4	369.3	(2,603.0)	90.5(8/23)	
1976	339.2	(127.6)	146.3	150.2	99.7	285.5	84.6	253.5	290.0	140.6	291.3	(213.2)	(2,421.7)	84.0(6/10)	
1977	308.6	284.7	186.2	234.6	108.6	200.3	71.7	155.4	151.8	47.6	231.4	418.8	2,399.7	74.7(11/16)	
1978	333.8	273.5	160.6	121.2	133.8	329.7	8.4	117.3	143.0	91.7	167.7	149.5	2,030.2	53.6(6/20)	
1979	298.7	354.2	144.3	176.3	221.7	181.6	138.8	210.5	351.1	136.7	255.1	195.4	2,664.4	110.4(8/21)	
1980	397.5	256.2	190.8	189.9	312.4	135.2	409.3	216.3	131.6	374.7	113.7	340.8	3,568.4	82.0(12/29)	
1981	(459.3)	203.6	(77.0)	165.5	255.1	316.5	181.7	150.3	179.5	343.5	321.3	211.5	(2,864.8)	105.0(7/2)	
1982	(376.0)	176.4	153.9	188.8	133.2	112.8	150.3	417.2	214.0	98.8	215.1	294.5	(2,551.0)	130.0(8/16)	
1983	303.6	350.2	221.5	235.2	156.9	141.7	476.7	144.4	393.7	173.0	339.4	376.9	3,313.2	94.9(6/20)	
1984	363.8	257.4	163.2	131.6	112.7	251.9	187.4	48.5	90.8	101.3	159.2	390.5	2,258.3	52.5(6/26)	
1985	150.9	250.8	267.0	155.3	196.8	285.6	380.9	1.0	353.4	190.0	467.6	405.0	3,104.3	65.6(7/21)	
1986	315.9	189.2	156.5	107.7	160.9	187.9	355.7	19.6	170.5	267.6	109.3	249.1	2,289.9	76.0(10/12)	
1987	263.4	183.4	223.4	47.1	251.2	159.9	156.8	161.7	127.2	180.5	125.0	255.6	2,134.2	101.5(5/23)	
1988	298.1	230.7	218.6	142.8	236.6	362.4	233.3	218.0	196.1	152.8	424.0	283.2	2,986.6	98.8(8/25)	
1989	243.5	243.9	153.6	115.6	123.6	175.7	302.8	134.5	527.6	149.7	288.7	271.1	2,730.2	108.3(9/2)	

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	8		所 属 名		気 象 庁		水 系		九 頭 竜 川		該 当 河 川 名		大 塩 谷 川	
	観測所名	春日野	利水環境図名 (5万分の1)	錦江 [錦江]	所在地	武生市春日野町	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1974													x	
1975	休止	休止	休止	/	117	206	175	210	117	234	/	休止	x	
1976	休止	休止	休止	/	125	218	74	288	321	141	215	休止	/	91 (8/23)
1977	休止	休止	休止	休止	/	159	128	135	77	41	231	休止	/	102 (9/10)
1978	休止	休止	休止	/	103	242	23	45	116	74	/	休止	/	57 (8/24)
1979	休止	休止	休止	/	204	165	96	102	202	199	/	休止	/	40 (8/04)
1980	休止	休止	休止	/	190	115	282	178	91	156	休止	休止	/	76 (10/01)
1981	休止	休止	休止	/	180	210	110	127	157	192	休止	休止	/	48 (8/23)
1982	休止	休止	休止	休止	60	97	89	339	233	46	/	休止	/	64 (9/26)
1983	休止	休止	休止	休止	休止	133	412	93	385	136	/	休止	/	88 (8/20)
1984	休止	休止	休止	休止	/	270	146	42	83	109	/	休止	/	122 (9/28)
1985	休止	休止	休止	/	200	257	360	4	331	155	/	休止	/	64 (6/26)
1986	休止	休止	休止	休止	/	166	242	8	132	/	休止	休止	/	99 (7/07)
1987	休止	休止	休止	/	214	119	163	149	174	108	休止	休止	/	59 (6/29)
1988	休止	休止	休止	休止	219	366	180	75	x	137	/	休止	/	95 (5/23)
1989	休止	休止	休止	休止	/	185	242	147	501	91	休止	休止	/	x
														98 (9/18)

注) x : 欠測数が20%を超えるとき
 / : 欠測数が20%を超え、計画休止が一回でもあるとき
 休止: 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き: 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所別降水量年表

対照番号	8	所 属 名		気 象 庁		水		系		九 頭 滝 川		鼓 当 河 川 名		大 堰 谷 川	
		観測所名	春日野	利水現況図名 (5万分の1)	鯖江 [鯖江]	所在地	武生市春日野町	観測所名	春日野	所在地	武生市春日野町	観測所名	春日野	所在地	武生市春日野町
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1990	休止	休止	休止	/	140	203	167	84	286	213	/	休止	/	55 (10/08)	
1991	休止	休止	休止	休止	/	227	298	106	121	221	/	休止	/	91 (7/01)	
1992	休止	休止	休止	/	125	134	135	131	79	156	/	休止	/	55 (6/30)	
1993	休止	休止	休止	休止	122	298	235	250	277	113	休止	休止	/	99 (6/29)	
1994	休止	休止	休止	休止	120	128	30	51	292	77	休止	休止	/	82 (9/16)	
総計	0	0	0	0	2,119	3,898	3,587	2,564	3,975	2,599	446	0	0		
年数	0	0	0	0	14	20	20	20	19	19	2	0	0		
平均					151.36	194.90	179.35	128.20	209.21	136.79	223.00				

既往最多年降水量 ㎜ (年)
 既往最少年降水量 ㎜ (年)
 既往最多月降水量 501 ㎜ (平成 元年 9月)
 既往最少月降水量 4 ㎜ (昭和 60年 8月)
 既往最多日降水量 122 ㎜ (昭和 58年 9月 28日)
 最多3時間降水量 ㎜ (年 月 日 時 ~ 日 月 日 時)
 最多1時間降水量 ㎜ (年 月 日 時)

(注) X : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止 : 計画休止 (冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き : 降水量が1㎜に満たないとき
 既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

(様式 1 - b 号)

対照番号	9		所 属 名		建 設 省		水 系		九 頭 滝 川		該 当 河 川 名		田 倉 川	
	観 測 所 名	瀬 戸	利水現況図名 (5万分の1)		鑄 江 [冠山]		所 在 地		南条郡今庄町小倉谷		全 年		最 多 日 量 (月 日)	
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	雨 天 日 数	
													≥0.1mm	≥1.0mm
1974	325.5	270.7	215.3	265.6	94.9	175.5	275.0	228.6	131.2	175.7	216.2	278.0	2,650.2	172.5(8/25)
1975	410.3	300.9	125.4	172.3	173.5	209.9	210.7	443.7	133.3	235.7	190.6	342.1	2,948.4	143.2(8/23)
1976	387.2	180.9	122.5	166.5	127.8	233.6	92.6	423.5	392.9	230.0	302.8	416.8	3,057.1	135.5(9/10)
1977	271.8	287.2	235.4	171.2	151.0	155.3	140.7	154.0	142.8	49.4	310.0	327.3	2,396.1	56.3(11/16)
1978	478.1	347.0	207.6	174.0	122.7	361.2	12.7	66.9	197.1	104.4	172.5	225.6	2,469.8	57.1(1/19)
1979	303.1	329.0	129.6	204.9	221.1	247.5	137.6	112.5	329.6	289.3	320.8	270.6	2,875.6	155.3(9/30)
1980	566.6	297.8	193.3	150.4	285.0	166.1	443.3	283.9	217.6	306.4	175.0	775.9	3,851.3	85.3(9/10)
1981	524.3	261.9	146.6	173.0	287.5	323.1	232.3	251.4	198.3	321.2	207.8	273.9	3,201.3	127.0(7/ 2)
1982	381.7	115.0	156.7	183.4	154.7	174.3	187.3	416.9	274.4	100.6	284.4	297.7	2,727.1	146.0(8/ 1)
1983	301.8	353.8	201.6	218.4	121.7	110.7	480.3	276.5	338.2	141.5	389.2	362.8	3,276.5	105.5(8/19)
1984	453.8	342.3	139.4	114.5	133.6	262.8	205.2	54.2	103.1	136.0	98.0	617.4	2,658.3	71.5(12/29)
1985	268.8	314.5	198.3	172.9	179.1	381.9	434.1	31.8	323.1	131.6	399.0	459.5	3,294.6	122.4(6/30)
1986	460.8	246.5	293.1	124.3	173.6	222.0	310.2	45.1	136.8	230.3	121.0	293.4	2,567.1	87.3(7/12)
1987	323.9	283.5	195.6	65.2	218.7	131.7	224.0	155.6	154.4	200.2	113.4	239.7	2,305.9	68.8(8/22)
1988	318.1	225.2	245.1	140.3	243.1	302.0	241.5	129.3	297.5	162.3	367.4	287.8	2,969.6	84.5(11/24)
1989	227.4	240.4	194.3	178.8	134.7	244.3	305.1	228.8	568.4	123.1	328.7	323.5	3,095.5	129.5(9/ 6)

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	9		所属名	建設省		水		系		九頭竜川		該当河川名		田倉川				
	観測所名	瀬戸		特	江	所	在	地	所	在	地	南	条	郡	今	住	町	小
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm			
1990	421.6	110.9	201.0	126.9	136.3	213.5	171.7	144.0	457.0	253.2	343.9	427.1	3,007.1	198.2(9/19)				
1991	618.8	482.9	161.1	144.0	115.0	240.7	290.2	175.7	165.6	246.3	241.7	268.8	3,150.8	111.7(8/30)				
1992	304.7	302.1	217.4	217.5	131.2	167.5	238.4	117.2	74.9	216.2	144.6	475.5	2,607.2	71.5(6/30)				
総計	7,348.3	5,272.5	3,489.3	3,162.1	3,205.2	4,323.6	4,612.9	3,737.6	4,636.2	3,633.4	4,725.0	6,963.4	55,109.5					
年数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19					
平均	386.75	277.50	183.65	166.43	168.69	277.56	242.78	198.72	244.01	191.23	248.68	366.49	2,900.50					

既往最多年降水量 3,825.2mm (昭和43年)
 既往最小年降水量 1,434.2mm (昭和29年)
 既往最多月降水量 727.1mm (昭和58年 7月)
 既往最小月降水量 mm (昭和 年 月)
 既往最多日降水量 236.7mm (昭和40年 9月17日)
 最多3時間降水量 116.0mm (昭和54年 9月30日 0時~30日 3時)
 最多1時間降水量 62.5mm (昭和47年 7月11日 9時)

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	10		所 属 名		建 設 省		水 系		九 頭 竜 川		該 当 河 川 名		滝 遊 川			
	六 呂 師		利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)		権 井 [越前勝山]		所 在 地		勝山市北谷町谷							
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm	
1974	281.7	272.5	306.2	316.9	174.8	192.0	336.4	173.3	160.3	205.3	240.8	(227.1)	(2,887.3)	100.4(8/25)		
1975	61.9	48.7	158.9	84.0	249.0	293.0	370.0	287.0	189.0	300.0			(2,041.5)	145.0(8/ 6)		
1976		(125.0)	123.6	200.1	122.0	322.0	151.5	503.0	400.0	180.0	(181.0)	346.8	(2,655.0)	128.0(9/10)		
1977	(338.3)	334.5	73.1	104.9	204.4	280.8	209.8	251.6	125.3	47.0	266.0	316.0	(2,550.7)	75.0(6/24)		
1978	500.5	356.4	222.3	200.9	193.6	549.5	56.7	137.8	183.3	162.0	178.7	180.5	2,992.2	98.9(6/27)		
1979	342.1	317.3	203.9	247.0	172.7	320.5	236.6	289.6	463.9	168.5	301.1	219.4	3,282.6	91.0(9/ 4)		
1980	582.3	450.2	214.3	206.7	355.1	235.8	680.9	326.7	170.1	415.6	115.0	(867.6)	(4,590.3)	129.4(7/11)		
1981	625.0	311.0	219.0	223.3	288.7	421.4	435.0	271.6	196.3	389.3	244.9	183.1	3,808.6	246.0(7/ 2)		
1982	277.0	128.2	(99.6)	225.8	201.3	222.6	208.8	492.4	293.8	107.7	351.1	291.1	2,899.4	127.0(8/16)		
1983	383.4	460.6	278.0	357.7	210.6	177.5	967.0	273.6	457.9	185.6	398.2	372.4	4,522.5	158.0(7/20)		
1984	498.4	372.1	213.6	180.7	163.1	347.7	302.1	129.6	128.0	144.1	208.7	515.8	3,203.9	83.0(7/ 8)		
1985	270.4	352.2	221.7	188.8	375.3	454.0	783.8	37.9	456.4	213.9	355.9	510.2	4,220.5	118.0(7/10)		
1986	512.3	227.1	206.6	194.8	227.3	350.1	531.2	44.2	122.9	269.7	121.6	294.7	3,102.5	96.3(6/28)		
1987	356.9	281.7	(249.1)	88.3	283.0	177.4	331.5	264.0	120.1	169.0	118.9	203.2	(2,643.1)	80.1(5/23)		
1988	370.6	234.0	280.6	184.5	292.0	370.2	411.8	204.3	293.9	219.1	387.9	366.1	3,615.0	161.7(7/10)		
1989	305.6	293.8	168.5	175.6	155.5	211.0	424.1	289.4	625.1	133.8	305.0	261.0	3,348.4	134.6(9/ 6)		

降水量観測所別降水量年表

观测所名	10	所属名	建設省		水		系		九頭竜川		該当河川名		瀧波川			
			六呂師	利水現況図名 5万分の1 (地形図名)	箱井	[越前勝山]	所在地	勝山市北谷町谷	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm			
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm	
1990	407.2	160.8	244.5	242.9	217.1	371.2	252.5	99.6	297.7	328.8	332.4	379.2	3,333.9	118.4(7/15)		
1991	577.8	573.8	160.0	155.9	169.9	433.8	513.4	319.5	157.1	281.7	219.7	234.7	3,788.3	105.2(8/1)		
1992	297.3	330.6	192.1	284.1	192.6	137.4	265.1	213.2	107.0	221.4	183.4	403.0	2,777.2	69.5(7/17)		
總計	6,988.7	5,630.5	3,835.6	3,812.9	4,239.0	5,867.9	7,438.2	4,608.3	4,948.1	4,142.5	4,510.3	6,171.9	62,262.9			
年数	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	19			
平均	388.26	296.34	201.87	200.68	223.11	308.84	391.48	242.54	260.43	218.03	250.57	342.88	3,276.99			

既往最多年降水量 4,522.5mm (昭和58年)
 既往最少年降水量 2,643.1mm (昭和62年)
 既往最多月降水量 783.3mm (昭和60年 7月)
 既往最少月降水量 246.0mm (昭和56年 7月 2日)
 既往最多日降水量 96.5mm (昭和56年 7月 2日 23時~3日 2時)
 最多3時間降水量 45.5mm (昭和60年 7月13日13時)

(様式 1 - b 号)

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	11		所属名		福井県		水		系		九頭竜川		瀧波川		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
観測所名	小原ダム		勝山 [越前勝山] 所在地 勝山市北谷町小原												
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1975	435.0	358.5	245.0	295.5	295.0	393.0	478.0	377.0	201.5	330.5	208.0	330.5	3,947.5	149.5 (8月)	
1976	464.5	299.0	196.5	183.0	243.0	377.5	202.5	533.0	448.5	206.0	249.5	288.5	3,691.5	142.0 (9月)	
1977	303.0	250.5	295.5	402.5	212.5	180.5	223.0	271.0	104.0	52.5	319.0	327.0	2,941.0	93.5 (8月)	
1978	460.0	333.0	252.5	242.5	218.0	544.5	158.5	131.5	174.5	143.0	196.5	149.0	3,003.5	131.5 (6月)	
1979	289.5	344.5	186.5	259.0	174.0	288.5	280.0	286.5	378.0	238.0	325.0	175.5	3,205.0	113.5 (9月)	
1980	410.0	359.0	161.0	229.5	344.5	259.0	629.5	300.5	220.5	382.5	129.0	602.0	4,027.0	109.5 (7月)	
1981	417.5	169.0	142.5	268.0	330.0	461.5	552.5	266.0	159.0	360.5	198.0	217.5	3,542.0	228.0 (7月)	
1982	219.5	142.0	224.0	242.0	190.5	230.0	202.0	630.5	267.5	84.5	272.0	297.5	3,002.0	116.0 (8月)	
1983	293.0	397.0	296.5	333.5	251.0	175.0	885.5	324.0	498.0	214.5	246.0	273.5	4,187.0	161.0 (7月)	
1984	308.0	260.5	188.5	176.0	177.0	381.0	365.0	197.0	126.0	123.5	171.5	388.0	2,842.0	83.5 (7月)	
1985	151.5	194.0	283.5	181.5	341.5	842.5	757.5	60.0	427.0	230.5	387.0	371.5	3,708.0	110.5 (7月)	
1986	440.0	194.0	205.0	172.0	226.0	304.5	517.5	48.5	136.5	220.0	83.5	222.0	2,769.5	88.5 (7月)	
1987	309.0	219.0	285.5	86.0	315.5	174.0	323.0	209.0	152.0	212.5	121.5	168.5	2,588.0	93.0 (5月)	
1988	282.5	176.5	244.0	163.5	257.5	314.0	418.0	188.5	335.5	185.0	346.0	282.5	3,193.5	150.5 (7月)	
1989	244.5	253.5	174.5	204.5	165.0	157.5	414.5	324.5	613.5	116.0	283.0	224.5	3,175.5	110.0 (9月)	
1990	321.0	154.5	207.5	249.0	225.0	322.5	222.0	92.5	329.0	281.5	263.5	342.5	3,010.5	80.5 (7月)	

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	11		所 属 名		桶 井 保		水 系		九 頭 葎 川		該 当 河 川 名		滝 波 川		
	小 原 タム	小 原 タム	利水渠況図名 (5万分の1) (地形図名)		勝 山 [越前勝山]		所 在 地		勝山市北谷町小原		勝山市北谷町小原				
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1991	566.5	565.0	197.0	156.0	121.0	364.5	537.5	339.0	140.0	298.0	190.0	197.5	3,672.0	104.0 (8月)	
1992	213.0	213.5	240.0	197.0	191.5	85.0	293.5	333.5	149.0	207.5	205.5	311.5	2,640.5	99.5 (8月)	
1993	255.0	380.0	121.5	165.0	206.5	387.5	573.0	508.5	342.0	165.5	202.5	244.0	3,551.0	147.0 (7月)	
1994	206.5	195.0	110.5	106.5	211.5	166.5	115.0	61.5	297.5	133.5	150.5	213.5	1,968.0	80.5 (9月)	
總 計	6,590.0	5,458.0	4,207.5	4,314.5	4,696.5	5,909.0	8,148.0	5,482.5	5,499.5	4,185.5	4,547.5	5,627.0	64,665.5	2,390.0	
年 数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
平 均	329.5	272.9	210.4	215.7	234.8	295.5	407.4	274.1	275.0	209.3	227.4	281.4	3,233.3	119.5	

既往最多年降水量 4,187.5mm (昭和58年)
 既往最小年降水量 1,968.0mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 865.5mm (昭和58年 7月)
 既往最少月降水量 48.5mm (昭和61年 8月)
 既往最多日降水量 226.0mm (昭和56年 7月 3日)
 最多3時間降水量 110.5mm (昭和 年 月 日 時 ~ 日 時)
 最多1時間降水量 61.5mm (昭和 年 月 日 時)

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	12		気象庁		水		系		九頭竜川		該当河川名		女神川		
	勝山	山	所屬名	山名	所在地	山名	山名	山名	山名	山名	山名	山名	山名	山名	
観測所名	勝山 [越前勝山] 勝山市平泉寺町平泉寺														
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1977													X	X	
1978	379	246	135	126	108	362	80	98	118	98	150	136	2,036	92 (6/27)	
1979	251	267	110	157	118	191	199	145	310	130	282	164	2,304	66 (6/29)	
1980	436	315	162	181	232	148	395	211	132	311	119	632	3,274	75 (12/28)	
1981	X	177)	116	154	219	321	261	173	104	276)	141	108	X	X	
1982	132	79	132	173	115	164	104	331	213	57	236	237	1,973	123 (8/16)	
1983	293	329	205	239	128	128	639	149	400	141	259	268	3,178	128 (9/28)	
1984	339	212	161	138	117	284	217	75	97	77	128	432	2,277	86 (7/08)	
1985	184	229	187	148	287	286	568	13	381	166	391	346	3,186	119 (7/07)	
1986	379	171	150	131	161	225	393	20	85	183	82	199	2,179	86 (6/29)	
1987	249	232	206	62	223	117	315	151	87	140	88	211	2,081	90 (5/23)	
1988	273	165	202	121	185	295	273	131	265	134	338	263	2,645	85 (6/08)	
1989	222	227	146	144	116	168	377	166	521	69	270	222	2,648	92 (9/19)	
1990	260	128	174	145	185	234	221	77	193	232	244	274	2,367	80 (7/15)	
1991	375	393	166	109	98	247	398	205	114	236	174	177	2,692	76 (10/01)	
1992	257	247	189	168	133	128	202	168	72	184}	139	309	2,196	53 (1/18)	

注) X : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計面休止が一回でもあるとき
 休止 : 計面休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き : 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	12	所 属 名	気 象 庁		水 系		九 頭 滝 川	該 当 河 川 名	女 神 川								
			勝 山	[越前勝山]	所 在 地	勝 山 市 平 泉 寺 町 平 泉 寺											
観測所名	勝 山	利水現況図名 (5, 万分の1) (地形図名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm
年(西暦年)	1																
1993	281	269)	145	149	136	313	412	350	321	40)	133	200	2,749	103 (7/13)			
1994	125	88	83	98	137	136	65	10	180	82	127	244	1,375	53 (12/15)			
総 計	4,435	3,774	2,689	2,443	2,698	3,747	5,119	2,473	3,593	2,556	3,281	4,422	39,160				
年 数	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16				
平 均	277.19	222.00	157.00	143.71	158.71	220.41	301.12	145.47	211.35	150.35	193.00	260.12	2,447.50				

既往最多年降水量 3,274 mm (昭和 55年)
 既往最少年降水量 1,375 mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 639 mm (昭和 58年 7月)
 既往最少月降水量 10 mm (平成 6年 8月)
 既往最多日降水量 128 mm (昭和 58年 9月 28日)
 最多3時間降水量 mm (年 月 日 時~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

注) x : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計面休止が一回でもあるとき
 休止 : 計面休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下のとき
 空き : 降水量が1mmに満たないとき

既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	14		気象庁		水		系		九頭竜川		該当河川名		木爪川			
	大野	大野	所屬名	所屬名	所屬名	所屬名	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地		
観測所名	勝山 [荒島岳]															
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数	
															≥0.1mm	≥1.0mm
1974											201	/	x	x		
1975	休止	休止	/	146	154	247	270	253	141	221	118	/	/	136 (8/23)		
1976	休止	休止	/	97	164	270	123	376	387	201	222	258	/	145 (9/10)		
1977	218	230	206	219	158	155	184	179	70	48	232	227	2,126	77 (8/08)		
1978	347	243	136	154	92	339	63	89	103	87	130	111	1,894	82 (6/27)		
1979	235	272	107	153	111	196	166	170	264	156	265	145	2,240	71 (9/04)		
1980	393	392	150	168	186	145	411	214	180	345	128	731	3,353	115 (12/28)		
1981	x	241	171	171	212	302	209	211	98	262	159	194	x	x		
1982	252	107	143	196	116	148	124	399	214	65	262	238	2,264	107 (8/16)		
1983	295	395	186	241	132	98	525	112	374	135	280	286	3,059	134 (9/28)		
1984	376	234	170	126	116	292	186	62	66	95	122	516	2,381	77 (6/26)		
1985	233	231	183	150	255	295	513	77	408	145	407	339	3,236	134 (7/07)		
1986	370	175	165	113	149	188	422	30	130	152	86	196	2,176	88 (7/20)		
1987	243	259	186	58	225	109	243	124	85	165	89	215	2,001	85 (5/23)		
1988	293	207	227	120	200	300	263	94	270	124	332	229	2,659	76 (6/03)		
1989	197	200	138	153	142	178	391	199	528	63	259	219	2,667	92 (9/06)		

注) x : 欠測数が20%を越えるとき

/ : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき

休止 : 計画休止 (冬期観測を中止している)

) : 欠測数が20%以下るとき

空き : 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所別別降水量年表

測所名	14	所 属 名		気 象 庁												水	九 頭 竜 川	該 当 河 川 名	木 爪 川
		大 野	大 野	勝 山 [荒 嶋 岳]															
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数				
1990	270	126	191	141	151	216	188	73	208	231	267	303	2,365	65 (10/26)	≥0.1mm	≥1.0mm			
1991	385	425	152	119	105	233	360	174	117	237	165	166	2,638	86 (10/01)					
1992	243	217	158	160	139	111	208	164	71	133	122	264	1,990	56 (6/30)					
1993	233	252	107	125	103	307	348	321	312	83	163	230	2,584	112 (7/13)					
1994	156	122	89	70	129	105	39	14	189	76	121	255	1,365	58 (12/15)					
總 計	4,739	4,238	2,855	2,880	3,039	4,234	5,236	3,335	4,215	3,024	4,130	5,122	40,978						
年 數	17	18	18	20	20	20	20	20	20	20	21	19	17						
平 均	278.76	235.44	159.17	144.00	151.95	211.70	261.80	166.75	210.75	151.20	196.67	269.58	2,410.47						

既往最多年降水量 3,353 mm (昭和 55年)

既往最少年降水量 1,365 mm (平成 6年)

既往最多月降水量 731 mm (昭和 55年 12月)

既往最少月降水量 14 mm (平成 6年 8月)

既往最多日降水量 145 mm (昭和 51年 9月 10日)

最多3時間降水量 mm (年 月 日 時 ~ 日 時)

最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

既往最多降水量等は掲載データ内で把握した。

(注) x : 欠測数が20%を越えるとき
 / : 欠測数が20%を越え、計画休止が一回でもあるとき
 休止 : 計画休止(冬期観測を中止している)
) : 欠測数が20%以下るとき
 空き : 降水量が1mmに満たないとき

降水量観測所別降水量年表

対照番号	15		所 属 名		播 井 峠		水 系		九 頭 竜 川 水 系		該 当 河 川 名		雲		川	
	雲 川 夕 ム	利 水 現 況 図 名 (5万分の1) (地形図名)	所 在 地	所 在 地	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm			
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm	
1983	273.0	99.0	281.0	319.0	180.0	165.0	689.0	329.0	441.0	160.0	293.0	366.0	3,595	129.0 (8/18)	181.0	
1984	313.0	130.0	101.0	181.0	159.0	412.0	331.0	180.0	100.0	108.0	121.0	412.0	2,548	84.0 (7/8)	166.0	
1985	156.0	190.0	222.0	183.0	301.0	300.0	705.0	55.0	448.0	149.0	452.0	325.0	3,489	140.0 (7/1)	185.0	
1986	311.0	140.0	136.0	194.0	197.0	276.0	540.0	21.0	155.0	189.0	118.0	270.0	2,547	93.0 (7/13)	179.0	
1987	249.0	227.0	237.0	69.0	286.0	167.0	340.0	204.0	134.0	287.0	127.0	253.0	2,580	96.0 (7/20)	188.0	
1988	316.0	180.0	236.0	178.0	262.0	348.0	419.0	90.0	297.0	169.0	438.0	287.0	3,220	107.0 (7/11)	187.0	
1989	261.0	234.0	200.0	246.0	195.0	281.0	391.0	388.0	657.0	152.0	340.0	265.0	3,610	180.0 (8/28)	186.0	
1990	281.0	152.0	247.0	268.0	251.0	363.0	336.0	115.0	479.0	313.0	336.0	487.0	3,628	190.0 (9/20)	180.0	
1991	393.0	334.0	229.0	164.0	126.0	321.0	421.0	226.0	139.0	271.0	215.0	144.0	2,982	135.0 (8/31)	188.0	
1992	153.0	222.0	175.0	198.0	216.0	109.0	291.0	291.0	106.0	236.0	131.0	252.0	2,380	136.0 (8/9)	172.0	
1993	108.0	224.0	81.0	136.0	188.0	490.0	388.0	383.0	358.0	139.0	239.0	321.0	3,055	105.0 (9/4)	192.0	
1994	192.0	232.0	147.0	115.0	228.0	176.0	53.0	87.0	387.0	110.0	136.0	337.0	2,201	143.0 (9/30)	161.0	
1995	388.0	174.0	199.0	282.0	395.0	194.0	718.0	158.0								
總 計	3,374	2,538	2,491	2,533	2,985	3,602	5,622	2,530	3,701	2,283	2,946	3,718	35,835			
年 数	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12			
平 均	259.54	195.23	191.62	194.85	229.62	277.08	432.46	194.62	308.42	190.25	245.50	309.83	2,986.25			

既往最多年降水量 3,628.0mm (平成 2年)
 既往最少年降水量 2,201.0mm (平成 6年)
 既往最多月降水量 926.4mm (昭和40年 9月)
 既往最少月降水量 21.0mm (昭和61年 8月)
 既往最多日降水量 347.5mm (昭和39年 7月 9日)
 最多3時間降水量 mm (年 月 日 時 ~ 日 時)
 最多1時間降水量 mm (年 月 日 時)

降水量観測所別別降水量年表

対照番号	17		所 属 名		北 陸 電 力 機		水 系		九 頭 蓮 川		該 当 河 川 名		石 徹 白 川		
	石 徹 白	石 徹 白	利 水 現 況 図 名 (5万分の1) 〔地形図名〕	嶺 山 [大野]	7	8	9	10	11	12	全 年	最 多 日 量 (月 日)	雨 天 日 数 ≥0.1mm ≥1.0mm		
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
1974	154.4	188.7	119.8	304.7	255.5	208.0	461.5	387.5	295.0	182.5	166.5	170.4	2,892.5	229.5(8/25)	
1975	282.8	148.6	61.5	190.9	213.5	260.5	381.0	540.5	133.5	319.5	176.0	196.4	2,885.7	261.0(8/22)	
1976	383.5	158.1	140.0	235.1	202.0	284.5	221.5	525.0	883.5	289.5	210.6	188.2	3,851.5	338.5(9/10)	
1977	281.3	356.1	258.7	439.2	291.6	323.0	253.0	361.0	166.8	235.2	217.5	87.5	3,251.0	170.0(8/8)	
1978	223.3	151.2	71.4	193.6	129.8	624.0	118.0	148.5	249.0	113.5	139.0	130.3	2,291.6	79.5(6/27)	
1979	320.8	266.7	155.7	291.4	161.8	335.0	229.3	207.3	493.9	208.4	246.2	121.5	3,038.0	139.7(9/4)	
1980	87.0	21.0	72.0	249.0	406.0	319.0	632.0	205.0	323.0	346.0	40.0	34.0	2,734.0	158.0(7/11)	
1981	欠														
1982	(-)	(-)	(15.0)	200.0	131.0	147.5	302.0	515.0	317.0	67.0	286.5	(51.0)	(2,012.0)	80.5(8/27)	
1983	一自記之りはずし期間一		209.5	209.5	183.0	205.5	979.0	241.5	404.0	183.0	178.0	12.0	2,595.5	※1	
1984	(-)	(-)	(-)	119.0	256.3	412.3	433.9	158.3	225.2	87.9	164.9	(108.5)	(1,966.3)	※2	
1985	62.0	174.0	213.0	207.0	469.0	433.0	621.0	156.0	446.0	206.0	284.0	166.0	3,417.0	132.0(6/30)	
1986	98.0	42.0	148.0	245.0	258.0	341.0	449.0	89.0	98.0	148.0	80.0	148.0	2,154.0	79.0(7/5)	
1987	154.0	123.0	182.0	141.0	265.0	152.0	410.0	148.0	79.0	177.0	105.0	92.0	2,028.0	73.0(7/19)	
1988	120.0	87.0	162.0	188.0	299.0	440.0	393.0	176.0	369.0	128.0	150.0	108.0	2,644.0	106.0(7/10)	
1989	120.0	87.0	182.0	188.0	299.0	440.0	393.0	176.0	369.0	128.0	150.0	108.0	2,844.0	106.0(7/10)	

※1 欠測のため、把握できず

※2 欠測が多いため、統計処理せず

降水量観測所月別降水量年表

対照番号	17		北陸電力例			水		系		九頭章川		該当河川名		石徹白川	
	観測所名	石徹白	所	属	名	勝山〔大野〕	所在	地	郡上郡白鳥町石徹白	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
年(西暦年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	最多日量 (月日)	雨天日数 ≥0.1mm ≥1.0mm
1980	177.0	177.0	227.0	253.0	234.0	391.0	304.0	128.0	397.0	179.0	163.0	118.0	2,748.0	102.0(9/19)	
1981	72.0	157.0	294.0	173.0	159.0	418.0	562.0	176.0	280.0	216.0	143.0	140.0	2,731.0	95.0(7/29)	
1982	110.0	169.0	185.0	189.0	199.0	158.0	215.0	291.0	146.0	159.0	98.0	234.0	2,153.0	145.0(8/ 8)	
総計	2,628.1	2,307.4	2,447.1	4,016.4	4,412.5	5,890.3	7,359.2	4,629.6	5,674.9	3,353.5	2,968.2	2,143.8	47,837.1		
年数	15	15	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18		
平均	175.07	153.83	152.94	223.13	245.14	327.24	408.84	257.20	315.27	186.31	164.90	119.10	2,657.62		

既往最多年降水量 4,037.2mm (昭和36年)
 既往最少年降水量 2,028.0mm (昭和62年)
 既往最多月降水量 979.0mm (昭和58年 7月)
 既往最少月降水量 mm (昭和 年 月)
 既往最多日降水量 338.5mm (昭和51年 9月10日)
 最多3時間降水量 110.5mm (昭和51年 9月10日(8時~10日21時))
 最多1時間降水量 64.0mm (昭和54年 9月 4日(19時))

II 水位・流量資料

II. 1	水位・流量観測所（所属別, 観測機器別, 水系別）総括表	139
II. 2	水位・流量観測所一覧表	140
II. 3	流量観測所年別流況表	142



II.1 水位・流量観測所（所属別、観測機器別、水系別）総括表

所属別	観測機器及び水系別		九頭竜川		北川		計
	自記	普通	自記	普通	自記	普通	
建設省	3		1				4
福岡県	2						2
北陸電力	2						2
計	7		1				8

II. 3 流量観測所年別流量表

対照番号	□ 1	所属名	建設省	水系	九頭竜川	該当河川名 及び流域面積	九頭竜川	1,308 km ²								
									中	角	福井 [福井]	所在地	福井市中角町			
年 (西暦年)	流量 ㎥/sec (水位 cm)			年総量 ×100万 ㎥			比流量 (㎥/sec/100km ²)			流出高 mm						
	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水		平水	低水	濁水	最小	年平均	
1982	1,565.43	123.12	89.10	49.72	20.47	6.99	97.26	3,067.18	126.28	9.93	7.19	4.01	1.65	0.56	7.85	2,474.30
1983	1,986.53	151.01	118.19	85.92	28.95	20.92	149.69	4,720.59	160.49	12.19	9.54	6.93	2.34	1.69	12.08	3,810.00
1984	1,296.43	112.70	72.00	41.06	18.46	10.00	98.20	3,105.26	104.64	9.10	5.81	3.31	1.49	0.81	7.92	2,506.26
1985	1,760.62	156.33	110.75	65.20	31.66	14.22	140.50	4,430.88	142.10	12.62	8.94	5.26	2.56	1.15	11.34	3,576.01
1986	627.38	121.13	73.54	37.06	19.86	14.28	94.74	2,989.23	50.64	9.78	5.94	2.99	1.60	1.15	7.65	2,412.62
1987	755.95	81.26	49.38	28.68	15.28	9.40	61.84	1,950.28	61.01	6.56	3.99	2.31	1.23	0.76	4.99	1,574.08
1988	946.00	106.67	85.69	58.31	28.28	8.74	92.56	2,926.88	76.35	8.61	6.92	4.71	2.28	0.71	7.47	2,362.29
1989	2,144.10	129.14	81.20	50.80	24.10	15.32	114.63	3,615.66	172.97	10.42	6.55	4.10	1.94	1.24	9.25	2,916.31
1990	904.73	113.20	71.78	46.14	21.80	10.50	86.19	2,718.21	72.99	9.13	5.79	3.72	1.76	0.85	6.95	219.28
1991	628.84	113.27	76.04	55.46	32.33	18.01	100.91	3,182.25	50.73	9.14	6.13	4.47	2.61	1.45	8.14	266.72
1992	416.49	103.94	58.32	33.70	16.27	7.48	70.63	2,233.49	33.60	8.88	4.70	2.72	1.31	0.60	5.70	180.18
総計	13,034.5	1,311.77	885.99	552.05	257.46	135.86	1,107.15	34,939.11	1,051.8	105.86	71.5	44.53	20.77	10.97	89.34	22,286.05
年数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
平均	1,184.95	119.25	80.54	50.19	23.41	12.35	100.65	3,176.28	95.62	9.62	6.50	4.05	1.89	1.00	8.12	2,026.19

流量観測所年別流況表

対照番号	口3	所屬名	建設省	水	系	九頭竜川	該河川名及び流域面積		日野川	1,281 km ²						
							福井 [福井]	福井市深谷町								
観測所名	深谷	利根河川名 (5万分の1地形図名)														
年(西暦年)	流量 m ³ /sec (水位 cm)			年総量 ×100万 m ³			比流量 (m ³ /sec/100km ²)			流出高 mm						
	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	流出高	
1982	1,564.65	55.17	27.27	18.44	11.99	1.12	59.81	1,886.14	122.14	4.31	2.13	1.44	0.94	0.09	4.67	1,472.40
1983	1,926.62	87.30	38.01	22.92	12.64	1.40	82.49	2,601.32	150.40	6.81	2.97	1.79	0.99	0.11	6.44	2,030.70
1984	787.99	43.51	18.58	12.81	8.85	0.00	54.13	1,721.31	61.51	3.40	1.45	1.00	0.69	0.00	4.25	1,343.72
1985	1,247.39	98.14	32.07	16.14	10.31	0.00	82.01	2,586.37	97.38	7.66	2.50	1.26	0.80	0.00	6.40	2,019.02
1986	一部欠測のため流量区分できず															
1987	1,044.91	26.14	17.46	11.90	6.33	0.00	32.01	1,009.47	81.57	2.04	1.36	0.93	0.49	0.00	2.50	788.03
1988	843.19	47.10	25.25	17.22	9.93	0.00	48.58	1,536.22	85.82	3.68	1.97	1.34	0.78	0.00	3.79	1,199.23
1989	1,421.54	44.46	20.08	12.99	5.13	0.00	47.62	1,501.91	110.97	3.47	1.57	0.97	0.40	0.00	3.72	1,172.45
1990	1,440.29	40.64	22.59	14.70	8.37	0.00	38.79	1,223.39	112.43	3.17	1.76	1.15	0.65	0.00	3.03	95.50
1991	729.98	89.61	58.48	36.26	10.91	0.02	79.78	2,516.07	56.99	7.00	4.57	2.83	0.85	0.00	6.23	196.41
1992	424.74	46.66	24.53	15.65	9.98	0.00	38.82	1,227.63	33.16	3.64	1.91	1.22	0.78	0.00	3.03	95.83
総計	11,431.3	578.73	284.32	178.43	94.44	2.54	564.04	17,809.83	892.37	45.18	22.19	13.93	7.37	0.2	44.06	10,413.29
年数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
平均	1,143.13	57.87	28.43	17.84	9.44	0.25	56.40	1,780.98	89.24	4.52	2.22	1.39	0.74	0.02	4.41	1,041.33

流量観測所年別流況表

(様式2-b号)

対照番号	□4	所属名	建設省	水系	所在地	九頭竜川 福井市三尾野町	該当河川名 及び流域面積		日野川	888 km ²												
							観測所名	三尾野			福井〔福井〕	所在	地									
		利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)																				
年(西暦年)	流量 m ³ /sec (水位 cm)					年総量 ×100万m ³					比流量 (m ³ /sec/100km ²)					流出高 mm						
	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	
1982	944.10	53.57	33.57	14.25	5.97	0.07	41.99	1,324.29	144.49	7.79	4.88	2.07	0.87	0.01	6.10	1,924.80						
1983	1,098.14	67.24	42.74	19.82	5.18	1.42	57.96	1,827.91	159.61	9.77	6.21	2.88	0.75	0.21	8.42	2,656.80						
1984	413.50	47.45	23.16	5.29	1.41	0.16	37.63	1,186.79	60.10	6.90	3.37	0.77	0.20	0.02	5.47	1,724.88						
1985	735.19	71.85	38.77	18.19	3.17	0.10	55.69	1,756.18	106.86	10.44	5.64	2.64	0.46	0.01	8.09	2,552.59						
1986	333.32	49.74	28.29	13.00	2.70	0.57	42.64	1,344.76	48.45	7.23	4.11	1.89	0.39	0.08	6.20	1,954.59						
1987	632.44	41.26	21.93	11.51	4.92	2.32	31.84	1,001.52	91.92	6.00	3.14	1.67	0.72	0.34	4.83	1,455.70						
1988	466.12	58.81	40.32	24.24	10.03	2.98	48.86	1,545.06	67.75	8.55	5.86	3.52	1.46	0.43	7.10	2,245.73						
1989	1,174.80	53.64	34.67	20.88	6.66	0.40	48.45	1,527.85	170.73	7.80	5.04	3.03	0.97	0.06	7.04	2,230.71						
1990	1,135.81	46.36	24.96	11.26	2.44	0.77	34.54	1,089.21	194.17	6.74	3.63	1.64	0.35	0.11	5.02	158.32						
1991	443.44	一部欠測のため流量区分できず																				
1992	240.59	57.66	31.39	12.98	3.53	0.00	39.62	1,252.74	34.97	8.38	4.56	1.89	0.51	0.00	5.76	182.08						
総計	7,617.35	547.58	319.50	151.42	46.01	8.79	439.22	13,856.31	1,079.05	79.60	46.44	22.00	6.68	1.27	63.83	17,076.4						
年数	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
平均	692.49	54.76	31.95	15.14	4.60	0.88	43.92	1,385.63	107.91	7.96	4.64	2.20	0.67	0.13	6.38	1,707.64						

流量観測所年別流況表

対照番号	口6		所属名		北陸電力㈱		水		系		九頭竜川		該当河川名 及び流域面積		足羽川		150 km ²						
	柿ヶ原		利水環況図名 (5万分の1) (地形図名)		鱒江 [大野]		所在		地		今立郡池田町柿ヶ原												
年(西暦年)	流量 m ³ /sec				水位 cm				年総量 ×100万 m ³				比流量 (m ³ /sec/100km ²)										
	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	流出高 mm	
1984	108.44	8.69	4.82	2.90	1.98	1.60	9.37	296.38	72.31	5.80	3.21	1.93	1.32	1.07	6.25	1,976.39							
1985	95.48	14.49	6.71	3.97	1.51	1.14	11.34	357.74	63.67	9.86	4.48	2.65	1.01	0.76	7.57	2,385.57							
1986	54.01	9.07	4.13	2.75	1.65	1.30	7.70	242.85	36.02	6.05	2.75	1.83	1.10	0.87	5.14	1,619.43							
1987	49.20	7.11	4.72	2.99	2.20	2.05	6.51	205.18	32.81	4.74	3.15	1.99	1.47	1.37	4.34	1,368.23							
1988	49.20	10.95	7.65	5.38	2.82	2.20	9.29	293.80	32.81	7.30	5.10	3.59	1.88	1.47	6.20	1,959.19							
1989	107.56	10.84	7.37	4.94	2.50	2.34	9.15	288.53	71.73	7.23	4.92	3.29	1.67	1.56	6.10	1,924.05							
1990	82.81	9.51	7.04	4.54	1.83	1.62	8.20	258.44	55.22	6.34	4.70	3.03	1.22	1.08	5.47	1,723.39							
1991	69.63	12.42	8.30	5.64	3.37	2.99	11.20	353.19	46.43	8.28	5.54	3.76	2.25	1.99	7.47	2,355.23							
1992	53.68	11.70	7.22	4.54	2.65	2.30	8.97	283.55	35.78	7.80	4.82	3.03	1.77	1.53	5.98	1,890.84							
1993	59.05	14.75	11.21	6.97	4.00	3.63	12.60	397.32	39.38	9.84	7.48	4.65	2.67	2.42	8.40	2,649.51							
1994	70.38	11.44	4.89	2.12	0.98	0.90	7.78	245.23	46.94	7.63	3.26	1.41	0.65	0.60	5.19	1,635.30							
総計	799.43	120.97	74.06	46.74	25.99	22.07	102.11	3,222.21	533.10	80.67	49.41	31.16	17.34	14.72	66.11	21,487.13							
年数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
平均	72.68	11.00	6.73	4.25	2.36	2.01	9.28	292.93	48.46	7.33	4.49	2.83	1.58	1.34	6.19	1,953.38							

流量観測所年別流況表

対照番号	□7	所属名	北陸電力㈱	水	系	九頭竜川	該当河川名 及び流域面積		101 km ²							
							打波川	打波川								
観測所名	打波川	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	勝山 [荒島岳]	所在	地	大野市下打波										
年(西暦年)	流量 ㎥/sec (水位 cm)					年総量 ×100万㎥	比流量 (㎥/sec/100km ²)					流出高 mm				
	最大	豊水	平水	低水	濁水		最小	年平均	最大	豊水	平水		低水	濁水	最小	年平均
1966	60.05	14.45	8.41	5.42	2.89	2.30	11.21	353.64	59.87	14.36	8.36	5.39	2.87	2.29	11.14	3,514.26
1967	94.57	13.31	5.74	4.03	2.42	2.12	10.59	333.84	96.98	13.23	5.70	4.01	2.41	2.11	10.52	3,317.50
1968	53.91	7.95	5.28	3.80	2.33	2.05	9.72	307.43	53.57	7.80	5.25	3.78	2.32	2.04	9.66	3,055.05
1969	72.60	13.31	6.86	4.69	3.11	2.90	11.22	353.77	72.15	13.23	6.82	4.66	3.09	2.88	11.15	3,515.55
1970	54.29	10.57	6.29	4.47	2.76	2.57	9.33	294.07	53.95	10.50	6.25	4.44	2.74	2.55	9.27	2,922.29
1971	68.14	14.33	8.51	5.64	3.19	2.84	12.25	386.39	67.71	14.24	8.46	5.61	3.17	2.82	12.18	3,839.71
1972	124.81	12.86	7.92	5.95	3.65	2.13	10.83	342.40	124.03	12.58	7.87	5.91	3.63	2.12	10.76	3,402.56
1973	87.66	8.09	5.69	4.13	2.27	1.93	8.02	252.88	87.11	8.04	5.65	4.10	2.26	1.92	7.97	2,512.97
1974	117.56	12.51	7.02	4.05	2.49	2.39	12.82	404.27	116.82	12.43	6.98	4.03	2.47	2.38	12.74	4,017.39
1975	126.45	11.84	6.46	4.37	3.11	2.75	11.06	348.86	125.66	11.77	6.42	4.34	3.09	2.73	10.99	3,466.76
1976	209.38	13.75	8.99	6.03	2.77	2.65	13.06	413.11	208.07	13.66	8.93	5.99	2.75	2.63	12.88	4,105.24
1977	87.06	9.34	6.06	3.56	1.81	1.75	10.31	324.99	86.52	9.28	6.02	3.54	1.90	1.74	10.24	3,229.55
1978	82.15	10.67	5.83	3.54	2.14	1.76	9.55	301.09	81.84	10.60	5.79	3.52	2.13	1.75	9.49	2,992.05
1979	62.79	10.15	7.26	4.93	3.05	2.59	9.33	294.18	62.40	10.09	7.22	4.90	3.03	2.57	9.27	2,923.38
1980	86.46	14.29	8.20	5.65	3.39	2.89	12.16	384.65	85.92	14.20	8.15	5.62	3.37	2.87	12.09	3,822.42
1981	122.95	16.46	7.33	3.93	2.45	2.33	14.74	464.68	122.18	16.36	7.28	3.91	2.44	2.32	14.64	4,617.71
1982	57.80	10.42	6.87	4.30	2.67	2.43	8.46	266.81	57.44	10.36	6.63	4.27	2.65	2.42	8.41	2,651.40

流量観測所年別流量況表

対照番号	口7	所属名	北陸電力御		水系	九頭竜川		該当河川名 及び流域面積		打波川	101 km ²					
			勝山〔荒島岳〕	所在地		最大	最小	最大	最小							
観測所名	打波川	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)			所在	大野市下打波										
年(西暦年)	流 量 単 位 / sec (水位 cm)						出 流 量 (m ³ /sec/100km ²)						流 出 高 mm			
	最大	豊水	平水	低水	濁水	最小	年平均	×100万m ³	最大	豊水	平水	低水		濁水	最小	年平均
1983	114.92	13.53	8.30	5.03	3.29	2.81	13.83	436.08	114.20	13.45	8.25	5.00	3.27	2.79	13.74	4,333.50
1984	93.71	10.57	4.51	3.06	2.14	1.94	10.20	322.51	93.12	10.50	4.48	3.04	2.13	1.93	10.14	3,204.91
1985	98.13	16.16	8.28	4.92	2.56	2.36	13.89	438.00	97.52	16.06	8.23	4.89	2.54	2.35	13.80	4,352.58
1986	69.31	12.73	5.47	2.88	1.88	1.61	10.83	341.62	68.88	12.65	5.44	2.86	1.97	1.60	10.77	3,394.81
1987	94.99	9.40	5.65	4.05	2.23	1.32	8.26	260.53	94.40	9.34	5.62	4.03	2.21	1.31	8.21	2,588.99
1988	66.03	12.12	7.41	5.18	2.74	1.79	10.22	323.01	65.92	12.04	7.36	5.15	2.72	1.78	10.15	3,209.88
1989	94.19	12.33	8.40	5.88	3.82	2.88	11.22	353.84	93.60	12.25	8.35	5.94	3.80	2.66	11.15	3,516.25
1990	52.22	12.57	8.58	5.55	2.48	2.16	10.27	323.88	51.89	12.49	8.53	5.52	2.47	2.15	10.21	3,219.52
1991	55.50	14.27	8.04	5.34	3.69	3.16	12.13	382.44	55.15	14.18	7.99	5.31	3.67	3.16	12.05	3,800.46
1992	52.17	9.63	5.32	3.97	2.48	2.07	7.90	249.93	51.64	9.57	5.29	3.95	2.46	2.06	7.86	2,483.65
1993	111.97	14.98	8.84	6.26	3.52	1.45	13.07	412.19	111.27	14.89	8.79	6.22	3.50	1.44	12.99	4,098.09
1994	73.06	7.40	4.89	3.30	1.75	1.58	6.93	218.64	72.60	7.35	4.86	3.28	1.74	1.57	6.89	2,172.71
總計	2,544.83	349.79	202.21	134.01	79.28	65.53	313.41	9,888.83	2,528.81	347.60	200.97	133.21	78.80	65.14	311.46	98,279.14
年数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
平均	87.75	12.06	6.97	4.62	2.73	2.26	10.81	341.03	87.20	11.99	6.93	4.59	2.72	2.25	10.74	3,888.94

流量観測所年別流況表

対照番号	口B	所 属 名		建 設 省	水 系	北 川	該 当 河 川 名 及 び 流 域 面 積		北 川	202 km ²					
		高 塚	利水風祝園名 (5方分の1) (地形園名)				北 川 [熊川]	通 越 郡 上 中 町 新 道							
年(西暦年)	流 量 m ³ /sec (水位 cm)				年 終 量 ×100万m ³				比 流 量 (m ³ /sec/100km ²)				流 出 高 mm		
	最大	豊水	平水	低水	洪水	最小	年平均	最大	豊水	平水	低水	洪水		最小	年平均
1982	317.48	13.46	7.77	3.66	1.30	0.50	11.22	352.84	6.68	3.85	1.82	0.64	0.25	5.56	1,755.20
1983	295.91	14.00	10.27	6.96	0.81	0.34	12.97	405.94	6.94	5.09	3.45	0.40	0.17	6.43	2,028.50
1984	101.75	9.86	4.90	2.42	1.04	0.55	9.00	284.76	4.39	2.43	1.20	0.52	0.27	4.46	1,412.50
1985	633.52	13.82	8.36	3.15	0.48	0.31	12.61	397.65	6.86	4.15	1.56	0.24	0.14	6.24	1,972.47
1986	214.96	12.96	7.23	3.27	1.96	0.98	10.81	340.96	6.43	3.59	1.62	0.97	0.49	5.36	1,681.27
1987	223.98	9.82	4.99	2.74	1.67	1.21	8.08	254.86	4.87	2.48	1.36	0.83	0.60	4.01	1,264.19
1988	300.66	13.95	8.32	5.62	3.02	1.21	13.04	412.48	6.92	4.13	2.79	1.50	0.60	6.47	2,046.03
1989	364.95	13.94	9.66	5.97	2.27	1.09	12.35	389.45	6.91	4.79	2.96	1.13	0.54	6.13	1,931.80
1990	813.59	15.18	7.96	4.24	0.60	0.43	13.60	423.96	7.53	3.95	2.10	0.30	0.21	6.75	212.78
1991	137.54	16.30	9.61	4.92	2.23	0.78	13.36	421.34	8.09	4.77	2.44	1.11	0.39	6.63	209.00
1992	153.68	13.81	8.04	3.81	1.90	1.07	10.88	344.11	6.85	3.99	1.89	0.94	0.53	5.40	170.69
総 計	4,063	147.1	87.11	46.76	17.28	8.47	127.92	4,037.35	72.97	43.22	23.19	8.58	4.19	63.44	14,894.43
年 数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
平 均	369.36	13.37	7.92	4.25	1.57	0.77	11.63	367.03	6.63	3.93	2.11	0.78	0.38	5.77	1,335.86

III 地下水位資料

III. 1	地下水位観測井戸（所属別，観測機器別，市町村別）総括表	151
III. 2	地下水位観測井戸一覧表	152
III. 3	地下水位観測記録年表	156

Ⅲ. 1 地下水観測井戸（所属別、観測機器別、市町村別）総括表

観測機器及び市町村別	所属別		建設省	福井県	福井市	上中町	その他	計
	福井市	金津町						
自記	福井市	6	9	2			1	18
	金津町		1					1
	丸岡町	2	1					3
	春江町	2	2					4
	坂井町	2	2					4
	上中町					1		1
普通								
計		12	15	2	1	1	31	

III. 2 地下水水位観測井戸一覽表

対照 番号	和 zwar 況 図 名 (5万分の1 地形 図 名)	観測井戸名	観測井戸所在地	井戸所有者	所属名	水系名	観測項目	井戸掘 年月日	井戸 口径 m	井戸深 度及 スト ローク 深 度 m	観測機 器 類 種	観測の 対象 にな って い る 帯 水 層 名	観測開 始 年 月 日	観測井戸 の 地 盤 高 m	資 料 取 得 場 所	備 考
1	福井〔福井〕	山室	福井市山室町47-39(小野田宅)	建設省	建設省	九頭竜川			100	100 (73.0~83.0) (89.0~99.0)	自記			5.25	建設省 福井工務所	地下水位年表
2	福井〔福井〕	高柳	福井市高柳町	福井県	福井県	九頭竜川			350	43 (22~34)	自記			9.18	福井県 地域振興課	
3	福井〔福井〕	高柳	福井市高柳町	福井県	福井県	九頭竜川			200	150 (88~99) (99~105) (110~129)	自記			9.50	福井県 地域振興課	
4	福井〔三國〕	河原田	坂井郡坂井町河和田	福井県	福井県	九頭竜川			65	100 (58~63) (92~98)	自記			7.38	福井県 地域振興課	
5	福井〔三國〕	木部	坂井郡坂井町高柳49-1(木部小学校)	建設省	建設省	九頭竜川			150	11 (1.0~9.0)	自記			2.20	建設省 福井工務所	地下水位年表
6	福井〔三國〕	木部	坂井郡坂井町高柳49-1(木部小学校)	建設省	建設省	九頭竜川			150	64 (49.0~62.0)	自記			2.20	建設省 福井工務所	地下水位年表
7	福井〔福井〕	上新庄	坂井郡坂井町上新庄(新井村)	福井県	福井県	九頭竜川			250	105 (78~98)	自記			7.75	福井県 地域振興課	
8	福井〔福井〕	長田	坂井郡春江町千手寺39-5(新井村)	建設省	建設省	九頭竜川			150	25 (10.0~25.0)	自記			5.06	建設省 福井工務所	地下水位年表
9	福井〔福井〕	長田	坂井郡春江町千手寺35-5(新井村)	建設省	建設省	九頭竜川			100	45 (36.0~45.0)	自記			5.06	建設省 福井工務所	地下水位年表
10	福井〔永平寺〕	上安	坂井郡丸岡町上安田(新井村)	福井県	福井県	九頭竜川			250	80 (53~69)	自記			12.45	福井県 地域振興課	
11	福井〔三國〕	河原井手	坂井郡金津町河原井手(山崎)	福井県	福井県	九頭竜川			250	100 (46~46) (51~62)	自記			7.44	福井県 地域振興課	
12	福井〔永平寺〕	丸岡	坂井郡丸岡町内田16字5(丸岡運動公園)	建設省	建設省	九頭竜川			150	11 (2.2~9.0)	自記			11.55	建設省 福井工務所	地下水位年表
13	福井〔福井〕	上小	坂井郡春江町室町(長井村)	福井県	福井県	九頭竜川			300	104 (70~87)	自記			4.60	福井県 地域振興課	

地下水水位観測井戸一覽表

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	観測井戸名	観測井戸所在地	井戸所有者	所属名	水系名	観測項目	井戸掘り出し年月日	井戸口径mm	井戸深底及び ストローク深度m	観測機器 種類	観測の対象 になつてい る帯水層名	観測開始 年月日	観測高 の地盤高 m	資料保管場所	備考
14	福井〔福井〕	江留中	坂井郡春江町 江留中〔野田線〕	福井県	福井県	九頭竜川			65	100 (70~80)	自記			6.00	福井県 地域振興課	
15	福井〔福井〕	河合	福井市 山笠町10字2-1 (河合小学校)	建設省	建設省	九頭竜川			100	50 (34.0~45.0)	自記			4.71	建設省 福井事務所	地下水位年表
16	福井〔福井〕	中角	福井市河合勝風 (仁愛学園内)	福井県	福井県	九頭竜川			100	100 (67~84)	自記			6.75	福井県 地域振興課	
17	福井〔福井〕	渡	福井市 学園1丁目1 渡小学校敷地内	福井県	福井県	九頭竜川	沈下、水位	H 1. 3	150	204 (72.0~79.5) (88.5~90.5) (96.5~99.5) (132.5~138.0)	自記		H 1. 4. 1	6.55	福井県 地域振興課	
18	福井〔福井〕	春山	福井市 文京3-13-1 春山小学校 敷地内	福井市	福井市	九頭竜川	沈下、水位	S59. 2	150 150	43 150 (38.5~42.5) (70.0~75.5) (83.0~88.5) (128.0~133.5)	自記		S59. 4. 1	6.72	福井市	
19	福井〔福井〕	文京(浅)	福井市 文京2丁目5 (明道小学校)	建設省	建設省	九頭竜川			150	47 (27.0~44.0)	自記			6.60	建設省 福井事務所	地下水位年表
20	福井〔福井〕	文京(深)	福井市 文京2丁目5 (明道小学校)	建設省	建設省	九頭竜川			150	110 75.0 (65.0~73.0) (85.0~88.0) (92.0~107.0)	自記			6.60	建設省 福井事務所	地下水位年表
21	福井〔福井〕	大手	福井市 大手3丁目11	福井市	福井市	九頭竜川	水位	S37. 9	200	120 (72.0~93.0)	自記		H 4. 2. 18	9.34	福井市	
22	福井〔福井〕	木田(浅)	福井市木田 1丁目1960 (明倫中学校)	福井県	福井県	九頭竜川	沈下、水位		150	28 (26~28)	自記			7.44	福井県 環境保全課	
23	福井〔福井〕	木田(深)	福井市木田 1丁目1960 (明倫中学校)	福井市	福井市	九頭竜川	沈下、水位		150	150 (70~76)	自記			6.72	福井県 環境保全課	
24	福井〔福井〕	上六条(浅)	福井市上六条町	福井県	福井県	九頭竜川			100	30 (24~27)	自記			12.47	福井県 地域振興課	
25	福井〔福井〕	上六条(深)	福井市上六条町	福井県	福井県	九頭竜川			250	100 (57~73) (81~87)	自記			12.72	福井県 地域振興課	

Ⅲ.3 地下水水位観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年 昭												平成 元	4	5	6
	月	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63				
1	1	-5.74	-6.37	(-5.43)	(-10.86)	-5.46	-5.19	-6.61	-8.83	-9.00	-4.87	-4.68	-3.79	-5.28	-3.47	-4.27
	2	-8.00	-6.56	(-8.28)	(-7.25)	-6.88	(-6.75)	(-9.65)	(-7.49)	-9.30	-5.70	-6.66	-4.52	-5.28	-4.15	-5.82
	3	-6.63	-6.14	(-5.54)	(-5.17)	(-5.42)	-5.63	(-6.56)	(-5.36)	-7.02	-6.10	-5.10	-3.96	-4.52	-3.71	-3.80
	4	-5.86	-6.14	-4.97	(-5.01)	(-5.29)	-5.04	(-5.61)	-5.09	-6.45	-4.74	-4.40	-4.30	-4.38	-3.90	-3.48
	5	-6.71	-6.40	-5.58	(-6.25)	(-6.56)	(-5.40)	-6.29	-5.51	-5.67	-5.29	-5.00	-4.73	-4.82	-4.14	-3.68
	6	-6.64	-7.37	(-6.09)	-6.43	-7.02	(-6.62)	-7.28	-6.19	-6.46	-5.98	-5.47	-5.47	-5.58	-4.79	-4.56
	7	-8.32	-7.90	(-6.08)	-7.36	-7.60	-6.87	-7.93	-6.52	-6.59	-6.95	-5.73	-5.44	-6.54	-4.87	-5.71
	8	-8.88	-8.33	-6.99	-7.79	-7.15	-7.65	-8.45	-8.03	-7.76	-7.03	-6.74	-5.58	-7.08	-5.09	-6.06
	9	-8.34	-7.32	(-6.41)	(-7.95)	-6.82	-7.62	(-7.82)	-7.50	-7.29	-6.77	-6.30	-5.82	-6.57	-4.54	-5.30
	10	-7.36	-6.26	(-4.64)	(-6.12)	-6.03	-6.13	(-6.50)	-5.84	-5.98	-5.74	-4.92	-4.96	-5.05	-4.10	-4.52
	11	-7.06	-5.89	(-4.52)	-5.45	-5.61	-5.66	-6.38	-5.23	-5.27	-4.93	-4.63	-4.68	-4.24	-3.84	-3.97
	12	-7.04	-5.37	(-4.88)	-5.71	-5.35	-5.67	-6.35	-6.44	-5.09	-5.01	-4.96	-4.68	-3.90	-3.809	(-4.03)
年平均	-7.13	-6.67	-5.85	(-6.78)	-6.27	-6.19	-7.12	-6.50	-6.74	-5.76	-5.38	-4.81	-5.27	-4.20	-4.60	
2	1												4.50	4.37	3.58	4.25
	2												4.64	4.39	3.70	4.71
	3												4.25	4.17	3.78	4.17
高 柳 (浅)	4												4.04	3.72	3.69	3.94
	5												3.60	3.57	3.68	3.49
	6												4.01	4.19	4.08	3.64
	7												4.30	3.97	4.18	3.39
	8												4.52	4.23	4.01	3.46
	9												4.58	4.52	4.40	3.44
	10												4.21	4.27	(4.66)	4.06
	11												3.82	4.12	(4.19)	4.43
12												3.55	4.33	3.99	3.98	
年平均												4.15	4.09	4.13	3.73	4.15

注) 1. 数値は標高(T, P)で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	
	月																			
3	1														12.07 (11.18)	11.03	9.06 (8.63)			
	2														11.94	12.66	11.67	11.03		
	3														11.13	11.35	10.84	10.48 (10.17)		
	4														10.84	10.03 (10.28)	10.26	9.85		
	5														10.76	9.99 (10.18)	9.64	9.48		
	6														11.75	11.14	11.04	10.43	10.46	
	7														12.53	11.78 (10.59)	11.72 (10.59)	11.52		
	8														12.99	12.03 (10.81)	11.98 (10.81)	11.65		
	9														12.76	12.22	12.08 (10.51)	11.60		
	10														11.44	11.25	11.50	10.34	10.83	
	11														10.70	10.87	10.91	10.29	10.48	
	12														10.33	11.03	11.18	10.40	10.48	
年平均														11.63	11.29	11.22	10.40	10.63 (3.67)		
4	1														(4.67)	4.40	4.40		(4.63)	
	2														4.63	4.30	4.34 (4.19)	4.34		
	3														4.33	4.00	4.16	4.11	4.15	
	4														4.20	4.04	4.14	3.82	3.98	
河原田	5														4.51	4.34	4.42	3.94	3.86	
	6														4.76	4.44	4.45	3.88 (3.56)		
	7														4.87	4.53	4.47	3.97		
	8														(4.80)	4.66	4.64	3.90 (4.39)		
	9														4.44		4.53 (4.14)	4.43		
	10														4.22 (4.31)	(4.31)	(4.24)	4.12	4.49	
	11														4.14	4.39		3.97	4.06	
	12														4.50	4.32 (4.37)	3.98	(4.17)		
	年平均																			

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭												平成					
	月	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
5	1			(1.65)	1.62	0.69	0.85		0.73	0.81	0.84	0.74	0.63	0.58	0.64		0.65	0.62
	2			1.66	1.57	0.64	0.88		(0.69)	0.79	0.78	0.56	0.60	0.60	0.56		0.65	0.64
	3			1.43	1.33	0.53	0.87		(0.61)	0.84	0.74	0.58	0.58	0.54	0.50		0.52	0.54
	4		(1.62)	1.51	1.27	0.73	1.07		0.85	1.08	0.85	0.54	0.54	0.56	0.55		0.54 (0.62)	
	5		1.56	1.61	1.32	1.11	1.28		1.28	1.12	0.65	0.63	0.58	0.55	0.55		0.58	0.60
	6		1.52	1.57	1.31	1.11	1.16		1.23	(1.03)	0.84	0.59	0.61	0.55	0.55		0.59	0.59
	7		1.15	1.55	1.20	1.00	1.06		1.11	(1.14)	0.87	0.65	0.62	0.63	0.65		0.65	0.65
	8		1.56	1.35	1.30	1.23	1.15		1.20	(1.07)	0.77	0.77	0.67	0.67	0.71		0.74	0.77
	9		(1.27)	1.29	1.04	0.98	1.09		0.89	0.96	0.68	0.55	0.63	0.58	0.75		0.69	0.73
	10			1.35	1.13	1.11	0.73	0.70		0.60	0.79	0.88	0.53	0.58	0.58		0.57	0.63
	11			1.37	1.11	0.79	0.91	0.73		0.67	1.01	0.56	0.58	0.67	0.59		0.53	0.62
	12		1.54	1.59	0.79	0.91	0.74	0.74		0.77	0.91	0.62	0.60	0.66	0.63		0.64	0.70
年平均		(1.46)	1.49	1.25	1.25	0.85	0.97		0.89	0.96	0.69	0.61	0.61	0.61		0.61	0.64	
6	1			(-3.42)	-5.27	-3.53	-3.43		-4.04	-14.13	-5.43	-3.35	-3.13	-2.70	-2.91		-2.34	-2.43
	2			(-5.33)	-4.99	-4.43	-4.16		-6.15	-10.45	-6.25	-3.87	-4.12	-3.02	-3.53		-2.68	-3.55
	3			-4.40	-4.40	-3.83	-3.95		-5.00	-6.95	-5.20	-4.19	-3.72	-2.77	-3.08		-2.50	-2.72
	4		(-4.62)	-4.07	-3.96	-3.84	-3.70		-4.84	-5.64	-4.40	-3.78	-3.57	-3.10	-3.18		-2.62	-2.54
	5		-4.78	-4.23	-4.23	-4.51	-4.14		(-4.65)	-5.50	-4.22	-3.87	-3.56	-3.23	-3.30		-2.68	-2.46
	6		-5.11	-4.44	-4.39	-4.84	-4.60		-5.07	-6.29	-4.44	-3.98	-3.71	-3.58	-3.67		-3.01	-2.80
	7		-5.42	-4.62	-4.89	-5.21	-4.53		-5.25	-7.25	-4.43	-4.45	-3.76	-3.70	-4.02		-3.06	-3.31
	8		-5.83	-4.79	-5.44	-4.80	-4.98		-5.99	-9.57	-5.24	-4.67	-4.37	-4.37	-3.93		-3.12	-3.88
	9		-5.38	-4.65	-5.15	(-4.82)	-5.07		-5.80	-8.70	-5.31	-4.86	-4.41	-4.41	-3.91		-2.81	-3.57
	10		-4.84	-3.93	-4.36	(-4.25)	-4.33		-4.92	-6.62	-4.33	-4.21	-3.68	-3.68	-3.53		-2.71	-3.09
	11		-4.33	-3.39	-3.82	-3.95	-4.00		-4.46	-6.15	-3.79	-3.61	-3.20	-3.20	-3.26		-2.54	-2.80
	12		-4.05	-3.42	-3.73	-3.71	-3.75		-4.12	-9.81	-3.59	-3.49	-3.26	-3.26	-3.11		-2.46	-2.68
年平均		(-4.91)	-4.22	(-4.55)	-4.31	-4.22		-4.97	-8.09	-4.72	-4.03	-3.71	-3.71	-3.32		-2.71	-2.99	

注) 1. 数値は標高 (T, P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭												平成 元	3	4	5	6		
	月	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3							
9	1								0.13	1.13	-0.95	0.47	0.56	1.11	0.77		1.28	1.07	
	2	(0.05)	(-1.13)	(0.04)	(-1.52)	0.61	0.58		-1.50	(-0.57)	-1.57	0.12	-0.17	0.94	0.36		1.15	0.31	
	3		0.10		0.07	0.43	0.43	0.52	-0.35	0.20	-0.50	-0.03	0.32	1.06	0.69		1.26	(0.30)	
	4		0.02	(0.39)	0.48	0.55	0.83	0.83	-0.40	(0.53)	0.30	0.57	0.72	0.92	0.82		1.16	(1.28)	
	5		(0.11)	0.37	0.57	0.43	0.79	0.79	0.00	0.71	0.62	0.77	0.96	1.16	0.97		1.38	(1.48)	
	6		(-0.29)	0.16	0.40	0.40	0.08	0.48	0.86	0.52	0.43	0.62	0.78		0.54		1.19	(1.12)	
	7		(-0.61)	0.63	-0.13	-0.25	-0.25	0.25	-1.12	0.40	0.18	0.04	0.52		0.16		1.08	0.68	
	8		(-0.70)	(0.02)	-0.45	-0.45	-0.17	-0.11	-1.58	-0.37	-0.33	-0.09	0.08		-0.07		0.93	0.32	
	9		(-0.60)		-0.51	-0.51	0.08	-0.31	-0.72	-0.41	-0.41	0.20	0.10		-0.02		1.09	0.40	
	10		-0.14		-0.28	-0.28	0.22	0.27	(-0.35)	0.32	0.17	0.13	0.53		0.56		1.17	0.73	
	11		-0.01		0.20	0.20	0.35	0.38	(-0.12)	0.57	0.37	0.34	0.74		0.98		1.18	0.86	
	12		(0.19)		0.41	0.41	0.54	0.52	-0.09	0.14	0.40	0.34	0.78		1.15		1.25	1.00	
年平均		(-0.17)	(-0.02)	-0.11	-0.11	0.28	0.35	-0.58	0.08	-1.11	0.26	0.49		0.58		1.18	0.85		
10	1													(8.83)		11.44	10.06	10.60	
	2													(7.05)		11.00	10.43	(11.31)	
	3													(6.68)			10.26	10.30	
上 安 田	4													6.67		10.27	10.28	10.13	
	5													(5.83)	(-10.62)	9.83	9.56	9.47	
	6														(10.74)	10.61	9.96	10.11	
	7													(7.82)	11.28	11.19	10.13	10.33	
	8														11.45	11.22	10.16	10.74	
	9														(11.74)	11.43	9.95	10.82	
	10														11.09	11.19	10.11	(10.60)	
	11														10.96	(10.98)	10.25	(10.54)	
	12														(11.17)	(10.86)	10.07	10.55	
	年平均														(7.05)	(11.15)	(10.88)	10.10	10.49

注) 1. 数値は標高 (T, P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成		2	3	4	5	6	
	月													元							
11	1															13.27 (13.47)	(11.45)	(12.50)	(11.24)	10.40	
	2																11.67			11.34	
	3															13.18	11.47	(12.99)	(10.91)	11.18	
河 原 井 手	4															13.08	11.21	12.83	(10.86)	10.94	
	5															(13.04)	(11.36)	12.77		(9.95)	
	6															13.29	11.77	12.46	(11.33)	10.11	
	7															13.47	11.92	10.85	11.35	10.61	
	8															12.51	10.27	(11.33)	10.68	11.06	
	9															13.80			(10.97)	10.94	
	10															13.17			(10.44)	10.50	
	11															13.19	12.72	(11.59)	10.23	10.75	
	12															13.38	12.64	(11.63)	10.15	10.47	
	年平均															13.23	(11.58)	(12.12)	(10.77)	10.69	
	12	1					10.23	10.18	10.15		10.11	0.81	10.15	9.91		10.08	10.19	10.20		10.06	9.94
		2					10.28	10.06	10.15		10.05	0.79	10.12	9.99		10.13	10.19	10.20		10.02	9.97
3						10.24	9.96	10.15		10.12	0.84	10.20	10.07		10.15	10.16	10.10		9.95	9.66	
4						10.18	9.98	10.10		10.07	1.08	10.12	10.03		10.13	10.19	10.01		9.93	9.79	
5						10.27	10.15	10.19		10.15	1.12	10.23	10.23		10.30	10.31	10.14		10.12	10.10	
丸	6					10.25	10.28	10.15		10.16	(1.03)	10.20	10.22		10.31	10.31	10.24		10.11	10.08	
	7					10.25	10.25	10.10		10.11	(1.14)	10.17	10.26		10.33	10.32	10.24		10.17	10.03	
	8					10.25	10.27	10.19		10.08	(1.07)	10.14	10.32		10.29	10.35	10.30		10.15	10.13	
	9					10.19	10.31	10.19		10.03	0.96	10.02	10.20		10.27	10.37	10.21		10.15	10.16	
岡	10					10.24	10.27	10.07		9.94	0.79	10.00	10.10		10.18	10.26	10.20		10.06	9.97	
	11					10.16	10.22	10.10		9.94	1.01	9.90	10.06		10.21	10.25	10.18		9.97	9.54	
	12					10.28	10.16	10.14		10.00	0.91	9.84	10.04		10.24	10.23	10.22		10.02	9.61	
	年平均					(10.23)	10.25	10.11		10.06	0.96	10.09	10.12		10.22	10.26	10.19		10.06	9.92	

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6
	月	1																	
13	1														8.60	(8.33)	7.46	(8.22)	
	2														(9.20)	(8.77)	(7.92)	(9.57)	
	3														8.57	(8.38)	7.77	8.06	
	4														(8.35)	(7.97)	7.89	(7.69)	
	5															(8.23)		7.83	7.50
上 小 森	6															(9.11)	(8.77)	8.42	8.23
	7															(9.25)	(9.04)	(8.62)	9.15
	8															9.64	(9.15)	9.89	
	9														(10.67)	(9.92)			10.16
	10															(8.88)		(8.09)	(9.49)
14	11															(8.36)	(8.24)	(7.94)	9.12
	12															(8.40)	(8.30)	(7.93)	9.10
	年平均														(8.85)	(9.10)	(8.41)	(8.01)	8.86
	1															9.01	(9.41)		10.94
	2															(8.91)	(8.96)		12.44
江 留 中	3																(10.60)	(10.14)	10.53
	4															(8.52)	10.29		10.36
	5															(9.16)		(10.18)	10.16
	6															9.96		(10.59)	(10.72)
	7															(10.67)		(11.07)	11.95
年平均	8															10.79		10.36	11.93
	9															(11.20)	(10.70)	(9.84)	11.41
	10															(10.13)	8.95	(10.42)	10.82
	11															8.42		(10.20)	(10.40)
	12														(9.38)	(8.23)	(10.30)	(10.63)	
年平均														(10.31)	(9.46)	(9.82)	10.38	11.03	

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成			元				
	月																				
17	1																13.69	12.86	11.94	11.49	12.86
	2																13.87	14.48	12.88	12.36	14.87
	3																12.42	12.81	11.70	11.24	11.07
	4																12.06	10.48	11.00	10.96	11.35
	5																11.58	10.54	10.90	10.51	10.95
	6																12.69	12.03	11.81	11.10	11.48
	7																13.68	12.70	12.44	11.31	12.37
	8																14.37	12.98	12.76	11.27	12.64
	9																14.02	13.06	13.08	11.27	12.51
	10																12.29	12.23	12.21	10.99	11.52
	11																11.16	11.61	11.54	10.49	10.69
	12																10.91	11.98	12.09	10.90	11.09
年平均																12.73	12.30	12.03	11.12	11.93	
19	1				-5.37 (-12.13)	-4.51	-3.84			-5.99 (-9.28)	-7.99	-3.56				-3.14	-1.98	-3.75		-2.10	-3.24
	2				-8.91 (-7.12)	-6.21	-6.32			(-10.61) (-5.86)	-8.85	-4.17				-5.52	-2.96	-4.05		-2.99	-5.44
	3				-4.40 (-6.75)	-3.81	-3.78			(-5.20)	-3.63	-3.93				-3.24	-1.98	-2.94		-2.01	-2.20
	4				-3.25 (-2.88)	-3.06	-2.51			-3.35	-2.38	-2.86				-2.00	-1.94	-2.44		-1.61	-1.42
	5				-3.44 (-2.72)	-3.19	-2.46			-2.77	-2.27	-2.10				-1.73	-1.70	-2.04		-1.09	-1.00
文 京 (浅)	6				-3.91 (-3.72)	-3.81	-3.16			-3.45	-2.90	-2.82				-2.42	-2.53	-2.90		-1.95	-1.97
	7				-4.25 (-4.75)	-4.42	-3.52			-4.33	-3.35	-3.23				-3.03	-2.88	-3.76		-2.10	-2.92
	8				-4.64 (-5.23)	-4.61	-4.44			-5.12	-5.05	-4.58				-3.75	-3.58	-4.30		-2.10	-3.30
	9				-4.13 (-4.71)	-4.12	-4.66			-4.51	-4.73	-4.55				-3.64	-3.01	-4.12		-1.76	-3.06
	10				-2.96 (-3.63)	-3.35	-3.13			-3.56	-3.20	-3.11				-2.73	-2.48	-2.62		-1.64	-2.18
	11				-2.45 (-3.06)	-2.93	-2.93			-3.26	-2.82	-2.68				-2.43	-2.38	-1.86		-1.48	(-1.65)
	12				-2.70 (-3.84)	-2.90	-3.83			-4.94	-5.37	-2.71				-3.12	-2.73	-1.70		-1.93	-1.94
	年平均				-4.18 (-4.32)	-3.91	-3.72			-4.75	-4.24	-4.24				-3.06	-2.51	-3.03		-1.90	-2.53

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年 昭												平成					
	月	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
20	1			(-11.20)	(-15.40)	(-7.87)	(-6.10)	(-7.97)	-14.13	-13.63	-6.37	-6.13	-4.53	-7.12			-7.23	-6.31
	2			(-12.37)	(-11.01)	(-9.05)	(-10.63)		-10.4	-13.24	-7.82	-9.30	-5.57	-6.65			-5.60	(-8.54)
	3			-8.02	-8.43	-7.05	(-7.42)	(-8.59)	-6.95	-8.77	-8.05	-5.95	-4.42	-5.26			-4.34	-4.26
文	4		(-8.30)	-6.51	-6.04	-6.23	(-5.67)	-6.51	-5.64	-5.83	-5.06	-4.57	-4.37	-4.90			-3.80	-3.50
	5		-8.01	-6.59	(-5.91)	-6.49		-6.95	-5.50	-5.09	-4.88	-4.41	-4.18	-4.52			-3.32	-3.18
	6		-9.81	-7.89	(-7.48)	-7.39		-7.04	-6.29	-6.06	-6.06	-5.59	-5.49	-5.85			-4.39	-4.49
京	7		-10.98	-8.49	(-8.08)	-8.39	(-7.54)	-8.37	-7.25	-6.75	-7.71	-6.33	-6.14	-6.98			-4.75	-5.86
	8		-11.82	-8.87	(-9.32)	-8.78	-8.90	-9.57	-9.57	-9.71	-8.05	-7.37	-7.01	-7.66			-4.77	-6.19
	9		-10.12	-7.92	-0.60	-8.01	-8.68	-8.26	-8.70	-8.19	-7.78	-6.96	-6.22	-7.13			-4.37	-5.73
(深)	10		-8.15	-6.24	-7.14	-6.93	-6.64	-6.81	-6.62	-6.17	-6.25	-5.62	-5.35	-5.40			-3.97	-4.54
	11		-7.79	-5.56	-6.51	-6.39	-6.29	-6.47	-6.15	-5.59	-5.34	-5.22	-5.13	-4.31			-3.68	-3.87
	12		-7.56	-8.90	-7.29	-6.45	-7.54	-9.00	-9.81	-5.55	-5.94	-6.23	-5.43	-4.14			-4.21	-4.14
年平均		(-9.17)	(-8.21)	-8.43	-7.42	-7.54	(-7.69)	-8.09	-7.88	-6.61	-6.14	-5.32	-5.83			-4.54	-5.05	
22	1	18.57	17.79	17.04	23.68	16.25	15.62	17.84	22.07	21.25	14.58	14.42	13.50	14.66	13.90	13.02	13.72	
	2	22.70	18.39	22.19	22.2	19.35	18.98	23.55	20.10	23.20	15.83	17.59	15.19	16.20	15.24	14.81	17.76	
	3	21.10	17.72	17.91	19.02	16.47	17.41	19.85	16.88	19.07	17.22	15.02	13.54	14.82	13.70	13.37	13.43	
木	4	17.81	16.97	15.58	15.72	15.11	14.89	15.46	14.68	15.15	14.03	13.30	13.15	11.94	12.51	12.34	11.91	
	5	16.34	16.66	15.04	14.78	14.94	14.52	14.36	14.37	13.94	13.41	13.12	12.87	11.97	12.04	11.83	11.33	
	6	17.81	17.70	16.26	15.75	15.98	15.17	15.17	15.21	14.63	14.94	13.98	14.04	13.90	13.18	12.79	12.75	
田	7	20.90	19.36	17.03	17.51	16.96	16.07	16.37	16.19	15.54	15.97	14.98	14.54	15.74	14.51	13.22	13.92	
	8	22.45	20.41	17.82	18.68	17.34	17.73	18.08	18.93	17.73	17.33	16.36	16.07	16.83	15.65	13.74	14.60	
	9	22.08	19.08	16.96	17.93	17.12	17.99	17.46	18.65	17.69	16.99	15.87	15.41	16.11	15.73	15.28	13.17	14.64
(浅)	10	19.68	16.99	15.37	16.33	15.96	15.80	15.54	16.07	15.22	15.10	14.40	14.20	14.18	14.43	13.74	12.55	13.17
	11	18.68	16.45	14.51	15.61	15.34	15.07	14.95	15.56	14.23	14.04	13.90	13.63	13.11	13.36	13.11	12.04	12.15
	12	18.58	16.19	16.13	16.44	15.46	15.97	15.91	18.24	14.18	14.52	14.84	14.18	13.04	13.96	13.64	12.74	12.46
年平均		17.81	16.82	17.80	16.36	16.26	17.05	17.25	16.82	15.28	14.82	14.24	14.78	14.34	13.88	12.97	13.49	

注) 1. 数値は標高(T.P)で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成		元	2	3	4	5	6	
	月																					
23	1				19.78	29.87	18.58	17.79	20.66	23.69	24.64	16.07	15.92	14.43	16.95	15.95	15.11	14.08	15.19			
	2				26.27	23.37	21.22	21.48	26.89	20.86	24.32	17.78	18.98	16.19	17.16	18.15	16.25	15.62	18.57			
	3				19.58	20.05	17.90	18.46	20.75	17.63	19.56	18.45	16.10	14.45	15.64	15.21	14.43	14.01	13.90			
	4				17.03	16.89	16.62	16.16	16.62	15.52	15.42	15.49	14.36	14.28	14.89	12.95	13.44	13.11	12.63			
	5				16.81	16.35	16.44	15.94	15.63	15.23	14.57	14.61	14.05	13.98	14.00	13.15	12.91	12.68	12.14			
	6				17.94	17.59	17.54	16.71	16.61	16.22	15.71	15.65	15.29	15.39	15.49	15.27	14.31	13.94	13.77			
	7				19.93	19.92	18.63	17.86	18.08	17.39	16.83	17.59	16.11	15.88	16.90	16.46	15.86	14.38	15.07			
	8				19.62	20.36	19.09	19.79	19.79	20.40	18.99	18.72	17.57	17.47	17.47	18.02	17.10	16.83	14.89	15.51		
	9				18.51	19.52	18.44	19.64	18.76	19.35	18.46	18.24	16.58	16.35	16.35	17.03	16.92	16.36	14.03	15.76		
	10				16.94	17.82	17.52	17.19	16.74	17.21	16.87	16.36	14.98	15.69	15.69	14.98	15.50	14.57	13.29	13.82		
	11				15.98	17.28	16.81	16.88	16.23	16.60	15.86	14.99	14.93			14.04	14.49	14.05	12.82	12.87		
	12				18.13	17.98	16.88	17.70	18.37	19.89	15.33	15.63	16.02	15.05	15.05	13.93	15.11	14.70	13.56	13.12		
年平均				18.88	19.75	17.97	17.95	18.76	18.33	18.03	16.63	15.91	15.35	15.35	15.75	15.52	14.90	13.86	14.38			
24	1														4.61	4.55	4.50	4.50	4.71			
	2														4.61	4.68	4.53	4.43	(5.07)			
	3														4.63	4.30	4.44	4.54	(4.69)			
	4														4.67	4.33	4.41	4.54	(4.69)			
上六条(浅)	5														4.75	4.66	4.45	4.50	4.57			
	6														4.94	4.94	4.72	4.63	4.77			
	7														4.90	4.81	4.80	4.44	4.97			
	8														5.20	5.04	5.02	4.70	(5.27)			
	9														4.96	4.98	5.17	4.61	5.30			
	10														4.63	5.33	4.98	4.76	(4.92)			
	11														4.50	4.65	4.88	4.54	4.77			
	12														4.38	4.68	4.70	4.39	4.42			
年平均														4.73	4.72	4.72	4.55	4.82				

注) 1. 数値は標高(T. P)で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6
	月	12																	
25	1														13.78		12.89	12.10	12.90
	2														14.42		13.65	13.20	(16.16)
	3														(13.26)		12.64	12.29	(12.45)
	4														12.72	(11.46)	11.95	11.81	11.77
	5														12.09	11.57	11.56	11.37	11.20
	6														(12.79)	12.86	12.44	12.03	12.19
	7														(14.01)	13.65	13.41	12.37	13.19
	8														(14.82)	14.25	14.18	12.93	(13.77)
	9															14.29	14.01	12.49	13.90
	10															13.27	12.92	12.14	(12.65)
	11															12.68	12.50	11.76	12.10
	12															13.02	12.73	12.07	11.95
年平均															(13.52)	13.16	12.91	12.21	12.69
26	1		3.79	3.69	4.34	4.33	4.33	3.84	3.19										
	2		3.96	3.30	4.13	4.18	4.18	3.18	3.67										
	3		4.25	4.43	4.46	4.37	4.37	4.37	4.83										
	4		4.09	4.78	4.63	4.40	4.40	4.56											
	5		4.22	4.50	4.81	4.66	4.66	4.62											
	6		3.80	3.91	4.27	4.36	4.36	4.22											
	7		3.39	3.51	3.75	4.32	4.32	3.67											
江 端	8		3.26	2.71	3.02	3.30	3.84	2.92											
	9		4.16	3.33	3.16	3.30	4.23	3.15											
	10		4.44	4.10	4.00	3.83	4.35	4.06											
	11		4.69	4.49	4.26	4.15	4.73	4.38											
	12		2.56	4.58	4.06	4.14	4.68	4.65											
	年平均		3.82	3.89	3.89	4.09	4.37	3.97	3.90										

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

(様式3-b号)

対象番号 観測井名	年		平成																
	月	昭	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
27	1		(6.03)				6.10	6.03		5.27	4.42	4.14	6.14	6.47	6.77	6.19		6.45	6.11
	2		(6.35)				5.68 (5.45)	(6.42)		3.86	4.97	4.54	5.89	5.53	6.65	6.30		6.38	5.55
	3						(6.29)	(6.42)		5.53 (7.17)		5.87	5.90	6.35	6.68	6.45		6.42	6.33
	4						6.52			6.44		6.46	6.46	6.61	6.54	6.48		6.45	6.56
	5						6.34	6.69		6.29	6.74	6.27	6.63	6.65	6.63	6.44		6.59	6.63
	6						6.49 (6.20)	6.17		6.01	6.37	5.78	6.61	6.52	6.30	6.21		6.37	6.29
	7						5.87 (5.30)	6.11		5.71 (6.37)		6.06	5.66	6.19	5.25	5.90		6.49	5.90
	8						5.36 (6.91)	5.40		5.26	5.20	5.28	5.39	5.68	5.72	5.50		6.06	5.21
	9						5.64	5.54		5.46	5.62	5.47	5.75	6.12	6.54	6.61		6.39	5.29
	10						5.49	5.70	6.29	6.77	6.11	6.48	6.23	6.40	6.35	6.44		6.35	6.13
	11						5.48	6.01	6.41	(6.31)	(6.30)	6.19	6.27	6.70	6.61	6.65		6.69	6.35
	12						6.36	6.19	6.22	5.66	5.50	6.33	6.23	6.64	6.66	6.76		6.72	6.62
年平均			(5.38)	(6.48)	(6.03)	5.98 (6.07)	5.98 (6.07)		5.70 (5.89)	5.74	6.12	6.32	6.48	6.28	6.48		6.45	6.08	
28	1		(-5.13)				-4.21	-3.69		-5.60	-4.27	-8.69	-2.40	-2.20	-1.47	-2.93		-1.14	-1.85
	2						(-6.62)	(-6.51)		-10.70	(-5.27)	-9.03	-3.69	-4.63	-2.81	-3.75		-2.42	-4.85
	3						(-3.47)	-4.37		-6.18	-4.07	-5.69	-4.38	-2.67	-1.54	-2.36		-1.35	-1.61
	4						-2.66	-2.61		-3.13 (-2.60)	-2.80	-1.87	-1.90	-1.46	-1.36	-1.75		-0.75	-0.47
	5						-2.57	-2.25		-2.07	-2.15	-1.87	-1.43	-1.12	-0.87	-1.08		-0.32	0.08
	6						-3.35	-2.99		-2.89	-2.87	-2.56	-2.25	-1.81	-1.99	-2.04		-1.03	-1.03
	7						-4.29	-3.70		-4.13	-3.60	-3.44	-3.48	-2.45	-2.67	-2.58		-1.38	-2.12
	8						-4.46	-4.98		-5.69	-6.19	-5.13	-4.42	-3.60	-3.46	-3.63		-1.98	-2.79
	9						-4.23	-5.25		-4.74	-6.41	-4.74	-4.09	-3.09	-2.19	-3.08		-1.49	-2.85
	10						-3.71	-3.40		(-3.71)	-4.00	-3.00	-2.90	-2.00	-1.81	-1.90		-1.00	-1.36
	11						-3.17	-2.82		(-3.55)	-2.97	-2.14	-2.13	-1.80	-1.58	-1.23		-0.59	-0.66
	12						-3.16	-3.66		-1.99	-5.37	-2.09	-2.32	-2.50	-1.81	-1.13		-0.95	-0.69
年平均			(-5.56)	(-3.86)	(-4.50)	-3.83	-3.85		-4.53	-4.15	-4.26	-2.95	-2.44	-1.96	-2.29		-1.20	-1.68	

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭												平成 元	2	3	4	5	6
	月	5.3	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.9	6.0	6.1	6.2	6.3						
29	1	4.37	4.11	4.44	7.64	4.46	4.52	5.74	7.17	7.34	4.20	4.09	3.28	4.14	4.54	3.77	4.22	
	2	6.25	3.88	6.66	5.33	4.66	5.43	7.87	5.00	6.39	4.58	5.17	3.39	3.73	4.94	3.86	4.91	
	3	4.31	4.05	3.73	4.02	3.81	3.74	5.01	3.67	4.49	4.56	3.77	3.27	3.68	3.63	3.42	3.60	
	4	4.07	4.09	3.53	3.26	3.69	3.50	3.86	3.32	3.70	3.64	3.48	3.39	3.83	3.23	3.30	3.49	
	5	4.31	3.94	3.57	3.37	3.99	3.68	3.92	3.27	3.65	3.52	3.33	3.25	3.68	3.49	3.15	3.19	
	6	4.74	4.86	4.23	3.74	4.43	4.22	4.47	3.65	4.24	3.94	3.57	3.63	4.07	4.03	3.69	3.60	
	7	6.13	5.85	4.39	4.60	5.05	4.21	4.63	3.65	4.14	4.64	3.88	3.47	4.43	4.35	4.17	4.17	
	8	6.64	6.10	4.67	5.11	4.84	5.10	5.47	5.24	5.27	4.92	4.54	4.53	5.12	4.89	4.59	5.03	
	9	6.04	5.22	3.94	4.48	4.52	4.82	4.79	4.61	4.63	4.56	4.00	3.61	4.45	4.79	4.66	4.84	
	10	5.30	3.90	3.23	3.94	4.42	3.78	4.22	3.80	3.87	4.06	3.53	3.40	3.79	3.95	4.13	3.79	
	11	4.75	3.61		3.44	4.04	3.70	3.90	3.61	3.79	3.69	3.22	3.21	3.42	3.72	3.85	3.10	
	12	4.54	3.51	3.26	3.83	4.14	4.13	4.82	5.04	3.66	3.86	3.45	3.30	3.41	3.97	3.92	3.22	
年平均	5.12	4.43	4.15	4.40	4.34	4.24	4.89	4.34	4.60	4.17	3.84	3.48	3.78	4.13	3.88	3.50		
30	1		14.29	14.26	22.68	12.34	11.11	13.27	16.53	17.12	9.52	8.82	7.65	9.25	7.90	7.12	7.47	
	2		14.60	19.02	16.89	14.43	14.24	18.85	13.78	17.16	10.41	11.24	8.78	9.33	9.06	8.05	10.19	
	3		14.57	13.74	14.19	11.88	11.90	13.60	11.40	13.35	11.02	9.14	7.93	8.02	7.39	7.12	7.02	
	4		14.13	12.30	11.62	10.55	10.21	10.37	9.95	10.06	8.55	7.95	7.90	7.40	5.86	6.46	6.09	
	5		13.80	12.05	11.19	10.49	9.95	9.19	9.53	8.97	7.69	7.72	7.42	6.85	5.80	6.08	5.67	
	6		14.57	13.01	11.81	10.96	10.58	9.69	10.01	9.30	8.15	8.22	8.30	7.57	6.81	6.89	6.56	
	7		16.19	13.68	13.55	11.99	11.26	10.60	10.82	10.10	9.71	8.93	8.72	8.39	7.61	7.66	7.48	
	8		16.82	14.32	14.31	12.36	12.37	12.72	13.43	11.99	10.75	10.04	9.85	9.37	8.39	8.62	8.25	
	9		15.71	13.50	13.68	12.04	12.36	11.87	12.81	11.15	10.36	9.39	9.05	8.42	8.35	8.59	8.26	
	10		13.70	12.14	12.44	11.55	10.51	10.62	10.82	9.95	9.25	8.31	8.32	6.97	7.48	7.65	7.00	
	11		13.26	11.48	12.04	11.05	10.00	10.15	10.35	9.33	8.57	8.06	7.84	6.33	7.03	7.25	6.46	
	12		12.99	12.94	12.38	11.05	10.97	11.52	12.98	9.18	8.66	8.53	8.17	6.23	7.29	7.31	6.58	
年平均		14.55	13.54	13.91	11.72	11.29	11.87	11.87	11.47	9.39	8.86	8.26	7.84	7.41	7.40	6.86		

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

地下水水位観測記録年表

対象番号 観測井名	年 昭		53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成				
	月												元	2	3	4	5	6
31	1		13.32	12.50	12.48	13.12	12.63	13.06		12.62	11.86	12.23	10.88	10.93	12.46	12.40	12.56	11.95
	2		12.89	13.38	12.74	(12.76)	12.72	13.24		12.21	12.50	11.52	11.58	11.68	12.42	12.28	12.86	12.14
	3		13.34	13.33	13.42	(14.07)	12.23	13.51		12.86	12.51	12.46	11.14	12.00	12.17	11.95	12.29	11.86
	4		13.05	12.56	12.88	13.18	12.09	13.01		(12.86)	12.23	12.29	11.73	11.89	11.69	11.72	11.45	11.48
	5		13.73	13.70	13.23	13.58	12.75	13.76		13.24	13.06	12.98	12.50	12.94	12.59	12.85	12.85	12.68
	6		14.17	13.88	13.40	13.69	13.26	13.48		12.28	12.96	12.72	12.97	13.37	12.83	13.06	13.06	12.91
	7		14.57	14.04	13.51	(14.26)	13.39	13.03		13.21	13.50	12.63	12.88	13.42	13.16	13.31	13.60	12.92
	8		(14.96)	14.69	13.32	(14.21)	14.33	(13.44)		13.75	13.54	13.20	13.47	13.76	13.61	13.74	13.69	13.38
	9		14.09	13.88	13.12	13.89	14.00	(12.67)		12.63	13.13	12.62	12.63	13.30	13.99	13.28	13.56	12.26
	10		12.24	13.08	12.56	12.80	12.72	12.51		11.00	12.18	11.41	11.44	12.24	12.45	12.53	12.10	11.57
	11		11.78	12.55	12.48	12.63	12.10	11.53		10.70	11.70	10.74	10.88	11.73	11.73	12.27	11.48	11.25
	12		12.01	12.64	12.92	12.42	12.63	11.82		11.21	12.33	10.94	10.91	11.72	12.14	12.58	11.98	(12.24)
年平均		13.35	13.35	12.99	13.38	12.90	12.92		12.43	12.63	12.10	11.92	12.50	12.60	12.66	12.62	12.22	
32	1													3.36	(3.14)	3.12	3.41	
	2													3.36	(3.17)	3.05	(3.34)	
	3													(3.33)	(3.16)	(3.13)	3.29	
井	4													3.58	(3.28)	3.27	3.37	
	5													3.62	3.48	3.39	3.38	
	6													(3.70)	3.38	3.41	(3.38)	
	7													3.69	(3.32)	(3.25)	3.73	
	8													3.80		(3.30)	3.83	
	9													3.41	(3.44)	(3.36)	(3.41)	
口	10													3.27		3.34	3.46	
	11													3.24		3.37	3.41	
	12													(3.25)		3.23	3.35	
年平均														3.48	(3.29)	(3.31)	3.55	

注) 1. 数値は標高 (T. P) で月平均値を記入。 2. 欠測を含む場合は、() 書きで記入。

IV 水 質 資 料

IV. 1	水質調査地点（所属別,水系別）総括表	173
IV. 2	水質調査地点一覧表	174
IV. 3	水質分析資料	178

IV.1 水質調査地点(所属別、水系別、水系別) 総括表

所属別	水系別	九頭竜川	北川	計
建設省		7		7
福岡県		3	4	3 6
福岡市		6		6
今津町			2	2
計		4 5	6	5 1

IV.2 水質調査地点一覽表

対照番号	科水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所属名	調査地点名	水系名	該当河川名	所在地	河口又は合流点よりの距離 km	観測期間	採水所名	分析所名	項目数	分析資料保存状況		備考 (図書名等)
												年以降	保管場所	
1	福井〔三〕	建設省	九頭竜川口	九頭竜川	九頭竜川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		
2	福井〔福〕	建設省	布庭田橋	九頭竜川	九頭竜川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		
3	福井〔福〕	建設省	高屋橋	九頭竜川	九頭竜川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		
4	福井〔福〕	建設省	中角橋	九頭竜川	九頭竜川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		
5	福井〔永平寺〕	福井県	荒鹿橋	九頭竜川	九頭竜川				公害センター	福井県		福井県	※1	
6	勝山〔荒島岳〕	建設省	九頭竜ダム	九頭竜川	九頭竜川				九頭竜ダム総合管理事務所	福井県		福井県	※1	
7	福井〔三〕	福井県	栄橋	九頭竜川	竹田川				公害センター	福井県		福井県	※1	
8	福井〔三〕	福井県	金津大橋	九頭竜川	竹田川				公害センター	福井県		福井県	※1	
9	福井〔大聖寺〕	福井県	清間橋	九頭竜川	竹田川				公害センター	福井県		福井県	※1	
10	福井〔三〕	福井県	新野中橋	九頭竜川	兵庫川				公害センター	福井県		福井県	※1	
11	福井〔大聖寺〕	福井県	長屋橋	九頭竜川	田島川				公害センター	福井県		福井県	※1	
12	福井〔福〕	福井市	御鷹橋	九頭竜川	七瀬川	福井市	年4回		福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
13	福井〔福〕	福井県	安沢橋	九頭竜川	磯部川				公害センター	福井県		福井県	※1	
14	福井〔福〕	福井県	八ヶ川水門	九頭竜川	八ヶ川				福井市	福井県		福井県	※1	
15	福井〔福〕	建設省	明治橋	九頭竜川	日野川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		
16	福井〔福〕	建設省	日光橋	九頭竜川	日野川				福井工事事務所	福井工事事務所		建設省福井工事事務所福井工事事務所		

※1: 「公共用水域及び地下水・水質の測定結果報告書」

水質調査地点一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所屬名	調査地点名	水系名	該当河川名	所在地	河口又は合 流点よりの 距離 km	観測間隔	採水所名	分析所名	項目数	分析資料保存状況		備考 (図書名等)
												年以降	保管場所	
17	福井(福井)	福井県	清水山橋	九頭竜川	日野川				公害センター	福井県		福井県	※1	
18	鯖江(鯖江)	福井県	橋	九頭竜川	日野川				公害センター	福井県		福井県	※1	
19	鯖江(鯖江)	福井県	橋	九頭竜川	日野川				公害センター	福井県		福井県	※1	
20	福井(福井)	福井県	三郎丸橋	九頭竜川	鹿嶋川				公害センター	福井県		福井県	※1	
21	福井(福井)	福井県	水越橋	九頭竜川	足羽川				公害センター	福井県		福井県	※1	
22	福井(永平寺)	福井県	天神橋	九頭竜川	足羽川				公害センター	福井県		福井県	※1	
23	福井(福井)	福井県	荒川水門	九頭竜川	荒川				福井市	福井県		福井県	※1	
24	福井(永平寺)	福井県	東今泉橋	九頭竜川	荒川				福井市	福井県		福井県	※1	
25	福井(福井)	福井市	古川未端	九頭竜川	古川	福井市	年4回		福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
26	福井(福井)	福井県	狐橋	九頭竜川	狐川				福井市	福井県		福井県	※1	
27	福井(福井)	福井市	やすだ橋	九頭竜川	未更下川	福井市	年4回		福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
28	福井(福井)	福井県	江守橋	九頭竜川	江端川				福井市	福井県		福井県	※1	
29	福井(福井)	福井市	大島新橋	九頭竜川	朝六川	福井市	年4回		福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
30	鯖江(鯖江)	福井県	出作橋	九頭竜川	浅水川				福井県	福井県		福井県	※1	
31	鯖江(鯖江)	福井県	曲木橋	九頭竜川	浅水川				福井県	福井県		福井県	※1	
32	鯖江(大野)	福井県	福ノ宮橋	九頭竜川	文室川				福井県	福井県		福井県	※1	

※1: 「公共用水域及び地下水・水質の測定結果報告書」

水質調査地点一覽表

対照番号	利水状況図名 (5万分の1) 地形図名	所屬名	調査地点名	水系名	該当河川名	所在地	河口又は合流点よりの距離 km	観測間隔	採水所名	分析所名	分析項目数	分析資料保存状況		備考 (図書名等)
												年以降	保管場所	
33	江(鶴江)	福井県	黒津水門	九頭竜川	黒津川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
34	江(鶴江)	福井県	浮橋	九頭竜川	敏谷川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
35	江(鶴江)	福井県	天王川末端	九頭竜川	天王川					福井県公害センター		福井県環境政策課	※1	
36	江(鶴江)	福井県	高見橋	九頭竜川	吉野瀬川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
37	江(鶴江)	福井県	芝原井橋	九頭竜川	吉野瀬川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
38	江(鶴江)	福井県	御清水川門	九頭竜川	御清水川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
39	福(福井)	福井県	馬渡川末端	九頭竜川	馬渡川					福井県公害センター		福井県環境政策課	※1	
40	福(福井)	福井市	大森川水門	九頭竜川	大森川	福井市		年4回	福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
41	福(福井)	福井市	芳野川末端の橋	九頭竜川	芳野川	福井市		年4回	福井市環境対策課	福井市環境対策課	25	福井市環境対策課	福井市の環境概要	
42	福(永平寺)	福井県	熊堂橋	九頭竜川	五領川					福井県公害センター		福井県環境政策課	※1	
43	山(越前勝山)	福井県	土布子橋	九頭竜川	真名川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
44	山(越前勝山)	福井県	赤根橋	九頭竜川	清滝川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	
45	山(荒島岳)	福井県	大納川末端	九頭竜川	大納川					福井県農業試験場		福井県環境政策課	※1	

IV.3 水質分析資料

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所屬名	調査地点名	水系名	該河川名	環墳基準 類型	年度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	項目	PH	DO	BOD
1	福井 〔三圍〕	建設省	九頭竜川 河口	九頭竜川	九頭竜川	B	PH	7.1~7.6	7.1~7.5	7.1~8.6	7.2~7.7	7.0~8.0				
							DO	9.7	4	10	9.3	9.2				
							BOD	1.3	1.2	1.8	1.0	1.2				
							SS	8	16	11	7	7				
							大腸菌群数									
2	福井 〔福井〕	建設省	布施田橋	九頭竜川	九頭竜川	B	PH	7.0~7.6	7.2~7.6	7.2~8.4	7.2~7.5	7.0~7.6				
							DO	9.5	9.5	10	9.6	9.2				
							BOD	1.4	1.3	1.5	1.2	1.3				
							SS	8	11	10	7	7				
							大腸菌群数	1.5×10^4	2.0×10^4	1.0×10^5	1.9×10^4	1.4×10^4				
3	福井 〔福井〕	建設省	高屋橋	九頭竜川	九頭竜川	A	PH	7.3~8.2	7.4~7.9	7.4~7.9	7.4~7.9	7.3~8.2				
							DO	11	11	11	11	11				
							BOD	0.9	1.0	1.1	0.8	1.0				
							SS	9	10	6	7	7				
							大腸菌群数									
4	福井 〔福井〕	建設省	中角橋	九頭竜川	九頭竜川	A	PH	7.3~8.2	7.4~8.8	7.4~8.9	7.5~7.9	7.2~8.3				
							DO	11	11	11	11	11				
							BOD	0.8	0.9	0.8	0.8	1.0				
							SS	9	11	5	5	6				
							大腸菌群数	2.3×10^3	5.7×10^2	3.5×10^3	3.3×10^3	4.0×10^3				
5	福井 〔永平寺〕	福井県	荒鹿橋	九頭竜川	九頭竜川	A	PH	7.2~7.8	7.3~7.8	7.4~8.2	7.4~7.8	7.3~8.2				
							DO	10	9.9	9.9	9.7	9.9				
							BOD	1.3	1.0	1.1	1.0	1.0				
							SS	3	4	2	6	3				
							大腸菌群数	1.1×10^4	7.0×10^3	1.1×10^4	6.7×10^3	6.0×10^2				

水 質 分 析 資 料

対照番号	利水項別図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所屬名	調査地点名	水系名	該河川名	環境基準 類型	年度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5				
6	勝山 〔荒島岳〕	建設省	九頭竜ダム	九頭竜川	九頭竜川	AA	PH	7.2~8.6	7.3~8.6	7.2~8.5	7.3~8.5	7.1~8.2				
							DO	9.9	9.8	9.5	9.5	9.6				
							BOD	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6				
							SS	2	2	2	2	1				
大腸菌群数							2.6×10 ¹	1.8×10 ¹	2.4×10 ¹	2.4×10 ¹	1.5×10 ¹					
7	福井 〔三園〕	福井県	栄橋	九頭竜川	竹田川	B	PH	6.8~7.4	6.7~7.0	6.7~7.2	6.8~7.1	6.8~7.1				
							DO	7.7	7.5	7.6	7.6	7.6				
							BOD	2.0	1.6	1.4	1.6	1.5				
							SS	15	6	12	7	8				
大腸菌群数																
8	福井 〔三園〕	福井県	金津大橋	九頭竜川	竹田川	B	PH	6.8~7.2	6.7~7.3	6.9~7.2	6.9~7.1	6.8~7.2				
							DO	9.0	8.6	8.7	8.6	8.5				
							BOD	2.5	1.8	1.6	1.5	1.9				
							SS	10	9	10	8	8				
大腸菌群数																
9	福井 〔大聖寺〕	福井県	清阿橋	九頭竜川	竹田川	A	PH	6.7~7.3	6.7~7.5	6.9~7.2	6.9~7.2	6.9~7.2				
							DO	9.3	8.7	9.0	8.9	8.7				
							BOD	1.1	1.0	0.9	1.1	0.9				
							SS	12	9	8	8	8				
大腸菌群数							6.8×10 ³	2.3×10 ³	9.8×10 ³	1.3×10 ⁴	8.1×10 ³					
10	福井 〔三園〕	福井県	新野中橋	九頭竜川	兵庫川		PH	6.8~7.3	6.9~7.3	6.7~7.6	6.8~7.2	6.7~7.4				
							DO	7.1	7.4	7.8	7.8	7.7				
							BOD	1.7	1.3	1.0	1.4	1.5				
							SS	18	12	13	12	12				
大腸菌群数																

水質分析資料

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) [地形図名]	所屬名	調査地点名	水系名	該河川名	環境基準 類型	年度																														
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	項目	PH	DO	BOD	SS	大腸菌群数																			
1 1	福井 〔大聖寺〕	福井県	長屋橋	九頭竜川	田島川		PH	6.8~7.3	6.9~7.4	6.9~7.2	7.0~7.2	6.9~7.2	6.9~7.2	DO	7.1	6.2	6.6	6.1	6.0	BOD	2.0	1.9	1.7	1.7	2.1	SS	12	7	17	12	10	大腸菌群数					
							PH	7.2~7.5	6.7~7.3	6.8~7.4	6.9~7.5	7.1~7.5	DO	9.6	9.4	9.7	9.0	9.6	BOD	0.5	0.6	0.9	2.0	0.7	SS	3	6	16	12	6	大腸菌群数	2.8×10^3	8.6×10^3	7.6×10^3	4.9×10^3	1.8×10^3	
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.5	7.1~7.5	7.2~7.3	7.0~7.5	DO	8.8	9.0	9.1	9.1	8.9	BOD	2.0	2.1	2.3	1.9	2.6	SS	14	16	16	12	14	大腸菌群数	8.1×10^4	2.0×10^4	2.4×10^4	1.3×10^4	2.3×10^4	
1 2	福井 〔福井〕	福井市	御鷹橋	九頭竜川	七瀬川		PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
1 3	福井 〔福井〕	福井県	安沢橋	九頭竜川	磯部川		PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.8	5.8	6.7	5.2	6.0	BOD	11	15	7.9	26	7.8	SS	22	28	45	10	11	大腸菌群数						
1 4	福井 〔福井〕	福井県	八ヶ川水門	九頭竜川	八ヶ川		PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
1 5	福井 〔福井〕	建設省	明治橋 (深谷)	九頭竜川	日野川	B	PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						
							PH	6.8~7.4	7.2~7.6	6.7~7.5	6.9~7.4	7.0~7.6	DO	6.3	6.6	7.2	7.5	6.2	BOD	11	8.1	5.8	9.1	12	SS	18	21	58	26	19	大腸菌群数						

水質分析資料

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所屬名	調査地点名	水系名	該河川名	環境基準 類型	年度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5				
16	福井 〔福井〕	建設省	日光橋	九頭竜川	日野川	B	PH	6.9~7.5	7.2~7.4	7.1~7.5	7.1~7.3	6.9~7.5				
							DO	8.6	8.6	8.9	8.6	8.4				
							BOD	2.5	2.2	2.7	2.5	2.2				
							SS	16	17	17	12	12				
大腸菌群数																
17	福井 〔福井〕	福井県	清水山橋	九頭竜川	日野川	B	PH	7.0~7.5	7.1~7.4	6.9~7.3	7.1~7.4	7.0~7.4				
							DO	9.3	8.2	8.6	8.7	8.6				
							BOD	2.4	2.3	2.5	2.8	2.3				
							SS	12	11	11	11	7				
大腸菌群数							1.2×10^4	8.8×10^3	1.6×10^4	9.8×10^3	3.5×10^3					
19	鯖江 〔鯖江〕	福井県	豊橋	九頭竜川	日野川	A	PH	6.5~7.6	7.2~7.6	7.2~7.6	7.2~7.6	7.1~7.5				
							DO	10	9.5	9.6	9.6	9.7				
							BOD	0.9	0.8	0.6	0.8	0.8				
							SS	7	4	6	6	10				
大腸菌群数																
20	福井 〔福井〕	福井県	三郎丸橋	九頭竜川	底峻川		PH	7.0~7.5	7.2~7.6	7.0~7.4	7.1~7.4	7.0~7.4				
							DO	6.2	5.7	6.4	6.1	6.4				
							BOD	15	27	16	14	18				
							SS	35	32	22	18	17				
大腸菌群数																
21	福井 〔永平寺〕	福井県	水越橋	九頭竜川	足羽川	B	PH	7.3~7.9	7.4~7.6	7.2~7.9	7.3~7.7	7.1~7.7				
							DO	10	9.4	10	9.7	9.6				
							BOD	1.2	0.9	0.9	0.8	1.1				
							SS	16	7	10	9	7				
大腸菌群数							1.8×10^4	2.1×10^4	1.1×10^4	6.2×10^3	2.2×10^4					

水 質 分 析 資 料

項目	年度	昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5
		PH	7.0~7.9	7.3~8.0	7.4~7.9	7.3~7.8	7.3~7.9
DO	10	9.9	9.7	9.9	9.9		
BOD	0.8	0.5	0.7	0.6	0.8		
SS	6	4	6	4	2		
大腸菌群数	2.8×10^3	2.3×10^3	4.7×10^3	4.4×10^4	8.6×10^2		
PH	6.7~7.1	6.7~7.5	6.5~7.2	6.6~7.5	7.0~7.5		
DO	8.8	9.5	8.8	9.2	8.8		
BOD	1.2	1.1	2.3	1.2	1.6		
SS	9	8	12	8	12		
大腸菌群数				2.9×10^4	4.2×10^3		
PH	6.8~7.1	6.6~7.0	6.2~7.2	6.6~6.9	6.6~6.7		
DO	3.7	2.5	5.6	4.4	4.3		
BOD	9.8	5.9	4.7	7.1	6.5		
SS	11	10	41	30	30		
大腸菌群数	2.8×10^4	6.9×10^4	1.5×10^6	8.5×10^4	1.3×10^4		
PH	7.0~7.5	7.2~7.8	7.1~7.7	7.1~7.7	7.2~7.5		
DO	4.1	4.4	4.4	3.3	3.9		
BOD	7.8	8.2	7.6	8.7	7.3		
SS	17	15	13	8	20		
大腸菌群数				5.0×10^4	4.4×10^4		
PH	7.0~7.2	6.5~7.1	6.5~7.6	7.1~7.5	7.1~7.5		
DO	8.7	8.7	9.5	8.9	9.1		
BOD	1.6	1.7	1.6	1.6	1.7		
SS	8	15	30	33	6		
大腸菌群数	1.6×10^3	3.0×10^4	8.9×10^3	5.0×10^4	7.4×10^3		

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所 属 名	調査地点名	水系名	該 河 川 名	環境基準 類 型
2 2	福 井 県 〔福 井〕	福 井 県	天 神 橋	九頭竜川	足 羽 川	A
2 4	福 井 県 〔永 平 寺〕	福 井 県	東 今 泉 橋	九頭竜川	荒 川	
2 5	福 井 県 〔福 井〕	福 井 市	古 川 末 端	九頭竜川	古 川	
2 6	福 井 県 〔福 井〕	福 井 県	狐 橋	九頭竜川	狐 川	
2 7	福 井 県 〔福 井〕	福 井 市	今 寸 だ 橋	九頭竜川	未 更 下 川	

水質分析資料

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所属名	調査地点名	水系名	該河川名	環境基準 類型	年度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5				
28	福井(福井)	福井県	江守橋	九頭竜川	江端川		PH	7.0~7.4	7.2~7.3	6.8~7.4	6.6~7.2	6.9~7.4				
							DO	7.5	7.7	7.0	6.9	7.2				
							BOD	2.1	2.3	3.0	3.3	2.2				
							SS	20	42	37	28	28				
							大腸菌群数				1.3x10 ⁵	1.6x10 ⁴				
29	福井(福井)	福井市	大島新橋	九頭竜川	朝六川		PH	6.9~7.3	6.5~7.7	6.3~7.5	6.9~7.6	6.9~7.2				
							DO	6.9	7.2	7.6	6.8	7.5				
							BOD	5.0	4.7	3.7	4.5	3.7				
							SS	32	17	35	20	17				
							大腸菌群数	2.3x10 ⁵	9.0x10 ⁴	2.5x10 ⁴	8.6x10 ⁴	1.5x10 ⁴				
30	鯖江(鯖江)	福井県	出作橋	九頭竜川	浅水川	D	PH	6.6~7.3	6.9~7.2	7.1~7.4	6.7~7.2	6.4~7.4				
							DO	8.1	8.0	6.2	8.4	7.9				
							BOD	3.8	6.1	7.9	5.3	5.2				
							SS	16	17	14	17	14				
							大腸菌群数									
31	鯖江(鯖江)	福井県	曲水橋	九頭竜川	浅水川	C	PH	6.5~7.0	6.9~7.2	7.0~7.7	6.7~7.1	6.4~7.8				
							DO	8.6	9.4	9.3	9.6	9.4				
							BOD	1.8	1.5	1.1	1.6	1.9				
							SS	9	6	4	8	14				
							大腸菌群数									
32	鯖江(大野)	福井県	福の宮橋	九頭竜川	文室川		PH	6.9~7.4	7.3~7.4	7.3~7.7	7.1~7.2	6.9~7.2				
							DO	9.9	10	9.2	9.6	9.2				
							BOD	0.7	1.6	0.7	0.9	1.2				
							SS	2	3	1	2	3				
							大腸菌群数									

水 質 分 析 資 料

対照番号	利水環況図名 (5万分の1) (地形図名)	所 属 名	調 査 地 点 名	水 系 名	該 河 川 名	環 境 基 準 類 型	年 度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5				
33	鯖 江 〔鯖 江〕	福 井 県	黒 津 川 水 門	九 頭 竜 川	黒 津 川		PH	6.2~7.0	6.7~7.0	6.9~7.3	6.4~7.1	6.5~7.4				
							DO	6.7	6.6	5.9	6.9	7.8				
							BOD	4.9	6.2	5.3	6.1	4.9				
							SS	30	30	32	29	18				
							大腸菌群数									
34	鯖 江 〔鯖 江〕	福 井 県	浮 橋	九 頭 竜 川	鞍 谷 川		PH	6.9~7.3	7.0~7.4	7.3~7.5	6.9~7.3	6.4~7.8				
							DO	8.9	8.8	7.8	9.2	9.4				
							BOD	2.1	2.9	2.9	2.2	3.0				
							SS	20	14	19	21	16				
							大腸菌群数									
35	鯖 江 〔鯖 江〕	福 井 県	末 端	九 頭 竜 川	天 王 川	B	PH	6.9~7.3	7.1~7.4	7.1~7.3	7.1~7.3	6.8~7.3				
							DO	9.6	9.1	9.0	9.0	8.5				
							BOD	1.1	1.3	0.8	1.2	1.1				
							SS	14	9	12	56	12				
							大腸菌群数									
36	鯖 江 〔鯖 江〕	福 井 県	高 見 橋	九 頭 竜 川	吉 野 瀬 川	C	PH	6.4~7.1	6.4~7.2	6.8~7.2	6.8~7.2	6.7~8.0				
							DO	9.9	9.2	9.1	9.3	9.3				
							BOD	1.5	1.8	1.0	2.1	2.4				
							SS	7	8	3	7	8				
							大腸菌群数									
37	鯖 江 〔鯖 江〕	福 井 県	芝 原 井 橋	九 頭 竜 川	吉 野 瀬 川	A	PH	6.4~7.3	7.0~7.2	7.2~7.5	7.0~7.3	7.0~7.6				
							DO	9.5	9.3	10	9.4	9.3				
							BOD	1.1	1.2	0.7	1.0	0.9				
							SS	8	3	3	18	5				
							大腸菌群数									

水質分析資料

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所 属 名	調査地点名	水 系 名	該 河 川 名	環境基準 類 型	年 度									
							項目	昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5			
38	鯖江 (鯖江)	福井県	御清水川門	九頭竜川	御清水川		PH	8.4~7.3	6.9~7.8	7.0~8.4	7.1~7.4	7.0~7.6				
							DO	8.2	8.2	6.7	6.8	6.0				
							BOD	6.9	9.0	5.6	6.4	4.9				
							SS	20	15	10	6	7				
大腸菌群数																
39	福井 (福井)	福井県	馬渡川末端	九頭竜川	馬渡川		PH	7.1~7.6	7.3~7.6	6.9~7.3	7.0~7.5	7.2~7.5				
							DO	5.1	4.8	5.2	4.8	5.5				
							BOD	14	16	15	12	9.8				
							SS	34	38	26	36	26				
大腸菌群数																
40	福井 (福井)	福井市	水門	九頭竜川	大森川		PH	6.9~7.4	6.5~7.3	6.9~7.5	6.9~7.4	7.1~7.4				
							DO	5.4	4.9	6.1	6.4	5.9				
							BOD	30	37	34	30	45				
							SS	16	16	21	24	9				
大腸菌群数																
41	福井 (福井)	福井市	末端の橋	九頭竜川	芳野川		PH	7.3~7.7	7.3~8.0	7.1~7.7	7.4~8.3	7.5~8.1				
							DO	7.0	6.7	7.0	7.0	7.6				
							BOD	10	7.8	9.1	4.3	6.9				
							SS	25	22	21	6	22				
大腸菌群数																
42	福井 (永平寺)	福井県	熊定橋	九頭竜川	五領川		PH	7.5~8.2	7.3~8.2	7.7~8.3	7.3~7.8	7.6~8.0				
							DO	10	10	9.2	9.2	9.5				
							BOD	1.0	0.7	0.6	1.1	0.7				
							SS	20	6	21	26	11				
大腸菌群数																

水質分析資料

対照番号	利水環況図名 (5万分の1) (地形図名)	所屬名	調査地点名	水系名	該河川名	環境基準 種類	年度									
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5				
43	勝山 〔越前勝山〕	福井県	土布子橋	九頭竜川	真名川	B	pH	7.2~7.5	7.1~7.4	7.1~7.4	7.0~7.4	7.0~7.4	7.2~7.5			
							DO	9.8	9.5	9.9	9.4	9.4				
							BOD	1.3	1.2	0.7	1.1	0.8				
							SS	5	3	4	5	4				
							大腸菌群数									
44	勝山 〔越前勝山〕	福井県	赤根橋	九頭竜川	滑滝川		pH	6.9~7.3	7.1~7.4	7.0~7.2	7.0~7.2	6.9~7.3				
							DO	9.5	9.3	9.5	9.2	8.9				
							BOD	1.3	1.4	0.9	1.5	1.3				
							SS	8	5	5	5	3				
							大腸菌群数									
45	勝山 〔荒島岳〕	福井県	大納川 (未納端)	九頭竜川	大納川		pH	7.3~8.0	7.3~7.8	7.5~7.7	7.3~7.5	7.5~7.7				
							DO	10	10	9.5	9.6	9.4				
							BOD	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5				
							SS	1	1	2	2	1				
							大腸菌群数									

水質分析資料

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所属名	調査地点名	水系名	放河川名	環境基準 類型	年度							
							項目	昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	
46	北川 〔西津〕	福井県	西津橋	北川	北川	A	pH	7.3~8.0	7.3~8.0	7.2~8.1	7.3~8.1	7.2~8.2		
							DO	10	10	9.4	10	9.7		
							BOD	0.6	0.6	0.7	0.6	0.7		
							SS	5	15	8	6	6		
							大腸菌群数							
47	北川 〔熊川〕	福井県	高塚橋	北川	北川	A	pH	7.2~7.9	7.3~7.8	7.2~7.6	7.3~7.8	7.1~7.7	7.2~7.7	
							DO	10	10	9.8	10	10	10	
							BOD	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	
							SS	4	18	12	7	5	7	
							大腸菌群数	3.2x10 ³	4.7x10 ³	3.1x10 ³	4.8x10 ³	2.7x10 ³	1.8x10 ³	
48	北川 〔熊川〕	福井県	上中橋	北川	北川	A	pH	7.3~8.1	7.4~8.2	7.4~8.5	7.4~8.0	7.3~8.9		
							DO	11	10	11	10	11		
							BOD	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
							SS	4	6	8	4	4		
							大腸菌群数							
49	北川 〔熊川〕	福井県	新道大橋	北川	北川	A	pH	7.1~7.6	7.3~8.2	7.5~8.3	7.4~8.0	7.2~8.1	7.0~7.9	
							DO	10	10	9.9	9.7	9.9	10	
							BOD	0.8	0.8	0.8	0.7	0.9	0.8	
							SS	6	3	3	4	5	3	
							大腸菌群数	2.0x10 ³	2.0x10 ³	9.7x10 ²	3.1x10 ³	5.1x10 ³	6.3x10 ³	

水 質 分 析 資 料 (様式4 - b号)

対照番号	利水界況図名 (5万分の1) (地形図名)	所 属 名	調査地点名	水系名	該 当 河 川 名	環境基準 類 型	年 度								
							昭和63	平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	検出	検出	検出
50	北 川 〔熊 川〕	今 津 町	今津町橋川	北 川	寒 風 川		PH	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	
							DO	—	—	—	—	—	—	—	—
							BOD	—	—	—	—	—	—	—	—
							SS	—	—	—	—	—	—	—	—
							大腸菌群数	検出	検出	検出	検出	検出	検出	検出	
51	北 川 〔熊 川〕	今 津 町	今津町杉山	北 川	寒 風 川		PH	7.1	7.1	7.1	7.0	7.4	7.4		
							DO	—	—	—	—	—	—	—	
							BOD	—	—	—	—	—	—	—	
							SS	—	—	—	—	—	—	—	
							大腸菌群数	検出	検出	不検出	検出	検出	検出	検出	

V 取水口・排水口資料

V. 1 農業用取水口・排水口資料	191
V. 1 . 1 農業用取水口（かんがい面積別,水系別）総括表	191
V. 1 . 2 農業用取水口（取水方法別,水系別）総括表	191
V. 1 . 3 農業用取水口一覧表	192
V. 1 . 4 農業用排水口（排水方法別,水系別）総括表	218
V. 1 . 5 農業用排水口一覧表	219
V. 2 水道用取水口資料	222
V. 2 . 1 水道用取水口（使用事項別,水系別）総括表	222
V. 2 . 2 水道用取水口一覧表	223
V. 3 工業用取水口・排水口資料	226
V. 3 . 1 工業用取水口（取水方法別,水系別）総括表	226
V. 3 . 2 工業用取水口一覧表	227

V.1 農業用取水口・排水口資料
 V.1.1 農業用取水口（かんがい面積別、水系別）総括表

かんがい 面積別 水系別	0~19.9ha		20.0~49.9ha		50.0~99.9ha		100~199.9ha		200~499.9ha		500~999.9ha		1000.0ha~		計
	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	
九頭竜川	109		110		35		14		8		2		2		280
北川	14		14		4		4		1		0		0		44(7)
計	123		124		39		18		9		2		2		324(7)

() は、かんがい面積不明分。

V.1.2 農業用取水口（取水方法、水系別）総括表

取水方法別 水系別	井堰による かんがい		自然水による かんがい		ポンプによる かんがい		樋門・樋管に よるかんがい		計	
	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)	個	面積(ha)		
九頭竜川	135	21,655			92	4,003	53	2,544	280	28,202
北川	23	1,135					9	264	37	1,570
計	158	22,790			92	4,003	62	2,808	317	29,772

V.1.3 農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次支流川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		備考 (取水量による取水の右岸・左岸の別)	
								最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種別	規模		取水期間
KU1	福井(三國)	九頭竜川	—	九頭竜川	川崎堤外地 揚水機	川崎区	19	0.085	0.085	川崎区	ポンプ	φ120mm 1台	5/1 ~8/31	
KU2	福井(三國)	九頭竜川	—	九頭竜川	折戸揚水機	折戸区	18	0.060	0.060	折戸区	ポンプ	φ300mm 1台	4/1 ~8/20	
KU3	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	鳴鹿堰堤 揚水機	九頭竜川 鳴島堤連合	11,646	46.605	39.449	農林水産省	取水堰 (可動)	H=3.70m L=273.6m	4/1 ~8/31	
KU4	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	神明下 揚水機	神明下 用水組合	29	0.145	0.145	神明 用水組合	ポンプ	φ300mm 1台	4/20 ~8/30	
KU5	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	岩野揚水機	岩野用水 組合	10	0.057	0.057	岩野 用水組合	ポンプ	φ150mm 1台	4/5 ~8/20	
KU6	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	吉波揚水機	吉波用水 組合	14	0.113	0.113	吉波 用水組合	ポンプ	φ150mm 1台	4/5 ~8/20	
KU7	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	飯島頭首工	飯島用水 組合	30	0.189	0.114	飯島 用水組合	取水堰 (可動)	H=1.80m L=147.0m	4/10 ~8/31	左岸
KU8	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	北島用水機	北島用水 組合	24	0.027	0.024	上・下志比 地整理組合	取水堰 (固定)		4/25 ~8/31	左岸
KU9	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	栃原揚水機	栃原用水 組合	21	0.120	1.051	栃原 用水組合	ポンプ		4/10 ~8/25	
KU10	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	小舟渡用水機	小舟渡土地 改良区理事	276	1.897	0.120	小舟渡 土地改良区	取水堰		4/1 ~9/8	左岸
KU11	福井(三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	布目・堀江 十菜揚水機	布目・堀江 十菜区	92	0.299	0.292	福井県	ポンプ		4/1 ~9/10	
KU12	福井(三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	田中々々 揚水機	田中々々 区	46	0.200	0.168	福井県	ポンプ		4/24 ~9/10	
KU13	福井(三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	番田揚水機	芦原番田 土地改良区	50	0.200	0.173	芦原番田 土地改良区	ポンプ	φ360mm	4/23 ~9/15	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水状況図名 (5万分の1地形図名)	水系名	第一次支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間 (取水機による取水の右岸・左岸の別)	備考
								最大時	水利権水量及び水利権者	施設の種類	規格			
KU14	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	重水機	芦原番田土地改良区	62	0.170	0.170	ポンプ	φ300mm	3/20 ~8/31		
KU15	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	坂の下坂水機	坂井北郡土地改良区	10	0.100	0.100	ポンプ	φ250mm	4/1 ~8/31		
KU16	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	北羅越第2水機	北羅越土地改良区 北羅越土地改良区共同施行	22	0.120	0.120	ポンプ	φ250mm	4/1 ~9/1		
KU17	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	菅野水機	菅野区	40	0.200	0.200	ポンプ	φ350mm	4/1 ~9/30		
KU18	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	竹田川	伊井水機	高間川土地改良区 高間川土地改良区共同施行	36	0.200	0.128	ポンプ	φ360mm	3/15 ~10/15		
KU19	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	桑原水機	高間川土地改良区	76	0.338	0.260	ポンプ	φ400mm	3/15 ~10/15		
KU20	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	次郎水機	金津坪江土地改良区	20	0.120	0.120	ポンプ	φ260mm	4/1 ~9/5		
KU21	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	石塚水機	高間川土地改良区	54	0.278	0.192	ポンプ	φ300mm	3/15 ~10/15		
KU22	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	北尾水機	金津坪江土地改良区	25	0.143	0.098	ポンプ	φ200mm	4/1 ~9/15		
KU23	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	五領水機	五領区 五領区土地改良区	185	3.798	3.798	取水機 (固定)	H=1.40m L=30.0m	5/21 ~9/30	左岸	
KU24	井 (三國)	九頭竜川	竹田川	兵庫川	井邊水機	井邊区 井邊区土地改良区	211	0.220	0.220	取水機 (固定)	H=1.25m L=46.5m	3/15 ~12/31	左岸	
KU25	井 (福井)	九頭竜川	竹田川	兵庫川	坂口・海崎取水機	坂井西部土地改良区	458	1.722	1.608	揚水管等	H=2.77m L=23.0m	4/1 ~9/30		
KU26	井 (大聖寺)	九頭竜川	竹田川	熊坂川	黒目頭水機	矢地区	10	0.017	0.017	取水機 (固定)	H=1.0m L=4.0m	4/10 ~9/15	右岸	

農業用取水口一覽表

対照 番号	利水施設 名 (5万分の1 地形図名)	水系名	第一 次 支流 川名	該当 河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		備 考 (取水堰による取水の右岸・左岸の別)	
								最大 流量	水利 権水量 時 及び水利権者	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模		取水量 期間
K027	井 〔大聖寺〕	九頭竜川	竹田川	権世川	中川揚水機	金澤坪江 土地改良区	21	0.105	0.075	福井県	ポンプ		4/1 ~9/15	
K028	井 〔大聖寺〕	九頭竜川	竹田川	権世川	合水頭首工	東田中区	15	0.130	0.130	東田中区	取水堰 (固定)		3/20 ~9/10	左岸
K029	井 〔三 田〕	九頭竜川	竹田川	権世川	十楽頭首工	前谷区	10	0.050	0.050	前谷区	取水堰 (固定)	H=0.5m L=4.0m	4/10 ~9/10	右岸
K030	井 〔大聖寺〕	九頭竜川	竹田川	権世川	井ノ 口頭首工	権世区	10	0.050	0.050	権世区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=5.0m	4/20 ~8/10	右岸
K031	井 〔永平寺〕	九頭竜川	竹田川	五味川	曾々木用水	曾々木区	20	0.010	0.010	曾々木区	竊門等		4/20 ~9/20	左岸
K032	井 〔永平寺〕	九頭竜川	竹田川	五味川	金比羅用水	与河区	13	0.040	0.040	与河区	竊門等		4/20 ~9/20	右岸
K033	井 〔福 井〕	九頭竜川	七瀬川	七瀬川	鳥山梨子 用水機	鳥山梨子町	10	0.015	0.015	鳥山梨子町	ポンプ	φ150mm	4/10 ~9/20	
K034	井 〔福 井〕	九頭竜川	七瀬川	七瀬川	山梨子用水	西 川 土地改良区	28	1.400	0.550	西 川 土地改良区	取水堰 (可動)	H=3.40m L=20.4m	4/10 ~4/9	左岸
K035	井 〔福 井〕	九頭竜川	七瀬川	七瀬川	江上三ヶ 用水機	江上三ヶ 用水組合	120	0.360	0.150	江上三ヶ 用水組合	竊門等		4/10 ~4/9	
K036	井 〔福 井〕	九頭竜川	七瀬川	七瀬川	大器用水	大年町	20	0.060	0.020	大年町	取水堰 (固定)	H=1.5m L=8.0m	4/10 ~4/9	右岸
K037	井 〔福 井〕	九頭竜川	日野川	日野川	大安寺土 地改良揚水機	大安寺 水利組合	33	0.132	0.132	大安寺 水利組合	ポンプ	φ360mm	5/1 ~9/10	
K038	井 〔福 井〕	九頭竜川	日野川	日野川	深谷揚水機	西嶺鳥深谷 土地改良区	23	0.117	0.117	西嶺鳥深谷 土地改良区	ポンプ	φ300mm	4/27 ~9/15	
K039	井 〔福 井〕	九頭竜川	日野川	日野川	大瀬西側 揚水機	大瀬町	20	0.150	0.150	大瀬町	ポンプ		4/1 ~8/30	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 直/sec			取水施設		取水期間	備考 (取水費による取水の右岸・左岸の別)
								最大 流量	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規格			
KU40	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	角折揚水機	角折町	16	0.100	0.100	角折町	ポンプ		3/20 ~8/15	
KU41	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	下市揚水機	下市町	30	0.109	0.082	下市町	ポンプ		4/25 ~8/20	
KU42	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	東下野揚水機	東下野町	50	0.218	0.127	東下野町	ポンプ	φ350mm	5/1 ~8/15	
KU43	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	西下野揚水機	福井市農協	22	0.095	0.066	福井市農協	ポンプ	φ200mm	5/1 ~8/15	
KU44	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	安田揚水機	西安農地改良区	38	0.230	0.230	西安農地改良区	ポンプ	φ350mm	5/11 ~8/15	
KU45	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	清水揚水機	清水区	21	0.119	0.119	清水区	ポンプ	φ200mm	4/25 ~8/30	
KU46	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	竹生揚水機	竹生区	32	0.125	0.125	清水区	ポンプ	φ200mm 2台	4/20 ~8/30	
KU47	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	久喜揚水機	久喜津野	45	0.083	0.083	久喜津町	ポンプ	φ350mm 1台	5/1 ~8/15	
KU48	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	片粕第1揚水機	片粕区	72	0.025	0.025	清水区	ポンプ	φ350mm	4/20 ~9/10	
KU49	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	三ヶ用水機	三ヶ用水組合	102	0.230	0.230	三ヶ用水組合	ポンプ	φ350mm	5/1 ~8/30	
KU50	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	南尾揚水機	南尾町	49	0.133	0.133	南尾町	ポンプ	φ260mm 1台	4/20 ~8/30	
KU51	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	三尾揚水機	三尾野町	30	0.090	0.090	三尾野町	ポンプ	φ200mm 1台	4/10 ~9/20	
KU52	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	石田下用水	日野川西部土地改良区理事	123	0.110	0.110	鯖江市長	ポンプ	φ350mm	4/1 ~9/30	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 d/sec			取水施設		取水期間 (取水堰による取水の右岸・左岸の別)	備考
								最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種別	規模		
KU53	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	石田上用水	日野川西部 土地改良区	125	0.130	0.130	日野川西部 土地改良区	ポンプ	φ250mm 4/1 ~9/30		
KU54	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	糸用水	糸土地改良区	50	0.170	0.150	糸土地改良区	ポンプ	φ250mm 4/1 ~9/30		
KU55	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	杉本用水	杉本農家組合	50	0.270	0.250	杉本農家組合	ポンプ	φ250mm 4/1 ~9/30		
KU56	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	北野用水	北野土地改良区	29	0.130	0.110	鯖江市長	ポンプ	φ350mm 4/1 ~9/30		
KU57	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	田三ヶ用水	日野川西部 土地改良区	142	0.984	0.984	日野川西部 土地改良区	樋門等	4/1 ~9/30		
KU58	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	小黒町用水	小黒町 土地改良区	45	0.130	0.120	小黒町 土地改良区	ポンプ	φ300mm 4/1 ~9/30		
KU59	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	十一ヶ用水	日野川西部 土地改良区	422	0.910	0.910	日野川西部 土地改良区	ポンプ	φ700mm 4/1 ~9/30		
KU60	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	八ヶ用水	八ヶ土地 改良区	186	0.542	0.542	八ヶ土地 改良区	ポンプ	φ350mm 4/1 ~9/30		
KU61	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	瓜生湯水機	瓜生町 農家組合	50	0.180	0.180	瓜生町区長	ポンプ	φ300mm 4/1 ~9/30		
KU62	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	下湯用水	瓜生町 農家組合	50	0.200	0.200	瓜生町区長	樋門等	4/1 ~3/31		
KU63	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	江の西用水	江の西 土地改良区	55	0.240	0.240	江の西 土地改良区	ポンプ	4/1 ~3/31		
KU64	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	村野湯水機	竜ヶ 土地改良区	49	0.080	0.080	竜ヶ 土地改良区	ポンプ	φ200mm 4/1 ~3/31		
KU65	江(江) 鱒(鱒)	九頭竜川	日野川	日野川	竜ヶ湖用水	竜ヶ 土地改良区	90	0.530	0.530	竜ヶ 土地改良区	樋門等	4/1 ~3/31		

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一支流川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec		水利権水權 及び水利権者 市	取水施設		取水期間	備考 (取水權による取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	常時		施設の種類	規模		
KU66	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	町用水	武生市	86	0.333	0.333	武生市	取水權 (固定)		4/1 ~3/31	左岸
KU67	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	松ヶ原用水	松ヶ原土地改良区	977	4.732	3.000	松ヶ原土地改良区	取水權 (可動)	H=1.35m L=205.0m	5/1 ~4/30	右岸
KU68	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	板水連	下平吹町	26	0.490	0.490	下平吹町	樋門等		4/1 ~3/31	
KU69	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	日野用水	日野土地改良区	310	2.530	2.530	日野土地改良区	樋門等		4/1 ~3/31	
KU70	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	大江用水	中平吹町	39	0.500	0.500	中平吹町	樋門等		4/1 ~3/31	
KU71	江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	島用水	島区	33	0.920	0.200	島区	樋門等		4/1 ~8/31	
KU72 KU73 KU74	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	関・川口・ 土地改良区	関・川口・ 土地改良区	350	1.327	1.327	関・川口・ 土地改良区	樋門等		4/1 ~9/30	
KU75	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	門間用水	鱒波区代表者	76	0.730	0.290	鱒波区	樋門等		4/1 ~8/31	
KU76	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	大江用水	尾	43	0.220	0.160	尾	取水權 (固定)	H=1.0m L=53.0m	3/20 ~10/31	左岸
KU77	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	大湯用水	機	16	0.120	0.080	機	取水權 (固定)	H=1.0m L=53.0m	3/20 ~10/31	右岸
KU78	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	合波・大門 共用水	合波・大門 共	20	0.090	0.080	合波・大門	取水權 (固定)		4/1 ~10/31	右岸
KU79	江 〔今庄〕	九頭竜川	日野川	日野川	名多羅用水	几飯	14	0.080	0.050	几飯	取水權 (固定)		4/1 ~10/31	右岸
KU80	井 〔福井〕	九頭竜川	日野川	足羽川	飯塚用水	飯塚町	38	0.250	0.250	飯塚町	ポンプ	φ350mm	4/10 ~9/10	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec		取水施設 施設の種類 規模	取水期間	備考 (取水電による取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利権水量 及び水利権者			
KU81	井 〔福〕	九頭竜川	日野川	足羽川	若杉揚水機	若杉町	33	0.200	0.200	若杉町 ポンプ	φ400mm 4/10 ~9/10	
KU82	井 〔永平寺〕	九頭竜川	日野川	足羽川	双葉響姫	足羽堤堰	3,053	9.368	5,000	井 取水電 (可動)	H=9.4m L=98.4m 4/1 ~3/31	左岸
KU83	井 〔永平寺〕	九頭竜川	日野川	足羽川	市波揚水機	美山町	20	0.133	0.099	美山 ポンプ	4/20 ~9/30	
KU84	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	品ヶ瀬 揚水機	品ヶ瀬 水利組合	14	0.088	0.056	品ヶ瀬 水利組合 ポンプ	φ450mm 4/28 ~8/31	
KU85	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	小字坂 揚水機	小字坂島土 改共同施行	23	0.134	0.069	島土 取水電 (固定)	H=2.0m L=78.0m 4/20 ~9/10	右岸
KU86	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	足羽P.S. 取水電	品ヶ瀬 取水電 代表	29	0.600	0.300	品ヶ瀬 取水電 (固定)	H=6.0m L=44.0m 4/10 ~9/10	右岸
KU87	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	三ヶ区 同揚水	三ヶ区合 用水組合	15	0.289	0.079	野尻・柿ヶ原 取水電 (固定)	H=0.7m L=54.0m 4/20 ~8/31	右岸
KU88	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	山田用水	山田用水 組合代表	25	0.534	0.065	山田用水組合 機門等	4/10 ~4/9	
KU89	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	福荷寺島 同用水	福荷寺島共 同用水組合 代表	32	0.861	0.095	福荷寺島共 同用水組合 代表 取水電 (固定)	H=2.3m L=34.0m 4/10 ~4/9	左岸
KU90	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	常安向井 用水	常安向井 用水組合	34	0.789	0.097	常安向井 用水組合 機門等	4/15 ~4/14	
KU91	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	大用水	大用水 組合代表者	20	0.524	0.096	大用水組合 取水電 (固定)	H=1.0m L=18.0m 4/10 ~4/9	左岸
KU92	江 〔大野〕	九頭竜川	日野川	足羽川	上島用水	上島用水 組合代表者	34	0.597	0.043	上島用水組合 機門等	4/20 ~4/19	
KU93	井 〔永平寺〕	九頭竜川	日野川	荒川	三ヶ用水	三ヶ用水 原目町	75	0.470	0.140	原目町 取水電 (固定)	H=1.5m L=13.0m 5/1 ~4/30	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水渠図名 (5万分の1) [地形図名]	水系名	第一次支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称 面積 ha	取水量 d/sec			取水施設		取水期間	備考 (取水による取水の右岸・左岸の別)	
							最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模			
KU94	福井(永平寺)	九頭竜川	日野川	荒川	吉野用水頭首工	福井九頭竜川土地改良区	25	0.492	0.082	吉野学区長	取水堰(固定)	H=1.0m L=15.0m	右岸 4/1~8/31	
KU95	福井(永平寺)	九頭竜川	日野川	荒川	野用水頭首工	中松岡吉野土地改良区	15	0.418	0.082	西野中区長	取水堰(固定)	H=1.5m L=7.5m	右岸 4/1~8/31	
KU96	福井(永平寺)	九頭竜川	日野川	荒川	金ヶ用水頭首工	松岡吉野土地改良区	20	0.498	0.082	湯谷区長	取水堰(固定)	H=1.0m L=4.0m	左岸 4/1~8/31	
KU97	福井(永平寺)	九頭竜川	日野川	荒川	大用水頭首工	松岡吉野土地改良区	20	0.498	0.082	上吉野区長	取水堰(固定)	H=1.8m L=3.5m	右岸 4/1~8/31	
KU98	福井(永平寺)	九頭竜川	日野川	一乗谷川	安波賀用水	安波賀町	16	0.170	0.100	安波賀町	取水堰(固定)	H=2.3m L=23.0m	左岸 4/20~4/19	
KU99	福井(大野)	九頭竜川	日野川	一乗谷川	東新阿用水	東新町	12	0.160	0.100	東新町	取水堰(固定)	H=1.0m L=12.0m	右岸 4/1~3/31	
KU100	福井(大野)	九頭竜川	日野川	一乗谷川	波羅用水	浄教寺町	12	0.058	0.040	浄教寺町	取水堰(固定)	H=1.8m L=11.0m	左岸 4/1~9/30	
KU101	福井(大野)	九頭竜川	日野川	上味見川	大用水	上味見川土地改良区	10	0.067	0.067	上味見川土地改良区	取水堰(固定)	H=2.0m L=10.0m	右岸 4/7~9/15	
KU102	福井(大野)	九頭竜川	日野川	上味見川	がのや用水	河内土地改良区	10	0.067	0.067	河内土地改良区	取水堰(固定)	H=2.5m L=15.0m	左岸 4/7~9/1	
KU103	福井(大野)	九頭竜川	日野川	水海川	藪田用水	藪田用水組合	15	0.287	0.007	藪田用水組合	機門等		4/15~9/10	
KU104	福井(大野)	九頭竜川	日野川	水海川	谷口沖用水	谷口沖用水組合	35	0.608	0.062	谷口沖用水組合	機門等		4/15~4/14	
KU105	福井(大野)	九頭竜川	日野川	水海川	神木深切用水	神木深切用水組合	10	0.175	0.035	神木深切用水組合	機門等		4/10~8/31	
KU106	福井(大野)	九頭竜川	日野川	水海川	湯ノ花用水	湯ノ花用水組合	15	0.260	0.052	湯ノ花用水組合	機門等		4/10~8/31	

農業用取水口一覽表

内照番号	利水現況図名 (5万分の1 地形図名)	水系名	第一支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水堰による取水の右岸・左岸の別)
								最大 秒	水利權水 時 及び水利權者	水利權水量	施設の種別	規模		
KU107	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	水鏡川	綜合取水	綜合用水	41	0.795	0.062	綜合	取水堰 (固定)	H=4.0m L=42.0m	4/10 ~4/9	右岸
KU108	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	魚見川	大湯用水	大湯用水 組合代表	40	0.781	0.046	大湯用水組合	取水堰 (固定)	H=0.6m L=35.0m	4/10 ~4/9	右岸
KU109	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	魚見川	定方用水	定方用水組合	16	0.175	0.035	定方用水組合	取水堰 (固定)	H=0.6m L=35.0m	4/10 ~8/31	左岸
KU110	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	魚見川	こおのす 用水	こおのす用水 組合代表	10	0.175	0.035	こおのす 用水組合	取水堰 (固定)	H=0.6m L=28.0m	4/10 ~9/30	右岸
KU111	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	東俣川	中谷用水	中谷用水 組合代表	25	0.463	0.116	中谷取水組合	取水堰 (固定)	H=1.0m L=25.0m	4/20 ~8/30	左岸
KU112	江 野 大 野	九頭竜川	日野川	東俣川	山の神用水	山の神 用水組合	30	0.556	0.125	山の神 用水組合	取水堰 (固定)	H=0.8m L=28.0m	4/20 ~8/30	左岸
KU113	井 福	九頭竜川	日野川	狐川	六ヶ揚水機	六ヶ揚水機	30	0.200	0.130	六ヶ取水組合	ポンプ	φ400mm	4/20 ~8/31	
KU114	井 福	九頭竜川	日野川	未更毛川	小牧用水	安田町	32	0.050	0.020	安田町	樋門等		4/1 ~3/31	
KU115	井 福	九頭竜川	日野川	未更毛川	上畠橋用水	本堂町	10	0.015	0.010	本堂町	樋門等		4/1 ~3/31	
KU116	井 福	九頭竜川	日野川	未更毛川	水元用水	本堂町	15	0.030	0.010	本堂町	取水堰 (固定)	H=1.0m L=7.0m	4/1 ~3/31	左岸
KU117	井 福	九頭竜川	日野川	未更毛川	大谷用水	末町	48	0.050	0.030	末町	樋門等		4/1 ~3/31	
KU118	井 福	九頭竜川	日野川	志津川	三 2号用水	留三 留区	12	0.081	0.081	三 留区	取水堰 (固定)	H=1.5m L=16.0m	4/25 ~8/30	右岸
KU119	井 福	九頭竜川	日野川	志津川	三 1号用水	留三 留区	87	0.408	0.408	三 留区	取水堰 (固定)	H=1.5m L=16.0m	4/25 ~8/31	両岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水施設 5万分の1 地形図名	水系名	第一次 支系川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m^3/sec			取水施設		取水期間	備考 (取水による取水の右岸・左岸の別)
								最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種別	規模		
KU120	福井(福井)	九頭竜川	日野川	志津川	三ヶ用水樋	三ヶ用水組合	137	0.497	0.497	三ヶ用水組合 及び水利権者	取水樋 (固定)	H=1.0m L=12.0m	4/25 ~8/31	右岸
KU121	福井(福井)	九頭竜川	日野川	志津川	下出川 湯頭首工	大森区	42	0.165	0.165	大森区	取水樋 (固定)	H=1.0m L=7.0m	4/25 ~8/31	左岸
KU122	福井(福井)	九頭竜川	日野川	志津川	新田湯頭 清水樋	清水区	22	0.121	0.121	清水区	取水樋 (固定)	H=3.0m L=3.7m	4/25 ~8/31	右岸
KU123	福井(福井)	九頭竜川	日野川	山内川	四方藪の口 湯頭首工	大森区	12	0.050	0.050	大森区	取水樋 (固定)	H=0.5m L=5.8m	4/25 ~8/30	左岸
KU124	福井(福井)	九頭竜川	日野川	山内川	野口溪流	笹谷区	21	0.101	0.101	笹谷区	取水樋 (固定)		4/25 ~9/5	左岸
KU125	福井(福井)	九頭竜川	日野川	山内川	山内溪流	山内区	11	0.061	0.061	山内区	取水樋 (固定)		4/25 ~9/5	右岸
KU126	福井(福井)	九頭竜川	日野川	瀬波川	大森少谷 厩場頭首工	大森区	12	0.063	0.063	大森区	取水樋 (固定)	H=1.2m L=14.4m	4/25 ~8/31	右岸
KU127	福井(福井)	九頭竜川	日野川	志津川	松原湯頭 清水樋	清水区	19	0.096	0.096	清水区	取水樋 (固定)	H=2.8m L=5.5m	4/25 ~8/31	右岸
KU128	福井(福井)	九頭竜川	日野川	江端川	下江守社 揚水機	下江守町 土地改良区	46	0.300	0.210	下江守町	ポンプ	$\phi 300mm$	4/1 ~8/31	
KU129	福井(福井)	九頭竜川	日野川	江端川	滝野揚水機	滝野町	21	0.230	0.160	滝野町	ポンプ	$\phi 250mm$	4/1 ~9/30	
KU130	福井(福井)	九頭竜川	日野川	江端川	南江守 揚水機	南江守町	58	0.088	0.060	南江守町	ポンプ	$\phi 300mm$	4/1 ~9/30	
KU131	福井(福井)	九頭竜川	日野川	江端川	今市揚水機	今市町	48	0.258	0.151	麻生津北郷 土地改良区	ポンプ		4/1 ~9/30	
KU132	福井(福井)	九頭竜川	日野川	江端川	大土呂 揚水機	大土呂町	62	0.238	0.219	大土呂町	ポンプ		4/1 ~10/31	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水状況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一支流川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間 (取水曜による取水の右岸・左岸の別)	備考
								最大 流量	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規格		
KU133	灌井 (福)	九頭竜川	日野川	江端川	新開揚水機	新開町	22	0.100	0.070	新開町 及び水利権者	ポンプ	φ350mm	4/1 ~9/30	
KU134	灌井 (福)	九頭竜川	日野川	朝六川	麻生津北部 揚水機	麻生津北部 土地改良区	54	0.271	0.191	土地改良区	ポンプ	φ350mm	4/1 ~9/30	
KU135	灌井 (福)	九頭竜川	日野川	朝六川	今市揚水機	今市農家組合	20	0.078	0.078	今市農家組合	ポンプ	φ200mm	5/1 ~8/31	
KU136	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	朝六川	浅水三区 揚水機	浅水三区 農家組合	12	0.032	0.032	土地改良区	ポンプ	φ125mm	5/1 ~8/31	
KU137	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	高橋川	下用水	今市町	20	0.080	0.040	今市町	取水堰 (固定)	H=2.3m L=8.6m	4/1 ~3/31	左岸
KU138	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	出作用水	出作用水組合	13	0.035	0.035	出作用水組合	ポンプ	φ150mm	4/1 ~9/30	
KU139	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	西番用水	西番用水組合	30	0.080	0.080	西番用水組合	ポンプ	φ150mm	4/1 ~9/30	
KU140	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	吉江用水	立待吉江 土地改良区	11	0.040	0.040	立待吉江 土地改良区	ポンプ	φ150mm	4/1 ~9/30	
KU141	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	米岡用水	米岡区 土地改良区	10	0.040	0.040	米岡区 土地改良区	ポンプ	φ150mm	4/1 ~9/30	
KU142	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	西鳥羽用水	西鳥羽 用水組合	42	0.080	0.080	西鳥羽 用水組合	ポンプ	φ200mm	4/1 ~9/30	
KU143	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	西鳥羽 揚水機	西鳥羽 用水組合	42	0.080	0.080	西鳥羽 用水組合	ポンプ	φ200mm	4/1 ~9/30	
KU144	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	主計揚水機	主計 土地改良区	260	0.850	0.850	主計 土地改良区	ポンプ	φ400mm	4/1 ~9/15	
KU145	灌江 (鯖)	九頭竜川	日野川	浅水川	上河端用水	上河端 土地改良区	40	0.200	0.200	上河端 土地改良区	取水堰 (固定)	H=1.9m L=24.0m	4/1 ~9/30	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一支流川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 q/sec			取水施設		取水期間	備考 (取水權による取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利權水 量及び水利 權者	施設の種類	規模			
KU146	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	殿後用水	中野土地 改良組合	60	0.365	0.365	中野土地 改良組合	取水權 (固定)	H=1.5m L=24.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU147	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	中野用水	中野農家組合	185	0.728	0.728	中野農家組合	取水權 (固定)	H=2.0m L=24.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU148	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	河端用水	鱒江河端 土地改良区	75	0.040	0.035	鱒江河端 土地改良区	取水權 (固定)	H=1.5m L=15.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU149	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	郷匂用水	郷匂用水組合	10	0.040	0.040	郷匂用水組合	取水權 (固定)	H=1.9m L=24.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU150	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	山田用水	中新庄町	25	0.110	0.110	中新庄町長	機門等	H=1.5m L=2.0m	4/1 ~3/31	右岸
KU151	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	車田播水機	松ヶ森 土地改良区	18	0.040	0.040	松ヶ森 土地改良区	ポンプ		4/1 ~9/30	
KU152	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	五反田	北町	13	0.050	0.050	北町	機門等		4/1 ~3/31	
KU153	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	砂田口	西尾町	13	0.070	0.070	西尾町	機門等		4/1 ~3/31	
KU154	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	浅水川	徳間用水	北町	49	0.080	0.080	北町区長	機門等		4/1 ~3/31	
KU155	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	鞍谷川	橋立用水	中河橋立 土地改良区	30	0.100	0.100	中河橋立 土地改良区	ポンプ	φ200mm	4/1 ~9/30	
KU156	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	鞍谷川	吉谷用水	吉谷用水組合	35	0.030	0.030	吉谷用水組合	ポンプ	φ150mm	4/1 ~9/30	
KU157	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	鞍谷川	田中用水	中田土地 改良区	97	0.250	0.250	中田土地 改良区	取水權 (固定)	H=1.9m L=32.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU158	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	鞍谷川	水浴用水	川島農家組合	40	0.220	0.220	川島農家組合	取水權 (固定)	H=1.9m L=12.0m	4/1 ~9/30	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 地形図名	水系名	第一支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水堰による取水の右岸・左岸の別)
								最大	常時	水利権水量及び水利権者	施設の種類	規模		
KU159	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	中井用水	新堂用水組合	10	0.046	0.035	新堂用水組合	取水堰 (固定)		4/10 ~9/10	右岸
KU160	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	本湯用水	中津山用水組合	22	0.101	0.077	中津山用水組合	ポンプ	φ150mm	4/10 ~9/10	
KU161	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	西清田町2号用水	栗田水利組合	10	0.046	0.035	栗田水利組合	機門等		4/10 ~9/10	
KU162	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	東上小柳第一水	栗田水利組合	17	0.070	0.050	栗田水利組合	取水堰 (固定)	H=1.0m L=6.0m	4/10 ~9/10	左岸
KU163	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	下郷	武生味真野土地改良区	16	0.070	0.070	武生味真野土地改良区	機門等		4/10 ~3/31	
KU164	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	南小山湯	小山町	25	0.110	0.110	小山町	機門等		4/1 ~3/31	
KU165	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	北郷	武生味真野土地改良区	10	0.040	0.040	武生味真野土地改良区	機門等		4/1 ~3/31	
KU166	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	楳谷川	三郎丸湯	余川町	10	0.040	0.040	余川町	機門等		4/1 ~3/31	
KU167	江〔鱒〕	九頭竜川	日野川	河和田川	布ヶ池用水	布ヶ池組合	60	0.250	0.250	布ヶ池組合	取水堰 (固定)	H=0.5m L=16.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU168	江〔大野〕	九頭竜川	日野川	河和田川	四ツ河原用水	戸ノ口農家組合	10	0.050	0.050	戸ノ口農家組合	取水堰 (固定)	H=0.3m L=10.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU169	江〔大野〕	九頭竜川	日野川	河和田川	北中山用水	北中山人ヶ用水組合	115	0.350	0.350	北中山人ヶ用水組合	取水堰 (固定)	H=0.5m L=10.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU170	江〔大野〕	九頭竜川	日野川	河和田川	沖田湯用水	別可農家組合	15	0.080	0.080	別可農家組合	取水堰 (固定)	H=0.5m L=9.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU171	江〔大野〕	九頭竜川	日野川	河和田川	中湯用水	別可農家組合	15	0.153	0.150	別可農家組合	取水堰 (固定)	H=0.5m L=10.0m	4/1 ~9/30	右岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支系川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 l/sec		水利権水 量及び水利権者	取水施設		取水期間	備考 (取水による取水の右岸・左岸の別)
								最大	常時		施設の種類	規模		
KU172	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	河和田川	小坂片山用水	河和田農家組合	19	0.120	0.120	河和田農家組合	取水堰 (固定)	H=0.3m L=8.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU173	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	河和田川	蒔生田用水	蒔生田農家組合	18	0.100	0.100	蒔生田農家組合	取水堰 (固定)	H=0.3m L=7.0m	4/1 ~9/30	左岸
KU174	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	河和田川	大月用水	西袋農家組合	11	0.200	0.200	西袋農家組合	取水堰 (固定)	H=0.45m L=9.0m	4/1 ~9/30	右岸
KU175	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	和田川	大谷大用水	宮崎陶の谷 土地改良区	16	0.090	0.090	宮崎陶の谷 土地改良区	取水堰 (固定)	H=1.2m L=6.0m	4/1 ~3/31	右岸
KU176	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	和田川	上野下湯用水	宮崎陶の谷 土地改良区	10	0.053	0.053	宮崎陶の谷 土地改良区	樋門等		4/1 ~3/31	
KU177	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	和田川	上野月ヶ瀬用水	宮崎陶の谷 土地改良区	19	0.105	0.105	宮崎陶の谷 土地改良区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=6.0m	4/1 ~3/31	右岸
KU178	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	和田川	寺月ヶ瀬頭用水	宮崎陶の谷 土地改良区	15	0.090	0.090	宮崎陶の谷 土地改良区	取水堰 (固定)		4/1 ~3/31	左岸
KU179	江(江) [鱒]	九頭竜川	日野川	天神川	小坂用水	河和田農家組合	19	0.100	0.100	河和田農家組合	取水堰 (固定)	H=0.3m L=6.2m	4/1 ~9/30	右岸
KU180	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	服部川	さくら用水	西庄場國中 用水組合	17	0.092	0.092	西庄場國中 用水組合	取水堰 (固定)	H=0.3m L=4.0m	4/10 ~9/10	左岸
KU181	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	服部川	外田用水	東庄用水組合	48	0.216	0.164	東庄用水組合	樋門等		4/10 ~9/10	
KU182	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	服部川	中湯用水	瓢家用水組合	15	0.034	0.026	瓢家用水組合	樋門等		4/10 ~9/10	
KU183	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	服部川	南湯用水	香山用水組合	12	0.041	0.032	香山用水組合	樋門等		4/10 ~9/10	
KU184	江(大野) [鱒]	九頭竜川	日野川	服部川	岩宮用水	寺地用水組合	16	0.018	0.014	寺地用水組合	樋門等		4/10 ~9/10	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水施設図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	水系名	第一次 支派川名	核当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m^3/sec			取水施設		取水期間	備考 (取水量による取水の右岸・左岸の別)
								最大 常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種別	規模			
KU185	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	服部川	鉄閘用水	相用水組合長	15	0.028	0.021	相用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU186	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	水間川	朽飯用水	朽用水組合長	17	0.080	0.450	朽飯用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU187	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	水間川	高岡用水	高岡用水組合	10	0.048	0.036	高岡用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU188	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	水間川	本湯用水	室用水組合長	12	0.046	0.035	室谷用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU189	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	水間川	長谷庄田用水	長谷用水組合長	10	0.032	0.024	長谷用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU190	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	水間川	南中用水	南中用水組合長	12	0.014	0.011	南中用水組合	取水堰 (固定)	4/10 ~9/10	右岸	
KU191	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	月尾川	山室藤巻用水	山室用水組合長	12	0.216	0.164	山室用水組合	ポンプ	4/10 ~9/10		
KU192	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	月尾川	山室用水	山室用水組合長	38	0.216	0.150	山室用水組合	ポンプ	4/10 ~4/9		
KU193	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	月尾川	人歌河原用水	衫用水組合長	16	0.013	0.010	衫尾用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU194	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	月尾川	長五用水	長五用水組合長	12	0.009	0.007	長五用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU195	瀬〔大野〕	九頭竜川	日野川	月尾川	村湯用水	人用水組合長	10	0.046	0.035	人石用水組合	機門等	4/10 ~9/10		
KU196	瀬〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	穴田川	駒ヶ崎用水	鯖江河津土地改良区	129	0.400	0.400	鯖江河津土地改良区 (固定)	取水堰 H=1.5m L=10.0m (固定)	4/1 ~9/30	左岸	
KU197	瀬〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	穴田川	横越揚水機	鯖江河津土地改良区	45	0.183	0.183	鯖江河津土地改良区	ポンプ	4/1 ~9/30		

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水時間 (取水量による取水の右岸・左岸の別)	備考
								最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種別	規模		
KU198	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	穴田川	横越3号 橋水機	錦江河端 土地改良区	12	0.020	0.020	錦江河端 土地改良区	ポンプ	φ100mm	4/1 ~9/30	
KU199	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	田中揚水機	田中 用水組合	62	0.245	0.194	田中用水組合	ポンプ	φ300mm	4/15 ~9/10	
KU200	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	ニヶ井堰	気比庄区	96	0.497	0.294	気比庄区	取水堰 (固定)	H=5.0m L=26.0m	4/15 ~4/14	右岸
KU201	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	七郷頭管工	丹生七郷 土地改良区	295	1.338	0.709	丹生七郷 土地改良区	取水堰 (可動)	H=1.5m L=38.0m	4/15 ~4/14	左岸
KU202	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	五箇用水	朝日五箇 土地改良区	108	0.436	0.338	朝日五箇 土地改良区	取水堰 (固定)	H=2.5m L=24.0m	4/15 ~4/14	右岸
KU203	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	櫻 機械用水	宮崎櫻津 土地改良区	30	0.175	0.175	宮崎櫻津 土地改良区	ポンプ	φ250mm	5/1 ~8/20	
KU204	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	江波自動堰	宮崎 村	10	0.040	0.040	宮崎広野 土地改良区	取水堰 (可動)	H=2.0m L=12.0m	4/1 ~3/31	左岸
KU205	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	江 大割用水	江波 区	12	0.072	0.072	江波 区	取水堰 (可動)	H=1.0m L=20.0m	4/1 ~3/31	右岸
KU206	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	萬 機械用水	宮崎江波 土地改良区	23	0.134	0.134	宮崎江波 土地改良区	ポンプ	φ200mm	4/26 ~8/31	
KU207	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	天王川	横 掛機械用水	宮崎小曾原 土地改良区	19	0.078	0.078	宮崎小曾原 土地改良区	ポンプ	φ150mm	4/21 ~8/31	
KU208	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	和田川	下川井堰	岩間 区	33	0.113	0.073	岩間 区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=7.0m	4/15 ~9/10	右岸
KU209	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	和田川	菅の下堰	和田川 土地改良区	37	0.154	0.154	佐々生区	取水堰 (固定)	H=1.5m L=12.0m	4/15 ~4/14	両岸
KU210	江 [錦江]	九頭竜川	日野川	和田川	町田の堰	和田川 土地改良区	22	0.088	0.059	和田川 土地改良区	取水堰 (固定)	H=2.5m L=5.0m	4/15 ~4/14	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m^3/sec		取水施設		取水期間	備考 (取水量による取水の右岸・左岸の別)
								最大 常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模		
KU211	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	和田川	市の上堰	和田川 土地改良区	20	0.080	0.054	取水堰 (固定)	H=1.5m L=6.0m	4/15 ~9/10	右岸
KU212	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	越知川	小倉揚水機	小倉区	13	0.045	0.029	ポンプ	φ125mm	4/20 ~9/15	
KU213	井(福井)	九頭竜川	日野川	越知川	森清水工	森区	13	0.083	0.044	ポンプ		4/20 ~4/19	
KU214	井(福井)	九頭竜川	日野川	越知川	櫛子倉機	小川区	13	0.037	0.024	ポンプ	φ125mm	4/20 ~9/15	
KU215	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	織田川	大井用水	織田町	42	0.183	0.183	取水堰 (固定)	H=2.0m L=11.3m	1/1 ~12/31	左岸
KU216	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	吉野瀬川	北府士井 丸用水	北府町	15	0.030	0.030	横門等		4/1 ~3/31	
KU217	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	吉野瀬川	岡本用水機	岡本町	16	0.048	0.048	横門等		4/1 ~9/30	
KU218	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	吉野瀬川	芝原井 用水	岡本町	20	0.102	0.102	横門等		4/1 ~9/30	
KU219	江(鶴江)	九頭竜川	日野川	吉野瀬川	二の井 用水	武生広瀬 土地改良区	80	0.381	0.381	横門等		4/1 ~9/30	
KU220	江(今庄)	九頭竜川	日野川	田倉川	八乙女用水	八乙女	13	0.090	0.050	取水堰 (固定)		4/1 ~3/31	右岸
KU221	江(今庄)	九頭竜川	日野川	田倉川	社谷向用水	社谷	19	0.150	0.140	取水堰 (固定)		4/15 ~9/15	左岸
KU222	江(今庄)	九頭竜川	日野川	田倉川	久番用水	久番	17	0.090	0.060	取水堰 (固定)	H=1.0m L=67.5m	4/1 ~9/30	左岸
KU223	江(冠山)	九頭竜川	日野川	田倉川	古木馬立 合用水	古木・馬立 合用水	45	0.230	0.160	取水堰 (固定)	H=1.0m L=25.0m	4/1 ~10/31	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	水系名	第一次 支系川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水堰による取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類 規模	施設の種類 規模			
KU224	江井 〔冠山〕	九頭竜川	日野川	田倉川	中滞用水	小倉谷・ 上温谷	18	0.090	0.060	小倉谷・ 上温谷	取水堰 (固定)	H=1.2m L=10.0m	4/1 ~10/31	右岸
KU225	井 〔永平寺〕	九頭竜川	永平寺川	永平寺川	吉市用水	東古市 用水組合	14	0.125	0.125	東古市 用水組合	取水堰 (固定)	H=4.0m L=16.0m	1/1 ~12/31	右岸
KU226	井 〔永平寺〕	九頭竜川	永平寺川	永平寺川	総用水	桜用水組合	54	0.760	0.760	桜用水組合	取水堰 (固定)		1/1 ~12/31	右岸
KU227	井 〔永平寺〕	九頭竜川	永平寺川	永平寺川	總橋用水	總橋用水組合	36	0.760	0.760	總橋用水組合	取水堰 (固定)	H=4.0m L=11.0m	1/1 ~12/31	右岸
KU228	井 〔永平寺〕	九頭竜川	永平寺川	永平寺川	梅杭用水	荒谷用水組合	18	0.223	0.223	荒谷用水組合	取水堰 (固定)		4/1 ~9/30	右岸
KU229	井 〔永平寺〕	九頭竜川	犀川	犀川	光明寺用水	光明寺 用水組合	24	0.167	0.167	光明寺 用水組合	取水堰 (固定)		4/20 ~8/15	左岸
KU230	井 〔永平寺〕	九頭竜川	犀川	犀川	總橋地整理 用水ポンプ	總橋地 整理組合	30	0.200	0.200	總橋地 整理組合	ポンプ		4/5 ~9/19	
KU231	井 〔永平寺〕	九頭竜川	犀川	犀川	象間用水	浅見区長	12	0.080	0.080	浅見区	樋門等		4/25 ~8/31	
KU232	井 〔永平寺〕	九頭竜川	南河内川	南河内川	上野用水	栗住波区長	12	0.079	0.052	栗住波区	樋門等		4/25 ~8/31	
KU233	井 〔永平寺〕	九頭竜川	南河内川	河内川	舟才天用水	竹原区長	10	0.065	0.043	竹原区	樋門等		4/25 ~8/31	
KU234	山 〔越前勝山〕	九頭竜川	真名川	真名川	樫 3号用水	樫枕区代表	20	0.350	0.350	樫枕	樋門等		4/1 ~9/30	
KU235	山 〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	真名川	五ヶ用水	富田 土地改良区	64	0.720	0.380	富田 土地改良区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=8.0m	4/1 ~3/31	右岸
KU236	山 〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	真名川	木落用水	木落区代表	32	0.080	0.050	佐開木落区	取水堰 (固定)		4/1 ~3/31	右岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 {5万分の1} 地形図名	水系名	第一次支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設	取水期間	備考 (取水電による取水の右岸・左岸の別)
								最大	常時	水利権水量及び水利権者			
KU237	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	真名川	富田発電用水	富田土地改良区	760	5.870	5.870	富田土地改良区	取水堰	4/1 ~ 3/31	左岸
KU238	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	真名川	中休用水 (夏夏用水補)	大野塚原土地改良区	36	0.213	0.213	大野塚原土地改良区	ポンプ	4/1 ~ 3/31	
KU239	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	真名川	内川	下森目用水	富田土地改良区	17	0.140	0.140	富田土地改良区	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	左岸
KU240	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	真名川	内川	柴人場用水	富田土地改良区	45	0.284	0.284	富田土地改良区	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	左岸
KU241	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	内川	山田江用水	富田土地改良区	20	0.280	0.280	富田土地改良区	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	右岸
KU242	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	内川	野田江用水	富田土地改良区	25	0.350	0.350	富田土地改良区	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	左岸
KU243	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	内川	稲井田用水	富田土地改良区	30	0.270	0.270	富田土地改良区	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	右岸
KU244	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	真名川	清滝川	新在家用水	南新在家	45	0.430	0.180	南新在家	取水堰 (固定)	4/1 ~ 9/30	右岸
KU245	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	清滝川	西田用水	南新在家区長	15	0.160	0.090	南新在家	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	左岸
KU246	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	清滝川	八反田用水	南津川代表	14	0.260	0.060	中津川・横枕・南新在家	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	左岸
KU247	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	清滝川	山崎用水	横枕区代表	10	0.081	0.057	横枕	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	右岸
KU248	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	清滝川	真邊用水	友江区長	29	0.250	0.090	友江	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	右岸
KU249	勝山 (荒島岳)	九頭竜川	真名川	清滝川	寺本用水	友江区代表	12	0.100	0.060	友江	取水堰 (固定)	4/1 ~ 3/31	右岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		備考 (取水費による取水の右岸・左岸の別)		
								最大時	水利機水量 及び水利機者	水利機水量	施設の種類	規模		取水期間	
KU250	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	真用水	及江区長	16	0.130	0.070	及	江	取水堰 (固定)	H=1.0m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	右岸
KU251	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	真藤用水	中狭区代表	36	0.340	0.170	中	狭	取水堰 (固定)	H=1.5m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU252	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	童子丸用水	真中区代表	26	0.210	0.100	真	中	取水堰 (固定)	H=1.0m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU253	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	中江用水	真中区代表	29	0.150	0.090	真	中	取水堰 (固定)	H=1.0m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU254	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	国時用水	真中区代表	13	0.320	0.020	真	中	取水堰 (固定)	H=1.0m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU255	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	明後用水	明後 土地改良区	60	1.034	1.034	明	後 土地改良区	取水堰 (可動)		4/1 ~ 3/31	左岸
KU256	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	藤巻用水	下掘	10	0.063	0.063	下	掘	取水堰 (固定)		4/1 ~ 10/31	左岸
KU257	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	下掘用水 (法善用水)	下掘区代表	78	1.160	1.160	下	掘	取水堰 (可動)		4/1 ~ 10/31	左岸
KU258	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	清滝用水	木本区代表	156	1.260	1.260	木	本	取水堰 (可動)	H=1.0m L=20.0m	4/1 ~ 3/30	左岸
KU259	山 勝〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	清滝川	大井用水 (木本区代表)	木本区代表	48	0.300	0.100	木	本	取水堰 (固定)		4/1 ~ 3/30	右岸
KU260	山 勝〔越前勝山〕	九頭竜川	真名川	赤根川	大月用水	西大月区代表	41	0.543	0.543	西	大月	取水堰 (固定)		4/1 ~ 3/30	左岸
KU261	井 福〔永平寺〕	九頭竜川	真名川	赤根川	大矢戸 機械用水	大矢戸 太田・大矢戸 代表	37	0.150	0.150	太田・大矢戸	代表	ポンプ 1台	φ300mm	4/1 ~ 3/31	
KU262	井 福〔永平寺〕	九頭竜川	真名川	赤根川	太田用水	太田・西大月 区代表	52	0.570	0.570	太田・西大月	代表	取水堰 (固定)	H=2.0m L=20.0m	4/1 ~ 3/31	左岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水による取水の右岸・左岸の別)
								最大	常時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模		
KU263	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	真名川	赤根川	龜ヶ湖用水	庄林区長	38	0.110	0.070	林	取水堰 (固定)	H=1.2m L=13.0m	4/1 ~ 3/31	右岸
KU264	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	大門機械用水	大野乾側 土地改良区	48	0.180	0.180	大野乾側 土地改良区	ポンプ	φ300mm 1台	4/1 ~ 3/31	
KU265	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	八ヶ用水	犬山区長	69	0.640	0.640	犬山区長	取水堰 (固定)	H=1.8m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU266	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	四ヶ用水	犬山区長	102	0.740	0.740	犬山区長	取水堰 (固定)	H=1.2m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU267	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	鯨掛用水	鯨掛区長	40	0.129	0.129	鯨掛	ポンプ		4/1 ~ 3/31	
KU268	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	開田揚水機	上荒井区代表	10	0.033	0.033	上荒井	ポンプ		4/1 ~ 3/31	
KU269	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	上荒井用水 (高田用水)	上荒井区長	10	0.050	0.040	上荒井	取水堰 (固定)	H=1.2m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU270	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	下吉用水	下吉区代表	17	0.056	0.036	下吉	ポンプ		4/1 ~ 3/31	
KU271	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	矢田毛用水	阿難祖領家 代表	12	0.040	0.031	阿難祖領家	取水堰 (固定)		4/1 ~ 3/31	右岸
KU272	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	新器用水	阿難祖領家 代表	12	0.100	0.070	阿難祖領家	取水堰 (固定)	H=0.5m L=5.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU273	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	赤根川	地頭方用水	阿難祖領 地頭方区代表	16	0.056	0.041	阿難祖領 地頭方	取水堰 (固定)		4/1 ~ 3/31	右岸
KU274	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	木瓜川	庄林用水	大野下庄 土地改良区	56	0.150	0.110	大野下庄 土地改良区	取水堰 (固定)		4/1 ~ 3/31	左岸
KU275	鯖江 〔大野〕	九頭竜川	真名川	木瓜川	新の罾用水	中津川区代表	55	0.470	0.250	中津川	取水堰 (固定)	H=1.0m L=15.0m	4/1 ~ 3/31	右岸

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支流川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水電による取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模			
KU276	江 野 〔大〕	九頭竜川	真名川	木瓜川	江の尻用水	大野下庄 土地改良区	20	0.030	0.030	大野下庄 土地改良区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=10.0m	4/1 ~ 3/31	左岸
KU277	井 寺 〔永平〕	九頭竜川	真名川	日越川	坂の瀬用水 (井田里)	矢代区	10	0.030	0.030	矢	ポンプ	φ120mm 1台	4/1 ~ 3/31	
KU278	江 野 〔大〕	九頭竜川	真名川	日越川	牛ヶ原機械 用水(-杉)	大野乾側 土地改良区	35	0.280	0.280	大野乾側 土地改良区	ポンプ		4/1 ~ 3/31	
KU279	江 野 〔大〕	九頭竜川	真名川	日越川	中 機械揚水	中丁区代表	27	0.120	0.120	中丁区	ポンプ	φ165mm 1台	4/1 ~ 3/31	
KU280	山 勝 〔越前勝山〕	九頭竜川	真名川	堂勤川	土布子下田 用水(-下)	田 土地改良区	15	0.164	0.164	田 土地改良区	取水堰 (固定)		4/1 ~ 9/30	右岸
KU281	山 勝 〔荒島岳〕	九頭竜川	真名川	堂勤川	大水口用水	田 土地改良区	10	0.079	0.079	田 土地改良区	取水堰 (固定)		4/1 ~ 9/30	右岸
KU282	山 勝 〔荒島岳〕	九頭竜川	旅塚川	旅塚川	畑野用水	柿ヶ島区代表	10	0.060	0.040	柿ヶ島	取水堰 (固定)	H=1.2m L=13.0m	4/1 ~ 3/31	右岸

農業用取水口一覽表

(様式5-a号)

対照 番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	水系名	第一 次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備 考 (取水廻り取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模			
KI1	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	西高揚水機						ポンプ			
KI2	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	府中頭首工	府中区	60	0.300	0.200	小浜市	取水堰 (固定)	H=2.0m L=98.0m	4/15~ 9/30	右岸
KI3	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	関釜頭首工	小浜市	200	0.680	0.490	小浜市	取水堰 (固定)	H=1.0m L=81.0m	4/15~ 8/31	右岸
KI4	北 〔熊 川〕	北川	野木川	野木川	下野木井堰	下野木区	10	0.020	0.010	下野木区	取水堰 (固定)	H=1.0m L=8.5m	4/1~ 9/10	右岸
KI5	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	平野頭首工	平野土地改良 区共同施行	40	0.263	0.132	平野土地改良 区共同施行	取水堰 (固定)	H=2.0m L=80.0m	4/20~ 9/19	両岸
KI6	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	日笠大井堰	上中町	27	0.215	0.105	上中町	横門等		4/20~ 9/10	
KI7	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	武生横門	福井	49	0.241	0.211	福井	横門等	φ900mm	4/1~ 8/31	
KI8	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	世野見 揚水機横門	福井	104	0.444	0.444	福井	ポンプ	φ200mm 4台	4/1~ 8/31	
KI9	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	井の口大井 堰	井の口大井 堰水利組合	10	0.020	0.010	井の口大井 堰水利組合	取水堰 (固定)		4/1~ 9/20	左岸
KI10	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	下吉田揚水 上中町	上中町	10	0.035	0.033	上中町	取水堰 (固定)		4/20~ 9/10	右岸
KI11	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	三宅下河原 井堰		28	0.171	0.109	上中町	取水堰 (固定)		4/1~ 8/25	右岸
KI12	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	三宅大井堰	上中町	47	0.200	0.100	上中町	取水堰 (固定)	H=3.1m L=41.5m	4/10~ 9/10	左岸
KI13	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	瓜生大井堰	上中町	190	2.000	0.827	上中町	取水堰 (固定)	H=5.0m L=26.2m	4/1~ 9/10	右岸
KI14	北 〔熊 川〕	北川	—	北川	察風川 あみた井						取水堰	L=26.2m		

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1 地形図名)	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい 面積 ha	取水量 m ³ /sec			取水施設		取水期間	備考 (取水層は取水の右岸・左岸の別)
								最大 時	水利権水量 及び水利権者	施設の種類	規模			
K115	北 〔熊川〕	北川	—	北川	築風川 中井用水	中井用水					取水層			
K116	北 〔熊川〕	北川	—	北川	築風川 徳田用水	徳田用水					取水層			
K117	北 〔熊川〕	北川	遠敷川	遠敷川	金屋頭管工	金屋頭区	20	0.100	0.060	金屋頭区	取水層 (固定)	H=1.2m L=37.0m	4/10~4/9	
K118	北 〔熊川〕	北川	遠敷川	遠敷川	東門頭管工	小浜市	119	0.685	0.480	東門頭水利組合	取水層 (固定)	H=1.0m L=35.0m	4/1~9/20	
K119	北 〔熊川〕	北川	遠敷川	松永川	八幡田井根	東市場区	10	0.050	0.040	東市場区	取水層 (固定)	H=1.0m L=13.0m	4/1~8/30	右岸
K120	北 〔熊川〕	北川	遠敷川	松永川	四分一頭管工	東部土地 改	80	0.050	0.040	東部土地 改	取水層 (固定)	H=1.0m L=64.0m	4/1~5/10	右岸
K121	北 〔熊川〕	北川	遠敷川	松永川	西頭管工	門前区	12	0.163	0.098	門前区	取水層 (固定)	H=1.2m L=12.0m	4/5~8/31	左岸
K122	北 〔熊川〕	北川	—	北川	下野水機	上中町	30	0.105	0.105	上中町	ポンプ	φ300mm 1台	4/20~9/10	
K123	北 〔熊川〕	北川	野木川	野木川	太良庄頭管工	小浜國富土地 改	30	0.150	0.100	小浜國富土地 改	取水層 (固定)	H=1.4m L=7.0m	4/5~4/4	右岸
K124	北 〔熊川〕	北川	野木川	野木川	加茂揚水機	宮川土地 改	10	0.050	0.040	宮川土地 改	ポンプ	φ120mm	4/1~9/10	
K125	北 〔熊川〕	北川	中川	中川	野木揚水機 通門	福井	61	0.260	0.260	福井	ポンプ	φ300mm 2台	4/1~8/31	
K126	北 〔熊川〕	北川	杉山川	杉山川	上井根	兼田水利組合	10	0.020	0.020	兼田水利組合	取水層 (固定)	H=0.7m L=4.5m	4/1~9/10	右岸
K127	北 〔熊川〕	北川	杉山川	杉山川	藤田井根	堤	10	0.020	0.010		取水層 (固定)		4/1~9/20	
K128	北 〔熊川〕	北川	杉山川	杉山川	加久井 大根	杉山区	25	0.060	0.020	杉山区	横門等	φ0.45mm	4/25~4/24	

農業用取水口一覽表

対照番号	利水現況地名 (5万分の1地形図名)	水系名	第一次支派川名	該当河川名	用水名称	管理者の名称	かんがい面積 ha	取水量 m ³ /sec		取水施設		取水期間	備考 (取水電圧は取水口右岸・左岸0列)	
								最大常時	水利権水量及び水利権者	施設の種別	規模			
K129	北川〔熊本〕	北川	杉山川	杉山川	高岸井	立杉山区	25	0.060	0.020	杉山区	橋門等	φ0.45mm	4/25~4/24	
K130	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	畑大井堰	上中町	46	0.280	0.240	上中町	橋門等		4/1~9/20	
K131	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	鳥羽第1井	若狭鳥羽土地根改	118	0.432	0.335	若狭鳥羽土地改良区	取水電 (固定)		4/16~8/31	
K132	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	小原揚水ポンプ	小原農家組合	10	0.020	0.010	小原農家組合	ポンプ	φ200mm	4/1~9/10	
K133	北川〔西〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	小原須崎ポンプ	小原農家組合	10	0.020	0.020	小原農家組合	ポンプ	φ300mm	4/1~9/10	
K134	北川〔西〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	大鳥羽須崎ポンプ	大鳥羽区	13	0.020	0.010	大鳥羽区	ポンプ	φ300mm	4/15~4/14	
K135	北川〔西〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	三田井堰	三田区	20	0.030	0.010	三田区	取水電 (固定)	H=0.7m L=5.0m	5/1~4/30 左岸	
K136	北川〔西〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	無悪用水ポンプ	無悪区	25	0.040	0.020	無悪区	ポンプ	φ200mm	5/1~4/30	
K137	北川〔西〕	北川	鳥羽川	鳥羽川	文佐井堰	海士飯農家組合	10	0.020	0.010	海士坂区	取水電 (固定)	H=0.85m L=2.0m	4/1~8/31 左岸	
K138	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	安賀里川	鶴石エ門井	上中町	10	0.100	0.100	上中町	取水電 (固定)	H=0.5m L=0.8m	4/1~9/10 左岸	
K139	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	安賀里川	寒風自動井	下夕中区	50	0.080	0.030	下夕中区	取水電 (固定)	H=1.0m L=5.0m	5/1~4/30 右岸	
K140	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	安賀里川	新川大井堰	大井根地係	10	0.020	0.020	大井根地係	取水電 (固定)	H=0.8m L=3.2m	4/1~9/25 右岸	
K141	北川〔熊本〕	北川	鳥羽川	河内川	飯屋用水頭工	三宅土地改良区	31	0.500	0.200	三宅土地改良区	取水電 (固定)	H=3.0m L=5.0m	4/1~3/31 左岸	
K142	北川〔熊本〕	北川	---	北川	天増川	貴見用水					取水電			

V.1.4 農業用排水口（排水方法別、水系別）総括表

排水方法別 水系別	自然排水			ポンプによる排水			樋門・樋管による排水			計		
	箇所	全排水 積面 (ha)	計 排水量 (m^3/sec)	箇所	全排水 積面 (ha)	計 排水量 (m^3/sec)	箇所	全排水 積面 (ha)	計 排水量 (m^3/sec)	箇所	全排水 積面 (ha)	計 排水量 (m^3/sec)
九頭竜川							9			9(14)		
北川							6			6		
計							15			15(20)		

() は、不明分を含む。

V. 1. 1. 5 農業用排水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	排水面積 ha	計画排水量 m ³ /sec	排水設備		備考
									施設の種類	規模	
KU1	福井(福井)	九頭竜川	—	九頭竜川	高屋排水門	福井県			機門等	H=1.5m L=27.9m 1門	
KU2	福井(福井)	九頭竜川	—	九頭竜川	大安寺排水門	福井県			機門等	H=1.3m L=27.0m 2門	
KU3	福井(福井)	九頭竜川	—	九頭竜川	落合排水門	福井県			機門等	H=2.0m L=35.0m 2門	
KU4	福井(福井)	九頭竜川	—	九頭竜川	千成寺川排水門	福井県			機門等	H=1.5m L=47.5m 2門	
KU5	福井(福井)	九頭竜川	—	九頭竜川	寄場排水門	福井県			機門等	H=2.5m L=32.3m 1門	
KU6	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	樽鹿塚堤 余水吐機門	農林大臣			機門等	H=1.7m L=12.0m 5門	
KU7	福井(永平寺)	九頭竜川	—	九頭竜川	排水管	永平寺第2 土地改良区			機門等	φ 800mm	
KU8	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	大羅排水門	福井県			機門等	H=2.5m L=30.0m 1門	
KU9	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川	朝高排水門	清水町			機門等	H=1.0m L=25.0m 1門	
KU10	福井(大野)	九頭竜川	日野川	足羽川	排水口 (ト-A管)				機門等		
KU11	福井(大野)	九頭竜川	日野川	足羽川	排水路 未処理工				機門等		
KU12	福井(大野)	九頭竜川	日野川	足羽川	排水				機門等		
KU13	福井(大野)	九頭竜川	日野川	足羽川	排水口				機門等		

農業用排水口一覽表

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 地形図名	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	排水名称	管理者の名称	排水面積 ha	計圖排水量 m ³ /sec	排水設備		備考
									施設の種類	規模	
KI1	北 〔熊川〕	北川	—	北川	鴨ヶ池樋門				樋門等 H=1.5m L=26.5m	2門	
KI2	北 〔熊川〕	北川	—	北川	平野樋門				樋門等 H=1.35m L=21.6m	1門	
KI3	北 〔熊川〕	北川	—	北川	音尾排水 樋				樋門等 H=0.8m L=19.0m	1門	
KI4	北 〔熊川〕	北川	—	北川	岡第一排水 樋				樋門等 φ 600mm 1門		
KI5	北 〔熊川〕	北川	—	北川	岡第二排水 樋				樋門等 H=1.5m L=7.5m	1門	
KI6	北 〔熊川〕	北川	—	北川	岡第三排水 樋				樋門等 φ 250mm 1門		

V.2.1 水道用取水口（使用事項別、水系別）総括表

使用事項別 水系別	上水道		簡易水道		専用水道		計	
	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)
九頭竜川	1	0.0069	13	(0.4303)			14	(0.4372)
北川			2	0.0003			2	0.0003
計	1	0.0069	15	(0.4306)			16	(0.4375)

取水量は、最大取水量。() は、不明分を含む。

V.2.2 水道用取水口一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1 地形図名)	水系名	第一次 支派川名	該当河川名	取水地点	事業者名	給水地域	主要使用 事項	水利権者	取水量 m^3/sec		取水設備		備考
										最大 常時	水利権水量	施設種類	規模	
K01	福井 (永平寺)	九頭竜川	竹田川	竹田川	坂井郡丸岡町 山久保	福井県企業庁		簡易水道	福井県	0.46	0.42	0.55	機門等	左岸
K02	福江 (鱒)	九頭竜川	日野川	越知川	丹生郡朝日町 小川103-14	朝日町	丹生郡朝日町 小川地区	簡易水道	朝日町				築水堰渠	
K03	福井 (永平寺)	九頭竜川	永平寺川	堂ノ奥川	吉田郡 永平寺町55 字長尾52-3-6	永平寺町		簡易水道		0.05			自然取水	
K04	福井 (永平寺)	九頭竜川	岩屋川	負山川	勝山市北郷町 伊知地	勝山市	勝山市北郷町 北郷地区	簡易水道		0.0085	0.0021		自然取水	
K05	福井 (越前勝山)	九頭竜川	瓜川	山田川	勝山市野向町 野津文川	勝山市	勝山市野向町 北野津又区	簡易水道		0.0044	0.0011		自然取水	
K06	福井 (越前勝山)	九頭竜川	滝波川	谷川	勝山市村岡町 新神谷	勝山市	勝山市村岡町 新神谷区	簡易水道		0.0005	0.0003		自然取水	
K07	福井 (越前勝山)	九頭竜川	滝波川	谷川	勝山市北谷町 北六呂師	勝山市	勝山市北谷町 北六呂師区	簡易水道		0.0081	0.0017		自然取水	
K08	福井 (越前勝山)	九頭竜川	滝波川	葉下谷川	勝山市北谷町 谷葉下谷	勝山市	勝山市北谷町 谷区	簡易水道		0.0044	0.0008		自然取水	
K09	福井 (越前勝山)	九頭竜川	滝波川	滝波川	勝山市北谷町 坂谷	勝山市	勝山市北谷町 木根橋区	簡易水道		0.0054	0.0011		自然取水	
K010	福井 (越前勝山)	九頭竜川	滝波川	谷川	勝山市北谷町 小原	勝山市	勝山市北谷町 小原区	簡易水道		0.0038	0.0008		自然取水	
K011	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	暮見川	谷川	勝山市村岡町 暮見	勝山市	勝山市村岡町 暮見区	簡易水道		0.0005	0.0001		自然取水	
K012	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	浄土寺川	谷川	勝山市170 字美山1-1	勝山市	勝山市寺尾 浄土寺黒原部 美山町の一部	上水道		0.0069			自然取水	
K013	勝山 (越前勝山)	九頭竜川	女神川	谷川	勝山市平泉寺 町平泉寺	勝山市	勝山市平泉寺 町平泉寺区	簡易水道		0.0054	0.0022		自然取水	

水道用取水口一覽表

河照 番号	利水現況図名 (5万分の1 地形図名)	水系名	第一次 支流川名	該当河川名	取水地点	事業者名	給水地域	主要使用 事項	水利権者	取水量 m ³ /sec			取水設備		備 考
										最大	常時	水利権水量	施設種類	規模	
K014	勝山 〔越前勝山〕	九頭龍川	舟野天川	谷川	勝山市平泉 寺町大矢谷	勝山市	勝山市平泉寺町 大矢谷区	簡易水道		0.0006	0.0001		自然取水		

V.3.1 工業用取水口（取水方法別、水系別）総括表

取水方法別 水系別	ポンプによる取水		集水埋渠による取水		その他		計	
	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)	箇所	取水量 (m^3/sec)
九頭竜川			1	0.38	1	0.21	2	0.59
北川								
計			1	0.38	1	0.21	2	0.59

取水量は、最大取水量。

VI 主要井戸資料

VI. 1	主要井戸（市郡別,用途別）総括表	231
V. 2	使用目的別井戸一覧表	232

VI. 1 主要井戸（市郡別、用途別）総括表

福井県

市郡別	用途別	水道用井戸	
		本数	揚水量（㎥/日）
勝山市		9	12,077
鯖江市		29	66,772
吉田郡		16	(24,330)
坂井郡		21	(29,900)
合 計		75	(133,079)

() は、不明分を含む。

VI. 2 使用目的別井戸一覽表 (水道用)

対照番号	利水現況図名 {5万分の1} 地形図名	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	さく井 年月	深 m	口径 mm	自然水位 観測 年月日 m	揚水水位 観測 年月日 m	揚水量 観測 年月日 m ³ /day	水温 観測 年月日 ℃	ストレーナの位置 m	備考 (水源名)
1	勝山 [越前勝山]	勝山市立川町 2丁目2-2	勝山市	上水道	S50.3	47	350	H. 7. 3.31 1,655	H. 7. 3.31 1,655	H. 7. 3.31 1,655			立川 第1水源 2号井
2	勝山 [越前勝山]	勝山市立川町 1丁目17-9	勝山市	上水道	S44.3	30	400	H. 7. 3.31 1,000	H. 7. 3.31 1,000	H. 7. 3.31 1,000			立川 第2水源 2号井
3	勝山 [越前勝山]	勝山市立川町 2丁目2-2	勝山市	上水道	S33.10	23	300	H. 7. 3.31 1,655	H. 7. 3.31 1,655	H. 7. 3.31 1,655	H. 7. 12.19 15.2		立川 第1水源 3号井
4	勝山 [越前勝山]	勝山市立川町 1丁目17-9	勝山市	上水道	S44.3	55	350	H. 7. 3.31 1,000	H. 7. 3.31 1,000	H. 7. 3.31 1,000			立川 第2水源 1号井
5	勝山 [越前勝山]	勝山市立川町 2丁目2-2	勝山市	上水道	S34.	8	4,000	H. 7. 12.19 15.2	H. 7. 12.19 15.2	H. 7. 12.19 15.2			立川 第1水源 1号井
6	勝山 [越前勝山]	勝山市 若猪野 8 字 5-1	勝山市	上水道	S45.3	100	350	H. 7. 3.31 2,000	H. 7. 3.31 2,000	H. 7. 3.31 2,000	H. 7. 12.19 14.3		若猪野 第2 水源井
7	勝山 [越前勝山]	勝山市 若猪野 8 字 5-1	勝山市	上水道	S44.3	100	350	H. 7. 3.31 1,800	H. 7. 3.31 1,800	H. 7. 3.31 1,800	H. 7. 12.19 13.9		若猪野 第3 水源井
8	勝山 [越前勝山]	勝山市 若猪野 8 字 26	勝山市	上水道	S40.3	150	350	H. 7. 3.31 1,700	H. 7. 3.31 1,700	H. 7. 3.31 1,700			若猪野 第1 水源井
9	福井 [永平寺]	勝山市鹿谷町 保田62-17	勝山市	福井 水道	S48.9	13.2	2,000	H. 7. 11. 7 2.73m	H. 7. 11. 7 7.4 m	H. 7. 11. 7 1,267.0	H. 7. 11. 7 14.0		鹿谷町 保田 水源井
1	鯖江 [鯖江]	鯖江市上河端町	鯖江市	上水道	S45.1	110	500	S. 58. 6. 3.70	S. 58. 6. 14.52	S. 58. 6. 2,592		53~72, 96~102, 105~108,	
2	鯖江 [鯖江]	鯖江市東鯖江	鯖江市	上水道	S54.1	140	500	S. 54. 1. 7.99	S. 54. 1. 18.65	S. 54. 1. 2,592		75~81, 90~99, 116~134.5,	
3	鯖江 [鯖江]	鯖江市東鯖江	鯖江市	上水道	S44.5	89	500	H. 2. 2. 6.35	H. 2. 2. 21.62	H. 2. 2. 2,592		60~84,	
4	鯖江 [鯖江]	鯖江市東鯖江	鯖江市	上水道	H 2. 3 H 2. 3 H 2. 3	101.0	500	H. 2. 3. 7.84	H. 2. 3. 27.44	H. 2. 3. 2,592		60.5 ~ 82.5, 88.0 ~ 93.5,	

使用目的別井戸一覽表 (水道用)

対照番号	種水現況図名 (5 万分の 1) [地形図名]	井戸の位置	所有者又は 管理業者	用途	さく井深 m	口径 mm	自然水位 観測 年月日 m	揚水水位 観測 年月日 m	揚水量 観測 年月日 m ³ /day	水温 観測 年月日 ℃	ストレーナの位置 m	備考 (水源名)
5	鯖江 [鯖江]	鯖江市東鯖江	鯖江市	上水道	S51.7	500	S.51.7. 5.00	S.51.7. 21.00	2,592		32.0 ~ 37.5, 46.0 ~ 83.2, 83.0 ~ 88.0, 89.0 ~ 95.0	
6	鯖江 [鯖江]	鯖江市横江町	鯖江市	上水道	S55.3	500	S.55.3. 5.00	S.55.3. 13.47	2,880		36.5 ~ 53.0, 78.0 ~ 89.5, 61.5 ~ 67.0, 89.0 ~ 98.0, 69.5 ~ 71.5	
7	鯖江 [鯖江]	鯖江市定次町	鯖江市	上水道	S46.7	500	S.59.6. 5.58	S.59.6. 30.87	2,592		61.5 ~ 76.5, 86.5 ~ 95.0	
8	鯖江 [鯖江]	鯖江市横江町	鯖江市	上水道	S45.1	200	S.59.7. 12.60	S.59.7. 29.50	1,440		47.0 ~ 52.52, 83.0 ~ 93.0, 92.5 ~ 72.0, 99.5 ~ 105.0	
9	鯖江 [鯖江]	鯖江市住吉町	鯖江市	上水道	S53.3	500	S.53.3. 9.73	S.53.3. 22.42	2,880		63.0 ~ 77.0, 79.5 ~ 95.5	
10	鯖江 [鯖江]	鯖江市五郎丸町	鯖江市	上水道	S46.2	500	H.元.12. 9.20	H.元.12. 28.35	2,880		77.0 ~ 104.5	
11	鯖江 [鯖江]	鯖江市住吉町	鯖江市	上水道	S51.8	500	S.51.8. 9.63	S.51.8. 22.25	2,880		65.5 ~ 95.5	
12	鯖江 [鯖江]	鯖江市定次町	鯖江市	上水道	S55.2	500	S.55.2. 3.98	S.55.2. 18.03	2,592		50.5 ~ 60.8, 64.0 ~ 72.5, 78.0 ~ 97.0	
13	鯖江 [鯖江]	鯖江市五郎丸町	鯖江市	上水道	S57.8	500	S.57.8. 5.83	S.57.8. 19.99	2,880		79.5 ~ 95.5, 61.0 ~ 71.0	
14	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	300	S.61.5. 2.46	S.61.5. 4.57	1,152		4.0 ~ 5.5, 6.5 ~ 17.5	※順次3本運転
15	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	300	S.61.5. 2.86	S.61.5. 6.07	1,382		35.0 ~ 5.5, 6.5 ~ 18.0	※順次3本運転
16	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	300	S.61.5. 2.67	S.61.5. 9.42	1,152		3.5 ~ 5.0, 6.0 ~ 17.5	※順次3本運転

使用目的別井戸一覽表 (水道用)

対照番号	利水現況図名 {5万分の1 地形図名}	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	さく井 年月	深 m	井 径 mm	自然水位 観測 年月日 m	揚水水位 観測 年月日 m	揚水量 観測 年月日 m ³ /day	水温 観測 年月日 ℃	ストレーナの位置 m	備 考 (水 源 名)
17	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	20.0	300	H.元.3. 2.65 9.43	H.元.3. 9.43	1,882		7.5 ~ 16.0	※順次3本運転
18	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	20.0	300	S.61.7. 2.43 8.81	S.61.7. 8.81	1,224		7.5 ~ 16.0	※順次3本運転
19	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	20.0	300	S.61.7. 2.49 4.71	S.61.7. 4.71	1,152		7.5 ~ 16.0	※順次3本運転
20	鯖江 [鯖江]	鯖江市熊田町	鯖江市	上水道	S53.11	20.0	300	S.61.8. 2.81 7.97	S.61.8. 7.97	1,152		8.5 ~ 17.0	※順次3本運転
21	鯖江 [鯖江]	鯖江市島井町	鯖江市	上水道	S39.7	10.0	1,000	S.62.3. 3.60 9.21	S.62.3. 9.21	2,592			井 筒
22	鯖江 [鯖江]	鯖江市島井町	鯖江市	上水道	S47.5	15.0	500	S.61.8. 3.66 9.42	S.61.8. 9.42	1,296		4.0 ~ 11.5	
23	鯖江 [鯖江]	鯖江市島井町	鯖江市	上水道	S47.5	15.0	500	S.58.6. 2.45 9.13	S.58.6. 9.13	1,296		4.0 ~ 11.5	
24	鯖江 [鯖江]	鯖江市住吉町	鯖江市	上水道	S51.8	110.0	500	S.51.8. 10.35 18.25	S.51.8. 18.25	2,592		54.0 ~ 67.0, 74.0 ~ 77.0, 83.0 ~ 99.0,	
25	鯖江 [鯖江]	鯖江市上鯖江町	鯖江市	上水道	S59.8	46.0	500	S.59.8. 3.55 30.03	S.59.8. 30.03	1,440		25.0 ~ 42.5	
26	鯖江 [鯖江]	鯖江市上鯖江町	鯖江市	上水道	S59.7	20.5	500	S.59.7. 3.62 15.45	S.59.7. 15.45	2,890		6.0 ~ 11.3, 12.0 ~ 17.9, 18.0 ~ 19.9,	
27	鯖江 [鯖江]	鯖江市上鯖江町	鯖江市	上水道	S59.8	21.0	500	S.59.7. 2.45 5.42	S.59.8. 5.42	4,320		65.0 ~ 19.5	
28	鯖江 [鯖江]	鯖江市上鯖江町	鯖江市	上水道	S60.12	21.0	500	S.60.12. 2.66 4.70	S.60.12. 4.70	3,888		6.0 ~ 20.5	
29	鯖江 [鯖江]	鯖江市上鯖江町	鯖江市	上水道	S61.3	22.5	500	S.60.3. 1.97 6.58	S.61.3. 6.58	3,888		8.0 ~ 21.5	

使用目的別井戸一覽表 (水道用)

対照番号	利水源泉図名 (5万分の1) 地形図名	井戸の位置	所有者又は管理者	用途	さく井年月	深さ m	井径 mm	自然水位 観測年月日 m	揚水水位 観測年月日 m	揚水量 観測年月日 m ³ /day	水温 観測年月日 ℃	ストレーナの位置 m	備考 (水源名)
1	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町 上合月	松岡町	上水道	S52.8	40	400	H. 7. 6. 9 5.85	H. 7. 6. 9 7.55	H. 7.12.30 822		4.0 ~ 15.0	6号 水源井
2	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町 上合月	松岡町	上水道	S52.6	40	400	H. 7. 6. 9 5.93	H. 7. 6. 9 6.30	H. 7.12.19 1,970		5.0 ~ 15.0	5号 水源井
3	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町室	松岡町	上水道	S46.8 S45.6	65	400	H. 7. 6. 9 4.35	H. 7. 6. 9 6.80	H. 7.12.26 2,193		36.0	3号 水源井
4	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町室	松岡町	上水道	S.25. 5.5	100	350	H. 7. 6. 9 4.67	H. 7. 6. 9 14.05	H. 7.12.19 1,145	H. 7. 6. 8 12.6	45.0	1号 水源井
5	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町室	松岡町	上水道	S35.5	70	300	H. 4. 6.23 4.80	H. 4. 6.23 5.40	H. 7.12.30 2,788		45.0	2号 水源井
6	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町室	松岡町	上水道	H 4. 6	72	400	H. 4. 6. 9 4.60	H. 4. 6. 9 5.00	H. 7.12.30 2,862	H. 7. 6. 8 13.4	6.0 ~ 17.0, 28.0 ~ 33.5, 55.5 ~ 66.5	4号 水源井
7	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町 渡新田	松岡町	上水道									
8	福井 [永平寺]	吉田郡松岡町 上吉野	松岡町	簡易水道									
1	福井 [永平寺]	吉田郡永平寺町 栲原52-108-2	永平寺町	簡易水道	H 4. 5	13.4	400	H. 7. 7. 3.50	H. 4. 7. 7 5.1	H. 4. 7. 7 1,152	H. 4. 7. 7 13.5	3.4 ~ 10.4	宮農飲雑用水供給事業 (東部地区) No. 1
2	福井 [永平寺]	吉田郡永平寺町 栲原52-106-8	永平寺町	簡易水道	H 4. 5	15.0	550	H. 4. 7.23 3.30	H. 4. 7.23 5.36	H. 4. 7.23 1,728	H. 4. 7.23 14.1	4.0 ~ 11.0	宮農飲雑用水供給事業 (東部地区) No. 2
3	福井 [永平寺]	吉田郡永平寺町 栲原52-103	永平寺町	簡易水道	H 6. 6	13.8	300	H. 6. 8. 1 3.20	H. 6. 8. 1 4.9	H. 6. 8. 1 1,296	H. 6. 8. 1 17.0	3.8 ~ 11.3	宮農飲雑用水供給事業 (東部地区) No. 3
4	福井 [永平寺]	吉田郡永平寺町 法寺岡6-14	永平寺町	簡易水道	S49.7	35.0	300	S.49.7.18 3.80	S.49.7.18 5.97	S.49.7.20 2,246		6.5 ~ 28.5	東古市簡易水道 さく井 No. 1
5	福井 [永平寺]	吉田郡永平寺町 法寺岡6-3	永平寺町	簡易水道	H 4.11	30.0	300	H. 4.11.20 5.98	H. 4.11.20 6.91	H. 4.11.20 3,600	H. 4.11.20 15.0	6.5 ~ 17.5, 23.0 ~ 28.5	東古市簡易水道 さく井 No. 2

使用目的別井戸一覽表 (水道用)

(様式6号)

対照番号	利水現況図名 {5万分の1 地形図名}	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	さく井深 m	井径 mm	自然水位 観測年月日 m	揚水水位 観測年月日 m	揚水量 観測年月日 m ³ /day	水温 観測年月日 ℃	ストレーナの位置 m	備考 (水源名)
6	福井 [永平等]	吉田郡永平等町 荒谷 52-112-4	永平等町	簡易 水道	28.0	150	S.61.12. 4.22	S.61.12. 13.99	S.61.12. 1,418	-	5.0 ~ 15.0	営農炊雑用水供給事業 (南地区) さく井
1	福井 [永平等]	吉田郡上志比村 石上17の5の4	上志比村	簡易 水道	6.75	3,000	H. 8. 1.30 4.00	H. 8. 1.30 0	H. 8. 1.30 0	-	-	予備水源
2	福井 [永平等]	吉田郡上志比村 栗住渡13の7の1	上志比村	簡易 水道	27	375	H. 8. 1.30 7.00	H. 8. 1.30 3.25	H. 8. 1.30 1,310	H. 7. 4.20 12.1	-	-
1	[三國]	坂井郡三國町 浜地432-4 浜地1号	三國町	上水道	106	350	-	-	1,300	-	55.0 ~ 90.0	-
2	[三國]	坂井郡三國町 池上95-5 池上3号	三國町	上水道	92	350	-	-	1,300	-	40.0 ~ 83.0	-
3	[三國]	坂井郡三國町 池上111-14 池上5号	三國町	上水道	88	400	S.61. 6. 31.00	S.61. 6. 40.00	S.61. 6 1,400	-	44.0 ~ 55.0 61.0 ~ 71.0	-
4	[三國]	坂井郡三國町 池上98-62-1 平山8号	三國町	上水道	81	400	-	-	1,100	-	47.0 ~ 69.0	※現在使用せず
5	[三國]	坂井郡三國町 池上101-55 池上6号	三國町	上水道	66	350	-	-	2,400	-	50.0 ~ 60.0	-
6	[三國]	坂井郡三國町 池上102-17-1 池上1号	三國町	上水道	71	350	-	-	1,700	-	35.0 ~ 65.0	-
7	[三國]	坂井郡三國町 池上101-3 池上82	三國町	上水道	65	350	-	-	1,800	-	40.0 ~ 63.0	-
8	[三國]	坂井郡三國町 平山69-1 平山3号	三國町	上水道	62	400	-	-	1,400	-	40.0 ~ 63.0	-
9	[三國]	坂井郡三國町 平山75-5 平山1号	三國町	上水道	60	400	-	-	800	-	51.0 ~ 58.0	-
10	[三國]	坂井郡三國町 平山61-5 平山7号	三國町	上水道	35	400	-	-	700	-	24.0 ~ 30.0	-

使用目的別井戸一覽表(水道用)

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) (地形図名)	井戸の位置	所有者又は 管理者	用途	さく井 年月	井深 m	井径 mm	自然水位 観測 年月日 m	揚水水位 観測 年月日 m	揚水量 観測 年月日 m ³ /day	水温 観測 年月日 °C	ストレーナの位置 m	備考 (水 源 名)
1 1	福 井 [三 国]	坂井郡三国町 草山6号	三国町	上水道	S54. 7	38	400			1,200		24.0 ~ 35.0	
1 2	福 井 [三 国]	坂井郡三国町 草山69-4号	三国町	上水道	S56. 5	35	400			1,200		26.0 ~ 31.0	
1 3	福 井 [三 国]	坂井郡三国町 草山70-20号	三国町	上水道	S49.	55	400			1,600		37.0 ~ 50.0	
1	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 中筋北浦	春江町	上水道		115	350	H. 6.12. 1.30	H. 6.12. 6.00	H. 6.12. 2,000	H. 8. 1.22 16.0	100.0 ~ 109.0	第2取水井
2	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 中筋三少屋	春江町	上水道		121	350	S.60. 7. 12.48	S.60. 7. 16.39	S.60. 7. 2,000	H. 8. 1.22 16.0	88.0 ~ 110.0	第6取水井
3	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 中筋	春江町	上水道		119	350	H. 6.12. 10.12	H. 6.12. 12.57	H. 6.12. 2,000	H. 8. 1.22 16.0	84.0 ~ 111.5	第5取水井
4	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 中筋	春江町	上水道		116	350	S.60. 6. 10.85	S.60. 6. 16.25	S.60. 6. 2,000	H. 8. 1.22 15.9	88.5 ~ 105.0	第4取水井
5	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 正蓮花	春江町	上水道		114	350	H. 6.12. 0.80	H. 6.12. 14.00	H. 6.12. 2,000	H. 8. 1.22 15.8	102.0 ~ 112.0	第1取水井
6	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 正蓮花	春江町	上水道		115.5	350	S.60. 6. 11.60	S.60. 6. 16.60	S.60. 6. 2,000	H. 8. 1.22 15.8	88.0 ~ 104.5	第3取水井
7	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 大牧	春江町	簡易 水道		150	200						
8	福 井 [福 井]	坂井郡春江町 中庄	春江町	簡易 水道		120	200						

VII 上水道及び簡易水道（専用水道を含む）資料

VII. 1	上水道用水（事業別, 主要項目別）総括表	241
VII. 2	上水道地区一覧表	243
VII. 3	簡易水道地区一覧表	244

Ⅶ. 1 水道用水（事業別、主要項目別）総括表

福井県

所要項目別 事業別	箇所	計画給水区域内 の計画給水人口 (人)	給水区域内 の現在人口 (a) (人)	給水区域内の 現在給水人口 (b) (人)	現在普及率 (b)/(a) (%)	日最大取水実績量		摘要
						地下水 (m^3 /day)	地表水 (m^3 /day)	
上水道	16	749,370	(74,026)	570,095		(69,244)	(2,100)	
簡易水道	122	105,435	(51,555)	(48,909)	(94.9)	(16,313)	(16,431)	
専用水道	1							
計	137	854,805	(125,581)	(619,004)	(94.9)	(85,557)	(18,531)	

() は、不明分を含む。

岐阜県

所要項目別 事業別	箇所	計画給水区域内 の計画給水人口 (人)	給水区域内 の現在人口 (a) (人)	給水区域内の 現在給水人口 (b) (人)	現在普及率 (b)/(a) (%)	日最大取水実績量		摘要
						地下水 (m^3 /day)	地表水 (m^3 /day)	
上水道								
簡易水道	1	1,000	351	348	99.1	-	165	
専用水道								
計	1	1,000	351	348	99.1	-	165	

Ⅶ. 1 水道用水（事業別、主要項目別）総括表

滋賀県

事業別	所要項目別	箇所	計画給水区域 の人口 (人)	給水区域 の現在人口 (a) (人)	給水区域 の現在人口 (b) (人)	現在普及率 (b)/(a) (%)	日最大取水実績量		摘要
							地下水 (m^3/day)	地表水 (m^3/day)	
上水道									
簡易水道		2	165	107	107	100.0	-	42	
専用水道									
計		2	165	107	107	100.0	-	42	

Ⅶ.3 簡易水道地区一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	所在地	事業者名	計画 目標 年次	計 画 区 域 面積 km ²	計 画 区 域 給 水 人口	給水区域 内現在人口 (a)人	現在 給水 面積 km ²	現在 給水 人口 (b)人	現 在 普 及 率 b/a×100 %	計 画 日 最 大 取 水 量 m ³ /day	日最大取水実績		使用井戸本数	水利権 水 量 m ³ /sec	備 考	
												地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day				
						人口					認可 m ³ /day	現在公称 m ³ /d	深井戸 本	浅井戸 本			
(1)	福井(福井)	福井市西別所・ 福登			2.0	120	104		104	100.0	20						
(2)	鯖江(鯖江)	武生市白山			13.0	2,550	2,480		2,230	89.9	60						
(3)	鯖江(鯖江)	武生市中山			0.1	150	95		95	100.0	81						
(4)	勝山(荒島岳)	大野市下打波			0.1	300					45		45				
(5)	勝山(荒島岳)	大野市西勝原			0.1	200					30		30				
(6)	勝山(荒島岳)	大野市柿ヶ島			0.1	282					43		43	2			
(7)	勝山(荒島岳)	大野市八町			0.1	160					32		32				
(8)	勝山(荒島岳)	大野市北富田			0.4	777					372		372	1			
(9)	勝山(荒島岳)	大野市富田			0.3	1,600					287		287	1			
(10)	勝山(荒島岳)	大野市西富田			0.5	1,280					192		192	2			
(11)	勝山(荒島岳)	大野市荒島			0.6	1,490					231						
(12)	勝山(荒島岳)	大野市中保			0.1	270					54		54	1			
(13)	勝山(荒島岳)	大野市曹蒲池			0.1	420					63		63	2			
(14)	勝山(荒島岳)	大野市吉			0.1	200					30		30	1			
(15)	勝山(荒島岳)	大野市森政領 森			0.1	250					38		38	1			
(16)	勝山(荒島岳)	大野市北御門			0.1	140					30		30	1			

簡易水道地区一覽表

対照番号	和現況図名 (5万分の1) (地形図名)	所在地	事業者 名称	計 目 年次	計 画 区 域 給 水 面 積 km ²	計 画 区 域 給 水 口 人	給水区内 現在人口 (a)人	現在給水 面積 km ²	現在給水 人口 (b)人	現在普及率 b/a×100 %	計画日 最大 取水量 m ³ /day	日最大取水量續		使用井戸本数		水利權 水 量 m ³ /sec	備 考
												認可 m ³ /day	現在公称 m ³ /d	地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day		
(17)	山 勝〔荒島岳〕	大野市左業			0.1	300					45	45		1			
(18)	山 勝〔荒島岳〕	大野市御給			0.1	250					38	38		1			
(19)	山 勝〔荒島岳〕	大野市医王寺			0.1	250					38	38		1			
(20)	山 勝〔荒島岳〕	大野市森政地 頭方			0.1	105					18	18		1			
(21)	山 勝〔荒島岳〕	大野市五条方			0.2	900					135	135					
(22)	山 勝〔荒島岳〕	大野市平沢・ 今井			0.2	700					105	105					
(23)	山 勝〔荒島岳〕	大野市西山・ 稲塚			0.3	1,220					183	123	60				
(24)	山 勝〔荒島岳〕	大野市上郷			0.1	235					35	35		1			
(25)	山 勝〔荒島岳〕	大野市猪島			0.1	120					23	23		1			
(26)	山 勝〔荒島岳〕	大野市中郷			0.1	450					68	68		1			
(27)	山 勝〔荒島岳〕	大野市櫻			0.1	200					30	30		1			
(28)	山・江 勝〔荒島岳・大野〕	大野市千歳			0.1	120					18	18		1			
(29)	山 勝〔荒島岳〕	大野市木本			0.2	1,400					210	30	180				
(30)	井 福〔永平寺〕	大野市小矢戸			0.1	300					45	45					
(31)	江 福〔大野〕	大野市深井			0.1	120					18	18		2			
(32)	江 福〔大野〕	大野市下黒谷			0.1	150					23	30					

簡易水道地区一覽表

対照番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	所在地	事業主体 名称	計画 年度	計画 区域		現在 給水 人口 (a)人	現在 給水 面積 km ²	現在 給水 人口 (b)人	現在 普及 率 b/a×100 %	計画 人口 当 日 給 水量 t/day	日最大給水能力		計画 日 最大 取 水量 m ³ /day	日最大取水実績		使用 井戸 本 数	水利 權 水 量 m ³ /sec	備 考
					給水 区域 面積 km ²	給水 人口 人						認可 m ³ /day	現在 m ³ /d		地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day			
(33)	江野川 〔大野〕	大野市上黒谷			0.1	150					30			30					
(34)	江野川 〔大野〕	大野市阿蘇祖 地頭方			0.1	230					36			36					
(35)	江野川 〔大野〕	大野市阿蘇祖 領家			0.1	200					30			30					
(36)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市北谷町 小原	小原地区 福井水道		0.7	290	26		26	100.0	150	43.5	11	327					表流水
(37)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市北谷町 谷	谷地区 福井水道		1.2	480	43		43	100.0	150	72		380		380			湧水
(38)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市北谷町 木根橋	木根橋地区 福井水道		0.9	330	61		61	100.0	50	46		470		470			湧水
(39)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市北谷町 北六呂郎	北六呂郎 福井水道			88	32		32	100.0	150	13		13					湧水
(40)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市村岡町 勝神谷	勝神谷地区 福井水道		0.6	250	115		115	100.0	150	38		45		30			湧水
(41)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市野向町 桑野谷	桑野谷 福井水道		75.0	200	120		120	100.0	150	30	29	164		164	1		伏流水
(42)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市村岡町 暮見	暮見 福井水道			103	75		75	100.0	250	27		27					表流水
(43)	福井 〔永平寺・福井〕	井勝山市野向町 北野津又	北野津又 福井水道		75.0	330	198		198	100.0	50	46		380		380			谷川水
(44)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市平泉寺 即平泉寺	平泉寺地区 福井水道		157.0	580	556		556	109.0	150	197	187	467		467			湧水
(45)	福井 〔越前勝山〕	井勝山市平泉寺 即大矢谷	大矢谷 福井水道			80	61		61	100.0	250	20		20					表流水
(46)	福井 〔永平寺〕	井勝山市鹿谷町	鹿谷地区 福井水道		18.2	2,880	2,387		1,739	72.9	446	535		550	446		1		浅井戸
(47)	福井 〔永平寺〕	井勝山市北輝町 伊知地	北輝地区 福井水道		234.0	700	1,625		1,502	92.4	150	453	453	732		732			湧水
(48)	福井 〔永平寺・大野〕	井勝山市足羽那美山町 大宮橋原			0.2	420								120		120			

簡易水道地区一覽表

対照 番号	利水現況図名 {5万分の1 地形図名}	所在地	事業主 体者名	計画 目標 年次	計画 給水量		給水区域 面積	給水人口 (a)人	現在 給水面積 km ²	現在 給水人口 (b)人	現在 普及率 b/a×100 %	計画 日当給 水量 l/day	日最大給水能力		計画日 最大 取水量 m ³ /day	日最大取水実績		使用井戸本数	水利権 水量 m ³ /sec	備考	
					給水人口 (b)人	給水人口 (a)人							認可済 m ³ /day	現在公称 m ³ /d		地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day				深井戸 本
(49)	江野(大)	足羽郡美山町 南宮地			0.1	105									15						
(50)	江野(大)	足羽郡美山町 南西段			0.2	130									19						
(51)	江野(大)	足羽郡美山町 上味見			0.2	410									196	115			1		
(52)	江野(大)	足羽郡美山町 神当部			0.1	220									33						
(53)	江野(大)	足羽郡美山町 河内			0.1	404									61						
(54)	井平寺(大)	足羽郡美山町 下薬師			0.1	120									18						
(55)	福井(大)	足羽郡美山町 福ヶ瀬			0.1	165									33						
(56)	江野(大)	足羽郡美山町 榑谷			0.1	140									35						
(57)	江野(大)	足羽郡美山町 榑谷			0.1	131									28						
(58)	江野(大)	足羽郡美山町 間戸			0.1	253									37						
(59)	江野(大)	足羽郡美山町 藤作			0.1	400									60						
(60)	江野(大)	足羽郡美山町 東天田			0.1	110									28						
(61)	江野(大)	足羽郡美山町 西河原			0.1	285									42						
(62)	江野(大)	足羽郡美山町 東河原			0.1	165									25						
(63)	江野(大)	足羽郡美山町 折立			0.1	260									40						
(64)	井平寺(大)	足羽郡美山町 瀬ヶ口			0.1	180									45	45			1		

簡易水道地区一覽表

対照 番号	利水現況 [5万分の1] 地形図名	所在地	事業主 体者名	計 区 域 面 積 km ²	計 画 年 次	給水区域 内現在人口 (a)人		現在 給水 人口 (b)人	現在 普及 率 b/a×100 %	計 画 1 人 日 当 り の 給 水 量 t/day	日最大給水能力 m ³ /day		日最大取水実績 m ³ /day		使用井戸本数 深井戸 本	水利権 水 量 m ³ /sec	備 考
						給水人口 人	給水面積 km ²				認可済 m ³ /day	現在公称 m ³ /d	地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day			
(65)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 小和清水		0.1		190				47							
(66)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 大久保・福島		0.2		480				72							
(67)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 宇波大谷		0.1		180				45		45	1				
(68)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 高田		0.1		145				36		36	1				
(69)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 下字坂		0.3		985				480		288	1				
(70)	井 福〔永平寺〕	足羽郡美山町 三万谷別所		0.1		101				15							
(71)	井 福〔永平寺〕	吉田郡松岡町		0.2		101	82	82	100.0	149	15	15			1		
(72)	井 福〔永平寺〕	吉田郡松岡町 崎28-28	松岡町	1.0		500	332	314	94.6	180	90	90					
(73)	井 福〔永平寺〕	吉田郡松岡町		0.9		400	249	244	98.0	170	68	68			1		
(74)	井 福〔永平寺〕	吉田郡松岡町		0.5		300	158	300	100.0	160	48	48			1		
(75)	井 福〔永平寺〕	吉田郡永平寺 町橋原47-108	永平寺町	3.2	H 3	3,587	3,449	3,432	99.5	454	1,580	1,580			3		
(76)	井 福〔永平寺〕	吉田郡永平寺 町東台18-8	永平寺町	0.5	H 6	2,150	1,313	1,313	100.0	628	1,350	1,350			2		
(77)	井 福〔永平寺〕	吉田郡永平寺 町船倉	永平寺町	5.0	S62	1,094	1,056	999	94.6	454	546	546			1		
(78)	井 福〔永平寺〕	吉田郡永平寺 町志比55字段 尾52-3-6	永平寺町	0.2	H12	387	383	369	96.3	4,910	605	605				605	
(79)	井 福〔永平寺〕	吉田郡上志比 町栗住坂1-1	上志比村	6.1	H 5	4,100	3,800	3,648	96.0	365	1,496	1,496			2		
(80)	山 勝〔荒島岳〕	大野郡和泉村 前坂				110											17

簡易水道地区一覽表

対照番号	和水現況図名 (5万分の1) 地形図名	所在地	事業者名	計画年度	計 給水区域 面積 km ²	計 人口 人	給水区域 人口 人	給水区域内 人口 (a)人	現在給水面積 km ²	現在給水人口 (b)人	普及率 b/a×100 %	計画1日 1日最大 水量 l/d	日最大給水能力		計画日 最大 取水量		日最大取水実績		水利権 水量 m ³ /sec	備考
													認可済 m ³ /day	現在公称 m ³ /d	m ³ /day	m ³ /day	地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day		
(81)	勝(大野郡和泉村) 山(荒島岳) 後野	大野郡和泉村				200						38			38					
(82)	勝(大野郡和泉村) 山(荒島岳) 朝日	大野郡和泉村			0.1	850						345			345					
(83)	勝(大野郡和泉村) 山(荒島岳) 下山	大野郡和泉村				230						37								
(84)	勝(大野郡和泉村) 山(荒島岳) 上大納	大野郡和泉村				200						96			95					
(85)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 竹田	大野郡丸岡町			0.9	1,100						519			519					
(86)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 正蓮花	大野郡丸岡町	春江町	H 9	24.4	21,500	22,102	24.3	20,895	94.5	698	15,000	15,000	5,966	4,629	6				
(87)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 今立郡今立町	大野郡丸岡町			1.5	1,050						332			332	1				
(88)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 水間	大野郡丸岡町			1.2	855						184			184					
(89)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 月尾	大野郡丸岡町			1.0	480						149			149					
(90)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 白栗	大野郡丸岡町			0.4	200						30								
(91)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 清水谷	大野郡丸岡町			1.4	330						50								
(92)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 東部	大野郡丸岡町			2.8	940						418								
(93)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 中	大野郡丸岡町			11.4	1,800						779			779					
(94)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 角間	大野郡丸岡町			5.0	710						150			150					
(95)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 高尾	大野郡丸岡町			2.2	215						81			81	1				
(96)	福(大野郡丸岡町) 井(大野郡丸岡町) 上牧谷	大野郡丸岡町				220						33			33					

簡易水道地区一覽表 (様式7号)

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	所在地	事業主体者名	計画目標 年次	計画		給水区域 面積	給水人口 (a)人	現在給水面積 km ²	現在給水人口 (b)人	普及率 b/a×100 %	現在給水人口 の1人あたり 水量 l/d	日最大給水能力		計画日 最大 取水量 m ³ /day	日最大取水量		使用井戸本数 深井戸 浅井戸 本	水利権 水量 m ³ /sec	備考
					給水人口 (人)	給水人口 (人)							認可済 m ³ /day	現在公称 m ³ /d		地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day			
(97)	江 南 江 〔今庄〕	南桑郡南桑町			1.0	4,800						1,910	1,910		3					
(98)	江 南 江 〔今庄〕	南桑郡南桑町			0.1	536						257	257		1					
(99)	江 南 江 〔今庄〕	南桑郡南桑町			0.1	420						150	150			150				
(100)	江 南 江 〔今庄〕	南桑郡南桑町			0.1	223						56	56			56				
(101)	江 南 江 〔冠山〕	南桑郡今庄町	今庄町	H 3	0.1	440	384	0.1	376	97.9	488	215	215	235		235				
(102)	江 南 江 〔今庄・冠山〕	南桑郡今庄町	今庄町	S58	0.1	550	445	0.1	441	99.1	196	108	108	116		116				
(103)	江 南 江 〔今庄〕	南桑郡今庄町	今庄町	H 4	0.5	3,550	3,250	0.5	3,076	94.6	555	1,972	1,972	2,110		2,110				
(104)	江 南 江 〔今庄・冠山〕	南桑郡今庄町	今庄町	H 8	0.3	1,390	1,069	0.2	1,063	99.4	466	649	649	778		778				
(105)	江 南 江 〔今庄〕	丹生郡朝日町			0.5	500						75								
(106)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町	朝日町		0.6	600	522	0.6	518	99.2	150	90	90	109		109		1		
(107)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町	朝日町		4.7	5,750	5,518	4.7	5,512	99.9	401	2,193	2,193	5,866		5,866		4		
(108)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町	朝日町		0.4	440	386	0.4	386	100.0	1,886	830	830	266		266		2		
(109)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町			0.3	250						38								
(110)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町	朝日町		1.9	870	905	1.9	903	99.8	146	133	133	388		388		2		
(111)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町	朝日町		3.9	669	651	3.9	623	95.7	380	281	281	284		284		3		
(112)	江 南 江 〔朝日〕	丹生郡朝日町			0.1	120						36	36			36		1		

簡易水道地区一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	所在地	事業者名	計画 目標 年度	計画 面積		現在 給水 人口 (a)人	現在 普及 率 b/a×100 %	現在 給水 人口 (b)人	現在 給水 面積 km ²	現在 給水 人口 (c)人	日最大 給水量 m ³ /day	日最大 給水能力		日最大 取水量 m ³ /day	日最大 取水実績		使用 井戸 本数	水利 権 水 量 m ³ /sec	備考	
					給水 区域 面積 km ²	給水 人口							認可 m ³ /day	現在 公称 m ³ /d		地下水 m ³ /day	地表水 m ³ /day				深井戸 本
(113)	畑井・鶴江 〔福井・鶴江〕	丹生郡朝日町 小川	朝日町		0.3	118	100	100.0	406	0.3	100	44	48	34	2						
(114)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡朝日町 栗原野	朝日町		0.6	124	134	91.8	201	0.6	123	25	25	2							
(115)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡宮崎村			11.0	4,300							1,569	2							
(117)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡織田町 赤井谷55字11	織田町		0.4	700	1,026	98.7	450		1,013	315	391	315							
(118)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡織田町 茨松55字50	織田町		0.1	110	84	98.8	210		83	23	28	21							
(119)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡織田町 平等82字1	織田町		1.7	4,465	3,820	97.6	340		3,729	1,518	1,889	1,500							
(120)	鶴江 〔鶴江〕	丹生郡織田町 74字14	織田町		0.2	450	392	100.0	150		392	68	84	67							
(1)	勝 〔白 鹿〕	山都郡白鳥町 石蔵白	白鳥町S34		1.0	1,000	351	99.1	150	1.0	348	150	165	-	-	-	-	-	-	-	伏流水

VIII 工業用水使用狀況資料

VIII. 1	工業用水使用狀況（水源別，市郡別）總括表	255
VIII. 2	工業用水使用狀況調查一覽表	256

Ⅶ・1 工業用水使用状況（水源別、市郡別）総括表

福井県

用途別 事業所数	1日あたり淡水（平均）実績水量（m ³ /day）							地下水の使用 井戸本数	
	工業用 水道	上水道	地下水	地表水	その他	計	浅井戸	深井戸	
市郡別									
福井市	8,102	4,665	16,869	204	48,486	78,326			
武生市	5,236	2,418	34,761	825	55,090	98,330			
小浜市	-	296	2,619	10	22	2,947			
大野市	-	20	13,657	38	9,200	22,915			
勝山市	-	1,056	27,939	-	2,180	31,175			
鯖江市	39,110	3,642	20,757	-	51,885	115,394			
足羽郡・吉田郡	-	81	1,697	-	3	1,781			
坂井郡	6,856	2,867	43,500	12,134	74,541	139,898			
今立郡	-	100	901	-	100	1,101			
南条郡	-	35	415	-	10	460			
丹生郡	-	616	1,573	-	180	2,369			
速原郡・大塚郡	-	99	232	185	-	516			
計	59,304	15,895	164,920	13,396	241,697	495,212			

VIII.2 工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 [平均] 実績水量 (m ³ /day)				地下水の使用 井戸本数 (本)		備考	
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回流水を含む)	合計		浅井戸
九頭竜川	福井市	食料品	7	-	193	802	-	30	1,025		
九頭竜川	福井市	繊維	46	6,700	2,201	6,507	204	13,650	29,262		
九頭竜川	福井市	衣服	12	-	65	-	-	-	65		
九頭竜川	福井市	木材	2	-	X	X	-	X	X		
九頭竜川	福井市	パルプ・紙	5	-	32	8	-	-	40		
九頭竜川	福井市	出版・印刷	7	-	72	438	-	-	510		
九頭竜川	福井市	化学	6	1,158	60	1,680	-	355	3,263		
九頭竜川	福井市	プラスチック	7	120	48	5,082	-	7,200	12,450		
九頭竜川	福井市	ゴム	1	X	X	-	-	-	X		
九頭竜川	福井市	窯業・土石	3	-	6	78	-	31	115		
九頭竜川	福井市	非鉄金属	1	X	X	-	-	X	X		
九頭竜川	福井市	金属	8	83	69	310	-	-	462		
九頭竜川	福井市	一般機械	11	-	92	1,269	-	-	1,361		

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり流水 [平均] 実績水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数 (本)		備考
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合計	浅井戸	深井戸 (30m以上)	
九頭竜川	福井市	電気機械	7	-	1,195	357	-	27,220		28,772		
九頭竜川	福井市	輸送機械	1	X	X	-	-	-		X		
九頭竜川	福井市	精密機械	10	41	632	338	-	-		1,011		
九頭竜川	福井市	その他	1	-	X	X	-	X		X		
九頭竜川	武生市	食料品	5	-	-	730	-	-		730		
九頭竜川	武生市	飲料・飼料	1	X	X	-	-	-		X		
九頭竜川	武生市	繊維	21	890	258	1,701	312	343		3,504		
九頭竜川	武生市	衣服	2	-	X	X	X	X		X		
九頭竜川	武生市	木材	1	-	X	X	X	X		X		
九頭竜川	武生市	器具	2	-	X	X	X	X		X		
九頭竜川	武生市	パルプ・紙	5	178	1	6,711	-	1,750		8,640		
九頭竜川	武生市	化学	4	5	18	11,355	310	3,700		15,388		
九頭竜川	武生市	プラスチック	6	152	1,297	2,090	-	1,410		4,949		

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 [平均] 供給水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数 (本)		備考		
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	地 表 水 (伏流水を含む)	その他 (回収水を含む)	合 計	浅井戸		深井戸 (30m以上)	
九頭竜川	武生市	ゴム	1	-	X	X	-	-	-	-	X			
九頭竜川	武生市	窯業・土石	6	-	27	201	203	647	1,078					
九頭竜川	武生市	鉄鋼	1	-	X	-	-	-	X					
九頭竜川	武生市	非鉄金属	3	-	27	5,096	-	45,240	50,363					
九頭竜川	武生市	金属	1	-	X	-	-	-	X					
九頭竜川	武生市	一般機械	3	-	64	-	-	-	64					
九頭竜川	武生市	電気機械	13	4,011	726	6,877	-	2,000	13,614					
九頭竜川	武生市	輸送機械	2	X	X	-	-	-	X					
九頭竜川	武生市	精密機械	2	-	-	X	-	-	X					
九頭竜川	武生市	その他	1	-	X	-	-	-	X					
九頭竜川	大野市	繊維	15	-	-	12,098	38	9,200	21,336					
九頭竜川	大野市	衣服	4	-	-	41	-	-	41					
九頭竜川	大野市	家具	1	-	X	-	-	-	X					

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり取水〔平均〕実績水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数(本)		備考
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合計	浅井戸	深井戸 (30m以上)	
九頭竜川	大野市	パルプ・紙	1	-	X	X	-	-	-	X		
九頭竜川	大野市	一般機械	1	-	X	X	-	-	-	X		
九頭竜川	大野市	電気機械	9	-	20	1,518	-	-	-	1,538		
九頭竜川	大野市	輸送機械	1	-	-	X	-	-	-	X		
九頭竜川	大野市	精密機械	1	-	-	X	-	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	繊維	13	-	968	27,832	-	2,180	-	30,980		
九頭竜川	勝山市	衣服	4	-	7	87	-	-	-	94		
九頭竜川	勝山市	家具	1	-	X	X	X	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	化学	1	-	X	X	X	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	鉄鋼	1	-	X	X	X	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	金属	1	-	X	X	X	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	一般機械	1	-	X	X	X	-	-	X		
九頭竜川	勝山市	電気機械	3	-	81	20	-	-	-	101		

工業用水使用状況一覽表

(様式 8 号)

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 [平均] 実績水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数 (本)		備考		
				工業用水	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	地 表 水 (伏流水を含む)	そ の 他 (回取水を含む)	合 計	浅井戸		深井戸 (30m 以上)	
九頭竜川	鯖江市	食料品	1	-	X	-	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	繊維	25	15,986	1,507	15,155	-	4,530	-	-	37,178			
九頭竜川	鯖江市	家具	1	-	X	X	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	出版・印刷	1	-	X	-	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	化学	3	23,094	27	1,217	-	47,314	-	-	71,652			
九頭竜川	鯖江市	プラスチック	6	-	137	957	-	-	-	-	1,094			
九頭竜川	鯖江市	窯業・土石	1	-	X	X	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	金属	14	-	1,044	1,222	-	-	7	-	2,273			
九頭竜川	鯖江市	一般機械	1	-	-	X	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	電気機械	2	-	X	-	-	-	-	-	X			
九頭竜川	鯖江市	精密機械	24	30	927	2,206	-	-	34	-	3,197			
九頭竜川	足羽郡・吉田郡	繊維	5	-	81	1,697	-	-	3	-	1,781			
九頭竜川	足羽郡・吉田郡	衣服	1	-	X	-	-	-	-	-	X			

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水〔平均〕交換水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数(本)		備考	
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合計	浅井戸		深井戸 (30m以上)
九頭竜川	足利市・吉田郡	木材	1	-	X	-	-	-	-	-	X		
九頭竜川	足利市・吉田郡	出版・印刷	1	-	X	-	-	-	-	-	X		
九頭竜川	足利市・吉田郡	金属	2	-	X	X	-	-	-	-	X		
九頭竜川	足利市・吉田郡	電気機械	1	-	X	-	-	-	-	-	X		
九頭竜川	足利市・吉田郡	精密機械	1	-	-	X	-	-	-	-	X		
九頭竜川	坂井郡	食料品	4	-	188	356	-	-	-	-	544		
九頭竜川	坂井郡	繊維	34	1,041	330	30,454	1,800	8,300	41,925				
九頭竜川	坂井郡	衣服	6	-	2	176	204	-	382				
九頭竜川	坂井郡	家具	3	-	31	4	-	-	35				
九頭竜川	坂井郡	パルプ・紙	4	-	304	9,203	10,000	10,000	29,507				
九頭竜川	坂井郡	出版・印刷	1	-	X	X	-	-	X				
九頭竜川	坂井郡	化学	6	2,275	216	918	130	10,525	14,064				
九頭竜川	坂井郡	プラスチック	7	-	145	979	-	80	1,204				

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 (平均) 消費水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数 (本)		備 考	
				工業用水道	上水道	下水道	地下水	地 表 水 (伏流水を含む)	そ の 他 (回取水を含む)	合 計	浅井戸		深井戸 (30m 以下)
九頭竜川	坂井郡	窯業・土石	5	-	161	864	-	-	860	1,885			
九頭竜川	坂井郡	鉄鋼	1	-	X	X	-	-	-	X			
九頭竜川	坂井郡	非鉄金属	3	3,538	631	-	-	-	-	4,169			
九頭竜川	坂井郡	金属	8	-	80	126	-	-	-	206			
九頭竜川	坂井郡	一般機械	8	-	184	69	-	-	-	253			
九頭竜川	坂井郡	電気機械	12	2	595	351	-	-	44,776	45,724			
九頭竜川	坂井郡	精密機械	1	-	X	X	-	-	-	X			
九頭竜川	坂井郡	その他	1	-	-	X	-	-	-	X			
九頭竜川	今立郡	繊維	3	-	92	880	-	-	100	1,072			
九頭竜川	今立郡	家具	2	-	X	X	-	-	X	X			
九頭竜川	今立郡	パルプ・紙	2	-	X	X	-	-	X	X			
九頭竜川	今立郡	電気機械	3	-	8	21	-	-	-	29			
九頭竜川	南条郡	繊維	5	-	2	355	-	-	10	367			

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 [平均] 実總水量 (m ³ /day)				地下水の使用 井戸本数(本)		備 考
				工業用水道	上水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合 計	
九頭竜川	南桑郡	衣服	2	-	X	X	X	-	X	
九頭竜川	南桑郡	プラスチック	2	-	X	X	X	-	X	
九頭竜川	南桑郡	一般機械	1	-	X	X	X	-	X	
九頭竜川	南桑郡	電気機械	3	-	33	60	-	-	93	
九頭竜川	南桑郡	その他	1	-	X	X	-	-	X	
九頭竜川	丹生郡	繊維	3	-	191	715	-	-	906	
九頭竜川	丹生郡	家具	4	-	3	38	-	-	41	
九頭竜川	丹生郡	出版・印刷	1	-	X	-	-	X	X	
九頭竜川	丹生郡	プラスチック	3	-	60	740	-	180	980	
九頭竜川	丹生郡	窯業・土石	1	-	X	-	-	X	X	
九頭竜川	丹生郡	非鉄金属	1	-	X	-	-	X	X	
九頭竜川	丹生郡	金属	1	-	X	-	-	X	X	
九頭竜川	丹生郡	一般機械	1	-	X	-	-	-	X	

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 (平均) 消費水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数(本)		備考		
				工業用水道	上水道	下水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	地裏水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合計		浅井戸	深井戸 (30m以上)
九頭竜川	丹生郡	電気機械	10	-	362	80	-	-	-	-	442			
九頭竜川	丹生郡	精密機械	1	-	X	-	-	-	-	-	X			
九頭竜川	丹生郡	その他	1	-	X	-	-	-	-	-	X			

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 (平均 1 町大)				[平均] 実用水量 (m ³ /day)			地下水の使用 井戸本数 (本)		備考
				工業用水道	上水道	地下水	地下水	地 表 水 (伏流水を含む)	地 表 水 (回流水を含む)	そ の 他 (回流水を含む)	合 計	湧井戸	
北川	小浜市	食料品	1	-	-	X	-	-	-	-	-	X	
北川	小浜市	繊維	5	-	14	277	-	-	-	-	-	291	
北川	小浜市	衣服	4	-	50	-	-	-	2	-	-	52	
北川	小浜市	パルプ・紙	1	-	X	-	-	-	-	-	-	X	
北川	小浜市	一般機械	1	-	X	X	-	-	-	-	-	X	
北川	小浜市	電気機械	6	-	232	2,342	10	20	-	-	-	2,604	
北川	小浜市	輸送機械	1	-	X	-	X	-	-	-	-	X	
北川	小浜市	その他	2	-	X	X	-	-	-	-	-	X	
北川	津幡町・穴穂町	衣服	2	X	X	-	X	-	-	-	-	X	
北川	津幡町・穴穂町	木材	1	X	X	-	X	-	-	-	-	X	
北川	津幡町・穴穂町	家具	1	X	X	-	X	-	-	-	-	X	
北川	津幡町・穴穂町	プラスチック	2	X	X	X	X	X	X	-	-	X	
北川	津幡町・穴穂町	窯業・土石	2	X	X	X	X	X	X	-	-	X	

工業用水使用状況一覽表

水系名	市郡名	主要業種 (中分類)	主要事業所名 と事業所数	1日当たり淡水 (平均) 消費水量 (m ³ /day)						地下水の使用 井戸本数 (本)		備考									
				工業用水道	上水道	下水道	地下水	地表水 (伏流水を含む)	地表水 (伏流水を含む)	その他 (回取水を含む)	合計		浅井戸	深井戸 (30m 以上)							
北川	津野郡・大蔵郡	非鉄金属	1	X	X	-	-	X	-	-	X										
北川	津野郡・大蔵郡	電気機械	3	-	99	232	185	-	-	-	516										

IX ダム資料

IX. 1	ダム（主要項目別,水系別）総括表	269
IX. 2	ダム一覧表	270

IX. 1 ダム (主要項目別、水系別) 総括表

取水方法別 水系別	ダム数	有効貯水量 (10^3 m^3)	経済効果別ダム種別										備考
			水調整ダム		かんがいダム		発電ダム		上水道ダム		工業用ダム		
			箇所	面積 (ha)	箇所	積 (ha)	箇所	出力 (kW)	箇所	取水量 (m^3/day)	箇所	取水量 (m^3/day)	
九頭竜川	26	[49,388.87]	20	1	5,800	11	[349,100]	4	107,500	3	72,700		
北川	1	720	1	1	226.4			1	15,552	1	1,728		
計	27	[50,108.87]	21	2	6,026.4	11	[349,100]	5	123,052	4	74,428		

() は、不明分を含む。

Ⅹ.2 ダム 一 覧 表

対照番号	利水環境図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	ダム名	位置	目的	水系名	河川名	集水面積 km ²	ダム		竣工年月	有効貯水量 千m ³	計堆砂量 千m ³	圓堆砂量 千m ³	突堆砂量 千m ³	構造	洪水調節量 m ³ /sec	水かさ ha	経済効果			使用開始日	使用管理者名	備考		
								高さ m	型式									発電 kw	上水道 m ³ /day	工業用水 m ³ /day					
1	勝〔越前勝山〕	山 下荒井	勝山市 運野町	P	九竜川	頭川	960.0	6.0	G	S19								45,700				関西電力			
2	勝〔荒島岳〕	山 宮田	下野市 下只野	P	九竜川	頭川	558.5	14.0	G	S33									19,200				北陸北陸電力		
3	勝〔荒島岳〕	山 山	大野市 原弘	P	九竜川	頭川	422.7	48.6	G	S43	1,522	1,400											北陸北陸電力		
4	勝〔荒島岳〕	山 山	大野郡 和泉村	P	九竜川	頭川	191.6	44.0	GA	S43.10	6,100												電源開発		
5	勝〔荒島岳〕	山 山	大野郡 和泉村	F, P	九竜川	頭川	184.5	128.0	R	S43	223,000								220,000				建設省		
6	福〔永平寺〕	井 井	坂井郡 丸岡町	F, P, W	九竜川	頭川	31.1	79.5	G	H元. 3	8,900								1,900	47,500			滋賀県企業庁		
7	鶴〔冠山〕	江 山	野今庄町	F, I	九竜川	頭川	42.3	63.0	G		9,600								265	3,848	40,000			滋賀県企業庁	
8	鶴〔大野〕	江 野	今立郡 今立町	F	九竜川	頭川		25.0		S59	73													滋賀県企業庁	
9	鶴〔鱒江〕	江 江	赤井谷	F	九竜川	千田川	0.6	17.0		S54											S54			滋賀県企業庁	
10	鶴〔鱒江〕	江 江	熊谷	F	九竜川	奥谷川	1.8	20.0		S63											S63			滋賀県企業庁	
11	鶴〔鱒江〕	江 江	南条郡 今庄町	F, I	九竜川	頭川	24.0	59.5	G	H13. 4.1	7,300	1,000								175	8,800			滋賀県土木部	H.13. 4. 1
12	鶴〔鱒江〕	江 江	武生市 大虫	F	九竜川	大虫川		20.0		S61. 3														滋賀県土木部	
13	鶴〔今庄〕	江 江	南条郡 南条町	F	九竜川	頭川		20.0		S59. 3														滋賀県土木部	
14	鶴〔冠山〕	江 山	西高倉	F	九竜川	頭川		20.0		H 6. 3														滋賀県土木部	

ダム一覽表

対照番号	利水現況図名 (5万分の1) 地形図名	ダム名	位置	置目	水系名	該当河川名	築水面積 km ²	ダム		竣工年月	有効貯水量 千m ³	計画堆砂量 千m ³	築堆砂量 千m ³	連続堆砂量 千m ³	洪水調節量 m ³ /sec	経済効果			使用開始年月	使用管理	備考					
								高さ m	型式							洪水 m ³ /sec	水かさ (面積) ha	発電 (最大出力) kw				上水道 (日給水量) m ³ /day	工業用 (日給水量) m ³ /day			
15	江 〔今庄〕	南条郡 今庄町	F	九竜川	九竜川谷川	大鷲目		20.0	H 7.3	H 7.3																
16	江 〔冠山〕	南条郡 今庄町	F, A, W, I	九竜川	九竜川	(原)10.2 (集)20.3		100.4	B	H13.4.1	23,100	1,900		75	5,880	55,800	23,900					H.13.4.1				
17	江 〔今庄〕	南条郡 今庄町	F	九竜川	九竜川	広谷川		20.0	G	H 1.3		147														
18	井 〔永平寺〕	吉田郡 永平寺町	F, W	九竜川	九竜川	永平寺川	3.1	54.0	G	H13.4.1	630	140		30		1,300							H.13.4.1			
19	井 〔永平寺〕	吉田郡 永平寺町	F	九竜川	九竜川	降能川	1.6	35.5	G	H 4.3	84,490				5											
20	山 〔越前勝山〕	勝山市 北谷町	P, F	九竜川	九竜川	勝波川	26.5		GA	S40.2	50	102		116												
21	山 〔越前勝山〕	勝山市 170特別	F, W	九竜川	九竜川	浄土川	7.7	67.0	G	H13.4.1	1,880	280				2,900								H.13.4.1		
22	山 〔荒島岳〕	大野市 I志生子	F, P	九竜川	九竜川	真名川	233.7	127.5	A	S52.10	95,000				1,700	14,000										
23	山 〔荒島岳〕	大野市 本戸	F, P	九竜川	九竜川	真名川	70.7	76.0	G	S52.11	52,244				330	12,600	※	18,000								
24	江 〔大野〕	大野市 大野町	F, P	九竜川	九竜川	雲川	55.8	39.0	A	S51.12		1,526	1,310			※	18,000								S52.2	
25	山 〔荒島岳〕	大野郡 和泉村	P	九竜川	九竜川	石白川	142.7	23.0	G		900															
26	山 〔荒島岳〕	大野郡 和泉村	P	九竜川	九竜川	石白川	96.8	32.0	GA	S43	917															S43.5.19

目的の内訳
A : かんがい
W : 上水道
F : 洪水調節
I : 工業用水源
P : 発電

型式の内訳
A : アーチダム
B : バットレスダム
E : アースダム
G : 重力式コンクリートダム
GA : 重力式アーチダム
GF : 重力式コンクリートダム
FG : 重力式コンクリートダム
HG : 中空重力式コンクリートダム
MA : マルチアーチダム

X 水力發電所資料

X. 1	水力發電所（主要項目別,水系別）總括表	275
X. 2	水力發電所一覽表	276

X.1 水力発電所（主要項目別、水系別）総括表

主要項目別 水系別	発電所数	型式分類			使用水量		発電力		年間発電量 (MWH)	事業者別の数
		ダム式	水路式	ダム水路式	最大 (m ³ /sec)	常時 (m ³ /sec)	最大 (kW)	常時 (kW)		
九頭竜川	25	1	17	4	769,586	[123,376]	[291,740]	[68,739]	(1,464,325)	福井県 5 北陸電力 15 関西電力 1 日本開発電 1
北川	1		1		0.278	0.278	130	130	1,060	関西電力 1
計	26	1	18	4	769,586	[123,376]	[291,870]	[68,869]	[1,465,385]	

() は、不明分を含む。

X.2 水力発電所一覽表

対照 番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	水系名	該 河川名	事 業 者	業 者 名	發 所 名	電 名	型 式	位 置		集 水 面 積 km ²	使 用 水 量		有 効 落 差		發 電 力		年 間 發 生 量	貯 水 (調 整) 池		水 位 (E.L.m)		發 電 開 始 年 月 日	備 考 (特 記 欄)	
									取水口 (取水 池) (河川名)	放水口 (河川名)		最 大 m ³ /sec	常 時 m ³ /sec	最 大 m	常 時 m	最 大 kw	常 時 kw		高 さ m	形 式	貯 水 容 積 千m ³	取 水 位 m			放 水 位 m
1	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	九頭竜川	関西電力 株式会社	市荒	川	水	水路式			900.00	80.00	20.00	69.00	70.00	45,700	11,400	319,109	6.00	G	-	150.50	71.81	S 19. 7.28	
2	勝山 〔越前勝山〕	九頭竜川	九頭竜川	北陸電力 株式会社	壁倉	川	水	水路式	九頭竜川	九頭竜川	791.83	80.00	14.00	37.70	39.30	25,600	4,200	146,787	-	-	-	195.20	151.40	S 33. 9.29	
3	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	北陸電力 株式会社	富田	川	水	水路式	九頭竜川	九頭竜川	791.83	80.00	18.00	28.20	30.00	19,200	3,600	117,198	14.00	G	-	227.50	195.20	S 33. 9.29	
4	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	北陸電力 株式会社	西勝原第三	川	水	水路式	九頭竜川	九頭竜川	438.45	56.00	25.86	99.00	102.30	48,000	20,400	253,004	48.60	G	1,522	335.00	227.70	S 43. 5.20	
5	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	北陸電力 株式会社	西勝原第二	川	水	水路式	九頭竜川	九頭竜川	546.99	26.41	3.88	37.24	38.32	7,200	780	30,541	5.50	G	-	268.41	227.51	T 8.12. 2	
6	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	北陸電力 株式会社	西勝原第一	川	水	水路式	九頭竜川 粟尻谷	九頭竜川	401.94	11.13	1.47	115.40	117.20	10,000	1,000	36,535	3.10 1.40	G G	-	397.27	275.52	T 12.10. 3	
7	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	電源開発 株式会社	湯上	野	上					53.00		120.10	117.20	10,000	1,000	36,535	3.10 1.40	G G	-	397.27	275.52	T 12.10. 3	
8	勝山 〔荒島岳〕	九頭竜川	九頭竜川	電源開発 株式会社	長野	野	野					266.00		97.50	117.20	10,000	1,000	36,535	3.10 1.40	G G	-	397.27	275.52	T 12.10. 3	
9	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	竹田川	福井県	山口	郡	郡	ダム式	坂井郡 丸岡町 (坂ヶ鼻 ダム)	坂井郡 丸岡町 (坂ヶ鼻 ダム)	31.10	4.50	0.60	52.30	43.18	1,900	39	7,400	79.50	G	8,900			H 1. 6	
10	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	足羽川	北陸電力 株式会社	小和清水	川	水	水路式	足羽川	足羽川	249.61	5.57	3.34	35.00	36.06	1,500	900	12,284	4.00	G	-	92.49	52.77	H 44.11.02	
11	福江 〔大野〕	九頭竜川	足羽川	北陸電力 株式会社	足羽	川	水	水路式	足羽川 足羽子 味見川	足羽川	222.37	10.50	3.20	41.70	43.40	3,000	900	21,456	4.50 2.70 2.50	G G G	-	143.20	94.66	S 24.12.10	
12	福江 〔大野〕	九頭竜川	足羽川	北陸電力 株式会社	栗白	川	水	水路式	足羽川	足羽川	151.45	4.29	2.33	12.00	12.48	400	200	3,211	直結	-	-	158.97	145.57	S 4. 7.24	

水力発電所一覽表

対照番号	和名 地形図名 (5万分の1)	水系名	河川名	事業者名	発電所名	電型式	位置		集水面積 km ²	使用水量		有効落差		発電力		年間 発電量 kWh	貯水(調整)池		水位 (E.L.m)		発電開始年月日	備考 (取上げ種)
							取水口 (河川名)	放水口		最大 m ³ /sec	常時 m ³ /sec	最大 m	常時 m	最大 kW	常時 kW		高さ m	形式	貯水量 千m ³	取水口 m		
13	江 【大野】	九頭竜川	足羽川	北陸電力株式会社	持	越水路式	足羽川	足羽川	151.45	5.29	2.33	21.21	21.38	860	390	6,811	2.75	0	181.12	158.97	H 42. 8.19	
14	福井 【越前勝山】	九頭竜川	滝波川	日本開発電力株式会社	新築	水路式	滝波川	滝波川	59.79	6.30	1.89	97.10	100.20	5,000	1,000		6.00	0	306.00	201.30	H 7. 5.19	
15	福井 【越前勝山】	九頭竜川	滝波川	北陸電力株式会社	中尾					1.75		63.64		800								
16	福井 【越前勝山】	九頭竜川	滝波川	福井県	滝波川第一	ダム (斜管式) 水	勝山市 北谷町	26.54	5.00	0.57	238.40	315.40	12,300	1,400	47,400	50					S 40. 2	
17	勝山 【越前勝山】	九頭竜川	不動川	北陸電力株式会社	平泉寺第二	水路式	女神川	女神川	14.33	1.00	0.45	55.00	55.70	400	180	2,919	1.20	0	304.08	245.95	S 11. 5.23	
18	勝山 【越前勝山】	九頭竜川	女神川	北陸電力株式会社	平泉寺第一	水路式	女神川	女神川	11.11	0.83	0.39	95.50	95.50	560	260	3,814	4.30	0	404.67	304.08	S 9. 5. 4	
19	勝山 【荒島岳】	九頭竜川	真名川	福井県	真名川	ダム 水	真名川	223.70	15.00	3.37	109.80	118.00	14,000	680	67,000	127.50	A	95,000	230.99	230.99	S 52. 4. 1	
20	勝山 【荒島岳】	九頭竜川	真名川	北陸電力株式会社	五桑方	水路式	真名川	124.86	16.00	7.54	129.95	130.75	17,500	8,300	101,546	直結	0	373.22	230.33	S 28. 1.15		
21	勝山 【荒島岳】	九頭竜川	真名川	福井県	中島	ダム 水	菟生川	70.66 55.83	16.00	7.59	136.03	115.98	18,000	7,100	105,700	76.00 39.00	0 A	152,244 0	373.60	—		
22	福井 【大野】	九頭竜川	大雲谷川	福井県	中島第二	水路式	大雲谷川	7.20	1.40	0.21	214.82	218.83	2,400	320	9,200	9.00	0	373.22	230.33	S 28. 1.15		
23	勝山 【荒島岳】	九頭竜川	打波川	北陸電力株式会社	東勝原	水路式	打波川	101.29	8.60	2.53	37.70	38.60	2,610	570	16,508	5.50	0	309.05	268.55	S 12.12.		

X II 下水道資料

XII. 1 下水道一覽表	283
---------------	-----

XII. 1 下水道一覽表

対象番号	利水現況図名 〔5万分の1〕 〔地形図名〕	水系名	該河川名	排水地点 (放流)	導業者 または 事業名	計目年次	排水区域 面積	計圖排水 人口	計圖 排水量 m ³ /day	排水施設		処理施設		備考	
										施設の種類	規模	処理場名	処理方法		晴天 m ³ /day
	福井 〔福井・永平寺・龍江〕	九頭竜川	底喰川	福井市菅谷 1丁	福井市公 共下水道	平成17年	1,169	81,660	(平均) 20,500 (最大) 31,100		浄化槽	標準活性 泥	26,500	345,700	境処理区
(1)	福井・龍江 〔福井・永平寺・龍江〕	九頭竜川	日野川	福井市黒丸町	福井市公 共下水道	平成17年	4,035	155,890	(平均) 179,300 (最大) 212,900		浄化槽	標準活性 泥	179,300	258,300	日野川 処理区
	福井 〔三國・福井〕	九頭竜川	—	—	九頭竜川流域 福井市公共下水道	平成17年	556	17,000	(平均) 13,974 (最大) 16,353		浄化槽				九頭竜川 流域下水道
(2)	鯖江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	武生市瓜生町	武生町	平成25年	2,425	77,300	53,300		浄化槽	標準活性 汚泥法	25,300	59,200	武生市
	鯖江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	—	—								17,400	32,200	
(3)	勝山・福井 〔越前勝山〕	九頭竜川	暮見川	暮見川(左岸)	勝山市 共下水道	平成17年	885	26,160	22,567		浄化槽	山瀬 標準活性 汚泥法	18,200		勝山市
(4)	鯖江 〔鯖江〕	九頭竜川	日野川	日野川	鯖江市公 共下水道	平成17年	2,048	51,400	78,667		浄化槽	標準活性 汚泥法 + シヨウキ + 蓄積汚泥	79,000		分 流 式 鯖 江 市
(5)	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	九頭竜川	五領川第1汚 水幹線に接続	松岡町公 共下水道	平成20年	199	12,000	5,910						五領川流域 松岡町 に接続 松岡町
(6)	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	九頭竜川	五領川第1 雨水幹線	公共下水 道事業	平成20年	240	18,560	10,800		浄化槽		10,800	10,800	松岡町 九頭
(7)	福井 〔永平寺〕	九頭竜川	永平寺川	—	松岡町公 共下水道	平成9年	167	8,400	4,330			回転生物 接触			永平寺町
(8)	福井 〔三國〕	九頭竜川	九頭竜川	流域下水 道と接続	流域間連 下水道	平成17年	791	30,000	12,137 15,384						三國町
(9)	福井 〔三國〕	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川	芦原町	平成17年	491.9	12,700	14,087						芦原町

下水道一覽表

対象番号	利水現況図名 〔5万分の1 地形図名〕	水系名	該河川名	排水地点 (放流)	事業者 または 事業名	計 目 年 次	排水区域 面積	計画排水 人口	計画 排水量 m ³ /day	排水施設		処理施設				備考	
										施設の種類	規模	処理名	処理方法	晴天日 m ³ /day	雨天日 m ³ /day		能力 m ³ /day
(10)	福井(三)	九頭竜川	九頭竜川	流域下水に 接続	公共 下水道	平成7年	425	11,300	7,392							金津町	
(11)	福井(永平寺)	九頭竜川	九頭竜川	流域下水に 接続	福井県 下水道事業	平成18年	729	25,410	(平均) 16,223							丸岡町	
(12)	福井(福井)	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜川	春江町	平成27年	670	24,700	15,228							春江町	
(13)	福井(三国・福井)	九頭竜川	九頭竜川	流域下水道 に接続	坂井町	平成17年	420	10,990	(平均) 5,902 (最大) 7,283							坂井町	
(14)	福井(大野)	九頭竜川	足羽川	足羽川(左岸)	特環	平成11年	99	3,000	1,180				池田水 処理センター	O D	1,180	池田町	
(15)	福井(鯖江・今庄)	九頭竜川	清水川	清水川(右岸)	福井県 公共下水道	平成12年	87	3,700	1,380				南条 浄化センター	O D 法	1,070	南条町	
(16)	福井(鯖江)	九頭竜川	天王川	和田川(左岸)	朝日町	平成17年	411	7,750	(平均) 4,880 (最大) 5,920				朝日町 浄化センター	標準活性 汚泥法	6,000日 3,000日	6,000 3,000	朝日町
(17)	福井(鯖江)	九頭竜川	天王川	天王川(右岸)	宮崎村	平成11年	60	3,145	835				宮崎 浄化センター	O D 法	615	宮崎村	
(18)	福井(鯖江)	九頭竜川	天王川	天王川(右岸)	織田町	平成13年	236	5,120	平均 2,927 最大 3,553				織田 浄化センター		2,927	織田町	
(19)	福井(福井)	九頭竜川	日野川	日野川(左岸)	公共下水道	平成20年	132	4,850	2,100				清水東部 環境センター	オキソリオン コンテック	2,100	2,600	清水町

X IV 漁業権資料

XP. 1 漁業法に基づく漁業権一覧表	----- 289
---------------------	-----------

XIV 漁業法に基づく漁業権一覽表

(水系名) 河川名	漁業権名	漁業の種類	許可期間	漁業時期	漁場の位置	漁業権者	関係地区(地元地区)
石徹白川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	あゆ、あまご、いわな、 こじます、こい、ふな、 あじめどじよう漁業	平成6年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	次に掲げる(7)と(4)を結んだ線 から上流の石徹白川及びその支 流 (7)福井県大野郡和泉村三面谷2 番3地先に設置された石徹白ダ ムサイト上流端と石徹白川右岸 との交差点 (4)福井県大野郡和泉村尚野前被 35字大ソレ1番1に設置された 石徹白ダムサイト上流端と石徹 白川左岸との交差点	石徹白川漁業協同組合 合 美越漁業協同組合	岐阜県郡上郡白鳥町石徹白 福井県大野郡和泉村
九頭竜川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	あゆ、こい、ふな、あま ご、いわな、やまめ漁 業	平成5年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	福井市、大野市、勝山市、 吉田郡松岡町、永平寺町、上志 比村、坂井郡三國町、丸岡町、 春江町、坂井町地内	九頭竜川中部漁業協 同組合 勝山市漁業協同組合 大野市漁業協同組合	福井市、大野市、勝山市、 吉田郡松岡町、永平寺町、上志 比村、坂井郡三國町、丸岡町、 春江町、坂井町
九頭竜川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	あゆ、こい、ふな、あま ご、いわな、こじます、 あじめどじよう漁業	平成6年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	大野郡和泉村地内	美越漁業協同組合	大野郡和泉村
九頭竜川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	こい、ふな、あまご、い わな、あじめどじよう ひめます漁業	平成5年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	大野郡和泉村地内	美越漁業協同組合	大野郡和泉村
日野川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	あゆ、こい、ふな、あま ご、こじます、いわな 漁業	平成5年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	福井市、武生市、鯖江市、 今立郡今立町、南条郡南条町、 今庄町、丹生郡清水町地内	日野川漁業協同組合	福井市、武生市、鯖江市、 今立郡今立町、南条郡南条町、 今庄町、丹生郡清水町

漁業法に基づく漁業権一覧表

(様式14号)

(水系名) 河川名	漁業権名	漁業の種類	許可期間	漁業時期	漁場の位置	漁業権者	関係地区(地元地区)
足羽川 (九頭竜川水系)	共同漁業権	あゆ、こい、ふな、あま こ、たじます、いわな 漁業	平成5年9月1日 ? 平成15年8月31日	1月1日 ? 12月31日	福井市、足羽郡美山町、今立郡 池田町地内	足羽川漁業協同組合	福井市、足羽郡美山町、今立郡 池田町地内

漁業法に基づく漁業権一覽表

(水系名) 河川名	漁業権名	漁業の種類	許可期間	漁業時期	漁場の位置	漁業権者	関係地区(地元地区)
北川 (北川水系)	共同漁業権	あゆ、こい、ふな、おい かわ、あまご、やまめ 漁業	平成5年9月1日 ～ 平成15年8月31日	1月1日 ～ 12月31日	小浜市、遠敷郡上中町地内	若狭河川漁業協同組合	小浜市、遠敷郡上中町
天増川 (北川水系)	共同漁業権		平成6年1月1日 ～ 平成15年8月31日	1月1日 ～ 12月31日	滋賀県と福井県との境界から上 流の今津町大字天増川字美シテ 谷までの天増川ならびに小谷 川、くずは谷、宮ヶ谷、おり谷 および荒谷川の各支流	天増川漁業協同組合	今津町大字天増川
寒風川 (北川水系)	共同漁業権		平成6年1月1日 ～ 平成15年8月31日	1月1日 ～ 12月31日		三谷漁業協同組合	今津町大字南生見、北生見、 追分、保坂、角川、途中谷、 杉山、篠川